〔速記叢書講談演説集〕

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
ばんじ	万	158	03	学問でごす．誰でも知つて居る通り万物	万事	が政治は政治学，万物の理を知るのが物理学で
	万	192	11	られますが，ツマリ二つ以上の頭を以て	万事	を議することになつて居ります．其れからよい
はんしゅ	藩	227	13	ので，フランス語で云へばプレンス即ち	藩主	で有つて其の領分内に於ては殆んど天子とも異
はんじょう	繁	177	09	防ぎ止むることも出来，益々日本帝国を	繁昌	させることが出来ませう．先づ箇様な訳で先日
	繁	175	09	は当り前ではあるが増すばかりが国家の	繁昌	では無い，不幸だ．人があり余ると人力ではド
	繁	159	05	い．明の頃に天主教が渡りまして今日は	繁昌	になりましたが支那では老子，孔子，釈迦を三
ばんしょう	万	143	03	ります．これを画にたとへて見れば森羅	万象	日月星辰山水の現象を写すが如きもので有る．
はんすう	犯	263	04	のも有りますが其れとても年令，罪質，	犯数	，等の区別によつて其の雑居の分ちを為す位な
はんせい	反	138	15	著作中にも其の善きものは之を見て自ら	反省	することもあれば随つて社会の道徳を改良する
ばんせい	万	167	05	ハタと符号するやうになれば其の道理は	万世	に伝はつて人世に大功徳を及ぼすやうになりま
	万	246	06	ずと云ふことを言はれました．是れ実に	万世	不変の一大原則で有りまする．因つて刑を適用
	万	187	04	卑賤をも眷顧たまふが故なり今より後，	万世	まで人々我を福なるものと称ふべし」と謳ひま
	万	187	09	霊，我が救主なる神を喜ぶ，今より後，	万世	まで人々我を福ある者と称ふべし」と此の凱歌
はんぜん	判	076	15	くといふことは口で言ひ文字で書く様に	判然	と参るもので無い．利で無ければ害，害で無け
はんたい	反	007	01	の人にそんな見込は無い．今日の有様は	反対	した方にばかり流れ益々字を書く方が，はやっ
	反	021	03	有りますから地球には人間などが居ると	反対	して若し火星の表面に動物が無かつたら其れの
	反	038	10	裏反対ぢゃ．如何なる訳で其の様に表裏	反対	して居るかと云へば昔の支那流で言ふと開けぬ
	反	073	15	物の価を生ずるといふものは二個の全く	反対	したるものより生ずるとの説を思ひ出しました
	反	129	05	ります．第三．また只今説いた所に丁度	反対	したる仕方が御坐ります．或る教師は総て普通
	反	074	02	たもので御坐んす．さて其の二個の全く	反対	するといふ其の一のものは全く利を興す所のも
	反	038	09	民が有りて其の道徳とする所は全く表裏	反対	ぢゃ．如何なる訳で其の様に表裏反対して居る
	反	208	15	つが同じやうなものと云ふ証拠は無い，	反対	にそれぞれ違つたもので有ります．これをそれ
	反	044	04	ばかりては直に元の通りになるから全く	反対	の点まで持て参らねばならぬことぢゃが其れと
	反	101	13	一事の改革をはかるときには必ず二三の	反対	のあるものであるが我が日本は然らず．苟くも
	反	125	08	御坐りませうか．伝道師が度々聞く所の	反対	論といふものはドコから起つて来るもので有り
	反	125	12	たる者で御坐りませぬ．基督教の色々の	反対	論といふものは，おもに学術と基督教との関係
	反	126	08	することが出来ませうか．学術の色々の	反対	論に答へるには色々の仕方が御坐りまするが其
	反	126	13	自分の智力を以て総て学術に本づきたる	反対	論を駁つことが出来ると思ふもので御坐ります
	反	131	05	で御坐ります．されば学術に本づいたる	反対	論に答ふるに，よく適当したる仕方は如何なる
	反	131	07	ります．洋学を致した卒業生は基督教の	反対	論を駁つ為めに西洋の学者が著はした本を研究
	反	131	08	して西洋の学者の論を以て西洋の学者の	反対	論に答へることは誠によい仕方で御坐ります．
	反	131	08	は誠によい仕方で御坐ります．基督教の	反対	論を駁つ為めに英国，米国，独逸国などに毎年
	反	132	05	新旧約聖書の明文を以て基督教の色々の	反対	論に答ふることが出来ます．昔より今に至るま
	反	132	16	よい仕方で御坐ります．第七．基督教の	反対	論に答へるには最もよいものが御坐ります．即
	反	134	15	い証拠を立てねばなりませぬ．基督教の	反対	論に答へむには其の外にまだ色々の仕方が御坐
	反	101	14	改革といへば一人も疑ふものもなければ	反対	を試みるものもなくて直ちに之に雷同し，また
	反	169	08	我が国の人心は西に向つて貿易の利とは	反対	を示すやうに見えます．これには色々な訳もあ
はんだん	判	260	17	を超ると惰民製造の弊を来すと云ふのを	判断	するのは容易いことで有る．よつて監督者が有
	判	128	13	坐りませう．卒業生が各国の学者たちの	判断	を待ちまする間に基督教が不意に衰へてしまふ
	判	248	12	裁判所に於ては右の犯罪人及び嫌疑者の	判断	を下し，果して罪ある者には刑の言ひ渡しを為
ばんちょう	番	062	16	へば茲に一の閑人あり今日の午后六時に	番町	より神田に行くべき用事あるに当つて午后四時
はんてい	判	108	12	ゝることを為したかドウかは我々が粗々	判定	することが出来ませう．船が今沈没するといふ
はんとし	半	253	11	と云ふまでには三月或ひは四月若しくは	半年	も要することで有りまするから濡れ手で粟を攫
ばんにん	番	255	01	云ふ風も有りまするが其の原因は昔の牢	番人	が悪かつたので，監獄が悪いのでは決して有り
ばんねん	晩	222	03	馬琴の作も，始めは同じやうで有つたが	晩年	には注意して意匠を支那の小説に採るやうにし
はんぷ	頒	109	04	ませう．千八百五十五年に英国政府にて	頒布	されたパッセンヂャー，アクト即ち船客条例の
ばんぷく	万	057	08	ルダーと云ふ人が申した言葉に「健康は	万福	の基」之を英語で云へばＨｅａｌｔｈｉｓｔｈ
ばんぶつ	万	158	03	つて居る通り万物万事が政治は政治学，	万物	の理を知るのが物理学でやるのだからドウして
	万	130	06	宗教の基また学者が常に調べ且説く所の	万物	は同じく神の御心と御手より出て来るものだか
	万	158	03	のが学問でごす．誰でも知つて居る通り	万物	万事が政治は政治学，万物の理を知るのが物理
	万	087	08	教に問ふならば，これ等のもの皆な天地	万物	を造り且之をつかさどりたまふ造物主のミコゝ
	万	089	16	へば基督教で御坐ります．この教は即ち	万物	を造りたまふ造物主のミコゝロに基づいた宗教
はんぶん	半	011	11	れると分るものが半分，知らないものが	半分	かも知れませぬ．さりながら人間の物知りたが
	半	166	06	ふとサー分りますまい．時といふことも	半分	は分つて居る様なもののこれから後，幾年ある
	半	234	17	るやうになり，ギリシャローマの言葉は	半分	は飾りものになつて来ました．日本でも後には
	半	116	03	至つて，むつかしいことで誰でも理屈の	半分	も行ふことは出来ない．併し其れが出来ないと
	半	236	08	いことゆゑ如何ほど志が厚くつても思ふ	半分	も出来なかつた．其れが一つの大難事で有つた
	半	020	16	は無い，月よりは大きい，直径が地球の	半分	よりは大きいです．前にも言ひました通り此の
	半	011	11	部分だ」と問ひ詰められると分るものが	半分	，知らないものが半分かも知れませぬ．さりな
ばんみん	万	135	06	ち世界中の為めで御坐ります．若し万国	万民	が狭いものならば基督教の趣意は実に狭いもの
	万	135	08	たで御坐りませう．即ち「万国を周りて	万民	に此の教をのべ伝へよ」といふことで御坐りま
	万	087	01	等の貴きものに付て人の心を照す為めに	万民	の中に設けられたもので御坐ります．この故に
	万	091	12	為すものはこの罪悪で御坐ります．万国	万民	の救ひ主耶蘇基督の御功績に由らざれば人が此

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ばんみん）	万	135	07	いもので御坐ります．基督教は則ち万国	万民　の為めで御坐ります．耶蘇基督が世を逝りませ
はんれい	凡	175	15	て置かなければなりませぬからチョイと	凡例　を述べましたまでのこと．また英国人は「人は
ひ	日	156	06	外な違ひになりましたネ．昔でも今でも	日　が出ると言ひます．勿論天文者でも日が出ると言
	日	156	06	も日が出ると言ひます．勿論天文者でも	日　が出ると言ひますが日の方から出るのだから日が
	日	156	07	ると言ひますが日の方から出るのだから	日　が出ると言ふのだらうが，所が其れが出るとは言
	日	196	12	によつて今日は何事か有りはしないか，	日　がひつこんだから風が吹きはしないか，宵の明星
	日	246	04	と云ふことでも無し，また悪い事をした	日　から何十年の間，死ぬまでも悪い人と云ふ訳では
	日	130	17	白いお話しで御坐ります．数へも出来ぬ	日　月星を含む所の大空が人の色々の新論，新説，新
	日	025	03	に党類は有るまいかと云ふに天の中には	日　と月と惑星と其外に星と言ふものが有る．先づ星
	日	064	11	う．併し斯の如く有害なるにも拘はらず	日　に月に多きを加ふるに至りし所以のものは必竟前
	日	158	05	日の大体ではきまつて居ますが，アスが	日　に狂ふまいものでも無いが狂ふと極点が違つて来
	日	156	07	．勿論天文者でも日が出ると言ひますが	日　の方から出るのだから日が出ると言ふのだらうが
	日	195	05	て御記臆で御坐りませうが，これは朝，	日　の出ます前に，東に当つて出ましたので，ドコの
	日	195	07	帯地方に旅を致して居りましたが，朝，	日　の出ます前におるかなければならない用事が有り
	日	051	13	けモロコシ文字を省いて書くといふ様に	日　又一日に仮名文字の用ひが殖る様の実があがりま
	日	021	09	天文学の開けない時分には人間は高慢で	日　も月も地球のグルリを回つて居る．動物は地球の
	日	215	16	とが出来ない．ソコデ計略を考へて或る	日　，鱓と相談をして「貴様の眷族が多いか私の眷族
ひ	被	261	02	ふことの無いやうになりませう．第七，	被　救助者の姓名は役員の外，他人に知らしめざるこ
	被	152	12	かしいことも有ります．ツマリ行政法は	被　治者と治者との関係をきめるものと言つてもチョ
ひ	費	145	10	するところが有ります．さしあたり出版	費　と云ふ金のいることが有る．併しこれも出来ない
	費	260	01	，きめたいもので有ります．第四，救助	費　の額を定むること．これは最も必要なことで，例
	費	260	02	或ひは二万円と定むるか何にしても救助	費　の額を定めて置きませぬとムヤミに慈恵，慈恵と
	費	274	13	五十五年五月五日の法律を以て府県監獄	費　をも国庫より支弁することと致し全国の監獄は総
ひ	非	175	04	確かに後の人に義務を負つて居ります．	非　でありますか，是でありますか．また此の四箇年
びひ	日	060	05	車が出来ればムヤミに乗り散らし，日曜	日　と云つては休み，盆だと云つては休み，実にハヤ
ひい	引	179	10	あり，またキリストも此の預言者の語を	引　て「我は貧しき者に福音を宣べ伝へ心の傷める者
	引	205	04	が有つたと，イツでも前のことを証拠に	引い　て，こはがつたので有りますが，其れは彗星が
ひい	牽	182	09	を勤め能く其の父兄に事へ商賈は車牛を	牽　て遠きに往き其の所得を用ひて其の父母を孝養し
びいちろう	備	105	04	演説会」東京浅草井生村楼に於て大谷木	備一郎　君演説当今世上の一大問題となつて居ります
びいる	麦	120	06	またＯｅｔｔｉｎｇｅｎと云ふ人は酒と	麦酒　とは世界に移住して貴き人間を腐敗させる刺戟
	麦	120	08	じ様なもので日本へも明治二三年頃から	麦酒　などが移住して来まして此の節は私の居る神保
	麦	120	11	其れが只今ではあの通りに商家が出来て	麦酒　などが移住して参りました．またイギリスのス
	麦	120	12	チスチック，ジョルナルなどを見ますと	麦酒　などを飲む為めに費す所の金高は大層なことで
びいるや	麦	120	09	節は私の居る神保町近辺を通つて見ても	麦酒屋　が沢山に出来ました．昔は私の居る近辺は大
びえら	ビ	206	09	ると言ひましたが其の中で珍らしいのは	Ｂｉｅｌａ　の彗星と云ふて，この人がイツも六七年
	ビ	207	04	．ところが不思議なことにはモウ大かた	Ｂｉｅｌａ　の彗星が地球のソバに帰つて来る時分だ
	ビ	207	17	星と同じことと思はれます．して見ると	Ｂｉｅｌａ　の彗星は失せてしまつたのでは無く，化
ひおどし	緋	061	02	時の風たるを覚らるゝでありませう．又	緋縅　の鎧や天保銭や丸髷島田を御覧のときは又未開
ひか	引	198	01	ｏｎの調べました所によれば，太陽から	引か　れて居りますればいづれ抛物線か楕円の形ちに
	引	209	01	ません．なぜなれば地球は他の惑星から	引か　れると，感じますが彗星はイクラ引つばつたと
ひが	彼	048	13	輝かさなければならぬと云ふことも無く	彼我　の差別も漸々に薄くなりて来て，そこで道徳も
びかーる	ピ	200	01	．其の時に観測をした人はフランスでは	Ｐｉｃａｒｄ　イギリスではＦｌａｍｓｔｅｅｄなど
ひかく	比	028	03	すまい．そこで色々な星の明りの分量を	比較　して段々と距離の比例を取ると非常の遠くに居
	比	140	09	で御坐ります．時代が同じなれば馬琴と	比較　しますが馬琴先生は此のスコットに引き替へ裏
	比	041	02	たものと見える．前に申したのは風習を	比較　する近頃の学者の考へであるが其れで見ると「
	比	070	08	います．而して孛漏生と日本との人口を	比較　するが要用で御坐いますが孛漏生の人口は二千
	比	068	02	又其の員数は如何，又其の需要と供給の	比較　は如何と云ふことを簡短に申し述べて諸君の御
	比	176	09	穿鑿法，簿記法から着手し次第に進んで	比較　判決などの高尚なる所に及ぼして調べるが宜し
ひがし	東	173	10	減で奥歯に，はさまるやうで気味わるく	東　から来るパンはバタでも付いて居るやうで口へ通
	東	168	17	世の中にしましたが開化の勢ひが西から	東　に移つて来るとすると何か地球の引力にでも関係
	東	169	07	といふものは我が日本の海外貿易の利は	東　に益があつて西に利が見えないやうだのに我が国
	東	169	10	．然るに此の両三年以来我が国の人心の	東　に向くシルシがあるやうで，其の訳は亜米利加へ
	東	195	05	ませうが，これは朝，日の出ます前に，	東　に当つて出ましたので，ドコの国からもよく見え
	東	169	01	が我が国人の心は西の方へばかり向ひて	東　の方には向はない．これは人の自由心と物理と関
	東	195	08	らない用事が有りまして，相手と一所に	東　の方に出て参りましたが，其の時，相手と「ミゴ
ひかへ	ヒ	044	07	越えて居ることぢゃ．然るに法は大いに	ヒカヘ　メなるもので唯人を害しさへせねば其れで許
ひかり	光	018	02	調べて見ますと凡そ地球の上にあらゆる	光り　と熱は直接に太陽から来ないまでで皆間接に太
	光	090	07	す．また耶蘇基督御自分に「我れは世の	光り　なり」と仰せられましたことも有ります．なぜ
	光	090	07	神の御言葉はこの浮世の旅人の道を照す	光り　の如し」と云ふ明文が御坐ります．また耶蘇基
	光	020	07	の距離が非常に近くなる上に丁度太陽の	光　をマトモに受けて満月の様に見ゆるので余程よく
	光	024	02	は早く運動しますがいづれも自分で熱や	光り　を持たない，皆太陽から仕送りをして貰つて居
	光	090	09	るもので御坐ります．基督教を用ひ天の	光り　を受けて世渡りするものは必ず種々の進歩をす
	光	134	08	これで御坐ります．「人々の前に爾等の	光り　を耀かせ，さすれば人々爾等の善き行ひを見て

代表形	判	ページ	行		出現文脈
ひかん	比	161	08	の寮が有るといふがドウだとかと云つて	比干　の心を剖いて見たりしたが，これ等は畢竟，酒
ひき	引	064	05	臓病を発するでありませう．況んや之を	引き　疾駆するものに於ては一層の劇症を発す可きは
ひき	蝦	062	13	履を穿ち，おまけに頭にはバクバクして	蝦　蓑の様な島田や鍋蓋の如き丸髷を頂き居りて運動
ひき	疋	216	07	皇の時，摂津の菟我野と云ふ所に鹿が二	疋　居りました所が牡鹿が牝鹿に云ふには「昨夜，夢
ぴき	疋	215	15	しの一番古いところは昔々隠岐の国に一	疋　の兎があつた所が其の兎が内地の方へ渡らうと思
ひきあひ	引	197	14	ことの知れたのは学術の話しにはイツも	引き合ひ　に出るＮｅｗｔｏｎからで有ります．Ｎｅ
ひきうけ	引	237	16	．其れだから今日の学生は昔し厄を身に	引き請け　ながら学問を勉強した人のことを考へて其
ひきおこさ	引	089	09	せぬ．併しながら人の心の中に厚き志を	引き起さ　するには基督教が極優れたもので御坐りま
ひきかへ	引	140	10	比較しますが馬琴先生は此のスコットに	引き替へ　裏店に借家し米屋炭屋がカケトリに来れば
ひきたら	引	260	03	ときには天下の財産を以て之を補ふとも	引き足ら　ないやうになりませう．第五，必需入額及
ひきつけ	引	197	13	いてズットにげやうとする，太陽は之を	引き付け　やうとするので其の間を取つて，太陽のマ
ひきつれ	引	018	11	ふもので有ります．そこで太陽が地球を	引きつれ　て居るばかりで外に地球のツレは無いか，
	引	024	11	星これは余程贅沢な星で八つほど眷属を	引きつれ　て居ります．次ぎに天王星海王星これにも
ひきとら	引	219	07	とが有る．其れで妻は大かた自分の家に	引き取ら　ないで親の家に置いて男の方から通つたと
ひきとり	引	258	14	ち出獄人にして必需の資力なき者，又は	引取　人なき者，又は他人の使傭するを嫌ふ者が有り
	引	258	15	の使傭するを嫌ふ者が有ります．現在は	引取　人の無い者，又は帰郷旅費の無い者は別房留置
ひきぬい	引	267	16	考へましたものを其の極宜しい所だけを	引き抜い　て申したので有りまするから此の方法を参
ひきのばす	引	199	02	物線に近くなります．最初は円い楕円も	引きのばす　と其の一部分だけは殆んど抛物線に違は
ひきはなし	引	229	05	有ります．区は市街の大きな所を郡より	引きはなし　て区と定めるので例へば東京市街を一つ
ひきょう	卑	111	02	に止まらしむるなれば我輩はたゞ船長の	卑怯　にして義気に乏しきを悪み我が同胞及び印度人
ひきわたし	引	172	06	下の関の償金を返して，くれたこと罪人	引き渡し　の条約を立てたこと条約改正の議に第一の
	引	248	11	に於ては犯罪人を捜索して之を裁判所に	引き渡し　又は嫌疑者を捜索して之を裁判所に引き渡
ひきわたす	引	248	11	渡し又は嫌疑者を捜索して之を裁判所に	引き渡す　ものでありまして，裁判所に於ては右の犯
ひく	引	236	03	知るにも容易なことでは分らない．字を	引く　字引も無いし，読む本も無いと云ふ始末でヨホ
ひくい	下	136	07	ます．之に擬へて申しまするならば人が	下い　所からして世の中の有様を見れば面白いことも
ひくい	低	117	07	が殖えて来てからは其れが為めに自然と	低い　飲食の欲，即ち動物的の欲を節することが出来
	低	116	03	．併し其れが出来ないといふは実に全く	低い　動物的の欲に勝たれるからのことで，さういふ
	低	115	03	は熾んなれども其の品等を言へば至つて	低い　ものに違ひは無い．其れだから人類的の欲を動
	低	115	02	欲で有ります．一体，人類といふものは	低い　欲よりは高い欲の方を勝たせなければ人類たる
ひくかつ	低	241	08	立派で有つたとか，場所が高かつたとか	低かつ　たとか云ふやうなことは世間公衆の知る所に
ひくく	下	233	11	けムツカシイ所へは行かずに稍々程度を	下く　して日本語を以て教ふると云ふのが誠に宜しい
ひくつ	卑	062	02	るゝとか或は軽蔑せらるゝとか思ふ所の	卑屈　心を生ぜしめたるは原因の一です．なぜなれば
びくとる	ビ	139	15	でをも，うかゞつて居ます．フランスの	ビクトル　ヒューゴなども有名な人ですが其の最も長
びけい	美	143	17	仕方が無い．彼の南宗北宗などの山水の	美景　或ひは武人の像を画くものも有れば男と女とチ
ひこう	飛	164	12	取りて数字を揮灑し某弁に頤指し施措を	飛行　し復た客と酌む．夜闌にして客始めて謝し去り
ひごう	非	211	11	る前には地球は老病で死んでしまふから	非業　の死は遂げやしないと云ふ説が有ります．実は
びこう	備	256	11	る等の時に起るもので，これは日本では	備荒　儲蓄法を以て行なつて居りまする．さて貧民の
ひこく	被	095	09	とは出来ませぬ．英国領事裁判所に於て	被告　人のみを審問して無罪を言ひ渡したるは審理の
	被	242	10	カマヘルと云ふ意味で罪人又は刑事上の	被告　人又は金を借りて払はない者などを拘禁する所
	被	248	14	のは監獄で有りまする．また，刑事上の	被告　人，即ち俗に未決者と申しまする者は裁判の済
ひざ	膝	247	01	元へお戻し申さう」と云つて直ちに其の	膝　の下に，生れたばかりの赤子を入れて圧しつぶす
ひさし	寿	011	03	京神田区錦町東京大学講義室に於て寺尾	寿　君講談諸君．我々はどこに居るかかういふ問題を
	寿	195	03	町東京大学予備門構内講義室に於て寺尾	寿　君講談諸君．丁度，只今から三年ほど前にヨホド
ひさしき	久	132	08	御坐りました．これ等の色々の敵は既に	久しき　以前に世を去りましたもので御坐りますれど
ひさしぶり	久	107	04	う．即ち暫く東京に遊学して居つて今度	久しぶり　に故郷の両親に会はうといつて出立した学
ひさはら	久	011	13	れから其れへと知りたいのは欲心で唯今	久原　君の講談にも有りました通り「砂糖と云ふもの
ひし	比	037	09	ション即ち社会を動植物の如き有機物に	比し　たことは昔より有りたことなれども昔の説は有
びじゅつ	美	144	04	褒なる如きものは抑も末なるものとして	美術　上より遠ざけるが宜しい．日本今日の小説とて
	美	083	10	仏蘭西の国を御覧なされ仏国に於て学術	美術　新発明商法など誠に能く進んで居りますが道徳
	美	214	17	及ばない所の人情の極意を写し出す真の	美術　だと云ふやうな訳で其れゆゑ西洋に於ては小説
	美	214	14	天下の真の象と真の理とを能く探り得る	美術　てあつて，かの高尚な哲学の及ばない所をも識
	美	143	02	だと云ふと人間の人情を写し出す一つの	美術　で御坐ります．これを画にたとへて見れば森羅
	美	143	07	其の情を有りのまゝに写すが小説と云ふ	美術　で有るから是非勧善懲悪を持ちこまねばならぬ
	美	083	13	ります．ドコにか智慧の進歩学術の進歩	美術　の進歩製造の進歩が出来て居ります所には必ず
	美	144	05	遠ざけるが宜しい．日本今日の小説とて	美術　の旨意に適つたものは無いでは無いが随分不都
ひじょう	非	017	13	せぬ．同じ大きさに見えても月と太陽は	非常　な違ひで月は地球より小さいけれど太陽の方は
	非	026	08	ると云ふと此の一番近い星まで往くには	非常　な距離を通らねばなりませぬ．箇様に遠くに居
	非	069	11	昨年の八月五日までに千〇二十人と云ふ	非常　なる数に増加して居ります．故にベルリンの或
	非	249	08	すから人民が困難を受けると云ふことは	非常　なることに立ち至りまする．よつて警察と裁判
	非	012	16	坐います．地球は我々の身体に比べると	非常　に大きなものです．我々の住つて居る都府，我
	非	013	14	自然と眼が着きます．併し若しも我々が	非常　に近眼で五里か十里先きのものが見えなかつた
	非	017	09	がら月と同じ位に見えます．して見ると	非常　に大きいものに違ひない．現に勘定して見ます
	非	018	01	言はざるを得んです．太陽と云ふものは	非常　に明るい非常に熱いもので，よく調べて見ます

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ひじょう）	非	018	01	んです．太陽と云ふものは非常に明るい	非常　に熱いもので，よく調べて見ますと凡そ地球の
	非	018	17	としては同し所にヂッとして時としては	非常　に早く動く星です．支那人は之をひどく恐れま
	非	020	06	陽との間にはいりますと此の星の距離が	非常　に近くなる上に丁度太陽の光をマトモに受けて
	非	022	16	移る間に距離が離れて来ます．其の間に	非常　に小さな惑星が有ります．其の数は夥しいこと
	非	025	12	い所に居るのだから小さく見えても実は	非常　に大きいかも知れない，大きい小さいの争ひは
	非	026	09	いもので，あんなに小さく見えても実は	非常　に大きく無ければならないと云ふことが分つて
	非	029	06	有るといふことが分ります．其の同士は	非常　に沢山あるのですから太陽系みた様なものは天
	非	061	11	有ることもありませうが現今に至つては	非常　に濫用の弊を生じて斯の如き必要の場合にのみ
	非	063	09	本より素より多いなれども欧米に在ては	非常　に時間を貴び鉄道のステーションに於ても五分
	非	139	08	を卑しめて居りますが西洋では小説家が	非常　に貴まれて居る．現に西洋人に古今の豪傑はと
	非	197	12	に落ちる筈になつて居ます，幸に地球は	非常　に速くあるいてズットにげやうとする，太陽は
	非	204	10	さうですが，この彗星はエウロッパでは	非常　に大きかつたものと見えます．万国史をお読み
	非	204	14	で有ります」と言ふべきですが其の頃は	非常　に驚いたものと見えまして，ローマ法皇は「毎
	非	207	04	球のソバに帰つて来る時分だと云ふ時に	非常　に流星が多く御坐りました．私は日本で此の流
	非	209	02	て地球の運動に狂ひは有りません．また	非常　に稀薄なものであらうと云ふ証拠は尾を透して
	非	214	17	な訳で其れゆゑ西洋に於ては小説作者は	非常　に尊まれ其れから劇場に見物に行くのにも礼服
	非	246	12	ふもので有りまする．只今申したる点は	非常　に大切なるところで若し此の目的を存じませぬ
	非	267	05	を受くるやうなことが有りますし，また	非常　に性質の悪い者とサホドで無い者とを一所に置
	非	267	06	りまするど，サホド性質の悪く無い者が	非常　に性質の悪い者のしたことを学ぶといふやうな
	非	269	17	たる者は専ら十二歳より十八歳位までを	非常　に気を付けて監督養育しなければなりませぬ．
	非	275	12	れたとのことで有りまする．これ，また	非常　に監獄の整頓を助けたるものに相違御坐いませ
	非	275	14	護の事業を世間の有志者，有力者に於て	非常　に尽力せられまするの時機にまで到りましたか
	非	028	03	量を比較して段々と距離の比例を取ると	非常　の遠くに居ます星が有ります．今のαＣｅｎｔ
	非	063	12	ず一千人に付き五個の人力車あるときは	非常　の多数にしてツマリ濫用の多きシルシでありま
	非	103	01	ならぬ．即ち私が示したる二個の要点に	非常　の改良を加へねばなりませぬ．然らば如何なる
	非	103	04	が衰へたからである．古への日本人には	非常　の豪傑があつて武蔵坊弁慶の如き人もあれば加
	非	103	07	信仰心の然らしめたものである．清正が	非常　の武勇を現はしたのは矢張り信仰心の然らしめ
	非	141	13	来，小説には仕組と言ふものが大切ゆゑ	非常　の智能力が入りまする．たとへば経書を読みま
	非	186	16	でもキリスト教は社会改良の事に於ては	非常　の勢力ある者で殊に婦人の良友たることは明白
	非	274	15	ギリスに於ては千八百七十年にこれまた	非常　の英断を以て地方監獄を中央政府の直轄と定め
	非	275	08	ませぬ．然るに維新の改革と共に監獄も	非常　の改良を受けまして明治十四年九月十九日の太
	非	275	09	号を以て監獄則を発表せられましてから	非常　の改良を加へました．其の後，内務省に於て各
びじん	美	217	03	スメが出たから其れを養つた所が段々と	美人　の聞えが高くなつて言ひ寄つた人も多かつたけ
ひすてり	ヒ	064	04	に由つて心臓の衰弱を起し婦人に在ては	ヒステリ　症（俗に血の道）を発することを論じまし
ひすれ	比	108	02	ますが，これは日本の刑法で言ふ謀殺に	比すれ　ば其の範囲が広く例へば予め謀つて人を殺す
ひせん	卑	164	01	酣飲して，おまけに善く飲む者があれば	卑賤　から取り立てゝ酒を飲む相手にしたといふこと
	卑	187	03	は我が救主なる神を喜ぶ是れ其の使女の	卑賤　をも眷顧たまふが故なり今より後，万世まで人
ひそう	皮	270	15	と申す者が有りまするけれども，これは	皮想　の考へで取るに足らない説と存じられます．今
ひぞうっ	秘	019	07	太陽のソバに居て滅多に離れない太陽の	秘蔵　子，太陽のおそばさらずが有ります．此の星を
ひたい	額	129	15	ふには学術はけしからぬものにして人の	額　に鬼の角を生えさせるもので御坐ります．実にを
	額	129	17	力が御坐りませぬけれども鬼の角を人の	額　に生えさせるものでも決して御坐りませぬ．世の
	額	175	07	しいことも，やりとげやうと，いふので	額　に汗を流して骨も折る．家族でも子がみな死ぬと
ひたすら	只	042	01	者を圧制するがよい，下の人は上の人に	只管　従順にせねばならぬと云ふことになりて居るが
	只	042	09	抱いてはならぬ，己を利する心はすてて	只管　他人の為めになることをせねばならぬと云ふこ
ひたち	常	220	13	たムスメの話しや，文正の草紙と云つて	常陸　の国に居た大福長者の話しなど種々様々の画入
ひだり	左	074	11	の中に快楽幸福が少なくて右に向いても	左　に向いても艱難辛苦の類のみ多きもので天気でさ
	左	275	01	れどもナカナカ費用がかゝるので右から	左　へと云ふやうに総体を変へる訳には参りませぬ．
ひたん	悲	094	16	同感ならざるを得ぬことです．併し此の	悲歎　と此の憤怒の感情よりして証拠も無い者を以て
	悲	094	12	葬むられ魚の腹を肥したのは我輩に於て	悲歎　に堪へぬことで御坐ります．他の乗組人は大抵
ひっきょう	必	060	02	や蝙蝠傘を用ひない所は少ないと云ふは	必竟　これ等は便利であるからです．又田舎では以前
	必	057	14	すが斯く衛生の盛んなる有様を見るのは	必竟　当路者の尽力多きに居るものと思ひます．是れ
	必	064	07	は諸君も既に御承知のことでせうが是れ	必竟　努力疾行するに由つて心臓病を発するが為めで
	必	064	12	月に多きを加ふるに至りし所以のものは	必竟　前に申した通り人力車濫用の弊を生ぜしに因る
	必	058	11	とも出来ると云ふのは何でありませう．	必竟　我が邦が開化して鉄道が出来た為めでありませ
ひっきょう	畢	100	09	なつらきことは無からうと思はれます．	畢竟　するに二十有余名の同胞は羅馬人の如く尊敬さ
	畢	085	10	進み不完全なる所より完全なる所へ進み	畢竟　文明開化の所へ進み行くことで御坐ります．そ
	畢	080	17	に付ても適用すべきもので御坐ります．	畢竟　，人の総ての進歩，総ての改正改革を遂げる為
	畢	161	08	干の心を剖いて見たりしたが，これ等は	畢竟　，酒を飲むといふことから導かれたものと見ゆ
	畢	166	04	るアサハカな話しでは分りませぬが併し	畢竟　，人間生活の真理を発明しやうといふ為めに骨
	畢	196	11	ります．其の様にこはがりました所以は	畢竟　，品物の性質が知れないからで有つて，他の惑
びっくり	ビ	158	10	鳴るときには青くか黄いろくか，なつて	ビックリ　したに違ひない．後世，朱子が論語の集註
	ビ	159	11	らへたことは言はれない．地が動くのを	ビックリ　すると同じことで軍配がドコへ落ちるかは
ひっくりかへし	ひ	167	12	い人間の問題を解くにはイクラ一切経を	ひつくりかへし　て見ても漢土の本を万巻読んで見て

代表形	判	ページ	行		出現文脈
ひっくるめ	ひ	261	05	する．前に段々と論じて参りました所を	ひつくるめ　て申しますると学校と慈恵と監獄とは皆
ひっこむ	ひ	026	15	月の頃，宵の中にチョイと出て，やがて	ひつこむ　星で有ります．これが一番近い星でで有り
ひつこむ	ひ	196	16	故に彗星はドンナ所から出てドンナ所へ	ひつこむ　と云ふことを知つたらば彗星を怖れるの念
	ひ	196	14	思ふ人は一人も無く，太陽は朝出て毎夕	ひつこむ　のが当り前だと思つて居るやうです；（尤
ひつこん	ひ	013	03	です．其れで地球は立派な球では無い，	ひつこん　だ所とふくれた所が有ります．そこで直径
	ひ	196	13	つて今日は何事か有りはしないか，日が	ひつこん　だから風が吹きはしないか，宵の明星が出
	ひ	200	13	出ます時に男になつて出るかと思へば，	ひつこん　で，また女になつて出て来るので始めて芝
ひっし	必	168	15	スゴイやうな心地がします．我が国人が	必死　になつて防ぎとめ色々とモノゴトに修繕を加へ
ひつじゅ	必	260	05	引き足らないやうになりませう．第五，	必需　入額及び予備入額の備はりたる上は更に寄附を
	必	258	14	前の二つの外に放免者即ち出獄人にして	必需　の資力なき者，又は引取人なき者，又は他人の
ひつぜん	必	235	03	らず段々と盛んになればソコに至るのは	必然　で有ります．そこで此の専修学校は日本語を以
ぴったり	ピ	167	03	たれてしまひます．今のは事実と道理と	ピッタリ　合ふやうにしてゆくのだから事実を求める
ひつばつ	引	209	01	ら引かれると，感じますが彗星はイクラ	引つばつ　たとて地球の運動に狂ひは有りません．ま
	引	135	17	を記す為めにハリガネが縦横にチャンと	引つ張つ　て御坐ります．そこで見物人が表の口には
ひつばり	ひ	197	10	陽は夥しいもので地球や其の外の惑星を	ひつばり　ますのは，丁度，地球が他の物をひつばる
	ひ	197	11	地球が他の物をひつばると同じやうに，	ひつばり　ます．地球が只今でも止まつてしまつたと
ひつばる	ひ	197	10	つばりますのは，丁度，地球が他の物を	ひつばる　と同じやうに，ひつばります．地球が只今
ひつよう	必	278	12	誨などに関することは学術上論究するの	必要　が有ると確信いたしますから其れ等のことは追
	必	065	13	むと欲して風未だ止まず」とやら改良の	必要　蓋し今日に在ることでありませう．李国の司法
	必	142	08	りませぬ．併しながら今，小説の改良が	必要　だとてお前達は品行も直せ学問も急に上達せよ
	必	046	13	が進化して来た所で其の維持と進歩とに	必要　だけに道徳と法律とが進化して来て居ることぢ
	必	040	14	いことで維持と進歩とを謀りてゆくには	必要　ぢゃ．其れゆゑ今申した様に今日から見れば悪
	必	083	12	め，また世界中の人類の為めにも一様に	必要　で御坐ります．ドコにか智慧の進歩学術の進歩
	必	085	17	なる進歩を成就する為めに道徳の進歩は	必要　であるなどのことは既に皆んなお話し申したで
	必	090	11	つの高尚なる模範即ちｉｄｅａｌが必ず	必要　で御坐ります．併しながら耶蘇基督よりも立派
	必	100	17	に軽蔑されぬ様な計画をめぐらすが最も	必要　であらうと考へる．然らば何故日本人は斯く軽
	必	107	09	るからには英国の法律を取り調べるのが	必要　であると考へます．英国の法律には諸君の御承
	必	147	17	きにしましても季候を調べるのは是非，	必要　でありますがスタチスチックで何れの土地の季
	必	148	01	何度であると調べて見てこれはナルホド	必要　であると言へば測候所といふものを設けて其の
	必	149	15	殊に社会上，政治上のことに付ては最も	必要　でありませう．これが行政法とか憲法とかいふ
	必	153	16	ものであります．故に憲法を知ることが	必要　でありますが其れは憲法学に長じた人が講究す
	必	176	08	ぬ．これに付てはスタチスチックは第一	必要　でスタチスチックの穿鑿法，簿記法から着手し
	必	248	10	察と裁判との関係を明らかに示すことが	必要　で有ります．警察に於ては犯罪人を捜索して之
	必	260	15	務大臣の監督を受けると云ふことは最も	必要　で有ると思ひまする．其れは右の行政官に於て
	必	057	10	ので其の健康を得やうとするには衛生が	必要　です．然るに今当路者が斯く衛生に注意せらる
	必	061	14	て尚ほ人力車を用るあり，或は又運動を	必要　とする男女学校生徒にして僅か近傍の学校に通
	必	074	04	もので御坐んする．なるほど利を興すの	必要　と害を除くの必要と，必要は同じことではある
	必	074	04	．なるほど利を興すの必要と害を除くの	必要　と，必要は同じことではあるが利を興すと害を
	必	083	11	の毒で御坐りまする．この道徳の進歩の	必要　と云ふものは一個人の為め全国民の為め，また
	必	149	15	ることであれば相集まつて研究するのは	必要　と考へます．殊に社会上，政治上のことに付て
	必	045	13	るのぢゃ．併しこれは多くは其の社会に	必要　なことぢゃから決して悪いこととは申されぬぢ
	必	046	04	無けれども社会の維持と進歩との為めに	必要　な事ぢゃ．併し悪い事をした人から云へば政府
	必	057	07	ます．総て我々の健康と云ふものは実に	必要　なもので曾てウ／キルダーと云ふ人が申した言
	必	062	07	つたのです．第二は身体運動は衛生上に	必要　なものと云ふことを知らざる野蛮人の多きと我
	必	074	14	んすが斯の如きことを除くといふことは	必要　なことで御坐んす．其れを務めて除かむことを
	必	077	06	い．そこで法律と経済とは社会上同一に	必要　なもので又今の様に相須つて用を為すものであ
	必	088	04	したものの外に社会の進歩の為め種々の	必要　なものが御坐ります．これ等も亦基督教の緊要
	必	113	12	で無く広く動物にも通ずるもので至つて	必要　なものだと，いふことは分りきつたことだが其
	必	113	13	と，いふことは分りきつたことだが其の	必要　なもので有るだけに，また欲が熾んに有るから
	必	149	01	ましても徴兵年齢とか学校年齢とかいふ	必要　な年齢も御坐んせうがたゞスタチスチック学ば
	必	182	05	せん．それ故に今社会を改良するに最も	必要　なことは一夫一婦の教の普く行はるゝことで御
	必	218	02	て和文を作るにも言語の学問をするにも	必要　なもので有ることは云ふまでも有りませぬ．次
	必	260	01	，救助費の額を定むること．これは最も	必要　なことで，例へば一万円と定むるか或ひは二万
	必	260	06	に寄附を受けざること．これも亦，最も	必要　なことで，例へば一万円の年額を要する為めに
	必	079	01	いたします．基督教は社会進歩の為めに	必要　なり明治十九年九月十一日本郷青年奨励会東京
	必	079	04	所の演題は「基督教は社会進歩の為めに	必要　なり」と云ふことで御坐ります．これ即ち人間
	必	085	03	ずる演題は「基督教は社会進歩の為めに	必要　なり」と云ふことで御坐りますゆゑに，これか
	必	044	06	とを得ぬことをしたのぢゃ．併し極めて	必要　なる点は越えてしまふて居ることぢゃ．所謂る
	必	059	12	のが舶来したかと云ふに文武工商農等の	必要　なる学芸の輸入せしは勿論なれども之と共にコ
	必	073	11	と経済の学科とこの二つの者は社会上に	必要　なる点に至りましては固より優劣も無く同一の
	必	073	12	して其の必要の度は同一では御坐んすが	必要　なる所以は如何と言ふに至つては必ずしも同一
	必	076	01	う．是れ等が則ち必要の点は同一にして	必要　なる所以の点に至つては同一で無いといふもの
	必	092	02	人間の完全なる進歩を成就せむとするに	必要　なるもので御坐ります．基督教は即ち進歩の宗

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（ひつよう）	必	088	03	書を研究いたすならば遠からず基督教の	必要	に付て疑ひが皆んな立派に晴れて来ませうと心
	必	117	08	ことが出来ませう．其れでこそ此の会が	必要	になることぢゃ．其れが守れぬといふやうな人
	必	061	12	つては非常に濫用の弊を生じて斯の如き	必要	の場合にのみ使用せずして事の緩急に拘らず道
	必	073	12	無く同一のもので御坐んす．而して其の	必要	の度は同一では御坐んすが必要なる所以は如何
	必	076	01	つても宜しう御坐んせう．是れ等が則ち	必要	の点は同一にして必要なる所以の点に至つては
	必	099	05	に逢ふたかといふことを沈思黙慮するが	必要	のことであらうと考へる．諸君は如何にして斯
	必	108	06	為は何に当るといふことを審究するのが	必要	のことと考へます．然るに其の所為はマーダー
	必	115	09	体に付て言つたことだがモウ一つ人類に	必要	のことが有る．其れは外でも無い，人類といふ
	必	261	03	貧民救助の点，即ち慈恵の点に於て誠に	必要	の点で有らうと思ひます．其の方法は異名又は
	必	074	04	ど利を興すの必要と害を除くの必要と，	必要	は同じことではあるが利を興すと害を除くと其
	必	086	14	督教の欠くべからざること即ち基督教の	必要	はこれ等の質問に由つて明らかになります．若
	必	087	17	に由つて見れば社会進歩の為め基督教の	必要	は必ず明らかになりませうと存じます．未だ基
ひと	人	177	16	となりと笑ふ人もあらん．若し是れ等の	人	ありとせば，よき例あり．昔アリスメデスが入浴
	人	250	01	付ては次に図を示して申て上げませう．	人	生れて，丁年に至るまで（即ち二十歳に至るまで
	人	006	17	の会は俄に盛にならうか来年位には世の	人	多く漢字の不便を覚らうかと．私は悟てしまつた
	人	004	04	する者が多くあれば，こちらの物を買ふ	人	が減り，こちらの物を買ふ者が減れば，こちらは
	人	007	06	ナゼかといふに漢字の教育を受けて居る	人	が多い．漢字の教育を受けた者が十人に八九は有
	人	008	01	らるゝ場合では無いが随分感心して居る	人	が多い．何が証拠かといふに安んじて漢字を用ひ
	人	008	02	拠かといふに安んじて漢字を用ひて居る	人	が多い．一刻も早く無くなすことに気を付けなけ
	人	008	11	坐つて居ることは出来ませぬが，そんな	人	が少ないから漢字はなかなか廃されませぬ．さて
	人	015	01	打つたりする訳にはいくまいが」と疑ふ	人	が有ります．併し測量術を少し心得て居るなら分
	人	021	13	ります．今日理学や其の外の学問をする	人	が満足する有様に至らないので追々開化が進んだ
	人	021	14	だら黄金世界になると云つて楽んで居る	人	が有りますが其の黄金世界に既になつて居る所が
	人	024	06	天象台の教師ＡｓａｐｈＨａｌｌと言ふ	人	が発見いたしました．次ぎに木星には月の様なも
	人	034	11	を立てて見て世間で酒を飲む人はどんな	人	が多いかと歴史などから考へて見ますと酒を飲む
	人	034	16	は古へより功を成し国家の為めになつた	人	が有りますが酒を飲んで大事業を仕遂げたといふ
	人	035	15	有りますが独逸や仏蘭西や英吉利などの	人	が皆酒を慎んで身体を丈夫にして智慧を研いたか
	人	036	03	つては通り兼る様です．其れを信仰する	人	が有れば其れまでのことですが「大いなる社会は
	人	036	05	一方のヒロソヒーの方は調子が合ふから	人	が聞いても感じましてよく聞えますが「大いなる
	人	041	12	国の開化史を書いたＢｕｃｋｌｅと云ふ	人	が「道徳は思ひの外，早く開けてしまふて変化は
	人	046	03	にすておく訳にゆかぬから悪い事をせぬ	人	が已むことを得ず立てた法ぢゃ．当然と云ふ訳で
	人	052	02	．例へば仮りに秦の始皇の様な大決断の	人	があると定め其の人が仮名の会の仕事を尤もと思
	人	052	02	始皇の様な大決断の人があると定め其の	人	が仮名の会の仕事を尤もと思ひこんで（但しこれ
	人	055	04	兎角仮名がよいと言つて自分で用ひても	人	が仮名を用ひないから漢字で無ければならないと
	人	057	08	に必要なもので曾てウ／キルダーと云ふ	人	が申した言葉に「健康は万福の基」之を英語で云
	人	060	07	のではありませぬが斯の如く贅沢を行ふ	人	がドウいふ芸術が出来てドウいふ働きをするかと
	人	081	03	本性本質の進歩で無ければなりませぬ．	人	が自分の勝手に作つて用ゆる所の品々の進歩で御
	人	081	11	みづからの進歩で無ければなりませぬ．	人	が勝手に造り且，用ゆる所の器物品物家屋また器
	人	081	16	其の種類多く御坐ります．たとへば能く	人	が智慧の進歩商法の進歩製造の進歩経済の進歩学
	人	082	08	に付て人の進歩に御坐ります．たとひ，	人	が種々の進歩いたしても道徳的の進歩を致しませ
	人	084	03	坐ります．たとへて申すならば或る国の	人	が機械のこと学術のことを専ら勉める間は其の外
	人	085	15	能く養ひて盛んにすること．また一つは	人	が既に持つて居る所の善き事柄の上に色々と他の
	人	090	05	訓が余程大事なもので御坐ります．若し	人	が知識浅く天地の道理に疎いならば迚も進歩する
	人	091	09	御坐りませうか．また進歩しやうと思ふ	人	が前以て棄てねばならぬものは何で御坐りませう
	人	091	12	の救ひ主耶蘇基督の御功績に由らざれば	人	が此の罪悪を免れて本当の自由を得て進歩するこ
	人	100	12	ぬ蓋しこれが為めに我々同胞二十五名の	人	が斯くの如き非命の死を遂げたものであらうと考
	人	103	13	し．而して日蓮記を読んで見ても昔しの	人	が物事を深く信じて疑はざるところは明治今日の
	人	107	03	す．諸君は我が同胞中に如何なる種類の	人	があつたかを記憶せらるゝであらう．即ち暫く東
	人	108	16	へはあつたらうと考へる．また数十人の	人	が危険にかゝつたときドチラに避けやうといふと
	人	109	13	に三人の人も助かつて居らない．三人の	人	が端艇の効用を知つて居つたら他の二十二名は必
	人	117	17	下等の欲に打ち勝たれないといふやうな	人	が有ることぢゃから此の類の人は禁酒会を設くる
	人	120	07	ひました．此の移住と云ふことは西洋の	人	が世界に移住すると同じ様なもので日本へも明治
	人	123	02	つかしいことでも有りますまい．先刻も	人	が参つて話しましたが其の人は木曽の三尾と云ふ
	人	129	10	ども無いものでも御坐りませぬ．箇様な	人	が言ふ「嗚呼哀しいかな先だつて某の学者が道徳
	人	129	12	徳法がドウなりませうか」と．また或る	人	が「旧約聖書に就てＧｌａｎｄｓｔｏｎｅ氏とＴ
	人	130	13	逸国の有名なる哲学者Ｋａｎｔといふお	人	が申されましたことをお聞きなされ．「天地の間
	人	132	17	身に基督教を行ふの仕方で御坐ります．	人	が，まのあたり受ける所の証拠は明かにして実に
	人	136	07	坐ります．之に擬へて申しまするならば	人	が下い所からして世の中の有様を見れば面白いこ
	人	138	13	が著しい．馬琴若しくは其の流派を汲む	人	が書いた小説は重もに勧善懲悪が主眼なれば面白
	人	140	03	説で御坐ります．斯様に西洋ではゐらい	人	が小説家と言ふに日本では左様な訳で無し．日本
	人	140	05	分に西洋ではウ／ヲタースコットと言ふ	人	が之と同時にウェバリーノベルスを書いて丁度其
	人	144	14	で中々満足いたされません．小説を書く	人	が多数の中には和漢の古今に通じて居り筆が流暢
	人	153	16	必要でありますが其れは憲法学に長じた	人	が講究するでありませうから私は申しませぬ．憲

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ひと）	人	156	14	りましたが，これはコペルニカスといふ	人 が考へたので其の人は天文を骨を折つて見たが日
	人	157	01	西洋には羅馬法皇と言つて，やかましい	人 が教法を握つて居るんだが，日本では此の間まで
	人	164	03	これは天道溯原を著述した丁韋良といふ	人 が二三年前，支那政府の命令を承け学事視察の為
	人	167	02	事実と道理とハナレバナレになつて段々	人 が信じなくなるから追々に，すたれてしまひます
	人	168	09	二百六七十年すぎて北亜米利加合衆国の	人 が和親貿易を請ひに来ました．丁度私が二十四五
	人	171	07	だらうと思ひます．北亜米利加合衆国は	人 がまだ多くなく，国に余地がある．また其の中に
	人	175	02	身にかゝつて来ます．若し義務を欠くと	人 が人とせぬやうになりはしませぬか．さうして見
	人	175	06	ことが今申した通りであれば後々とても	人 が殖えませう．若し人が減つて来たらモウ望みは
	人	175	06	あれば後々とても人が殖えませう．若し	人 が減つて来たらモウ望みは無い．減らぬからこそ
	人	175	09	ばかりが国家の繁昌では無い，不幸だ．	人 があり余ると人力ではドウすることも出来ませぬ
	人	176	11	から先づ海外に出稼ぎをなし移住をなす	人 があれば男は男と記し女は女と記し，姓名，生国
	人	176	13	るかといふことを記し，行く先きの地で	人 が生れゝば記し死ねば除き，また帰国して職業を
	人	176	14	し死ねば除き，また帰国して職業を為す	人 があれば之を記し彼れに除きて此に入れるなど，
	人	181	04	を借りるより外は致し方がないと論ずる	人 が御坐りますが何故にキリスト教には此の力があ
	人	182	11	に一人か，千人に一人に過ぎないといふ	人 があるかも知れません．成る程それに違ひありま
	人	184	15	力に依らなければなりません．曾て或る	人 がキリストの許へ来て「人は何の故に係らず妻を
	人	184	17	始に神は人を男女に御造りなされた故に	人 が夫婦になれば最早二つでは無く一体である．神
	人	184	17	無く一体である．神が合せ給ふたものを	人 が離すべき筈はない．姦淫の故でなくして妻を出
	人	191	04	ところがモンテスキューの言つたことを	人 が解し違ひたので同氏がイギリス国の制度を論じ
	人	196	02	気味が悪い」とか云ふ位の考へは起した	人 が有るかも知れません．婦人方などは「イヤな彗
	人	196	09	のと見え「箇様箇様の彗星が出たときは	人 が夥しく死んだ」の「国が亡びた」のなどと云ふ
	人	201	01	違ない，自分では見る望みは無いが後の	人 が千七百五十八年の終りか五十九年の初めには見
	人	202	03	に次ぐほどの数学者で有りますが，この	人 が出まして彗星が太陽を離れて方々を回つて居る
	人	202	14	つて見えないでイタリヤまで見に行つた	人 が有りました．果してＨａｌｌｅｙの言つた通り
	人	203	03	ｉｓｅａｕと云ふ二人とも計算の上手な	人 が勘定をして今度は千八百三十五年の十一月の十
	人	205	17	セイユの天象台の門番のＰｏｎｓと云ふ	人 が肉眼で見出して名高くなつてベルリンのＥｎｃ
	人	206	01	高くなつてベルリンのＥｎｃｋｅと云ふ	人 が（これは前のＣｌａｉｒａｎｔほどにはいきま
	人	206	09	いのはＢｉｅｌａの彗星と云ふて，この	人 がイツも六七年目には戻つて来ると言ひましたが
	人	208	05	地球のやうに堅くつて水が有り草が有り	人 が有ると云ふやうなものか，ソンナものでは無い
	人	208	07	が運動を調べるのはヨホド易い．大抵の	人 が時計を持つて汽車の出る時に時計を見，汽車の
	人	210	15	熱湯をこぼすやうな有様だらう」と言ふ	人 が有れば，また「地球が彗星に突き当れば我々は
	人	217	02	せう．竹取物語の大意は竹取の翁と云ふ	人 が竹を割つた所が中から奇麗なムスメが出たから
	人	220	09	へたことなどが本当のことのやうに思ふ	人 が多い．さて足利の時代には物語がやゝ廃れて草
	人	233	13	から十年余も前で有りましたらうが或る	人 が私に申しまするには今，西洋語を以て教ふる大
	人	234	06	の大学の卒業生も出来るから，さう云ふ	人 が後に日本語の専門学校の先生になれば其の人が
	人	234	07	に日本語の専門学校の先生になれば其の	人 が自分の学び得た所を脳髄から練り出して来て其
	人	236	05	い位で有つたが，さう云ふことを熱心な	人 が刻苦して勉励したなれども其のイサヲシは至つ
	人	236	14	之が為めに自分の命まで取られるやうな	人 が有つた．高野長英や渡辺華山なども西洋学をし
	人	240	08	来ませぬ．例へば私の友人に○○と云ふ	人 が有りまして，此の人は未だ配偶者が無い．とこ
	人	246	04	るものであるから悪い事をしたとて其の	人 が頭から足の先きまで悪いと云ふことでも無し，
	人	251	03	古をする訳であるか」と云ふ疑ひを起す	人 が有りませうけれども決してさういふ訳では有り
	人	046	04	為めに必要な事ぢゃ．併し悪い事をした	人 から云へば政府の為めに害せられるのぢゃ．して
	人	164	05	を巡回し支那へ帰つて作つた書物で其の	人 から私の所へ贈つてよこしたが其の書物の中に酒
	人	062	03	為めと思つて徒歩にて市中に出るときは	人 之を見て某はこの暑いのに人力にも乗らないで，
	人	035	01	を研き身体を丈夫にし財を惜む欲の深い	人 だと思はれます．小欲の人は酒を飲むことを好ん
	人	157	15	支那では明の時分で日本では足利時代の	人 だが其の前は天と言ふものが動いて居つたのがガ
	人	144	12	此の節は追々西洋の本を読んだ然るべき	人 たちがソロソロ西洋の小説を訳したり又は著はし
	人	212	05	けかも知れません．其のぶつつかる所の	人 たちの為めには実に気の毒で有りますが，其れは
	人	079	06	ければならぬと云ふ主意で御坐ります．	人 たるものは種々の貴い性質の中に必ず只今弁ずる
	人	019	05	白と言つて酒飲みの詩人で世に知られた	人 で有ります．併しコンナむづかしいことを言はな
	人	034	12	から考へて見ますと酒を飲む人は無欲の	人 であつて多慾の人は酒を飲まぬものだらうと思ひ
	人	035	01	仕遂げた人は何れも酒を慎んで欲の深い	人 で今日の行ひをよく省みて智慧を研き身体を丈夫
	人	040	01	ふた人でも其の時分には弱くては徳義の	人 では無かりた．盗賊を賞するのと同じことで何で
	人	064	05	）を発することを論じましたが乗車する	人 ですら斯の如く心臓病を発するでありませう．況
	人	095	05	なかつたのは実に道徳上に於て罪すべき	人 で御坐りまする．併し道徳と法律とは自から混同
	人	095	07	御坐ります．故に道徳上に於て罪すべき	人 であつても法律上で罪すべき証拠が無いときには
	人	123	03	曽の三尾と云ふところに教員をして居る	人 でありますが其の人の話しに其処では男の子でも
	人	127	04	ぬ．一般にはこれ等の人は随分タシカな	人 で有ります．また其の論はかたい論にして中に面
	人	142	07	りではいけません．学問が有つて非凡な	人 でなければなりませぬ．また見識も無くてはなり
	人	161	07	体，紂王といふ人はムヤミなことをする	人 で孕み女の腹を剖いて胎を見たり，聖人には七つ
	人	163	02	長は徳は無い様だが才気は充分に有つた	人 で随分場所柄もよく兵威も益々盛んになつたから
	人	223	07	つたもので其の上人は朱雀，村上の朝の	人 で古いものサ．これまでが演劇の成り立ちとも云
	人	139	15	ランスのビクトルヒューゴなども有名な	人 ですが其の最も長じたる所は小説で御坐ります．

代表形	判	ページ	行			
（ひと）	人	040	01	て居たと見える．今いふ徳義にかなふた	人	でも其の時分には弱くては徳義の人では無かりた
	人	048	02	ことをやるが一己人同士ぢゃとて他国の	人	でも国内の人と甚だしく違ふては居らぬことで随
	人	089	11	志を起すもので御坐ります．無下に賤い	人	でも若し基督教を用ひるならば進歩するの志が必
	人	095	02	為すといふことがありまして尋常一般の	人	でも他人の危きに臨んでは之を救ふが道徳上の義
	人	039	16	とでありて行ひの正しい人を徳義の有る	人	と云ふ訳では無く強い人を徳義の有る人と云ふの
	人	039	17	人と云ふ訳では無く強い人を徳義の有る	人	と云ふのぢゃから何でも強くなくてはならぬと云
	人	048	02	一己人同士ぢゃとて他国の人でも国内の	人	と甚だしく違ふては居らぬことで随分互に深切を
	人	099	13	世間の既に認めたる事柄である．而して	人	といふものは災難の場合に当りて殊に義侠の心を
	人	118	02	方がよい．一体，一人で孤立して守ると	人	と約束をするのとは約束をした方が固くなるわけ
	人	144	16	兎角双方旨く参らぬから日本の筆の立つ	人	と西洋の小説の読める者と此の二派を集めて筆の
	人	173	08	う．若し我が日本の国人と北亜米利加の	人	と親しんだなら其の親和力は実にドコまでの度合
	人	175	02	かゝつて来ます．若し義務を欠くと人が	人	とせぬやうになりはしませぬか．さうして見ると
	人	202	06	仕事でフランスのＬａｌａｎｄｅと云ふ	人	とＨｏｒｔｅｎｓｅＬｅｐａｕｌｔ夫人と三箇月
	人	214	12	」などと云ふことで士は勿論，然るべき	人	とはツキアヒが出来ませんだつた．然る所，近年
	人	246	05	した日から何十年の間，死ぬまでも悪い	人	と云ふ訳では決して無い．則ち其の所行が悪いの
	人	214	13	洋風が流行つて来て留学生や又は洋行の	人	などが帰朝するに従つて小説と云ふものは天下の
	人	118	01	思ひます．若しも人に虚言をつくやうな	人	ならば節酒会にも，はいらぬ方がよい．一体，一
	人	122	16	とは急にいかないものだが医者に懇意の	人	なら酒の上からドンな病気が起つたかと云ふこと
	人	122	17	と云ふことを聞くとか，警察官に懇意の	人	なら酒の上からドンな罪を犯した者が有るかと云
	人	139	10	りセクスピヤは彼の芝居を書きましたる	人	なるが其の智能の多いことは凡庸では無い．ナポ
	人	003	05	係を考へて見なければならない．一体，	人	には時の際限が有つて一日に二十四時間あるが，
	人	006	17	と．私は悶てしまつた．なかなか世間の	人	にそんな見込は無い．今日の有様は反対した方に
	人	034	14	鈍くし財を費すことになつて種々様々に	人	に弊害を及ぼして参りませうと思ひます．併し大
	人	041	17	下の者を圧制するがよい，下の人は上の	人	に只管従順にせねばならぬと云ふことになりて居
	人	045	12	るのぢゃ．則ち一方の人を利して一方の	人	に不利なる法律が立ちて居るのぢゃ．併しこれは
	人	061	13	様になり甚しきに至つては終日安居する	人	にして日々幾分かの運動を要する人の散歩するに
	人	074	13	疾病が有るとか或ひは油断をして居ると	人	に金を取らるゝとかいふことが断えず御坐んすが
	人	084	17	を調ぶると云ふことは万国史を勉強する	人	には至つて面白いことで，また有益なることで御
	人	085	13	去りまた減ずること，また一つは何れの	人	にでも現に成り立つて居る所の善き性質また人の
	人	086	17	りませぬ．これ等の高尚なる事柄を世の	人	に委しく教ゆる為めに基督教は即ち世に下された
	人	087	11	れ等のもの皆な全知全能の神にして即ち	人	に進歩するの能力を与へたる神のミコゝロに合ひ
	人	089	02	ぶものは御坐りませぬ．基督教は決して	人	に諂ふことも無く恐るゝことも無くして人の真の
	人	090	02	が御坐りませぬ．基督教を能く心得たる	人	には目的が無く己れの貴いゆくさきを知らずと云
	人	090	10	ます．第五．種々の進歩を致さうと思ふ	人	には一つの立派な手本一つの高尚なる模範即ちｉ
	人	091	17	督に係はらず彼の恐ろしい罪悪を免れた	人	に遇ふたことは一度も御坐りませぬ．今弁じた所
	人	117	01	らぬやうにしたい．ドウゾ約したことは	人	に対して欺かないやうにしたい．而して信用を失
	人	117	11	此の会を盛んにしたいもので有ります．	人	によりては酒の分量といふものは人によつて違ふ
	人	117	12	す．人によりては酒の分量といふものは	人	によつて違ふ故に節酒と言つても其の程が分らな
	人	118	01	此の会はこれでよいと思ひます．若しも	人	に虚言をつくやうな人ならば節酒会にも，はいら
	人	120	14	併しながらモノゴトはたゞ論ばかりでは	人	に感じさすることが割合に少なく思はれます．今
	人	121	02	ますが私はドウも日本でも論ばかりでは	人	に感じさすることが，むづかしくて盲人に七色の
	人	121	14	者が多いかと云ふことを警視庁の掛りの	人	に尋ねたところが（尤も，これは私の事で尋ねた
	人	133	16	ました．が其れから，かの者が全く外の	人	になつたやうに，まるで変つて来ましたので御坐
	人	133	17	ので御坐る．昔は極軽い事柄をも，かの	人	に任せることは出来なかつたれど今，我が家の事
	人	134	01	れど今，我が家の事一切皆な喜んでこの	人	に任せて置きます．そこで私が基督教を見たので
	人	138	01	等の本を読みましたときには上下を着た	人	に小言を頂戴いたす様な心持ちも有りませうがリ
	人	144	16	の読める者と此の二派を集めて筆の立つ	人	に西洋の智識をつぎこむ様にしたら宜しからうと
	人	170	07	富貴の財で行き亜米利加へ行く者の方は	人	に頼つたので無く全く自発して行くのでありませ
	人	175	03	ぬか．さうして見ると今の人は後の世の	人	に義務が無ければなりませぬ．今の人は確かに後
	人	175	03	ければなりませぬ．今の人は確かに後の	人	に義務を負つて居ります．非でありますか，是で
	人	176	15	動に係ることは一切載せて其の地，其の	人	に網を張つたやうに一つも漏らさぬやうに，しな
	人	179	15	を放ち凡て世の不釣合不平均を取り除き	人	に自由幸福を与へる者で御坐ります．恐らくは昔
	人	182	17	なければなりません．若し今，日本中の	人	に各二三人の妾を蓄る力があつたらドウで御坐り
	人	196	17	つて来るに違ひ有りません．夜間い所で	人	に遇ひますと驚いてドロボウでは無いかと思ひま
	人	201	10	タスタあるきましたが途中で身分の重い	人	に遇ひますと丁寧にジットしてお辞儀を致します
	人	201	12	ゞチョット見てくれます位で，威張つた	人	になるとテンデ見向きもしないことが有りました
	人	204	03	本で云へば安倍の晴明とでも云ふやうな	人	に其の彗星を占つて，もらつた所が「これは天子
	人	205	16	ますと天文学者だけは面白くつても他の	人	にはサッパリ面白くないやうなことが有りますか
	人	214	08	したものだから自ら幇間みたやうになり	人	に尊ばれるなどと云ふことは有りませんだつた．
	人	216	09	云ふに「それは大かた出てあるくときに	人	に射殺されてカラダに塩をふりかけられる前表で
	人	236	10	れたので医者などが西洋医者になつても	人	に信ぜられぬのみならず始終，人に悪まれて少し
	人	236	11	つても人に信ぜられぬのみならず始終，	人	に悪まれて少しも自分の利益になることは無かつ
	人	236	12	つた．豪傑の士が自分の志を堅く立てて	人	に嫌はれても忌まれても，やり遂げやうと云ふの

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ひと）	人	246	03	た．然れども孔夫子の言はれたる如く，	人 には多く過ちの有るものであるから悪い事をした
	人	141	03	の草子の清少納言などは固より雲の上の	人 にて別なことなれども其の他の小説家は概して卑
	人	002	10	構はない．ナゼそんなら仮名の組の中で	人 の多い所へはいつたかといふに何でもよい片仮名
	人	005	15	も替らなければならない．併し，そこに	人 の気は付かない．具足を着たり甲を冠つたりして
	人	006	07	講釈に止るのが有る．諸県へお役で出た	人 の話にも偏がドウだとか傍がドウだとか言つて虫
	人	014	06	有ると云ふことは知れて居ましたが昔の	人 の知つて居つたのは先づ其の位なものです．其れ
	人	025	11	をあるく人を見れば小さい，山の上から	人 のあるくのを見れば，まるで蟻のはふ様に見える
	人	042	08	で分れたのぢゃ．道と云ふものは何でも	人 の為めにしなくてはならぬと云ふことが本趣意で
	人	042	17	を謀ることは固より許すが其れが為めに	人 の害をしてはならぬと云ふばかりぢゃ．然るに支
	人	045	17	に処するとかするが其れは悪い事をした	人 の為めには実に迷惑の訳ぢゃ．悪い事をしたから
	人	054	07	ます．先づ小学校の本，また学問のある	人 の研究の為めの本，それから第三種は慰みの為め
	人	059	16	物の輸入するけれども其の中で最も多く	人 の好くものは何かと云ふに先づ奇麗なものや便利
	人	061	14	する人にして日々幾分かの運動を要する	人 の散歩するに方つて尚ほ人力車を用るあり，或は
	人	064	16	ことも出来ませう．又従つて二十余万の	人 の健康を害することも大いに減じませう．されば
	人	074	16	給してくれる人は其れを供給してもらふ	人 の為めには価値を有するので其の価値はＮｅｇａ
	人	080	12	つの手続きが御坐ります．一つの仕方は	人 の総ての悪き所，人の害になる所，人の位を下げ
	人	080	12	ます．一つの仕方は人の総ての悪き所，	人 の害になる所，人の位を下げる所のものを減じ或
	人	080	12	は人の総ての悪き所，人の害になる所，	人 の位を下げる所のものを減じ或は除くことで御坐
	人	080	13	ます．また一つには現に成り立つて居る	人 の善き所，人の益になる所人の品位を上げる所の
	人	080	13	つには現に成り立つて居る人の善き所，	人 の益になる所人の品位を上げる所のものを能く養
	人	080	14	立つて居る人の善き所，人の益になる所	人 の品位を上げる所のものを能く養ふて盛んにする
	人	080	15	仕方．また一つには現に成り立つて居る	人 の種々の善き所に加へて人を貴くし，また人を活
	人	080	17	も適用すべきもので御坐ります．畢竟，	人 の総ての進歩，総ての改正改革を遂げる為めに用
	人	081	08	機械の盛大なこと新発明の賑かなること	人 の快楽を助けるものの能く完全したこと商法と製
	人	081	10	ものは進歩と云ふもので御坐りませぬ．	人 の内部の進歩に由つて自然に生ずる所の外部の結
	人	081	10	る所の外部の結果で御坐ります．インエ	人 の進歩と云ふものは必ず人みづからの進歩で無け
	人	081	12	屋また器械等のものでは御坐りませぬ．	人 の内部から起らずしてたゞ目に見える様な外部の
	人	081	15	其の常に為す所また勉める所種々なれば	人 の進歩も亦たゞ一と筋のもので無く其の種類多く
	人	082	01	進歩と云ふものは実に商法の進歩に付て	人 の進歩で御坐ります．学術の進歩も亦斯の如し学
	人	082	07	進歩と云ふものは即ち貴い道徳的に付て	人 の進歩で御坐ります．たとひ，人が種々の進歩い
	人	085	12	或は三つの仕方が御坐ります．其の一は	人 の悪しき性質，人の損害になる原素，また人の位
	人	085	12	御坐ります．其の一は人の悪しき性質，	人 の損害になる原素，また人の位を下げる所のもの
	人	085	12	悪しき性質，人の損害になる原素，また	人 の位を下げる所のものを除き去りまた減ずること
	人	085	14	も現に成り立つて居る所の善き性質また	人 の得益になる原素，人を貴くするものを能く養ひ
	人	086	02	も有らうと存じます．なぜと云ふならば	人 の悪しき性質，人の損害になる原素また人の位を
	人	086	02	す．なぜと云ふならば人の悪しき性質，	人 の損害になる原素また人の位を下げる所のものは
	人	086	03	の悪しき性質，人の損害になる原素また	人 の位を下げる所のものは何で御坐りませうか，ま
	人	086	03	りませうか，また，これ等の善き性質，	人 の益になる原素，人を貴くする所のものは如何な
	人	086	06	徳の法と其の基本は何で御坐りますか，	人 の心を深く動かして人間社会を改める所の盛んな
	人	086	10	の大切なものは此の世の権威と勢力また	人 の立てた所の法則また此の世の富などに係はらぬ
	人	087	01	．基督教は丁度これ等の貴きものに付て	人 の心を照す為めに万民の中に設けられたもので御
	人	087	06	の委しい所を申しませう．たとへば彼の	人 の悪しき性質，人の害になる原素，人の位を下げ
	人	087	06	ませう．たとへば彼の人の悪しき性質，	人 の害になる原素，人の位を下げる所のモノゴトま
	人	087	06	の人の悪しき性質，人の害になる原素，	人 の位を下げる所のモノゴトまた其の外社会の進歩
	人	087	09	ものなりと云ふ返答が出来まする．また	人 の善き性質，人の益になる原素，人を貴くするモ
	人	087	09	返答が出来まする．また人の善き性質，	人 の益になる原素，人を貴くするモノゴトは如何な
	人	089	01	承知しなければなりませぬ．併しながら	人 の本当の有様，人々の不完全なることを教ゆるに
	人	089	03	に諂ふことも無く恐るゝことも無くして	人 の真の有様を示しまた人の種々の不足不完全を明
	人	089	03	ことも無くして人の真の有様を示しまた	人 の種々の不足不完全を明らかに教ゆる宗教で御坐
	人	089	09	進歩することは出来ませぬ．併しながら	人 の心の中に厚き志を引き起さするには基督教が極
	人	089	12	ことが決して御坐りませぬ．第三．また	人 の種々の進歩を励ます為めには人の目の前にある
	人	089	13	．また人の種々の進歩を励ます為めには	人 の目の前にある貴い目的，高尚なるゆくアテのあ
	人	090	04	と云ふことが御坐りませぬ．第四．また	人 の進歩を助くるには人の導きになる教，色々の教
	人	090	04	せぬ．第四．また人の進歩を助くるには	人 の導きになる教，色々の教訓が余程大事なもので
	人	091	04	委しく書いてある所の彼のパウロと云ふ	人 の勇気を御覧なされ，この人は怠ることも無く臆
	人	091	07	の進歩は一個人と社会とを論ぜず一体，	人 の進歩を妨げて最も大いなる邪魔を為すものは何
	人	097	04	付て疑つて居つたが此の頃或る新聞社の	人 の発起で漸く水潜り器械で探すことになつたとい
	人	098	09	うと考へまする．苟くも人情あるものは	人 の死を聞いて悲しまぬものはなく殊に其の非命の
	人	099	01	のことに付て我々が共同して二十五名の	人 の不幸を悲しみ又外国人の不道徳なるを怒つて其
	人	102	10	るものは尠くない．然るに外国に遊んだ	人 の話しを聞くに西洋で日本の実際の有様を知つて
	人	108	16	ラに避けやうといふときには，おもなる	人 の避け方に気を付けて必ず其の人の避ける方向に
	人	108	17	もなる人の避け方に気を付けて必ず其の	人 の避ける方向に向つて避けるに違ひ無い．また船
	人	113	11	りませう．併しながら飲食といふものは	人 の大慾であるから之を節するといふことは至つて

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（ひと）	人	118	03	の節酒会にても成るたけ堅く約束を守る	人	の多く有るやうに致したいと思ひます．私が今日
	人	121	16	めに賊を働いたのだこれは貧乏の為めに	人	の物を盗んだのだと云ふことを調べて居ります．
	人	123	04	ろに教員をして居る人でありますが其の	人	の話しに其処では男の子でも女の子でも生れると
	人	127	07	の間の道理を広く論ずる間には，なみの	人	の如くに色々の間違ひに陥り易いもので御坐りま
	人	129	07	大敵とするもので御坐ります．これ等の	人	の思ふには近来盛んに開けた所の学術の為めには
	人	129	14	では有るまいか」と云ふ．箇様な臆病な	人	の思ふには学術はけしからぬものにして人の額に
	人	129	15	の思ふには学術はけしからぬものにして	人	の額に鬼の角を生えさせるもので御坐ります．実
	人	129	17	の効力が御坐りませぬけれども鬼の角を	人	の額に生えさせるものでも決して御坐りませぬ．
	人	129	17	せるものでも決して御坐りませぬ．世の	人	の中に基督教の結局の勝敗に就て色々の疑ひを起
	人	130	15	遙か上に立派な天体を具へて居る大空と	人	の霊魂の中に住む所の道徳法で御坐ります」と．
	人	130	17	．数へも出来ぬ日月星を含む所の大空が	人	の色々の新論，新説，新発明によつて容易に変る
	人	131	01	人間の心に植えられたる所の道徳の法も	人	の色々の浅ましい論によつて容易に変るものでは
	人	132	10	結構な仕方で有ります．ナゼといふのに	人	の色々の間違ひを駁つよりも真の道理を設ける方
	人	134	06	明かに申されましたことが御坐ります「	人	の善悪は其の実によつて之を知るべし」と仰せら
	人	135	10	ます．また若し人間の色々の楽みと哀み	人	の色々の願ひと望み，人の限り無き苦楽，人の命
	人	135	10	々の楽みと哀み人の色々の願ひと望み，	人	の限り無き苦楽，人の命と死などのものが狭いも
	人	135	10	色々の願ひと望み，人の限り無き苦楽，	人	の命と死などのものが狭いものならば基督教の趣
	人	143	04	派も有れど，これは皆な有形上のことで	人	の思想即ち無形の人情を写すは筆より外は無い．
	人	143	16	未だ甚だしき猥褻でもありませんが随分	人	の前で読むことの出来ぬ奴があります．併しこれ
	人	145	13	今の所ではこればかり．其れでも貴顕の	人	のお言葉がかゝつたとか何とか云ふので思ひの外
	人	159	09	天上，天国，天界，大地，草木，鳥獣，	人	のカラダ，タマシヒまでを製造するが西洋の教へ
	人	164	08	に至らしめ碧林の小島彼時不毛の地たり	人	の之を主どるなしを経略せんと欲す．一日行て亜
	人	169	01	かり向ひて東の方には向はない．これは	人	の自由心と物理と関係の無い証拠で東漸とは形ち
	人	171	11	衆国では蒸気車などは書生には当り前の	人	の半価で乗せるといふことに，なつたといひます
	人	173	14	ながら我が国人は，世界の道理に従ふと	人	の移住の権利といふものがあるとによつて其れな
	人	175	09	つてしまふと同じ道理であります．併し	人	の増すのは当り前ではあるが増すばかりが国家の
	人	183	03	妾を蓄ることを何とも思はず婦人もまた	人	の妾となることを何とも思はず甚しきは妾を置き
	人	213	11	のと云ふ差別が有りますがドチラが多く	人	の心を慰め面白がらせ楽しませるかと申すに小説
	人	213	16	ます．維新の初めには小説と云ふものは	人	の心を乱り風俗を害するなどと云ふ説も有りまし
	人	224	07	だの強盗だののことを仕組み根が下等の	人	の見るもので有るから猥雑なことで無ければ面白
	人	224	17	，小説の方は，これまでと違つて立派な	人	の仕事となりまして看る人の意も，これまでとは
	人	224	17	違つて立派な人の仕事となりまして看る	人	の意も，これまでとは格別で有りますから数年な
	人	235	11	，多いに就ては今の学問をする人は昔の	人	の難儀をしたことを十分に考へるやうにしたいと
	人	235	15	物を読んで，さうして医者になると云ふ	人	の辛苦したことと云ふものは一と通りでは無い．
	人	237	14	日の学生が骨を折つて勉強されても昔の	人	のと比べて見れば何でも無いことで骨の折りよい
	人	237	16	厄を身に引き請けながら学問を勉強した	人	のことを考へて其の心持になつて，やつたら大変
	人	238	03	ならうと思はれます．諸君は何卒，昔の	人	の二大難事に耐へて其の時分の学者と云はれるも
	人	240	02	官又は他人の命，又は依頼を受けて其の	人	の為めに見たことは其の注文者の所有物で有りま
	人	240	15	合は無いと云ふことも有ります．例へば	人	のことを褒めると云ふことならばイクラ褒めても
	人	241	03	巡閲したることは善悪利害を問はず其の	人	の許可を得て言ふことと致さなければなりませぬ
	人	241	16	ても何も役に立ちますまい．例へば或る	人	の邸を見に行つて其の邸の全体を見ずに，ただ溝
	人	246	08	は所行を罰すると云ふことで，即ち其の	人	の心を矯め直すと云ふ趣意で，即ち人心の改良を
	人	255	03	ふる者もあるさうですが，これ等は昔の	人	の為めに我々の受ける迷惑で有らうと考へます．
	人	255	05	はオカッピキと申す者が有つてムヤミに	人	の道徳内の悪事までも探索して之を持ち出しまし
	人	269	16	来やすい時で有るものと見えます，故に	人	の父母たる者は専ら十二歳より十八歳位までを非
	人	005	17	が出来ないといふことは知らない．兎角	人	は一方のことより外は分らぬもので政治家は政治
	人	006	02	のことを言つても取り合はない．兎角，	人	は一方より外には見ることを知らぬもの．併し考
	人	008	05	業式は一日ならず二日も三日も大騒ぎ，	人	は黒山の如く提燈は星の如く褒美は五六百円のも
	人	011	16	ンナものと言ふことは本当に知つて居る	人	は恐らく有りますまい．実に其れまでも知りたい
	人	013	04	を知つて居りますと幾何学を少しやつた	人	は直に周囲を知ることが出来ませう．地球の周囲
	人	025	11	まるで蟻のはふ様に見える，其れだから	人	は小さいと言つたらドウでせう．遠い所に居るの
	人	034	11	ら私共も説を立てて見て世間で酒を飲む	人	はどんな人が多いかと歴史などから考へて見ます
	人	034	12	と歴史などから考へて見ますと酒を飲む	人	は無欲の人であつて多慾の人は酒を飲まぬものだ
	人	034	12	と酒を飲む人は無欲の人であつて多慾の	人	は酒を飲まぬものだらうと思ひます．諸君はドウ
	人	034	15	して参りませうと思ひます．併し大慾の	人	はさうで無い，大慾の人は余り酒を用ひませぬ．
	人	034	15	す．併し大慾の人はさうで無い，大慾の	人	は余り酒を用ひませぬ．歴史などを見ましても酒
	人	034	16	ぬ．歴史などを見ましても酒を飲まない	人	は古へより功を成し国家の為めになつた人が有り
	人	034	17	すが酒を飲んで大事業を仕遂げたといふ	人	は無い．大事業を仕遂げた人は何れも酒を慎んで
	人	034	17	げたといふ人は無い．大事業を仕遂げた	人	は何れも酒を慎んで欲の深い人で今日の行ひをよ
	人	035	02	惜む欲の深い人だと思はれます．小欲の	人	は酒を飲むことを好んで前に述べた様なことは致
	人	041	03	天然に定まりた道徳と云ふものを野蛮の	人	は知らぬが開けて来ると漸々に其れを知る様にな
	人	041	17	上の者は下の者を圧制するがよい，下の	人	は上の人に只管従順にせねばならぬと云ふことに
	人	046	08	が有る訳で刑罰の有る上は悪い事をした	人	は到底害を受けるのぢゃ．其れぢゃから法律と道

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ひと）	人	052	08	物より外は無いから英書か仏書の読める	人	は宜う御坐いませうが今まで翻訳書をあてにした
	人	052	09	坐いませうが今まで翻訳書をあてにした	人	はこの時に差しつかへてしまふ．其の外秦の始皇
	人	062	05	評するもの往々あります．故にこれ等の	人	はイヤでもオーでも門外に出るには必ず車に乗る
	人	064	15	なされ人力車を業として居る二十余万の	人	は犬馬の如き業を廃し国益となるべき立派な他の
	人	074	16	酬の金を払ふ其の労力を供給してくれる	人	は其れを供給してもらふ人の為めには価値を有す
	人	087	15	を専らに己の信仰と品行とのノリとする	人	はこれ等の大切なるものに付て或は間違ふこと或
	人	088	06	一．先づ種々の進歩を致さうと思ひます	人	は己れの不充分なること不完全なること劣つたる
	人	088	17	ひ鹿や猪の様なもので御坐ります．故に	人	は進歩しやうとするならば己れの不足な所を能く
	人	089	14	ゆくアテのあるのは大切で御坐ります．	人	はメアテとする所ないならば進歩を成就すること
	人	091	04	ウロと云ふ人の勇気を御覧なされ，この	人	は怠ることも無く臆することも無く命にかけて天
	人	092	04	ゃつて置いて完全なる進歩を成就したる	人	はドコにも無いと思はれます．あまり御話しが長
	人	098	10	すまい．然るに今や我々同胞二十五名の	人	はウタカタの泡と消え海底の藻屑と化し而して其
	人	099	04	く乗客につらきことをしたか二十五名の	人	は何故斯くの如く不幸な目に逢ふたかといふこと
	人	102	11	くに西洋で日本の実際の有様を知つてる	人	は万人に一人も無いは勿論，日本はドウいふ国や
	人	103	14	とが明瞭であります．斯くの如く昔時の	人	は宗教を信ずるが故に気力あり今時の人は之を信
	人	103	14	人は宗教を信ずるが故に気力あり今時の	人	は之を信ぜざるが故に気力なし．さすれば日本人
	人	117	09	ることぢゃ．其れが守れぬといふやうな	人	は仕方が無いが成るたけ守らうといふやうに致し
	人	117	17	ふやうな人が有ることぢゃから此の類の	人	は禁酒会を設くるも宜しからう．其れは決して悪
	人	119	15	すが其の中にもＺｓｃｈｏｋｋｅと云ふ	人	は酒の害の及ぶ所を簡短なる言葉にて「酒を好む
	人	120	04	に名高い経済学者Ｒｏｓｃｈｅｒと云ふ	人	は「酒を飲むことが世界に流行する所を見れば各
	人	120	06	ました．またＯｅｔｔｉｎｇｅｎと云ふ	人	は酒と麦酒とは世界に移住して貴き人間を腐敗さ
	人	121	11	致したい．箇条と云ふのは酒を多く飲む	人	は「寿命が短くなる」「病死することが増す」「
	人	123	01	有るかと云ふことを聞くとか田舎に居る	人	は濁酒を多く飲む者はドウいふ結果を得るかと云
	人	123	03	い．先刻も人が参つて話しましたが其の	人	は木曽の三尾と云ふところに教員をして居る人で
	人	125	15	教は決して相符合するに非ず．また或る	人	はＨｕｘｌｅｙ氏が何々と申されました故に基督
	人	126	04	坐ります．例へて申しますならば箇様な	人	は未だイロハを知らざる中に，かの貴い古事記，
	人	127	04	滅多に御坐りませぬ．一般にはこれ等の	人	は随分タシカな人で有ります．また其の論はかた
	人	129	06	の学術を大いに恐れて居ります．箇様な	人	は世俗の学問を皆な基督教の大敵とするもので御
	人	156	14	コペルニカスといふ人が考へたので其の	人	は天文を骨を折つて見たが日蝕や月蝕が算盤に合
	人	158	08	．モウ一つ話しませうが其れは雷であの	人	は．あの人はと言ふと，をかしいが，あの雷のこ
	人	158	08	話しませうが其れは雷であの人は．あの	人	はと言ふと，をかしいが，あの雷のことに付ては
	人	161	06	林を造つたといふが，一体，紂王といふ	人	はムヤミなことをする人で孕み女の腹を剖いて胎
	人	163	17	其の国を亡ぼした．福島正則などといふ	人	は勇気はすさまじいものだが酒を嗜んで昼夜酣飲
	人	173	01	母の恩，また長老朋友などに対してあの	人	は恩人だと言ふやうになり法律には無いが田舎の
	人	173	04	のが今日民間の常であります．我が国の	人	はこの恩といふ教に養はれ不潔を嫌ひ潔白を好み
	人	175	01	ではありませぬ．かねて申します通り「	人	は義務の体」と言ひますから義務が何も彼も我が
	人	175	03	なりはしませぬか．さうして見ると今の	人	は後の世の人に義務が無ければなりませぬ．今の
	人	175	03	の人に義務が無ければなりませぬ．今の	人	は確かに後の人に義務を負つて居ります．非であ
	人	175	16	述べましたまでのこと．また英国人は「	人	は地球の寄生物」といふ人間の道理に随つてドコ
	人	178	01	市中をハダカにて，かけまはりしも見る	人	はをかしかりけん．コロンボスがアトランチック
	人	178	02	コワレをさがせしも木ひろひなりと見る	人	は通り過ぎしならん．ネウトンのつむりに林檎の
	人	184	15	ん．曾て或る人がキリストの許へ来て「	人	は何の故に係らず妻を出しても支障御坐りません
	人	196	14	て饑饉でも有りはしないか」などと思ふ	人	は一人も無く，太陽は朝出て毎夕ひつこむのが当
	人	200	01	で勘定をしました．其の時に観測をした	人	はフランスではＰｉｃａｒｄイギリスではＦｌａ
	人	201	10	してお辞儀を致します．すると極丁寧な	人	はコッチへ向いて答礼をしてくれますし，其れよ
	人	201	11	てくれますし，其れより少しドウかした	人	はたゞチョット見てくれます位で，威張つた人に
	人	207	05	した．私は日本で此の流星を見たと云ふ	人	は知りませず，私は其の頃はまだ気をとめません
	人	207	12	ひどいことであらうと云つて註を入れた	人	は「如」と云ふ字は「而」と云ふ字と同じことで
	人	210	11	でエウロッパの通俗天文のことを調べる	人	はショッチュウ其れ等の迷ひを解くことを書いて
	人	235	11	思ひの外，多いに就ては今の学問をする	人	は昔の人の難儀をしたことを十分に考へるやうに
	人	237	10	して御一新後，今日になつて学問をする	人	は右二つの大難事が全く消滅しました．先生もあ
	人	237	12	り前のやうになつて西洋のことを学ばぬ	人	は世に歯せられぬと云ふ有様になつて来ました．
	人	240	08	友人に○○と云ふ人が有りまして，此の	人	は未だ配偶者が無い．ところで私に頼んで「何某
	人	172	14	なことと思へば，あながち北亜米利加の	人	ばかり咎めることは出来ますまい．コッチに，そ
	人	196	01	ろ「戦争や何かには関係の無い」と云ふ	人	ばかりでは無く，中には「凄い」とか「気味が悪
	人	081	11	ます．イヽエ人の進歩と云ふものは必ず	人	みづからの進歩で無ければなりませぬ．人が勝手
	人	063	10	ションに於ても五分も待つて居るときは	人	皆な之を笑ふ位の忙しき所にて日本にては五分は
	人	009	02	には誰も漢字廃すべからずの論を唱へる	人	も無からう．この子供等がオトナになつて千年の
	人	034	01	人間の食物の様になつて居るのは西洋の	人	も歎息して居ることで有ります．一体御承知の通
	人	047	05	其れは黄金世界にならぬ故ぢゃとて歎く	人	も有るが成るほど一応は尤もで，さうなりたいこ
	人	094	15	坐りませう．啻に諸君のみならず全国の	人	も同感で御坐りませう．実に同感ならざるを得ぬ
	人	103	05	は非常の豪傑があつて武蔵坊弁慶の如き	人	もあれば加藤清正の如き人もある．なるほど弁慶
	人	103	05	坊弁慶の如き人もあれば加藤清正の如き	人	もある．なるほど弁慶は腕力があつたかも知れな

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（ひと）	人	109	13	知つて居つたに違ひ無い．然るに三人の	人	も助かつて居らない．三人の人が端艇の効用を知
	人	110	09	たといふからには現に大金を持つて居る	人	もあるに違ひ無い．これ等のことに付て考へて見
	人	121	04	有ると云ふことが分れば自然と節酒する	人	も殖えませうし随つて西洋人の言ふ人間の品位と
	人	139	12	まれて居ますが西洋では其の名を知らぬ	人	も有るとか申します．素より大家のことなれば高
	人	145	03	．先づ現今の小説に志す人々は日本流の	人	も西洋流の人も敢て論ぜず多く集めて一つの小説
	人	145	03	小説に志す人々は日本流の人も西洋流の	人	も敢て論ぜず多く集めて一つの小説改良会を組み
	人	165	17	説く学派もあり，神は造物内にもあれば	人	も神の一だといふ学派もあり，考へがあるから物
	人	172	13	は子供を，すかしたやうな所為だと譏る	人	もありますが，この類のことは我が国人同士でも
	人	177	15	なることを言ふ愚かなることなりと笑ふ	人	もあらん．若し是れ等の人ありとせば，よき例あ
	人	210	16	寒い所に持つて行かれて寒える」と言ふ	人	も有りました．ゆでられるのも寒えさせられるの
	人	211	01	星に突き当るとコナ微塵になる」と言ふ	人	も有れば「ズツト膨脹して大きくなつて自分が彗
	人	217	04	々と美人の聞えが高くなつて言ひ寄つた	人	も多かつたけれど，なびかず．しまひには帝王が
	人	089	04	全を明らかに教ゆる宗教で御坐ります．	人	若し己れの真の有様を知りたいならば先づ新約書
	人	079	11	たゞ一個人にも御坐りまするし又多くの	人	より成り立つ社会の中にも御坐ります．又世界中
	人	109	14	知つて居つたら他の二十二名は必ず其の	人	より伝聞して其の効用を知るであらう．これ等の
	人	109	12	ふことで御坐ります．して見れば，この	人	等は端艇の効用を知つて居つたに違ひ無い．然る
	人	025	10	ウか分らない．家根の上から下をあるく	人	を見れば小さい，山の上から人のあるくのを見れ
	人	039	16	ち徳義と云ふことでありて行ひの正しい	人	を徳義の有る人と云ふ訳では無く強い人を徳義の
	人	039	17	人を徳義の有る人と云ふ訳では無く強い	人	を徳義の有る人と云ふのぢゃから何でも強くなく
	人	044	07	然るに法は大いにヒカヘメなるもので唯	人	を害しさへせねば其れで許すのぢゃ．且法は政府
	人	045	12	する法が立ちて有るのぢゃ．則ち一方の	人	を利して一方の人に不利なる法律が立ちて居るの
	人	045	16	権をもちて居ることぢゃ．悪い事をした	人	を害するに首を斬るとか又は懲役に処するとか禁
	人	069	17	取つては容易に立派なる裁判官其の他の	人	を得ることが出来ませう．実に邦国の幸ひで御坐
	人	074	15	れを務めて除かむことを欲しまするには	人	を雇はんければならぬ．而じて其の労力に向つて
	人	080	15	り立つて居る人の種々の善き所に加へて	人	を貴くし，また人を活発にする新しい原素をつく
	人	080	15	種々の善き所に加へて人を貴くし，また	人	を活発にする新しい原素をつくる仕方で御坐りま
	人	085	14	所の善き性質また人の得益になる原素，	人	を貴くするものを能く養ひて盛んにすること．ま
	人	086	04	これ等の善き性質，人の益になる原素，	人	を貴くする所のものは如何なるもので有りますか
	人	087	09	また人の善き性質，人の益になる原素，	人	を貴くするモノゴトは如何なるものかと基督教に
	人	090	14	を直接に誹る者が滅多に御坐りませぬ．	人	を完全なる所へ進ませる模範は耶蘇基督より外に
	人	091	14	ぬ．なぜなれば耶蘇基督は罪悪よりして	人	を救ひ出す為めに此の世に生れ多くの艱難に遭ひ
	人	092	02	ります．基督教は即ち進歩の宗教で常に	人	を善の方へ進ませて貴い方へ上げる宗教で御坐り
	人	096	06	務を怠りたること及び其の怠務に因りて	人	を殺したることは之を証せねばなりませぬ．其の
	人	097	07	ぬか．この証拠蒐集のことは迚も二三の	人	を以て為し得べきことで無いから私が諸君に願ふ
	人	107	12	，これは訳して言ふと正当殺即ち正当に	人	を殺すこと或ひは上官の命令に依つて人を殺すこ
	人	107	13	人を殺すこと或ひは上官の命令に依つて	人	を殺すことなどであります．第二種をエキゼキュ
	人	107	14	ないもので例へば幼年の者が弁別なしに	人	を殺すなどの類であります．第三種はメンスロー
	人	108	03	すれば其の範囲が広く例へば予め謀つて	人	を殺す場合のみでなくて悪事を為すの結果，人を
	人	108	03	す場合のみでなくて悪事を為すの結果，	人	を殺すに至つたものも亦マーダーと為す如きもの
	人	134	04	爾等を誹りて悪を行ふものと言へる世の	人	をして爾等の善き行ひを見て神を崇めしめむ為め
	人	143	08	説は出来ぬものでドウ言ふ塩梅にしたら	人	を感動せしめるぞと云ふところに気を付けねばな
	人	161	14	りだ．元亀天正などの頃には酒の上から	人	を斬つたことが有つた．其の後，旗下ぐらゐでも
	人	171	04	ひだらうと思ひます．迚も何十万といふ	人	を欧羅巴に移住して仕事を取り金を取るといふこ
	人	182	12	れに違ひありませんが今若し日本国中の	人	を上中下の三等に区別して其の中執れに妾を蓄る
	人	184	16	時にキリストは之に答へて「元始に神は	人	を男女に御造りなされた故に人が夫婦になれば最
	人	190	11	分でする裁判といふものがある．例へば	人	を死刑に処するといふときには必ず勅裁を経ると
	人	246	06	が悪いので有るから其の罪を悪んで其の	人	を悪まずと云ふことを言はれました．是れ実に万
	人	251	04	してさういふ訳では有りませぬ．昔では	人	を殺したとか云ふやうな者は直ちに首を斬つてし
	人	251	04	ちに首を斬つてしまひましたが今日では	人	を殺した者でもナカナカ容易に死刑に処するやう
ひどい	ひ	207	11	たが星の隕るのが雨の如くではアンマリ	ひどい	ことであらうと云つて註を入れた人は「如」
	ひ	133	03	の間は基督教信徒が苦しめられて色々の	ひどい	目にあはされたことは実に甚しう御坐りまし
	ひ	133	04	りました．けれども其の時に基督信徒を	ひどい	目にあはせた所の残酷な者さへも信者の愛信
ひどかっ	ひ	207	10	い．雨と云つても今日の雨などはヨホド	ひどかつ	たあんなでは実に大変で有りますが，現に
ひどく	ひ	018	17	は非常に早く動く星です．支那人は之を	ひどく	恐れまして螢※惑がどこそこに来ると，どこ
	ひ	102	07	ます．私は固より日本人であるから斯く	ひどく	攻撃する様なもののこれは即ち日本人を警戒
ひとくち	一	190	03	執行を為すので，行政府と政府の区別を	一と口	に云ふと政府は憲法の範囲内で仕事をするも
ひとこと	一	105	14	刑事裁判の如く誤認せる論者に対しては	一言	其の妄を弁ぜねばなりませぬ．若し該言渡にし
	一	238	09	致したいと思ひまして祝辞を述る序でに	一言	其れだけのことを御忠告いたします．監獄論明
	一	091	10	言葉が種々御坐りませうけれども，たゞ	一言	で申すならば即ち罪で御坐ります．所謂罪悪で
	一	160	06	るものかといふのが教法の極点でござす．	一言	につめると学問教法ともタマシヒの真実を得る
	一	009	06	は随分ムダのことも有る故ムダのことを	一言	演るまでで有りまする．地球の位置明治十八年
	一	188	06	政法の釈義並に行政法と憲法との関係を	一言	申し上げておきました．就ては今日よりは全国
	一	150	01	政法はドウいふものであるといふことを	一言	申し上げるやうにしませう．凡そ法律は公法と

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ひとこと）	一	092	05	先づこゝに擱きませうけれども，終りに	一言　を申したう存じます．この演説の初めに社会総
	一	093	13	たものを見ませぬ．故に已むを得ず私が	一言　，諸君に陳べむと欲することになりました．今
ひとすじ	一	081	16	た勉める所種々なれば人の進歩も亦たゞ	一と筋　のもので無く其の種類多く御坐ります．たと
ひとたび	一	093	07	付て簡短に意見を述べやうと思ひます．	一たび　英船ノルマントン号が紀州沖に於て沈没し我
	一	170	11	分りませうと思はれます．さて日本人が	一たび　海外に移住の運動を始めるやうになつたらド
	一	167	05	骨も大層に折れるやうになります．併し	一たび　事実と道理とハタと符号するやうになれば其
ひとつ	一	076	02	無いといふもので御坐んす．尤もこれに	一つ　お断りをして置かなければならぬといふのはこ
	一	028	13	が地球を回る様に見えます．して見ると	一つ　が親分で，あとが子で有りませう．併し太陽系
	一	142	15	春水の梅暦が先づお手本でドレを見ても	一つ　こと．初めに情夫が有つて其れに女がほれる遂
	一	024	12	沢山ありませうが天王星に四つ海王星に	一つ　しか見えませぬ．太陽は親父で惑星は子，衛星
	一	142	10	かなければなりません．これに付て，モ	一つ　小説の改良を計らねばなりませんが源氏物語や
	一	057	16	べやうと思ひますが其の演説の前にモウ	一つ　諸君に向つてお断り申すことがあります．其れ
	一	115	09	つたのは身体に付て言つたことだがモウ	一つ　人類に必要のことが有る．其れは外でも無い，
	一	210	03	ぬ一つの理由で有ります．其れからモウ	一つ　世間にやかましい問題が有ります．其れは彗星
	一	174	11	○，○○○」の数字なるシャレ骨にたゞ	一つ　銭といふ皮肉を附けて見て篤と考へたらば活き
	一	198	16	二つの線の中でなければならない．モウ	一つ　双曲線と云ふものが有りますが其のことは長く
	一	032	03	中」「アマノガハは数多ある星雲の中の	一つ　だ」と言へます．併し此の説は全く確な説では
	一	165	17	もあり，神は造物内にもあれば人も神の	一　だといふ学派もあり，考へがあるから物もある，
	一	040	03	が徳義で有りたと見える．そこで事柄が	一つ　ぢゃから随ふて字が一つぢゃと云ふことが分る
	一	040	03	．そこで事柄が一つぢゃから随ふて字が	一つ　ぢゃと云ふことが分るであらう．又大古は夫婦
	一	150	10	で刑法，治罪法を除けば憲法といふのが	一つ　であります．憲法は其の国と人民との成り立ち
	一	150	11	は行政法であります．行政法は内公法の	一つ　で政治学の一部分に属するものであります．さ
	一	206	15	さうなものだと待つて居りますと今度は	一つ　で子はつれて居りません，よくよく見るとヤハ
	一	227	17	轄権を有つて居つたのでも無い．諸侯の	一つ　で丁度，列国の一国主が其の列国の世話をして
	一	259	02	斯くの如く貧民の救助は慈恵と云ふのが	一つ　で，また慈恵と犯罪予防と云ふのが一つで，救
	一	259	02	一つで，また慈恵と犯罪予防と云ふのが	一つ　で，救助を施しますには或ひは公けの救助を以
	一	275	16	改良は維新前の監獄と異なる点はタッタ	一つ　でありまする．此の一つを取り違へまするると，
	一	028	14	併し太陽系では明りを持つたものは太陽	一つ　でしたが其の世界では確に明りを持つたものが
	一	275	17	あとは皆な狂つて参りまする．さて此の	一つ　と云ふのは何であるかと申せば維新前は罪人は
	一	008	14	う．其の用意には今から子供に教ふるに	一つ　には字もむづかしいのは成るたけ教へず，また
	一	008	15	もむづかしいのは成るたけ教へず，また	一つ　には仮名か羅馬字で綴つた文章を読ませるがよ
	一	047	08	歎くのは順序を失して居る．其れよりは	一つ　に寄りて大きな社会を拵へる様にしたいものぢ
	一	080	13	を減じ或は除くことで御坐ります．また	一つ　には現に成り立つて居る人の善き所，人の益に
	一	080	14	のを能く養ふて盛んにするの仕方．また	一つ　には現に成り立つて居る人の種々の善き所に加
	一	201	04	ませんだつたのは，これも諸君の疑団の	一つ　になつて「其の様に分ることなら何月何日と云
	一	028	11	つかたまつて居る星は肉眼で見ますと唯	一つ　の星の様に見えますが望遠鏡で見ますと二つに
	一	037	05	から講釈をしませう．社会と云ふことは	一つ　のきまりたる解は至りてむづかしい．世界の全
	一	037	06	解は至りてむづかしい．世界の全人類は	一つ　の社会であると云ふ説も有るがこゝに云ふのは
	一	037	07	こゝに云ふのは若干の人民が共に合して	一つ　の統御の権を受けて居るものを云ふので他の言
	一	038	03	ぢゃ．そこで日本国民は日本国民と云ふ	一つ　の有機物，英国国民は英国国民と云ふ一つの有
	一	038	03	つの有機物，英国国民は英国国民と云ふ	一つ　の有機物で有ることぢゃ．次に「社会外に道徳
	一	041	11	のが当然ぢゃが進化せぬうちには，たゞ	一つ　の風習と云ふもので有りたに違ひ無い．英国の
	一	046	14	て来て居ることぢゃ．其れ故ドウしても	一つ　の社会を為さぬ者同士の間に道徳の行はれると
	一	047	06	いなれど其れよりは各国が今日まで未だ	一つ　の社会にならぬのが歎はしいと言ふ方がよい．
	一	047	07	ぬのが歎はしいと言ふ方がよい．各国が	一つ　の社会になりても道徳が行はれねば其の時こそ
	一	048	08	すれば国と国とが段々と相結合して先づ	一　の社会様のものを為すことになり一つの法律を用
	一	048	08	先づ一の社会様のものを為すことになり	一つ　の法律を用ふる様になるであらう．尤もどれほ
	一	048	12	一個の有機物になる．其の時に至りたら	一つ　の国は有機物の一部分ぢゃから無理なことをし
	一	062	16	，殊に甚だしき濫用と申すは例へば茲に	一　の閑人あり今日の午后六時に番町より神田に行く
	一	063	05	して見ると人民百八十五人に付き人力車	一つ　の割合にして一千人に付き五個四の比例です．
	一	073	10	たが私もその法律と経済との関係に付て	一つ　のお話しを致したい．さて法律の学科と経済の
	一	080	12	付ても此の三つの手続きが御坐ります．	一つ　の仕方は人の総ての悪き所，人の害になる所，
	一	082	05	ども進歩の様々の種類の中で未だ申さぬ	一つ　の大切な種類が御坐ります．此の種類が完全し
	一	082	06	ても完全な進歩が迚も出来ませぬ．此の	一つ　の至極大切なものは即ち道徳の進歩で御坐りま
	一	090	10	第五．種々の進歩を致さうと思ふ人には	一つ　の立派な手本一つの高尚なる模範即ちｉｄｅａ
	一	090	11	を致さうと思ふ人には一つの立派な手本	一つ　の高尚なる模範即ちｉｄｅａｌが必ず必要で御
	一	101	02	るか．兎角日本人は真面目でないことが	一つ　の原因である．即ち日本人は怒ることもするが
	一	102	04	ないと考へる．これが即ち軽蔑を受ける	一つ　の原因である，賤しみを受くる所以であります
	一	110	06	といふ．然らば船長其の他の人々が大勢	一つ　の船に乗つてはあぶないからと言つて或ひは船
	一	117	02	欲で，そこで節酒会といふものが出来て	一つ　の高い欲が殖えて来た訳だから自分一人で節し
	一	125	04	来ませぬ故に其の種々の物の中からたゞ	一つ　の著るしいものを択んで而して之を成るたけ委
	一	126	01	学者も御坐りませう．けれども，こゝに	一つ　の不審なことが御坐ります．近来の学術と云ふ
	一	128	15	ませぬと存じまする．併しながらこゝに	一つ　の珍らしいことが御坐ります．頻りに色々の新

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ひとつ）	一	130	09	論で御坐ります．学術と宗教との出所は	一つ のもので有る故に必ずドコまでも互に符合すべ
	一	131	06	なるもので御坐りませうか．第四．其の	一つ の至極よい仕方はこれで御坐ります．洋学を致
	一	135	01	で御坐ります．併しながら，こゝにまた	一つ の不承知を言ふお方が御坐ります．この不承知
	一	143	02	のは何だと云ふと人間の人情を写し出す	一つ の美術で御坐ります．これを画にたとへて見れ
	一	145	03	ら徐々と計らなければなりませぬ．併し	一つ の工夫が御坐ります．先づ現今の小説に志す人
	一	145	04	人も西洋流の人も敢て論ぜず多く集めて	一つ の小説改良会を組み立てるが宜しい．そこで互
	一	147	08	政法との関係より始めて並べて見るのも	一つ の順序でありませう．さて，スタチスチックと
	一	164	06	こしたが其の書物の中に酒のことに付て	一つ の話しが載つて居た．今其の文を読みませう．
	一	175	11	めるやうにすると土地は狭くなり，また	一つ の職業でも，共争ひに争ふやうになつて身に着
	一	210	02	かも知れません．これも説を述べられぬ	一つ の理由で有ります．其れからモウ一つ世間にや
	一	229	06	なして区と定めるので例へば東京市街を	一つ の区としてドコの郡にも属せぬと云ふやうにし
	一	230	05	しまして陸軍に於ては数多の県を合せて	一つ の軍管を置いて全国を七軍管に分ち，海軍では
	一	230	06	は全国を五つの海軍区に分ち各海軍区に	一つ の鎮守府を置いてあります．其の外，裁判区山
	一	236	03	ゑ，蘭語の稽古も実にむつかしいことで	一つ の言葉を知るにも容易なことでは分らない．字
	一	236	09	つても思ふ半分も出来なかつた．其れが	一つ の大難事で有つた．モウ一つの大難事と云ふは
	一	236	09	た．其れが一つの大難事で有つた．モウ	一つ の大難事と云ふは西洋のことを学ぶと云ふこと
	一	242	12	とも警察学と同様にエウロッパに於ては	一つ の学問となつて居りまする．此の学をペノロジ
	一	252	13	にするのは至つて危険でありまするのが	一つ の理由であるのと，また監獄に這入つて居りま
	一	262	16	ド実際に困難でありまして多くの囚人を	一つ の場所に集めて仕事をさせるときは如何しても
	一	019	15	ふものが発見になりましたが其れの中に	一つ はヤット肉眼で見えるといふまでで今一つは望
	一	019	16	つはヤット肉眼で見えるといふまでで今	一つ は望遠鏡で無ければ見えませぬ．此の外にもま
	一	026	16	りますが近いと云つても随分遠い．モウ	一つ は白鳥宮といふ所の六十一号の星で今申した星
	一	028	12	鏡で見ますと二つに分れて見え，多くは	一つ は大きく今一つは小さく，かたつ方がかたつ方
	一	028	12	つに分れて見え，多くは一つは大きく今	一つ は小さく，かたつ方がかたつ方を回つて居ます
	一	085	13	のものを除き去りまた減ずること，また	一つ は何れの人にでも現に成り立つて居る所の善き
	一	085	14	ものを能く養ひて盛んにすること．また	一つ は人が既に持つて居る所の善き事柄の上に色々
	一	101	01	ふに其の原因は二つあらうと思ふ．其の	一つ は何であるか．兎角日本人は真面目でないこと
	一	101	05	人から軽蔑を受くる原因であります．今	一つ は何なるか．日本の国情が外国に通じないので
	一	124	10	のことを経験いたさうと存じます．其の	一つ はこれで御坐ります．彼の卒業生が其の働きと
	一	140	14	申すは如何なる所以で有つたかと申すに	一つ は文明国と違ひ文学がサホド進んで居らぬ故で
	一	190	14	の中に二つの種類がある．一は行政裁判	一 は司法裁判である．この行政裁判といふものにし
	一	206	11	したことが有ります．同じやうな形ちで	一つ は大きく一つは小さくなつて頭も尾も同じやう
	一	206	11	ります．同じやうな形ちで一つは大きく	一つ は小さくなつて頭も尾も同じやうで有りました
	一	268	03	せう．これには二つの区別が有りまして	一つ は軍事の監獄で有り，一つは普通の監獄で有り
	一	268	03	が有りまして一つは軍事の監獄で有り，	一つ は普通の監獄で有ります．軍事の監獄は陸軍及
	一	158	08	と段々に知れるやうになりませう．モウ	一つ 話しませうが其れは雷であの人は．あの人はと
	一	116	16	して虚言をつかないやうにといふことが	一つ 殖えて来るからのことぢゃ．抑々約束を破らぬ
	一	028	09	観測して見ると中には面白い星が有る，	一つ 二つ三つ四つなどとかたまつて居る星が有る．
	一	216	01	バイになりました．其の上に兎が乗つて	一つ 二つと勘定をしながら行く中に海を渡つてしま
	一	176	15	せて其の地，其の人に網を張つたやうに	一つ も漏らさぬやうに，しなければなりませぬ．箇
	一	263	12	して居りまするけれども皆な四つの中の	一つ を用ふるだけに止ります．さて，また欧米諸国
	一	275	17	なる点はタッター一つでありまする．此の	一つ を取り違へまると，あとは皆な狂つて参りま
	一	156	03	ならない．其れだからむつかしい．先づ	一つ ，むつかしいことの話しをしませう．皆さま御
ひととおり	一	252	14	生より丁年になるまでの間に教育は先づ	一と通り 終つた筈の者であります．然るに未丁年の
	一	235	15	ると云ふ人の辛苦したことと云ふものは	一と通り では無い．其の大難事は二た通りで有つた
	一	114	09	．また他の動物は命が惜いといふことは	一と通り は知つて居れども，かうすれば自分の命に
ひとところ	一	084	04	も知れませぬ．進歩の種々の種類が皆な	一所 に並んで進み行くならば全国民の総体の進歩も
ひとなみ	人	201	15	だけれども天王星や海王星や地球までが	人なみ に重いものになつて威張ります，ソコデ其の
	人	257	04	，及び家庭教育の足らざるが為めに心の	人なみ にならざる者（即ち不良少年）で有ります．
ひとびと	人	037	11	lienfeldSchäffle等の	人々 が此の如き説を主張して居ることぢゃ．そこで
	人	062	05	出るには必ず車に乗る様になり斯の如き	人々 が乗車するときは上の好む所下之に習ふは古今
	人	110	06	て来たのだといふ．然らば船長其の他の	人々 が大勢一つの船に乗つてはあぶないからと言つ
	人	224	11	此の頃，貴顕の方々を始めとして有志の	人々 が演劇改良会と云ふものを起されましたのは定
	人	082	02	歩するもので御坐りませぬ．学術に付て	人々 自分の進歩で御坐ります．政事の進歩経済の進
	人	134	08	々の前に爾等の光りを耀かせ，さすれば	人々 爾等の善き行ひを見て天に在す爾等の父を崇む
	人	086	07	処に御坐りますか，これに付て若し世の	人々 の自分の見込み，また一般の輿論に問ふならば
	人	089	01	りませぬ．併しながら人の本当の有様，	人々 の不完全なることを教ゆるには基督教に若くは
	人	107	06	等男女の父母たり兄弟たり将た良人たる	人々 の心情は果して如何であらうか実に気の毒なこ
	人	134	08	．尚ほ明かな所はこれで御坐ります．「	人々 の前に爾等の光りを耀かせ，さすれば人々爾等
	人	159	01	かドウかは私には保証が出来ないが実際	人々 の精神に，のみこんだのが学問の実際といふも
	人	217	08	仙窟などと云ふ支那の小説文も舶来して	人々 の翫びとなつて居ましたからソコラを考へ合せ
	人	218	15	部の物だが大かたは源氏の君や其の他の	人々 の平日の動作言行を記して其の間に時々の景色
	人	145	03	夫が御坐ります．先づ現今の小説に志す	人々 は日本流の人も西洋流の人も敢て論ぜず多く集

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ひとびと）	人	179	09	られ曲りたるは直く喰しきは易くせられ	人々	みな神の救をみん」とあり，またキリストも此
	人	134	09	す爾等の父を崇むべし」と．この言葉は	人々	皆承知する所の道理に善く適ひたるものでは御
	人	187	04	眷顧たまふが故なり今より後，万世まで	人々	我を福なるものと称ふべし」と謳ひましたが思
	人	187	09	救主なる神を喜ぶ，今より後，万世まで	人々	我を福ある者と称ふべし」と此の凱歌を唱へつ
ひとふで	一	021	15	て居る所が有るかも知れない．条約書に	一筆	加へたとか加へなんだとか消したとか消さない
ひとり	ヒ	211	16	つたことは有りませんだつたが其の時に	ヒトリ	，イギリスの天文学者が夜あかしをして居つ
ひとり	一	181	08	の教で御坐ります．即ち一人の夫にして	一人	以上の妻を有つことを許さず妾を蓄るごときこ
	一	165	12	いふのも亦むづかしい．また，この題は	一人	一己の事を説くものでは無くて一国人民の総体
	一	128	09	う．其の外に学術の色々の論の中にたゞ	一人	か二人が起した所の論が多う御坐りまする．箇
	一	130	11	に起つた所の新しき論または設理，或は	一人	か二人の量見によつて滅びてしまふと云ふこと
	一	182	11	が日本国の風で妾を持つ者は真の万人に	一人	か，千人に一人に過ぎないといふ人があるかも
	一	024	17	太陽系の中である，地球は太陽の眷属の	一人	である」といふ答へが出来ました．これから先
	一	033	05	説私は杉亨二と申す者で節酒会賛成者の	一人	で御坐りますが節酒のことに付ては諸君の高論
	一	116	15	併し此の会に加はつて約束をすれば自分	一人	で，きめて居るよりも余程よいといふは仲間で
	一	117	03	一つの高い欲が殖えて来た訳だから自分	一人	で節して居る時よりも余計に慎まなければなら
	一	117	10	ので有ります．すべて会を設けてすると	一人	でするのとは違ひますから会を立てて約したこ
	一	118	02	節酒会にも，はいらぬ方がよい．一体，	一人	で孤立して守ると人と約束をするのとは約束を
	一	153	01	行はれて居ます．憲法では例へば皇帝は	一人	で主権は此の一人に属してあると，きまつて居
	一	184	07	前に述べた通りで御坐りますが，たとひ	一人	で多くの妻を持ち又は妾を置くことはせんでも
	一	190	01	したることを執行するに付て執行権者は	一人	で御坐んすが其の中に三つの者があるのです．
	一	231	03	則で有ります．施政はツマリ天皇陛下御	一人	でおやりなされば宜いのですが，さうは御手が
	一	231	12	から一人です．府県になりますと知事が	一人	で施政を為し議政の方は府県会また常置委員会
	一	231	12	のです．各省の大臣は施政者で有るから	一人	です．府県になりますと知事が一人で施政を為
	一	116	14	した効能だらうと思はれます．かく自分	一人	でも酒を節することは出来ぬではなけれども併
	一	193	01	，二人あるか三人あるかといふに天子は	一人	といふことになつて居ります．ナゼ一人と言ふ
	一	193	01	一人といふことになつて居ります．ナゼ	一人	と言ふに政令二途に出でざるが為めで，外国で
	一	231	01	原則が有ります．即ち第一には施政者は	一人	と云ふこと，第二には行政官は総て執行権，即
	一	153	01	憲法では例へば皇帝は一人で主権は此の	一人	に属してあると，きまつて居れば行政法の方で
	一	180	04	，我に来ればなり，此の兄弟の最微者の	一人	に行へるは即ち我に行へしなり」と教へ玉ふた
	一	182	11	妾を持つ者は真の万人に一人か，千人に	一人	に過ぎないといふ人があるかも知れません．成
	一	274	03	其れを監獄現在人員に割り当てますると	一人	に付き四十八円ほどになりまする．実に莫大の
	一	040	06	出来る様になりても今現に多くの兄弟で	一人	の女房を共有して居る社会が有る．其の様な社
	一	040	07	社会では男女共同の方が正しいので若し	一人	の夫が一人の女房をもつと却りて道に背くこと
	一	040	07	女共同の方が正しいので若し一人の夫が	一人	の女房をもつと却りて道に背くことになりて居
	一	133	09	昨日新聞紙で読んだことで御坐ります．	一人	の宣教師は支那のズット内国の偏鄙な村に至り
	一	133	14	内に随分，奉公人を多勢使ひますが中に	一人	の鬼の如くにけしからぬイタヅラな奴が御坐り
	一	181	08	第一に一夫一婦の教で御坐ります．即ち	一人	の夫にして一人以上の妻を有つことを許さず妾
	一	182	14	ませうか．上等にも中等にも矢張万人に	一人	の割合だといふことが出来ませうか．上へ往け
	一	183	07	教で申す一夫一婦といふことは公然さへ	一人	の妻をもつて居れば内証ではドウいふことをし
	一	189	05	には二つ以上の頭を以てし，きめた事は	一人	の執行権者が行ふといふ主義に違ひ無いやうに
	一	125	16	素より全く間違つたもので御坐る．また	一人	はＴｙｎｄａｌｌ氏が何々と示した故に私とて
	一	101	14	苟くも改良といひ仮りにも改革といへば	一人	も疑ふものもなければ反対を試みるものもなく
	一	164	02	の為めに身を立て家を興したといふ者は	一人	も無し，亡国廃家に至つた者は古来歴々として
	一	196	14	饅でも有りはしないか」などと思ふ人は	一人	も無く，太陽は朝出て毎夕ひつこむのが当り前
	一	170	16	行かうか，どんな所かよく分りませぬ．	一人	や二人が知つたからといつて行くものではあり
	一	231	06	ので有ります．其れから，また施政は，	一人	，議政は数人でやるのです．之を四段に分けま
ひとり	独	003	17	大切なことになつてあるが其れも此の国	独り	で居れば今日の様でも宜しいが今日は我が国ば
ひどり	日	084	07	能く分つて居り且蒸汽船が横浜をたつた	日どり	と時間と知れてあつたならば向ふに到着の時
ひなが	日	218	08	マリ物語を作つた趣意は先づ慰みもので	日長	のときや雨夜などの徒然を慰むる為めで有りま
ひながた	雛	023	08	ります．地球の雛形の一寸の玉を太陽の	雛形	一尺一寸ばかりの玉より三丁と十四間ほど離す
	雛	022	13	．其の次ぎが螢＊惑星即ち火星で太陽の	雛形	から四丁と五十五間先づザット六丁の処に五分
	雛	022	14	五分三厘に足りない玉が有るのが火星の	雛形	で有ります．これまでは皆地球よりは小さいか
	雛	026	17	が遠い．此の様に遠い距離になりますと	雛形	でもおつつかなくなりズット気張つた物さしに
	雛	017	10	ど有ります．さつきの一寸の玉を地球の	雛形	としまして太陽の雛形はドンナものであらうと
	雛	022	07	さつき申しました直径一寸の玉を地球の	雛形	とし一丈一尺の玉を太陽の雛形とします．さう
	雛	022	08	を地球の雛形とし一丈一尺の玉を太陽の	雛形	とします．さうすると一番近い星即ち水星は距
	雛	016	06	直径一寸の玉を拵へまして其れを地球の	雛形	にすると其の玉から三尺離して直径二分七厘の
	雛	016	07	直径二分七厘の玉をおきましたのが月の	雛形	になります．距離も随分遠く大きさも大分違ひ
	雛	022	10	玉を一丁十五間の所に置いたのが水星の	雛形	になります．其の次ぎは宵の明星即ち金星で有
	雛	023	08	里二十五丁幾ど三里で有ります．地球の	雛形	の一寸の玉を太陽の雛形一尺一寸ばかりの玉よ
	雛	017	11	一寸の玉を地球の雛形としまして太陽の	雛形	はドンナものであらうといふと一丈一尺ばかり
	雛	022	07	しても例の通り見当が分り兼ねますから	雛形	を以て解き明しませう．先づさつき申しました
	雛	023	10	置かなければならない，其れだから其の	雛形	をこゝへ持つて来ることが出来なかつたので有

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ひながた）	雛	026	05	などといふ大きな数が出ます．さつきの	雛形	を用ひますと海王星を太陽から三里ばかりの所
ひなん	非	127	11	理論者にあらざれば西洋の専門家の論は	非難	し易いものでは御坐りませぬ．故に私もこの若
	非	113	06	学問を修業するなどといふことは少しも	非難	すべき廉は無いが其れですら節せずに余り度を
	非	126	05	かの貴い古事記，万葉集などを批評し且	非難	せむとするが如きもので有りまする．けれども
ひにく	皮	174	06	くない，イヤなものですが之に銭といふ	皮肉	を附けて見ると其のシャレ骨が活き活きして感
	皮	174	11	の数字なるシャレ骨にたゞ一つ銭といふ	皮肉	を附けて見て篤と考へたらば活きますまいか感
ひにん	非	214	09	も御存じの通り昔は河原者と呼ばれ穢多	非人	のやうに言ひ習はされ，天保年中の老中，水野
ひび	日	061	13	甚しきに至つては終日安居する人にして	日々	幾分かの運動を要する人の散歩するに方つて尚
	日	244	17	乱，外乱に関することは陸海軍を用ひ，	日々	の取締に関することには警察を用ひ，悪人取締
	日	137	09	で，職業が政事新聞記者でありますから	日々	法律や政治の改良のことには筆を執つて居る其
ひひょう	批	126	04	る中に，かの貴い古事記，万葉集などを	批評	し且非難せむとするが如きもので有りまする．
びふく	美	060	12	も用ひずして酒を呑み煙草を喫し無益の	美服	を飾り放蕩を極め身を過まり家を亡ぼし遂には
ひぼん	非	142	07	なばかりではいけません．学問が有つて	非凡	な人でなければなりませぬ．また見識も無くて
	非	103	12	困難なことなりしならむ」と弘法大師の	非凡	なるを感ぜらるゝに相違なし．而して日蓮記を
	非	144	09	ツマラヌものが沢山あります．兎に角，	非凡	の小説を得んには小説家の資格と云ふものを高
	非	218	01	文章も趣向も巧みになり殊に源氏物語は	非凡	の大筆で今以て和文を作るにも言語の学問をす
ひま	ヒ	201	16	デ其のソバにゆくと暫くはお辞儀をして	ヒマ	がとれます．しかし木星なら木星が通る時には
	ヒ	003	14	で今我が国の有様で居ますと文字を習ふ	ヒマ	の為めに稲を植るヒマも水車改正の時もへづら
	ヒ	003	14	ますと文字を習ふヒマの為めに稲を植る	ヒマ	も水車改正の時もへづられて電信機の改正もせ
ひまじん	閑	062	16	に甚だしき濫用と申すは例へば茲に一の	閑人	あり今日の午后六時に番町より神田に行くべき
ひめい	非	098	09	死を聞いて悲しまぬものはなく殊に其の	非命	の死を聞きては流涕長大息いたさぬものは殆ん
	非	100	12	めに我々同胞二十五名の人が斯くの如き	非命	の死を遂げたものであらうと考へる．若し果し
ひゃく	百	185	07	只今諳記いたしませんが恐らくは結婚が	百	あれば離縁が二十或は三十位ある比例では有りま
	百	192	16	天子がなさつて居られる．其の下に文武	百	官を使つても執行権は天子が持つて居られる．其
	百	273	04	に拠つたものでありまする）府県監獄は	百	九十二箇所ありまして，集治監，即ち中央監獄は
	百	273	06	また，其の中を区別しますると未決監は	百	七十五，已決監は百六十一，懲治監は百〇三，合
	百	070	02	裁判官が三千九百〇一人，代言人が二千	百	十一人で御坐います．これは千八百八十三年の調
	百	070	09	が孛漏生の人口は二千七百二十七万九千	百	十一人，日本の人口は三千七百四十五万千七百六
	百	185	07	位ある比例では有りますまいか．よしや	百	に十の比例としても実に驚くべく憂ふべきことと
	百	273	15	已決囚は五万六千〇四十二人，懲治者は	百	二十一人ありまして其の外，別房留置者と申す者
	百	013	07	千里位のむだ足はしても僅か八十日間か	百	日で地球を一周することが出来ます．して見れば
	百	264	03	ます．この家族法と申しまするは例へば	百	人の囚人あれば之を二十人づゝに分ち，五つの家
	百	008	13	と国会設立の様にしたいといふなら明治	百	年か千年になつたら仮名か羅馬字になるだらう．
	百	168	12	さんずる有様でありました．西洋でも千	百	年の頃に天が落ちるとか云つて大層騒いだことが
	百	174	14	存じます．さて今，申したやうな訳ゆゑ	百	年の後に其の衣食の費用は二倍して二十二億八千
	百	174	15	千万円となりませう．チョイと考へると	百	年は遠いやうで死んだアトのことだからドウでも
	百	174	16	が日本国民の年齢の一代ぐらゐなもので	百	年といふと遠いやうに思ふが維新以来モハヤ其の
	百	017	10	十五万二千六百二十三里で地球の直径の	百	八倍半ほど有ります．さつきの一寸の玉を地球の
	百	063	04	て之を全国の人員に比例して見ると人民	百	八十五人に付き人力車一つの割合にして一千人に
	百	269	12	令を以て割合を申しまするとと十歳以下は	百	八十七人即ち二分二厘で，十歳より十二歳までは
	百	239	11	所，県庁，郡役所，戸長役場，等合せて	百	〇三箇所でありまして，其の外，参考上に見まし
	百	273	06	百七十五，已決監は百六十一，懲治監は	百	〇三，合せて四百三十九の監舎となりまする．五
	百	174	04	約毎年三十六万人づゝ殖えるとしますと	百	六年たらずで其の二倍即ち七千六百三十万二千四
	百	273	06	しまするとと未決監は百七十五，已決監は	百	六十一，懲治監は百〇三，合せて四百三十九の監
	百	273	08	已決監でありまするから已決監の総数は	百	六十六となりまする．此の所に於て懲治監と申し
ひゃくしょう	百	007	08	字が書けると地方でも賞められ書けぬと	百姓	町人までが馬鹿にする．其れだから役所から帰
	百	054	01	すに漁村僻邑と言ふと漢語ですが田舎の	百姓	などが学校へ往つても天文地理だとか何だとか
ひゃくせつ	百	103	08	宗を信仰したればこそ固く信じて疑はず	百折	不撓の精神が出るのでありませう．皆な宗教信
ひゃくばい	百	238	08	に力を尽されて勉強されたときには昔に	百倍	する功績の有るのは当然で有りますから，此の
ひゃくぶん	百	166	15	誰も駁つことは出来ますまい．世間に「	百聞	一見に如かず」とかいふことがありますが，こ
ひゃくやく	百	033	10	国を亡ぼす者あらむ」と言はれ又「酒は	百薬	の長」とも言はれまして説が両端になつて居り
	百	033	12	いふ方には世間で賛成者が少くして酒は	百薬	の長だといふ方には賛成者が多い．我が邦では
	百	120	17	たゞ「随分飲んでもいゝものだ」とか「	百薬	の長だ」とか言ふ位なことで有りました．前に
ひゃっぱん	百	003	07	間遊んで八時間勉強する．其の八時間を	百般	のことに使ふ訳にはいかない．されば此の八時
ひゆ	譬	131	15	以て其の演べる所の宗教の色々の面白い	譬喩	とし，また固い証拠を設けることが出来ます．
ひゅーご	ヒ	139	15	うかゞつて居ます．フランスのビクトル	ヒューゴ	なども有名な人ですが其の最も長じたる所
ひゅうひゅう	ヒ	008	06	六百円のものもあり，花火を打ち揚げて	ヒュウヒュウ	ボンボン．また夜になつて鹿鳴館に往
ひょう	表	267	13	間に出すと云ふ結果になりまする．前の	表	と只今の説明とに就いてお考へになれば監獄に於
	表	120	01	と云ふ色々なものが有りますが其れ等は	表	に見ゆるから予防をすることも，かなへますが酒
	表	136	01	引つ張つて御坐ります．そこで見物人が	表	の口にはいり裏へ出まして其の庭を見ますれば誠
	表	266	01	てお分りになることで有りませう．此の	表	の中で第一の犯罪予防部の事業は二つの場所にて
	表	172	10	，生糸などの大得意先きで，これは貿易	表	を見ると，よく分ります．たゞ北亜米利加人が我
ひよう	費	147	14	調べましても例へば此の川にはイクラの	費用	がかゝつて居るとか其れは全国から出すとか町

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ひよう）	費	274	17	一囚の制でありまするけれどもナカナカ	費用	がかゝるので右から左へと云ふやうに総体を変
	費	274	04	四十八円ほどになりまする．実に莫大の	費用	と云はざるを得ませぬ．此の費用を以て兵卒を
	費	148	02	と言へば測候所といふものを設けて其の	費用	は国庫より支弁するとか府県会で出すとかいふ
	費	174	14	したやうな訳ゆゑ百年の後に其の衣食の	費用	は二倍して二十二億八千万円となりませう．チ
	費	257	10	の人民を造るもので有りまするから其の	費用	は誰が出しても救助と云ふものでは無く，言は
	費	174	09	を三十円としますと今，日本人の衣食の	費用	ばかりでも一箇年に十一億四千万円になりませ
	費	174	09	千八百万人として一箇年一人前の衣食の	費用	を三十円としますと今，日本人の衣食の費用ば
	費	274	02	千二百五十二人となりまする．今，其の	費用	を見まするとと国庫支出，及び地方税支弁にて明
	費	274	04	莫大の費用と云はざるを得ませぬ．此の	費用	を以て兵卒を養ふ者と致しまするとと三万八千人
びょう	病	064	10	然るに斯の如く犬馬同様の業を営み新造	病	否心臓病等に罹りワカジニするとは真にハヤ憫然
	病	059	03	化の徳でありませう．此の県下で六伝染	病	中チフスの居候が最も沢山あると云ひますから下
	病	120	03	ぬから酒疫は人心に伝染する内密の流行	病	で有ると解して然るべきことと思はれます．世界
	病	064	10	の如く犬馬同様の業を営み新造病否心臓	病	等に罹りワカジニするとは真にハヤ憫然の至りで
	病	119	17	を生ずるもので有つて御承知の通り流行	病	には疱瘡，コレラ，チフスなどと云ふ色々なもの
	病	122	08	様になつて行きます．また独逸でコレラ	病	に罹る者を調べたのには平常酒を多く飲む者が余
	病	122	09	には平常酒を多く飲む者が余計にコレラ	病	に罹つて死んだと云ふことで有りました．其の外
	病	003	15	せずに机の前に坐つて字を習ひ，コレラ	病	の原因を見出すこともお留守にして字を習はなけ
	病	059	01	なことで今では其の居候ではないチフス	病	を鍾太鼓で探す程であると云ふが，これ則ち衛生
	病	064	02	既に斯の如くなるが故に胃病を起し心臓	病	を起し肺病に罹り其の他種々の病を発してワカジ
	病	064	05	ましたが乗車する人ですら斯の如く心臓	病	を発するでありませう．況んや之を引き疾駆する
	病	064	07	うが是れ必竟努力疾行するに由つて心臓	病	を発するが為めです．然るに如何なる者が之を営
	病	119	17	解して見ると人心に伝染する内密の流行	病	を生ずるもので有つて御承知の通り流行病には疱
びょう	秒	027	02	す．其れは何で有るかと云ふと明りの一	秒	時間に行く距離です，明りの行くのはいくらか時
	秒	027	06	で人力車で来る位な間に来ます，僅か一	秒	時間に七万六千里ほど走りますから地球のかたつ
びょうき	病	058	14	都府に於てはこれまで大層チフスと云ふ	病気	があつた所が其の都府で下水を改良し水の通利
	病	059	07	を善くし衛生に注意せらるゝので兵士の	病気	が減じたと云ふも，これ皆開化の効能でありま
	病	122	16	が医者に懇意の人なら酒の上からドンな	病気	が起つたかと云ふことを聞くとか，警察官に懇
	病	138	03	面倒な思ひも有りまする．私が或るとき	病気	にて眠ることが出来ませんでしたが其の時，医
	病	075	10	ことを拵へるとかいふことが出来ない．	病気	は健康体を失つて居る故に医者に頼んで全くモ
ひょうご	兵	105	10	言語同断の次第である」と言ひ或ひは「	兵庫	県知事より求刑したに付き神戸の英国領事庁に
	兵	105	16	く果して刑事裁判ならしめたら仮令我が	兵庫	県知事が如何なる求刑をするとも英国領事は決
	兵	105	17	．然るに諸君も知らるゝ如く英国領事は	兵庫	県知事の請求を容れ現に法廷を開き船長以下の
	兵	273	10	かのやうに思はれます．此の外，東京，	兵庫	，宮城，三池の四箇所に仮留監と申しまするも
びょうし	病	121	11	酒を多く飲む人は「寿命が短くなる」「	病死	することが増す」「自殺が殖える」また「罪を
ひょうする	評	062	04	いで，あるいて居るケチなヤツだなどと	評する	もの往々あります．故にこれ等の人はイヤで
びょうどう	平	182	07	多妻は貴賤貧富の差別なく誰でも彼でも	平等	に之を厳禁いたします．さうしてこれが即ちキ
ひょうばん	評	240	16	温良である」と他人に言ふときには良い	評判	を漏らしたる訳ではありますが，為めに競争者
ひょうめん	表	014	10	書とは地球の学問だと思つて居たに月の	表面	にも山だの谷だのが有るからは月が地球と似た
	表	015	05	す．そこで地球と月とありますに地球の	表面	に於て二個所の点を取りまして先づ精密に其の
	表	017	02	もよく地球に似たもので有りますが其の	表面	に我々の党類は住つて居ない，申さば明き家み
	表	020	09	其の次ぎは火星で有ります．さて火星の	表面	にも山が有り谷が有るかと云ふに月の様に精密
	表	021	03	は人間などが居ると反対して若し火星の	表面	に動物が無かつたら其れの方が却つて不思議で
	表	021	05	す．然るにそんなものはソックリ火星の	表面	に有るからしては必ず動物植物などもソックリ
	表	021	07	の方が却つて解しにくい．そこで地球の	表面	に我々の住つて居ると同様に火星の表面の上に
	表	021	09	球のグルリを回つて居る．動物は地球の	表面	にしか居ない，智慧と言ものは人間よりほかは
	表	011	10	亜細亜は」と言つたら「亜細亜は地球の	表面	の一部分だ」と言ふで有りませう．そこで其れ
	表	021	07	表面に我々の住つて居ると同様に火星の	表面	の上にも人間か人間の様なものが住つて居るに
	表	021	17	戦争に及ぶと云ふ様なことなぞは火星の	表面	の上には無いかも知れない．併し事によつたら
	表	148	04	クで調べるならば其の鉱物といふものは	表面	の土地所有者に属するものであるとか全国即ち
	表	020	07	けて満月の様に見ゆるので余程よく其の	表面	を観測することが出来る．天文学者が知つて居
ひょうもく	標	217	13	．物語に俊蔭の巻とか吹上の巻とか云ふ	標目	の見えたのは此の書が始めで有りますが此の名
	標	217	15	たもので有りませう．其れは源氏物語の	標目	は仏道に拠つたと云ふ旧説の有るに倣つた私の
	標	218	04	どのやうな実事を書いたものにも巻々の	標目	を立てゝ小説めかしたのは同体の仮名文だから
ひょうり	表	038	09	ぬ人民が有りて其の道徳とする所は全く	表裏	反対ぢゃ．如何なる訳で其の様に表裏反対して
	表	038	09	く表裏反対ぢゃ．如何なる訳で其の様に	表裏	反対して居るかと云へば昔の支那流で言ふと開
ひょっと	ヒ	155	10	のは御存じの御方には言ふに及ばないが	ヒョット	すると御存じの無い方が有るかも知れない
ひら	平	002	10	いつたかといふに何でもよい片仮名でも	平	仮名でも構はない，仮名遣ひを改めようがドウせ
	平	052	17	が流れて来たので御坐ります．其の間に	平	仮名を使つたのは草紙物語より出でまた漢文に訓
ひらい	開	043	07	とぢゃ．道徳は教法者が大層骨を折りて	開い	た．教法と云ふものも野蛮の教法と開けた教法
	開	171	16	つたこと我が国，の第二海外貿易の道を	開い	たこと我が国人に阿片の禁を勧めたこと（あれ
	開	192	08	は違ひ無い．また明治二三年に公議所を	開い	たのも其の通り，其れから左院を置いたも其の
	開	166	10	ととなつて人間世界を調子よく今日まで	開い	て参りました．昔の学風といふものは事実の穿
	開	192	09	左院を置いたも其の通り，地方官会議を	開い	て之に人民に代つて事を議せしむるといふこと

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（ひらい）	開	199	03	す．ツマリ抛物線は橢円のカタッパウが	開い	てしまつたものと見れば宜しう御坐ります．さ
ひらか	開	105	11	求刑したに付き神戸の英国領事庁に於て	開か	れたる法廷を以て船長等の再審を為すものであ
	開	233	04	つた通りに此の専修学校は明治十三年に	開か	れてアシカケ八年になり其の間，卒業が今度で
	開	275	11	獄，即ち監獄長を集めまして典獄会議を	開か	れまして監獄取扱上の細密なることを打ち合せ
ひらき	開	103	11	て「かゝる深山に分け入りて，この山を	開き	しは，さぞ困難なことなりしならむ」と弘法大
	開	106	01	事は兵庫県知事の請求を容れ現に法廷を	開き	船長以下の審問に着手したといふことである．
	開	086	16	．若し基督教の基本になつて居る聖書を	開き	見るならば，これ等の事柄がサッパリ分らぬと
ひらく	開	106	14	る場所は則ち今回神戸領事庁に於て更に	開く	所の法廷であります．想ふに去月二十四日の晩
	開	054	04	この用を弁するには仮名を用ふることを	開く	に如かずと思ひます．また後のことを考へると
	開	105	16	求刑をするとも英国領事は決して法廷を	開く	訳は御坐りますまい．然るに諸君も知らるゝ如
ひらけ	開	047	17	を見ると各国の有様が昔と事違ひ商売が	開け	工業が開け世界の痛痒相感ずる様な有様になり
	開	047	17	国の有様が昔と事違ひ商売が開け工業が	開け	世界の痛痒相感ずる様な有様になりて互に利害
	開	038	08	るものぢゃと云ふ．其の証拠には道徳の	開け	た人民と開けぬ人民が有りて其の道徳とする所
	開	038	14	社会を維持し進歩を謀らねばならず，又	開け	た国では其の有様によりて其の社会を維持し進
	開	040	09	て居る．箇様なることが総て野蛮の国と	開け	た国と全く違ふて居る．善と悪とが，まるでウ
	開	040	11	其の社会は必ず亡びるに違ひ無い．今の	開け	た社会でもモトは箇様な社会から変遷して来た
	開	043	07	開いた．教法と云ふものも野蛮の教法と	開け	た教法とは大いに違ふ．野蛮の教法は道徳の意
	開	043	10	様となりて居るのぢゃ．然るに進化して	開け	た教法では必ず道徳と云ふものが附き添ふて居
	開	043	11	云ふものが附き添ふて居る．そこで十分	開け	た．耶蘇教では仮令敵でも愛せねばならぬ，向
	開	043	14	とぢゃ．されども其れは，まるで世界の	開け	た道理とは違ふて居ることぢゃ．野蛮未開の時
	開	044	09	るから背けば罰することが出来るが道は	開け	た国では政府が構はぬものぢゃから罰すること
	開	046	17	理のことを為したり其れのみならず同じ	開け	た西洋の各国同士でも道理の立たぬ様なことを
	開	047	11	逐ひまくりて其の土地を奪ふてしまひ，	開け	た印度も奪ふてしまひ，近頃は朝鮮の領分の巨
	開	082	13	の国が御坐ります．これ等の国は立派に	開け	た国で御坐りましたが道徳の進歩が無かったゆ
	開	082	16	町を御覧なされ．アデンスの町は立派に	開け	たもので御坐りましたが其の人民が真の神を知
	開	084	11	．また或る時は機械と製造のことが沢山	開け	た頃が御坐りました．これ則ち蒸汽力が発明さ
	開	125	10	今之に答ふるに，これは即ち近来盛んに	開け	た学問学術なりと申しませうか．イヽエ決して
	開	129	07	ます．これ等の人の思ふには近来盛んに	開け	た所の学術の為めには基督教が遂に全く滅びて
	開	171	08	また其の中にパナマの地峡でもスッカリ	開け	たら渡航するにも大層な便利がありませう．ま
	開	168	04	とで丁度子供が成長したり智慧も段々と	開け	たりするのと同じやうなもので，これは当り前
	開	034	05	をしょつて居るとか言ひましたが段々に	開け	て来て月といふものは，かういふもので決して
	開	038	11	と云ふものも善悪邪正も知らぬが智慧が	開け	て来ると漸々に其れを知る様になると云ふなれ
	開	040	05	）男女同居してゆくだけで有りたが少し	開け	て夫婦の配偶が出来る様になりても今現に多く
	開	041	03	た道徳と云ふものを野蛮の人は知らぬが	開け	て来ると漸々に其れを知る様になる」と云ふ理
	開	041	12	ｌｅと云ふ人が「道徳は思ひの外，早く	開け	てしまふて変化は無い，智慧は次第に開けて参
	開	041	13	けてしまふて変化は無い，智慧は次第に	開け	て参るものぢゃが道徳は其れに反して居る」と
	開	041	15	りては今日の道徳と全く違ふて居るし又	開け	て来た後でも今の欧羅巴と支那とは大いに違ふ
	開	046	07	刑罰の無くなる時は無からう．世の中が	開け	て来ると黄金世界になるとか言ふ者も有るが其
	開	065	01	とで日本もモウ少し文明が進歩し人智が	開け	て来たならば斯の如き犬馬同様の業を営むもの
	開	083	03	ガルの二箇国が暫らくの間，余程盛んに	開け	てあつたが道徳の進歩がサツパリ無かつた故に
	開	083	06	御案内の通り支那では昔より儒学が能く	開け	て居りました．支那人決して愚人では御坐りま
	開	159	12	つて居ます．アチラでも地質学や哲学が	開け	てから天主の説に不服を言ひます．ナゼならば
	開	165	14	つて居る社会といふものは，どの位まで	開け	てゆくか其の事を書いたものも無いから誰にも
	開	234	16	ので無いと思つて居ました．其れが段々	開け	て今日ではギリシャローマの言葉を用ひないで
	開	236	07	さいことで有つた．尤も其れより追々に	開け	て漸々と学び易くはなつたなれども，しかし御
	開	082	09	出来ませぬ．たとひ，イクラ人の智慧が	開け	ても学術が盛んになつても商法がさかえても機
	開	021	08	ものが住つて居るに違ひ無い．天文学の	開け	ない時分には人間は高慢で日も月も地球のグル
	開	038	08	云ふ．其の証拠には道徳の開けた人民と	開け	ぬ人民が有りて其の道徳とする所は全く表裏反
	開	038	10	して居るかと云へば昔の支那流で言ふと	開け	ぬ者は智慧が有らぬゆゑ天然に定まりた道徳と
	開	039	08	悪人ぢゃ．其れは如何なる訳かと云ふと	開け	ぬ社会には人口が増してはクラシが出来ぬ．殊
	開	041	06	の時の道徳は其の時に適せねばならぬ，	開け	ぬ時は開けぬ道徳の有るのは当り前のことぢゃ
	開	041	06	は其の時に適せねばならぬ，開けぬ時は	開け	ぬ道徳の有るのは当り前のことぢゃ．昔開けぬ
	開	041	08	ぬ道徳の有るのは当り前のことぢゃ．昔	開け	ぬ時分には道徳も法律も別に区分が付ては居ら
	開	237	04	り昔のことで有つたが其の時分でさへも	開け	ぬ藩では西洋のことを学ぶのは甚だ悪む有様で
	開	040	10	と悪とが，まるでウラハラで有る．其の	開け	の度に応して道徳善悪が定まることで其れで無
	開	053	02	になつたものと思はれます．もと漢学の	開け	始まりは漢語を用ひた方が上品の様なおつな習
	開	014	04	有ります．この月と云ふものは望遠鏡の	開け	ます余ほど前からして円いもので時としては虧
	開	166	10	色々の学科の助けによつて世の中も益々	開け	行くこととなつて人間世界を調子よく今日まで
ひらける	開	042	06	は先刻も申した如くモトは分れなんだが	開ける	に従ふて分れて来たことぢゃが如何なる違ひ
	開	168	02	ありませうが先づそんなものです．世が	開ける	に従つてまた新しいものが，はいつて来まし
	開	166	08	いふことは分りませぬ．人間はドコまで	開ける	ものか分りますまい．其れだから事実により
	開	234	11	で専門学が出来るで無ければ国の本当に	開ける	やうにならぬのは当り前で有ります．尤も極
	開	043	16	禽獣を除き用に立つものを使ふて其れで	開ける	様になりて来たのぢゃ．若し初めより仏法の

代表形	判	ページ	行		出現文脈
ひらたく	ひ	162	04	有るが，むづかしいから私が其の大意を	ひらたく　申して見れば汝の皇考文王方伯と為り西国
ひる	昼	211	14	違ひ有りません．其の時に日本あたりは	昼　で有つたがフランスやイギリスは夜で有つて其の
	昼	063	16	厳寒を厭はず疾駆し風雨を論ぜず奔走し	昼　は炎天にさらし夜は湿気に触れ漸く提灯を股に挟
	昼	266	12	あらはしました者は緘黙法を用ひまして	昼　は多くの囚徒同様の場所に於て仕事を致させ，夜
	昼	262	11	，これは一房に一囚をおきまして，夜も	昼　も他の囚徒と面を見合すことも，話しをさせるこ
ひるま	昼	262	14	る．第二は緘黙法と云ひまして，これは	昼間　は厳密なる規則を以て囚徒を緘黙せしめ他の囚
びるま	緬	047	12	巨文島を勝手に取りてしまひ，安南でも	緬甸　でも勝手のことをして実に道徳にも何にも構は
ひれい	比	063	04	車は大約二十万にして之を全国の人員に	比例　して見ると人民百八十五人に付き人力車一つの
	比	185	07	婚が百あれば離縁が二十或は三十位ある	比例　では有りますまいか．よしや百に十の比例とし
	比	063	05	一つの割合にして一千人に付き五個四の	比例　です．而して欧米の馬車の数は何程あると云ふ
	比	185	08	例では有りますまいか．よしや百に十の	比例　としても実に驚くべく憂ふべきことと申さねば
	比	063	08	合です．之を以て見れば欧米に在て車の	比例　は日本より素より多いなれども欧米に在ては非
	比	185	06	ません．現今，我が邦の結婚と離縁との	比例　は如何程であるか只今諳記いたしませんが恐ら
	比	028	03	星の明りの分量を比較して段々と距離の	比例　を取ると非常の遠くに居ます星が有ります．今
ひろい	広	151	16	機関をいふもので定義は小さくも範囲は	広い　から此の学は一科の学問になつて居ります．ツ
	広	123	06	に妙な慣はしではありませぬか，日本も	広い　ことだから随分穿鑿をしましたら酒に付ては沢
	広	192	06	といふことでありましたが其れは範囲の	広い　狭いで輿論といふことには違ひ無い．また明治
	広	052	05	ることとしモロコシの字を書いた書物は	広い　原へ持つて往つて焼いてしまふといふ大決断を
	広	023	11	なかつたので有ります．実に此の世界は	広い　もの（此の世界とは皆なを概した世界で）其れ
	広	151	03	やうでありますが其の実際に至ると甚だ	広い　ものです．第一行政法の中に，はいるものは日
ひろおび	広	065	11	人力車の濫用や丸髷島田の窮屈髷や長袖	広帯　のナマケ服など共に皆改むべきの最も急務なる
ひろから	広	145	16	劇改良よりもまた小説改良の方が区域が	広から　うと思ひます．また此の演劇を改良したら面
ひろく	ひ	079	10	ませぬ．其の進歩すると云ふことは実に	ひろく　世の中に行き渡つたもので，たゞ一個人にも
ひろく	広	176	04	，さうで無い．移住出稼ぎは日本帝国を	広く　大きくするので，あれば本国なる日本帝国も広
	広	176	05	くするので，あれば本国なる日本帝国も	広く　大きくなるに，つれて其れに相応して手段が無
	広	177	08	る事実を知つて本国なる我が日本帝国を	広く　大きくする手段を運らすに至つて便利であつて
	広	107	17	ひは怠慢に出るのもあつて其の区域頗る	広く　同じメンスローターを犯したものでも或ひは一
	広	135	13	は御坐りませぬ．却つて其の見渡す所が	広く　且遠くなります．聖書を手に持つて而して聖書
	広	108	03	の刑法で言ふ謀殺に比すれば其の範囲が	広く　例へば予め謀つて人を殺す場合のみでなくて悪
	広	113	12	つかしい．抑々飲食は人類ばかりで無く	広く　動物にも通ずるもので至つて必要なものだと，
	広	051	08	ら今日私はそこは申しませぬ．たゞ愈々	広く　益々盛んに此の会の成りゆくことを御相談いた
	広	127	07	色々の外の廉に移りて天地の間の道理を	広く　論ずる間には，なみの人の如くに色々の間違ひ
ひろけれ	広	171	01	て土地が狭い位で向ふでもモウ，チット	広けれ　ばよいと思つて居る位で，また仕事をする者
ひろそひー	ヒ	035	10	りますまいか．さて其のことに付て近頃	ヒロソヒー　が亨二に教へましたよく当る詞が有りま
	ヒ	035	17	ではそんなことは出来ますまい．そこで	ヒロソヒー　では「大いなる社会は大いなる欲，大い
	ヒ	036	04	会」では実に可笑くなりませう．一方の	ヒロソヒー　の方は調子が合ふから人が聞いても感じ
ひろひ	ひ	178	02	浜にて古き器物のコワレをさがせしも木	ひろひ　なりと見る人は通り過ぎしならん．ネウトン
ひろまる	ひ	270	14	が第一の仕事でありまする．俗に智識が	ひろまる　ほど不良の奸智も殖ると申す者が有ります
ひろめる	弘	216	15	たことも有りますが，これは僧徒が道を	弘める　為めのもので小説とは少し性質が違ふことと
ひろゆき	弘	037	03	十日哲学会東京本郷帝国大学に於て加藤	弘之　君演説「社会外に道徳なし」とは甚だ分りにく
	弘	113	04	町東京大学予備門構内講議堂に於て加藤	弘之　君演説何でも物を節するといふことは善いこと
	弘	233	03	業式場東京浅草須賀町鷗遊館に於て加藤	弘之　君演述先刻，幹事さんのお話しの有つた通りに
ひん	品	059	13	痘瘡等の悪病より煙草，酒其の他の贅沢	品　も亦輸入いたしたでありませう．所で人間の性と
びん	便	164	11	の程途を以てす．なんぞそ意はん英将，	便　に乗じ衣袋の内より紙を取りて数字を揮灑し某弁
びん	壜	211	07	て来ると丁度何か化学の試験をする時に	壜　が破裂して悪い瓦斯がソコラにちらかるやうにな
ひんい	品	121	06	になりませう．「酒を飲む為めに人間の	品位　が余程下つた」と西哲は言はれましたが国が文
	品	121	07	ましたが国が文明になるに随つて人間の	品位　が段々と上るべきのが酒を飲む為めに却つて段
	品	121	05	殖えませうし随つて西洋人の言ふ人間の	品位　と云ふものを上げることも出来る様になりませ
	品	186	11	事業も責任も違ふことは教へますが其の	品位　に至つては更に高下の別なきことを教へます．
	品	080	14	て居る人の善き所，人の益になる所人の	品位　を上げる所のものを能く養ふて盛んにするの仕
	品	179	04	め道徳を修め飲酒喫烟を禁し以て婦人の	品位　を開進するにありと規則書に見えますが凡て社
ひんかく	品	141	02	有つたと申します．また日本の小説家の	品格　を申さば源氏物語の紫式部や枕の草子の清少納
ひんこう	品	141	09	も読めないものが有る．学問が無くつて	品行　が悪くて之を改良する道を知らぬ．斯様なこと
	品	007	02	書くことだの支那流の道徳だの穏式だの	品行　だのといふものが今日盛になつて来るばかり．
	品	144	06	．今日の小説家は皆な学問あり才識あり	品行　端正なりと云ふには違ひが有りますまいが其れ
	品	087	02	この故に聖書と云ふものを己れの信仰と	品行　とのノリとする者はこれ等の大事なものに付て
	品	087	15	上げた通りこの聖書を専らに己の信仰と	品行　とのノリとする人はこれ等の大切なるものに付
	品	141	06	ども一概に申せば作者に学問が無いと不	品行　とに因り且卓見が無いのと小説の本意と言ふも
	品	114	01	には先刻からお話しの有つた通り身体や	品行　にも関係するものだからドウしても節しなけれ
	品	115	11	いが人類は酒を飲む．然るに人類が其の	品行　の悪くなるを惜むといふは至つて高い欲に違ひ
	品	116	06	飲むやうになり随つて身体も健康になり	品行　もよくなるに違ひ無い．私も昨年から此の会に
	品	142	08	ら今，小説の改良が必要だとてお前達は	品行　も直せ学問も急に上達せよと云ふ訳にも参らず
	品	115	10	．其れは外でも無い，人類といふものは	品行　をよくしなければ，ならないといふことで有り

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ひんこう）	品	115	13	るやうに，しなければならないけれども	品行 をよくしたいと思つても酒を飲むと，やゝもす
	品	115	14	も酒を飲むと，やゝもすれば酒の為めに	品行 を破る．酒の為めに品行を破るやうでは人類と
	品	115	14	れば酒の為めに品行を破る．酒の為めに	品行 を破るやうでは人類といふものの甲斐はあるま
	品	115	15	人類といふものの甲斐はあるまい．さて	品行 を惜むといふ欲は人類ばかりに有るものだから
	品	115	17	の惜いといふことで第二の欲は今言つた	品行 を善くしようと，いふ欲で有りますが，ドウゾ
	品	116	09	したと思ふことも無く，また酒の為めに	品行 を乱したといふ覚えも無い．されども二三年前
ひんじゃく	貧	076	05	かといふに利を興す為めで御坐んせうが	貧弱 なる国の富強になる様に，富強になつたものは
	貧	076	05	の富強になる様に，富強になつたものは	貧弱 にならぬ様にといふ様にすることを講究するこ
ひんせき	擯	040	16	から見れば善人とも云ふべき者は却りて	擯斥 される風習になり盗賊を働いたり子供を殺した
	擯	143	13	ぶのでは有りません，斯様なものは之を	擯斥 する積りで有ります．たとへば米八丹治郎の本
びんぜん	憫	186	02	度や土耳其の婦人の事などを聞けば実に	憫然 に堪へぬことどもが多く御坐ります．幸に我が
	憫	064	10	臓病等に罹りワカジニするとは真にハヤ	憫然 の至りでありませう．併し斯の如く有害なるに
ひんびょうにん	貧	258	03	又は親族の無き者で有ります．第二種は	貧病人 にして親族の救助し能はざる者，又は救助せ
	貧	257	11	ば資本の前貸しで有ります．之と同じく	貧病人 を救助するのも一時の資本前貸しで有ります
	貧	257	04	は全部を欠く者（即ち壮健なる貧民），	貧病人 ，及び家庭教育の足らざるが為めに心の人な
ひんぷ	貧	182	07	ち此の教を主張する者で一夫多妻は貴賤	貧富 の差別なく誰でも彼でも平等に之を厳禁いたし
びんぼう	貧	062	01	中を往来するに人力車に乗らざるときは	貧乏 視せらるゝとか或は軽蔑せらるゝとか思ふ所の
	貧	169	16	持ちたちで亜米利加に行く者の方は大抵	貧乏 書生やハタラキテの類で自ら思ひ立つて艱難し
	貧	121	16	れは婦人の為めに賊を働いたのだこれは	貧乏 の為めに人の物を盗んだのだと云ふことを調べ
ひんみん	貧	256	03	はヨホド綿密なるもので有りまするから	貧民 救助のことを簡略に述べませう．貧民の救助と
	貧	257	14	を有するものでありまする．斯くの如く	貧民 救助の中にも単に救助に止まるものも有り，又
	貧	257	16	性質を有するものも有りまする．よつて	貧民 救助の目的は次に述ぶる如くに定むべきものと
	貧	259	08	ればなりませぬ．私の考へまする所では	貧民 救助の方法は次の如く定めたら宜しからうと信
	貧	261	02	の外，他人に知らしめざること．これは	貧民 救助の点，即ち慈恵の点に於て誠に必要の点で
	貧	277	09	べきものにあらず犯罪人と貧民との関係	貧民 救助の目的貧民救助の方法欧米の監獄の事欧米
	貧	277	10	ず犯罪人と貧民との関係貧民救助の目的	貧民 救助の方法欧米の監獄の事欧米の監獄の方法欧
	貧	261	10	し，将来の犯罪人となる恐れなき天然の	貧民 即ち盲人，聾，唖，癈疾，不具者の如きは訓盲
	貧	257	02	か有りませぬ．其の第一の種類は天然の	貧民 で有りまして，例へば盲人，聾，唖，癈疾，不
	貧	257	03	疾，不具者，等で第二の種類は社会上の	貧民 で有りまして，例へば衣食住の一部，又は全部
	貧	256	02	とを知らなければなりませぬ．犯罪人と	貧民 との関係はヨホド綿密なるもので有りまするか
	貧	277	08	決して賤しむべきものにあらず犯罪人と	貧民 との関係貧民救助の目的貧民救助の方法欧米の
	貧	257	06	ち不良少年）で有ります．而して天然の	貧民 に属する盲人，聾，唖，癈疾，不具者は祖先父
	貧	258	06	の種類が有りまして，第一種は壮健なる	貧民 にして親族の救助し能はざる者，又は救助せざ
	貧	256	04	ら貧民救助のことを簡略に述べませう．	貧民 の救助と申しまするものは慈恵に係るもので有
	貧	256	13	儲蓄法を以て行なつて居りまする．さて	貧民 の救助の結果は何かと云へば，ただ二つに止ま
	貧	256	14	，ただ二つに止まりまして第一の結果は	貧民 の救助即ち慈恵で有りまして第二の結果は犯罪
	貧	257	01	減少すると云ふことになりまする．さて	貧民 の種類は何かと申しまするとこれ亦，二種類
	貧	258	01	に定むべきものと考へられます．第一，	貧民 の救助．これに二つの種類が有りまして第一種
	貧	258	05	，又は親族なき者で有りまする．第二，	貧民 の救助，兼犯罪人の予防．此の両性質には別に
	貧	259	02	やるべきもので有りまする．斯くの如く	貧民 の救助は慈恵と云ふのが一つで，また慈恵と犯
	貧	259	05	やるべきもので有りまする．斯くの如く	貧民 の救助は犯罪人の予防減少に大関係をもつて居
	貧	261	10	と致し，将来の犯罪人となるの恐れ有る	貧民 は養育院の如きものの管轄と致し，将来の犯罪
	貧	256	15	二の結果は犯罪人を予防すること，即ち	貧民 を其の儘に打ち捨て置くときには窮するの余り
	貧	256	16	犯罪人を生ずることになりまするから，	貧民 を救助すれば犯罪人を減少すると云ふことにな
	貧	257	11	資本前貸しで有ります．而して壮健なる	貧民 を救助し及び不良少年を矯正（即ち心の救助を
	貧	259	12	の養育院に於ては東京府内に起るだけの	貧民 を救助すると云ふ如きことであります．第三，
	貧	261	12	も充分ならざる子供の部分に属しまする	貧民 ，例へば棄児或ひは孤児の如きは棄児院，又は
	貧	257	04	一部，又は全部を欠く者（即ち壮健なる	貧民 ），貧病人，及び家庭教育の足らざるが為めに
ひんもく	品	217	14	ふに仏経に提婆品だの普門品だのと云ふ	品目 を立てたのに拠つたもので有りませう．其れは
びんらん	紊	139	04	分，道徳を破壊してしまふことも風俗を	紊乱 することも出来る．之を害用するときは甚だ深
ふ	不	131	12	む者は世の中の色々の激しき論の為めに	不 安心なることは滅多に御坐りませぬ．第五．また
	不	001	07	とのこと．私は一向仮名のことに付ては	不 案内で私よりも既に委しく説の有る方がおらつし
	不	087	04	くことは容易に致しませぬ．併しながら	不 案内の御方が疑ひを起して「イヽエ基督教はさほ
	不	213	06	を立てゝ議論をするなどと云ふことは大	不 得手の方で古い事を穿鑿するのが持ち前イヤ病ひ
	不	106	06	海事裁判所に於て船長又は其の他海員に	不 応為の所為があると思料する場合に於ては一応其
	不	049	03	猶ほあとの演説も有ることであれば甚だ	不 完全ながら今日はこれにて了ることで御坐らう．
	不	079	16	所より優れたる所へ賤き所より貴い所へ	不 完全なる所より完全なる所へ進み行くことでツマ
	不	085	10	優れた所へ進み賤い所より貴い所へ進み	不 完全なる所より完全なる所へ進み畢竟文明開化の
	不	088	06	うと思ひます人は己れの不充分なること	不 完全なること劣つたることを能く承知して居なけ
	不	088	11	ます．たとへば亜米利加の土人は自分の	不 完全なることを知らで森林の中で弓を射て世渡り
	不	089	01	ぬ．併しながら人の本当の有様，人々の	不 完全なることを教ゆるには基督教に若くは御坐り
	不	089	03	人の真の有様を示しまた人の種々の不足	不 完全を明らかに教ゆる宗教で御坐ります．人若し
	不	263	05	位なもので有りまする．此の方法は最も	不 完全なるもので有りまする．第四は階級法と申し

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ふ）	不	120	13	所の金高は大層なことで有るから今度の	不 景気なども其の一原因となつたことであらうと思
	不	088	06	々の進歩を致さうと思ひます人は己れの	不 充分なること不完全なること劣つたることを能く
	不	252	16	には教育を与へ教誨を施し，これにても	不 充分なるがゆゑ，また懲戒を与へると云ふ此の三
	不	125	17	諾することが出来ぬと．これ等の色々の	不 承知を言ふお方の中に，よく熟したる学者も御坐
	不	126	05	る．けれども基督教に就て己れの色々の	不 承知を言ふものが随分世間に多う御坐りますれば
	不	135	01	ります．併しながら，こゝにまた一つの	不 承知を言ふお方が御坐ります．この不承知を言ふ
	不	135	01	の不承知を言ふお方が御坐ります．この	不 承知を言ふお方は神学卒業生で御坐るかも知れま
	不	219	07	書かせ，また娘が文を受け取つても親が	不 承知なら，よさせると云ふやうなことが有る．其
	不	046	17	対して勝手次第のことをしたり忌憚なく	不 条理のことを為したり其れのみならず同じ開けた
	不	098	12	化したのは何の為めである即ち外国人が	不 注意の為めである否な故意に出でたのであるとあ
	不	051	05	て講釈を致したことは御坐りますが甚だ	不 調法で御坐ります．先づ仮名文字は便利でありモ
	不	052	10	秦の始皇に出かけられたと思ふと大層な	不 都合が出て来て当分は手紙を「一筆啓上」と書く
	不	053	07	して，いろいろ今秦の始皇にやられては	不 都合が有ると思はれます．私は漸進家で気の短い
	不	144	05	旨意に適つたものは無いでは無いが随分	不 都合なものが流行して居る．今日の小説家は皆な
	不	184	01	ト無理な教では御坐りませんか．ナント	不 都合なことでは御坐りませんか．此のごとき風が
	不	224	09	りました．其れゆゑ維新以来は官からも	不 都合のことは禁ぜられ，また世上にも色々と風評
	不	240	14	の如きことでも中には他人に漏らしても	不 都合は無いと云ふことも有ります．例へば人のこ
	不	241	09	しまするから，これ等は述るに於て聊か	不 都合は無い．また成るべく世間に知らしむるに於
	不	259	14	ては惰民を製造する訳になりまして甚だ	不 都合で有ります．よつて例へば東京の養育院なら
	不	179	14	易くし圧制らるゝ者は之を放ち凡て世の	不 釣合不平均を取り除き人に自由幸福を与へる者で
	不	186	04	男尊女卑の風は免れません．而して此の	不 釣合を直すのも亦キリスト教で御坐ります．何と
	不	135	03	至つて狭いものにはなりはせぬかといふ	不 同意で御坐ります．之に答へますには若し世界が
	不	082	10	賑かになつても若し道徳のことが乱れて	不 道徳盛んならば本当な進歩がキット出来ませぬ．
	不	099	01	二十五名の人の不幸を悲しみ又外国人の	不 道徳なるを怒つて其の罪を鳴らしたからとても其
	不	102	13	も無理はない．ノルマントン号の船長が	不 取扱なしたのは固より無理のないことであります
	不	141	06	れども一概に申せば作者に学問が無いと	不 品行とに因り且卓見が無いのと小説の本意と言ふ
	不	070	11	く僅で御坐いまして斯の如き需要供給の	不 平均で御坐いますから失敬では御坐いますが今日
	不	071	07	律学士の供給は既に需要に溢れて居る，	不 平均である」と云ふ如き盛時に遭遇するの栄を得
	不	172	11	．たゞ北亜米利加人が我が金銀貨の価の	不 平均なのに乗じて大いなる利益を攫み去つたこと
	不	179	14	圧制らるゝ者は之を放ち凡て世の不釣合	不 平均を取り除き人に自由幸福を与へる者で御坐り
	不	060	11	ず，たゞ権利とか自由とか聞きかぢりの	不 理屈を唱ひ父兄の言ふことをも用ひずして酒を呑
ふ	夫	063	13	国民衛生上頗る有害なることで又人力車	夫 自身の健康上に至つては更に一層の危害あるもの
	夫	064	06	は当然のことでありませう．現に人力車	夫 に頓死者の多きは諸君も既に御承知のことでせう
	夫	063	14	あるものです．諸君御覧なされ，人力車	夫 の業たるや農工商等の如く時を定めて営業するこ
	夫	007	16	れがよいことと思ふなら参議から人力車	夫 までやるがよい．若し茶道や名筆では外国と競争
ふ	婦	185	02	を娶る者は姦淫を行ふ者で其の出された	婦 を娶る者も亦，姦淫を行ふ者である」と仰せられ
ふ	府	151	05	ありませうが行政上できめては官は行政	府 で其れは全国一般の利益に関することで上は天皇
	府	190	02	執行するといふものである．第二は行政	府 である．これも法律規則の執行を為すので，行政
	府	190	05	ら行政上の法律規則を執行するのが行政	府 である．第三には裁判権であります．裁判権の性
	府	190	03	これも法律規則の執行を為すので，行政	府 と政府の区別を一と口に云ふと政府は憲法の範囲
	府	228	11	十一県と北海道庁とになりました．この	府 と云ふことと県と云ふこととに付て申しますと，
	府	228	11	とと県と云ふこととに付て申しますと，	府 と云ふのは大いなる市街のある所を云ひ，また県
	府	228	12	のある所を云ひ，また県と云ふのは別に	府 と違つた所は無いが，たゞ大いなる市街が無い所
	府	272	14	，留置場，監倉，懲治場，已決監は東京	府 に於ては警視総監，其の他の府県に於ては府県知
	府	193	07	行政のことも天子がなされるですが行政	府 のことは今日の講談の目的でありませぬから後に
	府	190	04	は憲法の範囲内で仕事をするもの，行政	府 は政府できめたことを実際に行ふ即ち政を行ふと
	府	228	10	とが行はれ段々と一定しまして今では三	府 四十一県と北海道庁とになりました．この府と云
	府	230	06	つの海軍区に分ち各海軍区に一つの鎮守	府 を置いてあります．其の外，裁判区山林区，学区
ぶ	武	059	12	来如何なるものが舶来したかと云ふに文	武 工商農等の必要なる学芸の輸入せしは勿論なれど
ぶ	部	146	02	随分利益も有る．また能く売れます．千	部 売れゝば大いなることは無けれども資本の取りか
	部	226	15	とを講究することに致します．先づ第一	部 から申し上げて見ませう．即ち行政官権及び行政
	部	227	02	ればならぬ次第になります．よつて第一	部 では両方一所に申し上げませう．先づ第一に行政
	部	269	02	四箇所ありまして其の中，六箇所が女子	部 で，アトの十八箇所が男子部で有りまする．此の
	部	269	02	箇所が女子部で，アトの十八箇所が男子	部 で有りまする．此の所には一万五千七百〇六人の
	部	002	05	ないが私のはいつたのは仮名の会の月の	部 といふので其れが「かなのとも」であつたか，い
	部	253	07	治者の部，不論罪懲治者の部，幼年囚の	部 と致して之に教育，教誨，懲戒の三事を施します
	部	263	15	実行せる監獄事業の分ち方はこれまた四	部 となります．其の第一は犯罪予防部と申しまして
	部	263	16	た四部となります．其の第一は犯罪予防	部 と申しまして，此の部に於ては不良の少年を教育
	部	264	06	になつて居りまする．第二は懲必＊感化	部 と申しまして，此の部に於ては幼年犯罪者を除い
	部	264	08	の監獄で有りまする．第三は未決者監禁	部 と申しまして，此の部に於ては未決者を一時監禁
	部	264	10	おくので有りまする．第四は出獄人授業	部 と申しまして，此の部に於ては罪人の放免となり
	部	269	07	ありました．此の数を合せますと男子の	部 と女子の部とで六十九箇所ありまして，其の生徒
	部	269	07	．此の数を合せますと男子の部と女子の	部 とで六十九箇所ありまして，其の生徒の数が八千

代表形	判	ページ	行			
（ぶ）	部	002	09	部や花の部は人数が少ない，そこで月の	部	にはいつたまでのこと，仮名遣ひなどはドウでも
	部	148	05	で土地ばかりでも右の通りですが人員の	部	に付ても人員調査のことなどはスタチスチックの
	部	190	17	いふ区別です．この行政裁判は行政法の	部	にはいりますから地方行政を終りましたときに申
	部	226	10	つて此のことを講究しまするには先づ二	部	に分ちまして第一部は行政，第二部は行政裁判と
	部	226	12	裁判と云ふ順序に致しませう．先づ第一	部	に於ては行政官権並びに行政議会の組織及び職権
	部	226	13	云ふこととを講究することに致し，第二	部	に於ては行政裁判所の組織と権限とを講究するこ
	部	241	09	ことは世間公衆の知る所にして公有物の	部	に属しまするから，これ等は述るに於て聊か不都
	部	263	16	の第一は犯罪予防部と申しまして，此の	部	に於ては不良の少年を教育感化し，また無籍の幼
	部	264	01	化いたしまするところで有ります．此の	部	に於ては重もに家族法と称する方法を用ひます．
	部	264	06	第二は懲必＊感化部と申しまして，此の	部	に於ては幼年犯罪者を除いて其の他の総ての犯罪
	部	264	08	第三は未決者監禁部と申しまして，此の	部	に於ては未決者を一時監禁しておくので有ります
	部	264	10	第四は出獄人授業部と申しまして，此の	部	に於ては罪人の放免となりました者を保護して正
	部	272	10	通常の監獄も皆な北海道庁監獄署と云ふ	部	に這入つてしまへましたから名前の上では島地監
	部	266	02	りませう．此の表の中で第一の犯罪予防	部	の事業は二つの場所にて之を執行いたしまする．
	部	266	10	ことで有りまする．」第二の懲必＊感化	部	の事業は俗に監獄と申しまする所，即ち地方監獄
	部	266	17	許すことで有ります．第三の未決者監禁	部	の事業は警察署の留置場，及び各地方の未決監則
	部	267	07	いふやうなことになりまする．故に此の	部	の事業は必ず分房法を用ひなければなりませぬ．
	部	267	08	なければなりませぬ．第四の出獄人授業	部	の事業は慈恵上より成り立つところの放免者保護
	部	267	10	すことに尽力するので有りまする．此の	部	の事業は最も大切なることで有りまして若し此の
	部	267	11	最も大切なることで有りまして若し此の	部	の仕事が行き届きませぬと常に何千何万と云ふ将
	部	002	08	て左祖したといふ訳でも無い．たゞ月の	部	は人数が多い，雪の部や花の部は人数が少ない，
	部	002	08	たゞ月の部は人数が多い，雪の部や花の	部	は人数が少ない，そこで月の部にはいつたまでの
	部	226	11	しまするには先づ二部に分ちまして第一	部	は行政，第二部は行政裁判と云ふ順序に致しませ
	部	226	11	づ二部に分ちまして第一部は行政，第二	部	は行政裁判と云ふ順序に致しませう．先づ第一部
	部	269	04	ありました．矯正院即ち感化院は男子の	部	は公立のもの十一箇所，私立のもの三十四箇所，
	部	269	06	は六千七百七十七人ありました．女子の	部	は公立のもの二箇所，私立のもの二十二箇所，合
	部	002	06	であつたか知らない．そんならナゼ月の	部	へはいつたといふに私は別にこれぞといふ考へも
	部	002	08	も無い．たゞ月の部は人数が多い，雪の	部	や花の部は人数が少ない，そこで月の部にはいつ
	部	188	06	した．就ては今日よりは全国行政といふ	部	を申し上げる順序で御坐いますが主権に関係しま
	部	278	06	序ではありまするが現在のことは学術の	部	を外れて行政の実際に関係いたしまするから此の
	部	253	06	仕切りを三つに分けまして出願懲治者の	部	，不論罪懲治者の部，幼年囚の部と致して之に教
	部	253	07	まして出願懲治者の部，不論罪懲治者の	部	，幼年囚の部と致して之に教育，教誨，懲戒の三
ぶ	分	254	08	ましたる放免者と名づける者は十分の九	分	九厘は将来の犯罪人と云ふ虞れが有りまするから
	分	172	15	責められるがコッチにもあるから先づ五	分	五分と見てよからう．前に申した箇条箇条がタシ
	分	022	14	四丁と五十五間先づザット六丁の処に五	分	三厘に足りない玉が有るのが火星の雛形で有りま
	分	016	07	形にすると其の玉から三尺離して直径二	分	七厘の玉をおきましたのが月の雛形になります．
	分	022	09	ち水星は距離が一丁と十五間で直径が三	分	七厘少し余で有ります，即ち三分七厘余の玉を一
	分	022	09	径が三分七厘少し余で有ります，即ち三	分	七厘余の玉を一丁十五間の所に置いたのが水星の
	分	269	11	で其の数五千三百七十四人，即ち六割四	分	で有りまする．また年令を以て割合を申しまする
	分	269	13	歳より十二歳までは五百九十人，即ち七	分	で，十二歳より十六歳までは四千二百八十三人，
	分	172	15	られるがコッチにもあるから先づ五分五	分	と見てよからう．前に申した箇条箇条がタシカで
	分	269	12	しまするど十歳以下は百八十七人即ち二	分	二厘で，十歳より十二歳までは五百九十人，即ち
	分	023	06	す．其の次ぎが天王星，これは三寸八九	分	の玉で距離は一里二十六丁の処にあり，海王星は
	分	023	07	里二十六丁の処にあり，海王星は三寸八	分	の球で太陽を距ること二里二十五丁幾ど三里で有
	分	269	15	歳までの者は千〇三十四人，即ち一割一	分	八厘で有りまする．して見まするど十二歳より十
	分	270	05	四千四百七十二人ありまして丁度五割三	分	ほどに当りまする．また読むことだけを知つて居
	分	270	07	が千三百四十三人ありまして丁度一割六	分	ほどに当りまする．また読むことと書くことを知
	分	270	08	が千七百七十八人ありまして丁度二割一	分	ほどに当りまする．また読むことと書くことと算
	分	023	05	一丁の所で木星より小さい，幾ど九寸三	分	程で有ります．其の次ぎが天王星，これは三寸八
	分	270	09	する者が七百八十七人ありまして丁度九	分	六厘ばかりに当りまする．また小学の教育を受け
	分	269	13	歳までは四千二百八十三人，即ち五割一	分	，十六歳より十八歳までは二千三百二十人，即ち
	分	269	14	八歳までは二千三百二十人，即ち二割八	分	，十八歳以上丁年即ち二十一歳までの者は千〇三
ふあい	フ	209	12	いことで有ります．私は先年フランスの		Ｆａｙｅ　の彗星の説を訳して東洋学芸雑誌に出して
ふあうんでしよん	フ	057	09	を英語で云へばＨｅａｌｔｈｉｓｔｈｅ		ｆｏｕｎｄａｔｉｏｎ　ｏｆａｌｌｈａｐｐｉｎｅｓ
ふい	不	084	09	御坐りませぬ．たとへば或る時欧羅巴で	不意	に商法が盛んになつた頃が御坐りました．これ
	不	128	07	史を調ぶれば暫くの間，盛んにはやりて	不意	に消えてしまつた所の論は随分多う御坐ります
	不	128	13	者たちの判断を待ちまする間に基督教が	不意	に衰へてしまふ気遣ひは決して御坐りませぬ．
	不	128	16	，新らしい論を求めて風見の如くに今，	不意	に吹き出した所の風に従つてゆくものは決して
	不	129	02	けれども君子なる政治家と学者と教師は	不意	に起つて来る所の色々の新しき論によつて容易
	不	130	11	千年ぢかく生存したる基督教は迚も近来	不意	に起つた所の新しき論または設理，或は一人か
	不	133	16	．けれども去年かの者が基督教を聞いて	不意	に信仰を起したものになりました．が其れから
ふう	風	181	16	何であるかとなれば一夫多婦或は蓄妾の	風	が即ち其の根本で御坐ります．ナゼなれば若し一
	風	184	01	なことでは御坐りませんか．此のごとき	風	が行はれて居る中は決して婦人が正当の地位を占

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ふう）	風	185	09	ばなりません．斯様に軽々しく妻を出す	風	が行はれて居る中は婦人が正当の地位を占め真正
	風	185	16	た結果として昔より男を尊び女を卑しむ	風	が御坐りますがキリスト教は之に反して神の前に
	風	214	13	ませんだつた．然る所，近年追々と西洋	風	が流行つて来て留学生や又は洋行の人などが帰朝
	風	061	01	の門を見られたならば必ず古代未開時の	風	たるを覚らるゝでありませう．又緋縅の鎧や天保
	風	182	10	実際一夫一婦は即ち古より我が日本国の	風	で妾を持つ者は真の万人に一人か，千人に一人に
	風	148	14	人以上とか壱万人以上とかを市街といふ	風	にしたいが人員調査の方で，それが調ばつて居な
	風	153	02	きまつて居れば行政法の方ではドウいふ	風	に其の即位式を行ふといふことを，きめる．また
	風	169	06	つた．其れからして自由心が，さういふ	風	に方向を取つたに違ひない．そこにまた疑ふとい
	風	221	04	碩，自笑などと云ふ作者が有つて西鶴の	風	により，ますます俗耳を喜ばせるを手柄とし専ら
	風	222	10	は舞と，能の狂言とが転変してアー云ふ	風	になりましたと先づ大要を申して次に其の濫觴を
	風	074	09	別に顕はれるもので御坐んす．さういふ	風	の金の使ひ方を原語でＰｏｓｉｔｉｖｅＶａｌｕ
	風	182	15	りませんか．シテ見れば今の一夫一婦の	風	はこれが真理だから守るといふ訳ではなく実は止
	風	186	04	程のことはありませんが矢張男尊女卑の	風	は免れません．而して此の不釣合を直すのも亦キ
	風	219	14	さへ，さうで有つたから，まして下等の	風	は思ひやられます．しかし箇様な風俗は当時，漢
	風	255	01	ると家へ帰つて門前で塩をかけると云ふ	風	も有りまするが其の原因は昔の牢番人が悪かつた
	風	224	12	の弊を矯正しやうと云ふので，強ち西洋	風	を移されると云ふばかりでは御坐いますまい．右
ぷー	プ	101	17	の勇気も無い．即ちチョイとツッツクと	プー	と怒る．怒ることは怒るが長く耐へられない．
ふううう	風	003	01	外物理上化学上の智識をこちらへ得れば	風雨	を凌ぐことも出来れば暑さ寒さを防ぐことも出
	風	063	15	こと少なくして炎暑厳寒を厭はず疾駆し	風雨	を論ぜず奔走し昼は炎天にさらし夜は湿気に触
ぷーう゛ぉあーる	プ	188	10	が無ければならぬ．其れをフランスでは	プーヴォアール	と言ひイギリスではパウァーと言ひ
ふうき	富	170	06	でありますまい．欧羅巴へ行く者の方は	富貴	の財で行き亜米利加へ行く者の方は人に頼つた
	富	170	08	無く全く自発して行くのでありませう，	富貴	の働きの方には限りがありませうが人民の自発
ふうし	夫	246	03	ふやうな考へが有りました．然れども孔	夫子	の言はれたる如く，人には多く過ちの有るもの
ふうし	諷	138	14	に連れて其のキゝメも多い．また社会を	諷刺	する小説の如きも大いに効能が御坐ります．ま
ふうじ	封	162	01	見えて殷を亡ぼして後，弟の康叔を衛に	封じ	たときに酒誥といふものを作つて康叔を戒めた
ふうしゅう	風	041	11	然ぢゃが進化せぬうちには，たゞ一つの	風習	と云ふもので有りたに違ひ無い．英国の開化史
	風	040	16	善人とも云ふべき者は却りて擯斥される	風習	になり盗賊を働いたり子供を殺したり夫婦の配
	風	041	01	其の時には善い事にもなりたので其れが	風習	になり道徳の様になりて来たものと見える．前
	風	041	09	別にきまりては居らず，たゞ其の社会の	風習	により為めになることなら賞せられて善いこと
	風	039	05	ことが出来ぬからぢゃ．又生れ子を殺す	風習	の有る社会が有るが其の中にも女子を殺すのが
	風	186	02	教の行はれぬ国では何処でも男尊女卑の	風習	の行はれぬ所は御坐りません．印度や土耳其の
	風	041	02	りて来たものと見える．前に申したのは	風習	を比較する近頃の学者の考へであるが其れで見
	風	041	04	でも文明を以て鳴る国でも一度は彼様な	風習	を通りて来たに違ひ無い．其の時，孔子や耶蘇
ふうせつ	風	210	04	ふことで有ります．日本では幸にソンナ	風説	は行はれません．さう云ふ説の日本に行はれな
ふうぞく	風	129	11	のには基が無し道徳は全く各国の慣習と	風俗	に係るものなりと言はれた，これから我が道徳
	風	224	10	盗や情死の仕組は止みませぬ．これ等は	風俗	にも関係することで有りますが此の頃，貴顕の
	風	219	02	れは源氏物語の頃（一条天皇の時代）の	風俗	のことで其の頃は今の如き媒妁人と云ふものは
	風	219	12	マリ論が落着しました．して見ると昔の	風俗	は自由結婚に近かつたものと見えます．此の時
	風	219	14	等の風は思ひやられます．しかし箇様な	風俗	は当時，漢文で書いたものだけでは迚も今日ま
	風	139	04	すと随分，道徳を破壊してしまふことも	風俗	を紊乱することも出来る．之を害用するときは
	風	145	09	なら遂に社会の道徳を助ける様にもなり	風俗	を直し政治を改良する様にもならうと思ひます
	風	146	06	高尚なるものが果して出来たなら間接に	風俗	を改良することも出来，道徳の腐敗を防ぎ社会
	風	177	07	ふ所は何の国を好み何の政体を貴び何の	風俗	を喜び職業は何々に巧みで何々に拙いなどとい
	風	213	16	初めには小説と云ふものは人の心を乱り	風俗	を害するなどと云ふ説も有りました．其れから
	風	219	15	説が有つたればこそ千年の後までも其の	風俗	を知ることが出来て歴史編纂などの大いなる資
	風	221	01	ものと見えます．しかし其の時代の人情	風俗	を知るにはよいもので後に馬琴などが趣向を古
ふうちょう	風	215	06	ならぢき，さびれてしまひませう．世の	風潮	の満ち干と云ふものは実に面白いもので御坐い
ふうひょう	風	224	09	のことは禁ぜられ，また世上にも色々と	風評	が有つて俳優や作者も気が付て来ましたが，ま
ふうふ	夫	044	12	は行はれぬことぢゃ．前に云ふ君臣父子	夫婦	でも君と父と夫との権は強く臣と子と妻の権は
	夫	041	16	る．諸君も知らるゝ通り支那の君臣父子	夫婦	と云ふことなどは西洋のとは甚だしく違ふて居
	夫	184	17	神は人を男女に御造りなされた故に人が	夫婦	になれば最早二つでは無く一体である．神が合
	夫	185	03	で御坐ります．キリスト教に於ては一旦	夫婦	になつたからには姦淫の外には，たとひ如何や
	夫	040	04	ゃと云ふことが分るであらう．又大古は	夫婦	の配偶と云ふものは全く無くて，たゞ禽獣同様
	夫	040	05	同居してゆくだけで有りたが少し開けて	夫婦	の配偶が出来る様になりても今現に多くの兄弟
	夫	040	17	習になり盗賊を働いたり子供を殺したり	夫婦	の配偶をせなんだり老人や親などを殺すのさへ
	夫	042	03	なれども西洋では其の様なことは無い，	夫婦	の間でも男女同権と云ふ説が出て来るが如きは
	夫	122	10	中風だのと云ふ病を起したり発狂したり	夫婦	の間に不和を生じたり家の乱れを醸したりする
	夫	182	02	会を見ることは出来ません．ナゼなれば	夫婦	の関係は人間道徳の基礎で若し夫婦の間柄が宜
	夫	182	02	れば夫婦の関係は人間道徳の基礎で若し	夫婦	の間柄が宜しきに適はなければ親子の間柄も宜
ふうぶん	風	172	08	に第一の同意者となつたと，いふことは	風聞	ですから，よくは存じませぬ．また北亜米利加
	風	219	05	云ひより，また女の方でも男の文の体や	風聞	によつて，ゆかしくも，きらはしくも思ひ，ま
ふうれつ	風	158	09	が，あの雷のことに付ては論語に「迅雷	風烈	には必ず変ず」とあるから孔子様も雷の鳴ると
ふえ	殖	116	16	虚言をつかないやうにといふことが一つ	殖え	て来るからのことぢゃ．抑々約束を破らぬとい

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（ふえ）	殖	117	03	酒会といふものが出来て一つの高い欲が	殖え	て来た訳だから自分一人で節して居る時よりも
	殖	117	07	てお互ひに約束した上に，この貴い欲が	殖え	て来てからは其れが為めに自然と低い飲食の欲
	殖	122	03	いと思はれます．其の外に売淫女などが	殖え	ます．これは外のことからも殖えるで有りませ
	殖	122	05	も恐るべき黴毒が殖え，また私生の子が	殖え	ます．私生の子はフランスではスタチスチック
	殖	121	04	と云ふことが分れば自然と節酒する人も	殖え	ませうし随つて西洋人の言ふ人間の品位と云ふ
	殖	175	06	が今申した通りであれば後々とても人が	殖え	ませう．若し人が減つて来たらモウ望みは無い
	殖	122	05	う．また其の為めに最も恐るべき黴毒が	殖え	，また私生の子が殖えます．私生の子はフラン
ふえる	殖	122	02	ことでは有りますが酒の為めに犯罪人の	殖える	ことはドコでも少いことでは有るまいと思は
	殖	122	03	からも殖えるで有りませうが酒の為めに	殖える	ことが有るのはチョイと考へると其の関係が
	殖	122	03	などが殖えます．これは外のことからも	殖える	で有りませうが酒の為めに殖えることが有る
	殖	174	04	千二百十七人で大約毎年三十六万人づゝ	殖える	としますと百六年たらずで其の二倍即ち七千
	殖	270	15	．俗に智識がひろまるほど不良の奸智も	殖る	と申す者が有りまするけれども，これは皮想の
	殖	051	13	といふ様に日又一日に仮名文字の用ひが	殖る	様の実があがりませぬでは名簿ばかりでは盛大
	殖	121	12	なる」「病死することが増す」「自殺が	殖える	」また「罪を犯す者が多くなる」などと云ふ
ふえん	敷	242	07	，また一方から申せば右心得方を充分に	敷衍	するに於ても利益が有らうと考へられますから
ぶおう	武	162	01	した元祖は殷の紂王だらうと思はれる．	武王	はふかく其れに感じたものと見えて殷を亡ぼし
ふか	府	122	01	犯した者が随分に多い．尤もこれは東京	府下	だけのことでは有りますが酒の為めに犯罪人の
ふかい	深	139	04	ことも出来る．之を害用するときは甚だ	深い	害が出て参ります．其れ故今日の小説中に之は
	深	014	08	が余程はつきり見えまして全く高い山や	深い	谷などで有ります．山だの川だの谷だの岡だの
	深	035	01	業を仕遂げた人は何れも酒を慎んで欲の	深い	人で今日の行ひをよく省みて智慧を研き身体を
	深	035	01	智慧を研き身体を丈夫にし財を惜む欲の	深い	人だと思はれます．小欲の人は酒を飲むことを
ふかき	深	166	03	つて其の学派学派の道理はいづれも奥の	深き	ことにて，この様なるアサハカな話しでは分り
	深	103	09	が出るのでありませう．皆な宗教信仰の	深き	故であります．また弘法大師の如き日蓮上人の
ふかく	ふ	162	01	祖は殷の紂王だらうと思はれる．武王は	ふかく	其れに感じたものと見えて殷を亡ぼして後，
ふかく	深	086	06	其の基本は何で御坐りますか，人の心を	深く	動かして人間社会を改める所の盛んな勢力は何
	深	130	14	感心なものあり．我れ此の二つのものを	深く	思へば思ふほど我れ之に感服しまた之を尊敬す
	深	054	11	の外，天文，地理，本草，地質もつと欲	深く	鉱物の学問，機械の学問，蒸気の学問，電信の
	深	103	13	日蓮記を読んで見ても昔しの人が物事を	深く	信じて疑はざるところは明治今日の我々が及ぶ
	深	100	16	じ．即ち我々が斯く軽蔑されたる原因を	深く	たづね遠く慮り遂に軽蔑されぬ様な計画をめぐ
	深	120	16	すが日本では此の事に就ては今まで誰も	深く	注意して論じた者は無くたゞ「随分飲んでもい
	深	139	02	自然と感ずるものなれば其の感も強く且	深く	て誠に宜しきもので御坐ります．併しながら此
	深	215	12	は西洋の小説は勿論，支那の小説とても	深く	は読みませぬ故にたゞ持ち前の我が国のことば
ぶがく	舞	222	12	来朝の後，三韓とモロコシから伝はつた	舞楽	が追々盛になつて上古から伝はつたのは衰へま
ふかや	深	057	12	下は最も衛生が盛んにして浦和川越熊谷	深谷	行田到る所衛生会の声を聞くのみならず今日の
ふき	吹	195	13	ません．「ドウも凄い彗星だ，大風でも	吹き	はすまいか，又は地震が有りはすまいか，戦争
	吹	196	13	りはしないか，日がひつこんだから風が	吹き	はしないか，宵の明星が出たによつて饑饉でも
ふきあげ	吹	217	13	が能く分りませぬ．物語に俊蔭の巻とか	吹上	の巻とか云ふ標目の見えたのは此の書が始めで
ふきたおさ	吹	168	12	ふとか何とかイヤモウ大変で何も，かも	吹き倒さ	んずる有様でありました．西洋でも千百年
ふきだし	吹	128	16	しい論を求めて風見の如くに今，不意に	吹き出し	た所の風に従つてゆくものは決して基督教
ふきゅう	普	270	14	まい．然れば犯罪人を減少するは教育の	普及	を図ることが第一の仕事でありまする．俗に智
ふきょう	富	076	05	を興す為めで御坐んせうが貧弱なる国の	富強	になる様に，富強になつたものは貧弱にならぬ
	富	076	05	んせうが貧弱なる国の富強になる様に，	富強	になつたものは貧弱にならぬ様にといふ様にす
ふきよせ	吹	110	05	いで来たのかといふに，たゞ風の為めに	吹き寄せ	られて来たのだといふ．然らば船長其の他
ふく	副	242	03	ますまい．曾て旅行中，新潟監獄に於て	副	典獄，福島武司氏より私に向つて司獄官吏の心得
	副	242	05	．因つて其の需に応じ八月二十日を以て	副	典獄，看守長，書記，看守，等凡そ四五十名の前
ふく	服	065	11	や丸髷島田の窮屈髷や長袖広帯のナマケ	服	など共に皆改むべきの最も急務なるものです．今
ふぐ	不	257	02	りまして，例へば盲人，聾，唖，癈疾，	不具	者，等で第二の種類は社会上の貧民で有りまし
	不	257	06	然の貧民に属する盲人，聾，唖，癈疾，	不具	者は祖先父母等に於て之を養ふもので有ります
	不	258	01	りまして第一種は盲人，聾，唖，癈疾，	不具	者にして親族の救助し能はざる者，又は救助せ
	不	261	11	き天然の貧民即ち盲人，聾，唖，癈疾，	不具	者の如きは訓盲唖院，又は養育院の如きものの
ふくいん	福	179	10	此の預言者の語を引て「我は貧しき者に	福音	を宣べ伝へ心の傷める者を医し圧制らるゝ者を
ふくしま	福	239	04	十五日宇川盛三郎君講演私は本年六月，	福島	県，宮城県，岩手県，青森県，秋田県，山形県
	福	241	05	ぜられます．尤も私の巡閲したる途中で	福島	県の道路が善かつたとか，宮城県の旅宿の取扱
	福	242	03	．曾て旅行中，新潟監獄に於て副典獄，	福島	武司氏より私に向つて司獄官吏の心得を演説し
	福	163	16	の北条は酒を好み皆其の国を亡ぼした．	福島	正則などといふ人は勇気はすさまじいものだが
	福	239	05	に上野発の汽車にて東京を出立いたし，	福島	，宮城，岩手，青森に道を取り，其れより秋田
ふくしゅう	復	246	01	刑を以てする其の意味はカタキウチ即ち	復讐	と云ふ考へが沢山ありましたから彼れは斯くの
	復	276	06	だけの主義でありまする．また維新前は	復讐	と云ふ意味がありましたけれども，今日では却
	復	262	07	定まりました．故に今日の監獄は決して	復讐	の道具などと云ふものでは有りませぬ．全く罪
ふくちゅう	腹	035	03	ことは致しませぬ．西洋の諺にも「酒が	腹中	に入れば，智慧は徳利の中に入る」といふこと
ふくつ	不	103	08	信仰したればこそ固く信じて疑はず百折	不撓	の精神が出るのでありませう．皆な宗教信仰の
ふくとみ	福	220	12	重もで其の上へ説き明しを附けたもので	福富	の草紙と云つて善と悪のヂーサン，バーサンの
ふくま	含	080	06	つもので御坐ります故に人間社会の中に	含ま	れたる一個人たるものが皆んな銘々に能く進歩

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
ふくまつ	含	080	03	切な事実，面白い事柄また肝要な道理が	含まつ	て居ると存じまするゆゑ先づ其の重もなるも
ふくむ	含	080	08	油断をして滞るならば即ち箇様な人間を	含む	所の社会は必ず進歩せいで止まつて居る訳で御
	含	130	17	しで御坐ります．数へも出来ぬ日月星を	含む	所の大空が人の色々の新論，新説，新発明によ
ふくれ	ふ	013	03	球は立派な球では無い，ひつこんだ所と	ふくれ	た所が有ります．そこで直径を知つて居りま
ぶくろ	ぶ	062	12	り餅を付けたるが如く左右には長き贅沢	ぶくろ	を下げ背には大いなる文庫を背負ひ足には俎
ふけい	不	058	06	あまり俗語すぎて高貴の諸君に向つては	不敬	に存じますから此の段は何卒御海容を願ひます
ふけい	父	069	12	．故にベルリンの或る新聞記者は「世の	父兄	子弟たる者に告ぐ」と云ふ題にて「最早法律学
	父	069	14	はいけぬから他の業を修むる様にせよ，	父兄	たる者子弟たる者善く注意をせよ」と云ふ忠告
	父	162	09	民は平日土物を愛し耕作を勤め能く其の	父兄	に事へ商賈は車牛を牽て遠きに往き其の所得を
	父	060	11	とか自由とか聞きかぢりの不理屈を唱ひ	父兄	の言ふことをも用ひずして酒を呑み煙草を喫し
ふけつ	不	173	05	．我が国の人はこの恩といふ教に養はれ	不潔	を嫌ひ潔白を好み進むことを好んで退くことを
ふける	耽	161	10	怒りを起すとか放逸に流れるとか色欲に	耽る	とか物を貪るとかいふことが起り，また我慢と
ふけん	府	148	02	設けて其の費用は国庫より支弁するとか	府県	会で出すとかいふことを行政上できめなければ
	府	231	12	すと知事が一人で施政を為し議政の方は	府県	会また常置委員会が有ります．町村になると町
	府	232	01	ふと云ふが原則で有ります．之に付ては	府県	会規則にありまして，よく其の文言を諳んじて
	府	232	02	の文言を諳んじて居ませぬが府県知事は	府県	会又は常置委員会に下して其の意見を諮問する
	府	232	04	りますと地方税規則第三条掲載の事項は	府県	会の議決を経なければならぬけれども府県に固
	府	232	05	県に固有のことでも該事項の外のものは	府県	会に於て議決するを得ない．よつて中央政府の
	府	232	07	きにしもあらずとか．此の種類の事柄は	府県	会に諮問しても宜いし諮問しなくても宜いとの
	府	232	11	たゞ法理ではコレコレのことは是非とも	府県	会の決議を経て行へ，但し諮問の場合に於ては
	府	273	04	統計年鑑」に拠つたものでありまする）	府県	監獄は百九十二箇所ありまして，集治監，即ち
	府	274	13	は千八百五十五年五月五日の法律を以て	府県	監獄費をも国庫より支弁することと致し全国の
	府	232	14	を三つ即ち第一には中央行政，第二には	府県	行政，第三には町村行政と分けまして其の各自
	府	232	06	ない．よつて中央政府の用では無い全く	府県	固有の用で有るものでも右事項の外は知事が勝
	府	228	14	長と云ふものを置いてあります．これは	府県	知事の下役のやうなもので有ります．其の郡の
	府	231	16	議長之を決すると云ふことも有り，また	府県	知事が自ら議会へ出て討論をすると云ふことも
	府	232	02	て，よく其の文言を諳んじて居ませぬが	府県	知事は府県会又は常置委員会に下して其の意見
	府	260	15	が立ちました上は或ひは郡区長，或ひは	府県	知事，或ひは内務大臣の監督を受けると云ふこ
	府	272	14	於ては警視総監，其の他の府県に於ては	府県	知事が之を管理し，内務大臣は単に之を監督す
	府	151	06	ることで上は天皇陛下より内閣，諸省，	府県	庁，郡区役所，戸長役場など総て全国一般の利
	府	231	12	省の大臣は施政者で有るから一人です．	府県	になりますと知事が一人で施政を為し議政の方
	府	232	04	県会の議決を経なければならぬけれども	府県	に固有のことでも該事項の外のものは府県会に
	府	272	14	監は東京府に於ては警視総監，其の他の	府県	に於ては府県知事が之を管理し，内務大臣は単
	府	275	10	を加へました．其の後，内務省に於て各	府県	の典獄，即ち監獄長を集めまして典獄会議を開
	府	151	13	ものが無形人であります．即ち日本では	府県	，町村等でこれは如何して設けるか如何して運
	府	152	04	しなければなりませぬ．第四には全国，	府県	，町村を所有者，負債主，債主の三つに分けて
	府	230	03	十九あります．現今では行政上の区画は	府県	，郡区，町村と云ふことになつて居ります．之
	府	230	08	，行政上で無形人と認むるものは全国，	府県	，町村であつて郡は此の中を外れて居ります．
	府	230	15	無形人とすべきや否やは考へものです．	府県	，郡区，町村の三つは右の如く無形人ですから
	府	256	06	公けの救助と申しますものは全国，又は	府県	，若しくは町村よりして救助することで有りま
	府	259	04	を以てし，或ひは私設救助に政府，又は	府県	，町村より補助するの仕方を以てやるべきもの
ふこう	不	175	09	るが増すばかりが国家の繁昌では無い，	不幸	だ．人があり余ると人力ではドウすることも出
	不	099	04	をしたか二十五名の人は何故斯くの如く	不幸	な目に逢ふたかといふことを沈思黙慮するが必
	不	099	06	と考へる．諸君は如何にして斯くの如き	不幸	なことが起つたとお考へなさるゝか．私は何か
	不	099	03	くの如き事件が起つたか何故斯くの如き	不幸	なることが起つたか外国人は何故斯くの如く乗
	不	111	03	気に乏しきを悪み我が同胞及び印度人の	不幸	なる厄難に際会したるを憫むのみであります．
	不	016	12	も有り海も有り川も有りますかと云ふに	不幸	にして其れは有りませぬ．若し有りましても分
	不	026	13	一番太陽に近い星は何で有るかといふに	不幸	にして東京からは見えませぬ．其れはαＣｅｎ
	不	184	03	来ません．また，これから起る所の弊害	不幸	は何程だか知れません．キリスト教は即ち此の
	不	099	01	とに付て我々が共同して二十五名の人の	不幸	を悲しみ又外国人の不道徳なるを怒つて其の罪
	不	100	14	タカタの泡と消え海底の藻屑と化したる	不幸	を悲しむのみならず密に訴訟を起すのみならず
	不	237	08	服の外ありませぬ．実に今日と利害，幸	不幸	を異にすることは驚くべきことで有ります．其
	不	269	10	放火，強姦，窃盗，強盗，無籍乞食，親	不孝	，其の他のもので有りまして其の中，最も多き
ふごう	符	127	16	て近来聞いた所の新発明などを基督教に	符合	させようと思ふ様で御坐ります．この様な教師
	符	130	09	つのもので有る故に必ずドコまでも互に	符合	すべき筈のもので御坐ります．優勝劣敗の面白
	符	125	15	られました故に学術と基督教は決して相	符合	するに非ず．また或る人はＨｕｘｌｅｙ氏が何
	符	167	05	ります．併し一たび事実と道理とハタと	符号	するやうになれば其の道理は万世に伝はつて人
ふこく	布	189	13	ときには執行権者が裁可する．裁可して	布告	するといふやうに立法権の事柄にも執行権で干
ふさい	不	213	05	ませうが其れならば大違ひ．私は性来，	不才	だから新しい見解を立てゝ議論をするなどと云
ふさい	負	152	04	．第四には全国，府県，町村を所有者，	負債	主，債主の三つに分けて研究しなければなりま
	負	151	12	ラル，ペルソンヌでこれは財産を所有し	負債	を起すことの出来るものが無形人であります．
ふさぎ	塞	125	09	いたもので有りませうか．傍聴人の耳を	塞ぎ	，よく其の心を奪ふものは何で御坐りませうか
ふじ	富	136	04	次ぎに四国が見えます．彼所には白妙の	富士	が眼に立つ如くに見えます．誠に面白いもので

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
ふしぎ	不	021	03	面に動物が無かつたら其れの方が却つて	不思議	で有ります．全く動物植物の生活の出来るの
	不	027	03	します，若し時間を費さないで行つたら	不思議	です．そこで明りが或る所から出て或る所に
	不	110	11	もある．我々は公平な考へからして実に	不思議	と思ふより外は無い．若しや我輩の疑ふ所を
	不	034	10	条理が分らぬことでは有りませぬか誠に	不思議	な訳では有りませぬか．かういふ所から私共
	不	124	12	ふことは多う御坐りませう．これは実に	不思議	なことでは御坐りませぬ．ナゼといふに使徒
	不	130	01	に就て色々の疑ひを起すものが有るのは	不思議	なことでは御坐りませぬけれども教師たちと
	不	207	03	迷ひ子になつてしまひました．ところが	不思議	なことにはモウ大かたＢｉｅｌａの彗星が地
	不	183	02	は実に思ひ遣られます．また我々の最も	不思議	に思ふのは世間で妾や権妻といふ者を何とも
ふじつ	不	173	03	恩を知らぬものを「恩しらず」だとか「	不実	者」だとか言ひ其の甚しいものになると「畜生
ふじょ	婦	222	14	来，僧家に延年の舞と云ふものが有り，	婦女	の間に白拍子の舞が有りましたが，また田楽と
ふじょし	婦	222	07	分渉つたが事柄が卑しかつたからツマリ	婦女子	のモテアソビモノに過ぎなくて士君子は見る
ふしん	不	090	12	が御坐りませぬ．仏蘭西のレナンと云ふ	不信	者さへも耶蘇基督の性質と其の行状を頻りに称
	不	090	13	頻りに称美いたします．また近来様々の	不信	者の中にも耶蘇基督を直接に誹る者が滅多に御
	不	126	01	御坐りませう．けれども，こゝに一つの	不審	なことが御坐ります．近来の学術と云ふ貴い名
ふじん	夫	202	06	ふ人とＨｏｒｔｅｎｓｅＬｅｐａｕｌｔ	夫人	と三箇月の間，寐食を廃する位にして勘定をし
ふじん	婦	184	02	此のごとき風が行はれて居る中は決して	婦人	が正当の地位を占め真正の幸福を受ることは出
	婦	185	09	軽々しく妻を出す風が行はれて居る中は	婦人	が正当の地位を占め真正の幸福を得る等といふ
	婦	186	12	に於ては女子の教育を勤めること，また	婦人	が社会のために働くことを励ますこと，婦人特
	婦	187	06	として数千年来種々の圧制束縛を受けた	婦人	が，これより永く真正の幸福を受る時が来たこ
	婦	187	08	が漸々行はれんとする時に当つて日本の	婦人	方もマリヤと共に「我心主を崇め我が霊，我が
	婦	196	02	考へは起した人が有るかも知れません．	婦人	方などは「イヤな彗星だ」と言はれたかも知れ
	婦	196	03	だ」と言はれたかも知れません，（尤も	婦人	方と云ふのは一般の婦人のことで，束髪会へ這
	婦	179	02	教と婦人の地位明治二十年三月五日東京	婦人	矯風会の大会東京京橋区木挽町厚生館に於て井
	婦	179	04	区木挽町厚生館に於て井深梶之助君演説	婦人	矯風会の目的は社会の弊風を矯め道徳を修め飲
	婦	180	17	．只私は是より其の二三の要点を挙げて	婦人	矯風会員方の御参考に供へやうと存じます．我
	婦	187	10	に御尽力あるべきことと存じます．私が	婦人	矯風会の会員方に望む所も即ちこれで御坐りま
	婦	260	11	一方にばかり偏しても困ります．近ごろ	婦人	慈善会と云ふ会が東京で大層，立派に行はれま
	婦	186	13	が社会のために働くことを励ますこと，	婦人	特有の温柔謙遜の徳を貴ぶこと，其の他にもま
	婦	064	04	は汽車の連乗に由つて心臓の衰弱を起し	婦人	に在てはヒステリ症（俗に血の道）を発するこ
	婦	180	14	然らば目下我が邦の社会改良を謀り殊に	婦人	に正当の地位と真正の幸福を與へんと企る者の
	婦	062	11	はポクリポクリして忽ち足を疲らし殊に	婦人	の如きは裾の方には綿を入るゝこと恰も飾り餅
	婦	121	15	れは酒の為めに盗みをしたのだ，これは	婦人	の為めに賊を働いたのだこれは貧乏の為めに人
	婦	179	01	究あらんことを切望に堪へず．基督教と	婦人	の地位明治二十年三月五日東京婦人矯風会の大
	婦	179	04	風を矯め道徳を修め飲酒喫烟を禁し以て	婦人	の品位を開進するにありと規則書に見えますが
	婦	179	05	凡て社会の弊風を改良すること取り分け	婦人	の地位を高くすることにはキリスト教は最も親
	婦	179	07	ります．依て私はこれよりキリスト教と	婦人	の地位との関係に就て聊か考へを述べやうと存
	婦	180	08	との聖書の教では御坐りませんか．殊に	婦人	の地位を高くしたのは全くキリスト教の力で御
	婦	180	10	リシヤやローマが文物隆盛を極めた時の	婦人	の有様とキリスト教文明国の婦人の有様を比較
	婦	180	10	た時の婦人の有様とキリスト教文明国の	婦人	の有様を比較て御覧なさい．今日の米国や英国
	婦	180	11	比較て御覧なさい．今日の米国や英国の	婦人	の有様と支那印度や土耳古の婦人の有様を比較
	婦	180	11	英国の婦人の有様と支那印度や土耳古の	婦人	の有様を比較て御覧なさい．実にキリスト教国
	婦	180	13	ぜぬ国の最も大なる差別は何かと問はゞ	婦人	の地位有様と答へても宜からうと存じます．然
	婦	181	02	考に供へやうと存じます．我々は固より	婦人	の地位を進むるにはキリスト教の力に依らなけ
	婦	186	02	れぬ所は御坐りません．印度や土耳其の	婦人	の事などを聞けば実に憫然に堪へぬことどもが
	婦	186	14	貴ぶこと，其の他にもまたキリスト教が	婦人	の地位を高くし且，之に真正の幸福を与へる理
	婦	186	16	良の事に於ては非常の勢力ある者で殊に	婦人	の良友たることは明白で御坐りませう．今より
	婦	187	05	ふに此はマリヤが我れ知らず世界万国の	婦人	の代表者として数千年来種々の圧制束縛を受け
	婦	196	03	ません，（尤も婦人方と云ふのは一般の	婦人	のことで，束髪会へ這入つたり，此の講談会へ
	婦	218	11	書いたもので御坐います．ソコデ物語は	婦人	の作が多い．其れゆゑ先づ婦人の心得になるや
	婦	218	11	デ物語は婦人の作が多い．其れゆゑ先づ	婦人	の心得になるやうに作つたので，かの勧善懲悪
	婦	218	09	為めで有りました．また傍ら上等社会の	婦人	は深窓の中に居つて世態人情を知つて居ないか
	婦	183	03	す．男子は妾を蓄ることを何とも思はず	婦人	もまた人の妾となることを何とも思はず甚しき
	婦	219	03	頃は今の如き媒妁人と云ふものは無くて	婦人	をみそめると先づ便りを求めて公然と文をやり
ぶじん	武	144	01	．彼の南宗北宗などの山水の美景或ひは	武人	の像を画くものも有れば男と女とチゝクリあつ
ふする	付	094	05	れば裁判法理に照せば日本の裁判権理に	付する	のが至当で御坐りませう．併し今日は治外法
ふせぎ	防	146	07	俗を改良することも出来，道徳の腐敗を	防ぎ	社会を改良することも出来やうと思ひますれば
ふせぎとむる	防	177	09	であつて，また予じめ国人増殖の後難を	防ぎ止むる	ことも出来，益々日本帝国を繁昌させる
ふせぎとめ	防	168	15	心地がします．我が国人が必死になつて	防ぎとめ	色々とモノゴトに修繕を加へ改良をなして
ふせぐ	防	003	01	ば風雨を凌ぐことも出来れば暑さ寒さを	防ぐ	ことも出来，船を造ることも出来れば敵の首を
	防	264	11	者を保護して正業に就かしめ其の再犯を	防ぐ	所で有りまする．今，欧米の監獄専門家の意見
ふそく	不	088	17	故に人は進歩しやうとするならば己れの	不足	な所を能く承知しなければなりませぬ．併しな
	不	088	08	らば進歩することが出来ませぬ．己れが	不足	なる有りの儘にして満足するならば進歩するこ
	不	089	03	して人の真の有様を示しまた人の種々の	不足	不完全を明らかに教ゆる宗教で御坐ります．人

代表形	判	ページ	行	出現文脈	
ふぞく	附	147	03	ク社の定期講談会東京九段坂下靖国神社	附属　地内東京統計協会会堂に於て宇川盛三郎君講演
	附	165	03	ク社の第一総集会東京九段坂下靖国神社	附属　地内東京統計協会会堂に於て杉亨二君演説今日
	附	188	03	ク社の定期講談会東京九段坂下靖国神社	附属　地内東京統計協会会堂に於て宇川盛三郎君講演
	附	226	03	ク社の定期講談会東京九段坂下靖国神社	附属　地内東京統計協会会堂に於て宇川盛三郎君講演
	附	017	16	と我々はモウ威張れない．今までは月を	附属　にして居つたが今度は我々が太陽の家来と言は
	附	152	10	足であります．また民法は本で訴訟法は	附属　物であると同じく憲法が本で行政法は附属物で
	附	152	10	属物であると同じく憲法が本で行政法は	附属　物であります．併し珊瑚珠を見て，これは動物
ふぞろひ	不	209	04	所はドウで有るかと云ひますに頭は説が	不揃ひ　で明りを通すもので有る，明りを通すもので
ぶた	豚	102	02	那人の豚にも劣ることがある．支那人は	豚　であるから苟くも利があると見たなれば必ずそれ
	豚	102	01	日本人はヤマアラシであるから支那人の	豚　にも劣ることがある．支那人は豚であるから苟く
ぶたい	舞	200	12	なりませんもので有ります．丁度俳優が	舞台　に出ます時に男になつて出るかと思へば，ひつ
ふたかど	二	258	05	両性質には別に甲乙は有りませぬ．此の	二かど　を以て救助いたしまする者に二つの種類が有
ふたたび	再	199	11	ウトウしまひには無極な遠い所にいつて	再び　帰つて来ません．しかし今言ひました楕円と抛
	再	199	15	を回つて見えなくなつてしまつた彗星が	再び　帰つて来るかも知れない．さういふことが出来
	再	111	08	論じなければならぬと思ふ．而して将来	再たび　斯の如き事のなからむことを熱望いたします
	再	250	12	其の儘にして置く訳には参りませぬから	再たび　之を学校へやつて其の心を改めさせたいが，
	再	248	04	ので心を改め，遂に刑期が終つて社会に	再び　出ますると，モトの善良なる人間になるので有
	再	254	04	しまふ者が多く有りますから，これ等は	再たび　盗賊でも働かなければならぬやうになります
ふたつ	二	101	01	は斯く軽蔑されるかといふに其の原因は	二つ　あらうと思ふ．其の一つは何であるか．兎角日
	二	191	07	ち大権といふものが三つあるとも，また	二つ　あるとも云ふことを論定したのでも無い．モン
	二	029	01	外にツレがあるのです．色々な星の中に	二つ　以上組み合つてある星で無ければ本当に回つて
	二	189	04	ますが之を考へて見ると事をきめるには	二つ　以上の頭を以てし，きめた事は一人の執行権者
	二	192	10	し，今に国会も立てられますが，ツマリ	二つ　以上の頭を以て万事を議することになつて居り
	二	231	11	云ふものが有りますやうに．議政は総て	二つ　以上の頭を集めてやるのです．各〻の大臣は施
	二	028	11	中にはコンナにかたまつて居ます．先づ	二つ　かたまつて居る星は肉眼で見ますと唯一つの星
	二	184	17	造りなされた故に人が夫婦になれば最早	二つ　では無く一体である．神が合せ給ふたものを人
	二	216	01	になりました．其の上に兎が乗つて一つ	二つ　と勘定をしながら行く中に海を渡つてしまつた
	二	028	12	の星の様に見えますが望遠鏡で見ますと	二つ　に分れて見え，多くは一つは大きく今一つは小
	二	150	06	ります．色々ありますがツマリ今申した	二つ　に帰着するもので国と国との関係を規定したる
	二	206	10	来ると言ひましたが，しかし其れが突然	二つ　に分れましたことが有ります．同じやうな形ち
	二	250	11	悪い道に飛び込みまする者を年齢を以て	二つ　に区分いたして申し上げませう．即ち丁年以上
	二	256	13	貧民の救助の結果は何かと云へば，ただ	二つ　に止まりまして第一の結果は貧民の救助即ち慈
	二	073	11	い．さて法律の学科と経済の学科とこの	二つ　の者は社会上に必要なる点に至りましては固よ
	二	130	14	したことをお聞きなされ．「天地の間に	二つ　の感心なものあり．我れ此の二つのものを深く
	二	130	14	の間に二つの感心なものあり．我れ此の	二つ　のものを深く思へば思ふほど我れ之に感服しま
	二	130	15	ど我れ之に感服しまた之を尊敬す．この	二つ　のものは則ち遙か上に立派な天体を具へて居る
	二	188	11	ひます．この立憲権力といふものは他の	二つ　の大権力を定める．其の二つの大権力といふも
	二	188	12	ものは他の二つの大権力を定める．其の	二つ　の大権力といふものは立法権と執行権といふも
	二	190	13	のは斯の如きもので，この裁判権の中に	二つ　の種類がある．一は行政裁判一は司法裁判であ
	二	198	15	有りますなら是非，其のあるく道が此の	二つ　の線の中でなければならない．モウ一つ双曲線
	二	227	01	ギリス語でカウンシルと云ひます．この	二つ　のものは議会で定め，官権で行ふと云ふ以上は
	二	231	01	すると沿革はさておきまして先づ第一に	二つ　の原則が有ります．即ち第一には施政者は一人
	二	237	10	一新後，今日になつて学問をする人は右	二つ　の大難事が全く消滅しました．先生もあり，本
	二	247	10	いとも云へませぬ．よつて監獄に於ては	二つ　の方法を以て人心の改良を図りまするもので有
	二	251	17	ます．此の者を幼年囚と申します．此の	二つ　の外に，まだ罪人とはなりませぬが根性の悪い
	二	254	09	，これ等の為めには慈恵と犯罪予防との	二つ　の理由よりして放免者保護会社の如きものを設
	二	256	04	係るもので有ります．而して此の慈恵に	二つ　の種類が有りまして，第一は公けの救助，第二
	二	256	10	助することで有ります．今，申しました	二つ　の種類の外に天災の救助と云ふものが有ります
	二	258	01	へられます．第一，貧民の救助．これに	二つ　の種類が有りまして第一種は盲人，聾，唖，癈
	二	258	06	此の二かどを以て救助いたしまする者に	二つ　の種類が有りまして，第一種は壮健なる貧民に
	二	258	14	即ち救助すべきもので有りまする．前の	二つ　の外に放免者即ち出獄人にして必需の資力なき
	二	266	02	此の表の中で第一の犯罪予防部の事業は	二つ　の場所にて之を執行いたしまする．其の甲の場
	二	268	03	洲の監獄の種類を述べませう．これには	二つ　の区別が有りまして一つは軍事の監獄で有り，
	二	028	15	が其の世界では確に明りを持つたものが	二つ　は有りますが外に惑星の様に明りを持たない眷
	二	039	15	字と「徳義」と云ふ字が同じことで別に	二つ　は無かりた．其れは剛勇即ち徳義と云ふことで
	二	150	08	ひます．この内公法中で刑法，治罪法の	二つ　は別に法典となつて居りますが其の外のは法典
	二	024	04	と云ふに随分有る．先づ第一に火星には	二つ　ほど眷属が有る，二つほど月をみた様なものが
	二	024	05	づ第一に火星には二つほど眷属が有る，	二つ　ほど月をみた様なものが有る，其れは衛星と言
	二	028	09	して見ると中には面白い星が有る，一つ	二つ　三つ四つなどとかたまつて居る星が有る．多く
ふたつき	二	236	04	始末でヨホド骨が折れて今ならば一月か	二月　かゝつて出来ることを十年かゝつても二十年か
ふたとおり	二	031	15	える部分も有ります．こゝに至つて説が	二た通り　つけられます．或はアマノガハと云ふもの
	二	235	16	ものは一と通りでは無い．其の大難事は	二た通り　で有つた．第一は書物を読んで事柄を知る
	二	252	05	れ等も懲治しなければなりませぬ．之を	二た通り　に分ちまして親族，又は関係者から願ひ出

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ふたとおり）	二	124	10	く励んで基督教をのべ伝へるうちに必ず	二た通り　のことを経験いたさうと存じます．其の一
ふたり	二	192	17	いふものは一体，何人あるべきものか，	二人　あるか三人あるかといふに天子は一人といふこ
	二	128	10	の外に学術の色々の論の中にたゞ一人か	二人　が起した所の論が多う御坐りまする．箇様な論
	二	170	16	か，どんな所かよく分りませぬ．一人や	二人　が知つたからといつて行くものではありませぬ
	二	018	12	レは無いか，地球は月といふ僕とタッタ	二人　づれで毎年太陽のグルリを旅行する訳のものか
	二	203	03	ｕｌａｎｔ，Ｄａｍｏｉｓｅａｕと云ふ	二人　とも計算の上手な人が勘定をして今度は千八百
	二	130	11	た所の新しき論または設理，或は一人か	二人　の曇見によつて滅びてしまふと云ふことは決し
ふちょう	符	153	12	縛されることは無いといふが行政法では	符牒　が無いと分らないから名前をムヤミに変ること
ふつ	ふ	207	10	大変で有りますが，現に昔し雨のやうに	ふつ　たと云ふことで「春秋」に「星隕如雨」とあり
	ふ	207	13	だらうと言ひましたが，星が隕ちて雨が	ふつ　たと云へば星は星，雨は雨で別々なもので有り
ふつ	降	216	08	に云ふには「昨夜，夢を見たが霜が多く	降つ　て私のカラダを覆つたが何か訳が有るだらうか
ぶつ	ぶ	276	01	前は罪人は棒罰すると云ふ主義で，棒で	ぶつ　ておけ又は道具でカラダを苦しめろ，或ひはハ
ぶつ	物	037	10	社会は動植物と同し様に全く真実の有機	物　ぢゃと云ふことになりた．私の知りて居る所では
	物	038	02	Ｃｅｌｌより集合したる所の一個の有機	物　ぢゃと云ふことを知るべきことぢゃ．そこで日本
	物	038	03	，英国国民は英国国民と云ふ一つの有機	物　で有ることぢゃ．次に「社会外に道徳なし」と云
	物	152	10	あります．また民法は本で訴訟法は附属	物　であると同じく憲法が本で行政法は附属物であり
	物	152	10	であると同じく憲法が本で行政法は附属	物　であります．併し珊瑚珠を見て，これは動物か植
	物	240	03	人の為めに見たことは其の注文者の所有	物　で有りますから私が勝手に申し上げることは出来
	物	037	08	ネーション即ち社会を動植物の如き有機	物　に比したことは昔より有りたことなれども昔の説
	物	037	09	昔より有りたことなれども昔の説は有機	物　に似て居ると云ふ様なことで有りたが近頃に至り
	物	048	12	う．さうすれば世界が大きな一個の有機	物　になる．其の時に至りたら一つの国は有機物の一
	物	037	13	消長することも盛衰することも総て有機	物　の規則に随ふものぢゃと云ふことが分りた．動植
	物	048	12	なる．其の時に至りたら一つの国は有機	物　の一部分ぢゃから無理なことをしても国威を輝か
	物	241	08	うなことは世間公衆の知る所にして公有	物　の部に属しまするから，これ等は述るに於て聊か
	物	011	14	何の中か」と言つたら「有機物」「有機	物　は何の中か」と言つたら「化合物」「化合物は何
	物	011	15	何の中か」と言つたら「化合物」「化合	物　は何だ」と言ふに「物質の中」「物質とは何だ」
	物	037	15	生理心理にもあてはまることぢゃ．有機	物　は総てＣｅｌｌ（即ち細胞）と云ふものが集合し
	物	038	03	で日本国民は日本国民と云ふ一つの有機	物　，英国国民は英国国民と云ふ一つの有機物で有る
	物	011	14	含水炭素は何の中か」と言つたら「有機	物　」「有機物は何の中か」と言つたら「化合物」「
	物	011	15	「有機物は何の中か」と言つたら「化合	物　」「化合物は何だ」と言ふに「物質の中」「物質
	物	175	16	のこと．また英国人は「人は地球の寄生	物　」といふ人間の道理に随つてドコへでも出稼ぎし
ふつう	普	045	08	を選挙する権も亜米利加のは州によりて	普通　選挙の国も有るが又制限を立てて丁年の男子は
	普	086	08	な返答は出来まいと存じます．また世の	普通　の学問は誠に大切なものなれども，これ等の高
	普	129	05	たる仕方が御坐ります．或る教師は総て	普通　の学術を大いに恐れて居ります．箇様な人は世
	普	139	07	と思ひます．して此の小説と言ふものは	普通　の学問と違ひ日本などでは甚だ之を卑しめて居
	普	142	03	ものなれども，たゞ柱を削り塀を塗るは	普通　の職人にも出来る．小説家は其の仕組をこしら
	普	245	04	私の述ぶる所の此の監獄論に於ては総て	普通　の罪人，即ち常事犯のことを申すので有ります
	普	268	03	まして一つは軍事の監獄で有り，一つは	普通　の監獄で有ります．軍事の監獄は陸軍及び海軍
	普	268	06	方法などに至つては軍事のものにせよ，	普通　のものにせよ，一切変つたことは無かるべき筈
	普	268	08	つたことは無かるべき筈で有りまする．	普通　の監獄を別ちますると其の第一は留置場と申し
	普	271	09	から申しませう．これにも軍事の監獄と	普通　の監獄との区別が有りまするが軍事の監獄に関
	普	271	10	監獄に関係しましたことは省きまして，	普通　の監獄に関係しましたことだけ申し述べませう
	普	271	12	関係しましたことだけ申し述べませう．	普通　の監獄を別ちますると第一，留置場．これは裁
ふつか	二	008	05	この間の競馬会社の開業式は一日ならず	二日　も三日も大騒ぎ，人は黒山の如く提燈は星の如
ぶつがく	仏	159	08	ひ，孔子の学問とも孔子の教とも言ひ，	仏学　とも仏教とも言ひました．西洋の教へ方は天で
ぶっきょう	仏	043	12	りて打たせておけと云ふ所までゆき，又	仏教　では人間のみならず禽獣にまで慈悲を施し決し
	仏	157	05	が）若し地が回るとなると羅馬法皇の，	仏教　で申したら法華経とか三部経とかいふものに差
	仏	153	06	自由（耶蘇教でもモルモン宗でも，また	仏教　でも勝手に信じてよいといふこと）を定めれば
	仏	159	09	の学問とも孔子の教とも言ひ，仏学とも	仏教　とも言ひました．西洋の教へ方は天で，天主を
	仏	217	14	名はドウ云ふ所から出ましたかと云ふに	仏経　に提婆品だの普門品だのと云ふ品目を立てたの
	仏	158	15	ことになれば，なるものでござすネ．昔は	仏教　のお寺の前には雷門と云つて大層な勢ひで，コ
	仏	159	03	西洋にバイブルコーランと言つて仏者が	仏経　を重んじ儒者が四書五経を貴ぶと同じに大切の
ぶっく	ブ	148	10	イクツあるといふことを西洋のヤール，	ブック　に就て見ると先づ東京とか大坂とか京都とか
ふっこ	復	193	12	子の勅詔を段々と見ますとこれ皆な王政	復古　といふことを度々述べられてありますから政治
ふつごう	不	177	13	て一大事の方法を述べたれば学理上には	不都合　なることも多かるべし．殊に初めての趣向な
ふっこく	仏	083	11	ますが道徳の進歩充分で有りませぬから	仏国　当時の有様実に気の毒で御坐りまする．この道
	仏	046	12	らぬ者同士の間に道徳は無い．英国とか	仏国　とか日本とか支那とかは各々別々の社会になり
	仏	083	10	ますならば彼の仏蘭西の国を御覧なされ	仏国　に於て学術美術新発明商法など誠に能く進んで
	仏	268	17	即ち感化院で有りまする．ところで，今	仏国　に於ける千八百八十一年（明治十四年）十二月
	仏	277	15	於て実行せる監獄事業欧洲の監獄の種類	仏国　に於ける千八百八十一年（明治十四年）十二月
	仏	191	02	いといふ考へです．この儀に付きまして	仏国　のモンテスキューといふ学者が社会には三大権
ぶっこく	孛	067	01	必要蓋し今日に在ることでありませう．	孛国　の司法制度を説き併せて所感を述ぶ明治十九年
ぶっしつ	物	166	02	だといふ学派もあり，また身体の様なる	物質　があるから精神も之に添つて出来たといふ学派

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ぶっしつ）	物	011	15	化合物は何だ」と言ふに「物質の中」「	物質 とは何だ」と言ふとこゝでむづかしくなる．物
	物	011	16	何だ」と言ふとこゝでむづかしくなる．	物質 とはドンナものと言ふことは本当に知つて居る
	物	011	15	「化合物」「化合物は何だ」と言ふに「	物質 の中」「物質とは何だ」と言ふとこゝでむづか
	物	166	01	派もあり，精神があるから身体の様なる	物質 もある訳だといふ学派もあり，また身体の様な
ぶっしゃ	仏	159	03	の通り西洋にバイブルコーランと言つて	仏者 が仏経を重んじ儒者が四書五経を貴ぶと同じに
ふっしょ	仏	052	08	ば横文字の書物より外は無いから英書か	仏書 の読める人は宜う御坐いませうが今まで翻訳書
ぶっせつ	仏	217	08	のと云ひますが，さすれば当時，流行の	仏説 により且は既に遊仙窟などと云ふ支那の小説文
ぶったい	物	031	10	器と言ふものが発明になりまして総ての	物体 が瓦斯か固体かと云ふことを見分けることが出
	物	081	05	に移る様なものでは御坐りませぬ．全く	物体 上のことで無く霊魂上のことで御坐ります．若
ぶつつかり	ぶ	212	04	たゞ少し恐ろしいのは若しや彗星の心が	ぶつつかり はしないかと云ふことですが，其れも地
ぶつつかる	ぶ	212	05	地球の一部分だけかも知れません．其の	ぶつつかる 所の人たちの為めには実に気の毒で有り
	ぶ	211	09	に我々が這入りこむことが有つても心に	ぶつつかる のはヨホド稀なことと云はなければなり
ぶつどう	仏	054	15	経がなくなる．其の時，修身はといふと	仏道 と耶蘇，其の仏道を採用するとしても矢張り経
	仏	182	08	さうしてこれが即ちキリスト教の儒道や	仏道 と大に違ふ所の一で，また社会を改良する勢力
	仏	217	15	で有りませう．其れは源氏物語の標目は	仏道 に拠つたと云ふ旧説の有るに倣つた私の臆測で
	仏	182	10	もキリスト教に限ることでない．儒道や	仏道 の教は兎も角も実際一夫一婦は即ち古より我が
	仏	185	16	士も述べられた通り我が邦に於ては儒道	仏道 の行はれた結果として昔より男を尊び女を卑し
	仏	054	15	の時，修身はといふと仏道と耶蘇，其の	仏道 を採用するとしても矢張り経文は漢字であり，
ぶつぴん	物	061	04	半開化人の好むものは恰も三歳の童子が	物品 を撰ぶと同じことで，たゞチョット見つきの良
ぶっぽう	仏	043	16	る様になりて来たのぢゃ．若し初めより	仏法 の教が行はれたらば人類は亡びたであらう．又
	仏	216	14	が国に古く霊異記だの感霊録だのと云ふ	仏法 の霊験を書物に著したものの中には小説めいた
	仏	044	05	ならぬことぢゃが其れと同じことぢゃ．	仏法 も耶蘇教も矢張り已むことを得ぬことをしたの
	仏	185	12	であると申さねば，なりません．而して	仏法 や神道は此の如きことにはドチミチ更に頓着せ
ぶつり	物	006	06	怪々なる結果が有る．漢字が有る為めに	物理 学の講義でも化学の講義でも動物学の講義でも
	物	006	13	ては講釈をすることが出来ない．今日は	物理 学でも化学でも動物学でも植物学でも其の講釈
	物	013	16	幸に我々は眼が随分遠くきゝます．殊に	物理 学の進歩してから眼が益々遠ぎゝする様になり
	物	155	14	が）其れから植物学，動物学，金石学，	物理 学，其れから心の方で心理学，哲学，倫理学，
	物	158	03	事が政治は政治学，万物の理を知るのが	物理 学でやるのだからドウしても動きません．其れ
	物	166	09	種々様々な論説を出し問答研究し，また	物理 学，機械学，数学などの色々の学科の助けによ
	物	212	14	其の時こそ学問も今日より進んで彗星の	物理 学上，何物たるかと云ふことを言ふことも出来
	物	002	17	か大砲を拵へるとか薬を煉るとか其の外	物理 上化学上の智識をこちらへ得れば風雨を凌ぐこ
	物	169	02	の方には向はない．これは人の自由心と	物理 と関係の無い証拠で東漸とは形ちばかりで何の
ふで	筆	144	14	が多数の中には和漢の古今に通じて居り	筆 が流暢でも其の中には西洋の書物を読まない者も
	筆	140	02	には与つて力の有つたものですから其の	筆 先きの勝れたものと見えます．またイギリスの故
	筆	140	07	いた時分と同じことで，スコットが其の	筆 先きで儲けた名利と言ふものは大層なもので恰も
	筆	140	09	と申すが其の著作はまた実に旨いもので	筆 先きのオモシロミと言ふは別なもので御坐ります
	筆	004	17	着てなかなかユウチュウカンと長い毛の	筆 で偏冠りを正し二時間も三時間も手習ひなどをし
	筆	093	09	とが世上に現はれてより喜々或ひは之を	筆 に訴へ或ひは之を口に唱ふることになりました．
	筆	144	16	が鈍し．兎角双方旨く参らぬから日本の	筆 の立つ人と西洋の小説の読める者と此の二派を集
	筆	144	16	洋の小説の読める者と此の二派を集めて	筆 の立つ人に西洋の智識をつぎこむ様にしたら宜し
	筆	143	05	ことで人の思想即ち無形の人情を写すは	筆 より外は無い．即ち小説の管内で御坐ります．凡
	筆	137	09	すから日々法律や政治の改良のことには	筆 を執つて居る其の言ひ慣れたる自分の勝手なこと
	筆	140	04	では左様な訳で無し．日本で馬琴が専ら	筆 を執つて居ります時分に西洋ではウ／ヲタースコ
ふでさき	筆	144	15	者も有る．また西洋の小説を読んだ者は	筆先 が鈍し．兎角双方旨く参らぬから日本の筆の立
ふと	フ	119	07	へることが出来かねました．其れで昨夜	フト 思ひ付いて今度は諸君に御相談を致すことにし
ふとい	太	157	06	の弟子のガリレオをつかまへ「おのれは	太い 奴だ」と言つて，トウトウふんじばつて牢に入
ふとう	不	111	07	の事に付て輿論を以て充分彼等の所業の	不当 なることを論じなければならぬと思ふ．而して
	不	105	09	晴らすべき判決が有りさうなものだのに	不当 にも神戸在留の英国領事は之を判決して無罪と
ふところ	懐	019	03	が母の胎内に居るとき此の母が長庚星が	懐 に這入ると云ふ夢を見たので生れた子の名を白と
ふない	府	259	11	こと．これは東京の養育院に於ては東京	府内 に起るだけの貧民を救助すると云ふ如きことで
ふなのり	船	099	11	の如き事件は起り得べきや．私はあまり	船乗 につきあつて見たことは無いが其の最も義侠の
ふね	舟	019	06	ても諸君が御承知の山陽の詩に「太白当	舟 明似月」と云ふのが此の星のことで御坐います．
	舟	054	02	ずることを知らない．初学で下り而して	舟 を漕ぎ，畑へ弁当を持つて行く様になる．其れを
ふね	船	108	12	我々が粗々判定することが出来ませう．	船 が今沈没するといふときに其の乗客は船長運転手
	船	108	17	る方向に向つて避けるに違ひ無い．また	船 が沈没しきらぬうちに海員の或る部分は端艇に乗
	船	109	08	の為めにおくものであるかといふに若し	船 が衝突することが有るか暗礁に乗りかけることが
	船	193	03	したが事を行ふ者が多いと船頭が多くて	船 が山に上り，ツマリ小田原になるといふことです
	船	110	06	．然らば船長其の他の人々が大勢一つの	船 に乗つてはあぶないからと言つて或ひは船室から
	船	053	04	ばん」と言つても本を版にすることだか	船 の出るのだか分らない．其れと同じ理屈で「しぶ
	船	084	06	サンフランシスコまでの里数と一昼夜に	船 のはしる里数が能く分つて居り且蒸汽船が横浜を
	船	094	03	海も土地にはいつて居るもので此の度の	船 の沈没したのはドコかと言ふに紀州沖でありますの
	船	109	02	を甘んじませうや．彼等乗客は水夫等は	船 の事を知つて居るから其の言ふ通りにしたらば助
	船	003	01	も出来れば暑さ寒さを防ぐことも出来，	船 を造ることも出来れば敵の首を取ることも出来る

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ふね）	船	110	10	ことである．また外国の例に保険附きの	船	を沈めて保険料を取うといふこともある．我々は
	船	164	07	く数年前，法君那波倫第三，提督をして	船	を駛せ紅海に至らしめ碧林の小島彼時不毛の地た
ふはい	腐	120	06	酒と麦酒とは世界に移住して貴き人間を	腐敗	させる刺戟剤の働きを為すものだ」と言ひまし
	腐	146	07	接に風俗を改良することも出来，道徳の	腐敗	を防ぎ社会を改良することも出来やうと思ひま
ふはく	浮	104	01	ます．前段にも申したるが如く日本人は	浮薄	の本性を備へ居りまするが大改革を行ふには最
ふふく	不	159	13	も地質学や哲学が開けてから天主の説に	不服	を言ひます．ナゼならばドウしても地質学で実
ふぶん	不	107	09	の法律には諸君の御承知の通り成文法と	不文	法とありますが今其の不文法に拠りますと人命
	不	107	10	通り成文法と不文法とありますが今其の	不文	法に拠りますと人命を断つことをホミサイドと
ぶぶん	部	208	12	は惑星と違つてボーットしたもの故に一	部分	一部分に研究をしなければいけません．彗星は
	部	031	12	ました，全く瓦斯で無いにしても瓦斯の	部分	が多いと云ふことです．又其の位置はと言ふと
	部	011	10	」と言つたら「亜細亜は地球の表面の一	部分	だ」と言ふで有りませう．そこで其れから先き
	部	011	11	う．そこで其れから先き「地球は何の一	部分	だ」と問ひ詰められると分るものが半分，知ら
	部	199	02	．最初は円い楕円も引きのばすと其の一	部分	だけは殆んど抛物線に違はないやうになります
	部	212	05	いかと云ふことですが，其れも地球の一	部分	だけかも知れません．其のぶつつかる所の人た
	部	048	12	其の時に至りたら一つの国は有機物の一	部分	ぢゃから無理なことをしても国威を輝かさなけ
	部	055	04	が会員となつて下されたからはこゝを一	部分	づゝ御担当下されたい．兎角仮名がよいと言つ
	部	111	06	等が平常我々を虐待する種々様々なる一	部分	であらうと思はれる．故に我々は此の事に付て
	部	150	11	す．行政法は内公法の一つで政治学の一	部分	に属するものであります．さて行政法と憲法と
	部	208	12	と違つてボーットしたもの故に一部分一	部分	に研究をしなければいけません．彗星は大抵頭
	部	243	02	せう．さて監獄は行政上に於て如何なる	部分	に属するかと云ふことを述べるには先づ行政権
	部	245	12	する．これにて監獄は行政上，如何なる	部分	に属するかと云ふことは，お分りになりました
	部	261	12	て未だ身体の動作も充分ならざる子供の	部分	に属しまする貧民，例へば棄児或ひは孤児の如
	部	030	11	沢山見えませう．而して星の沢山見ゆる	部分	は帯の形して天を取りまいて居る様に見ゆる筈
	部	109	01	また船が沈没しきらぬうちに海員の或る	部分	は端艇に乗つて居るのを目撃しながら乗客にし
	部	209	08	だけは堅まつたもので，あとの尾や他の	部分	は瓦斯体で有ると云ふ者も有ります．其れから
	部	031	15	て望遠鏡で見ても矢張り雲の様に見える	部分	も有ります．こゝに至つて説が二た通りつけら
	部	029	10	とからして我々の眼に見ゆる星は何かの	部分	を為して居るといふことが粗分る様で有ります
	部	150	16	ので憲法で定まつて居るものの細密なる	部分	を定めるものが行政法であります．行政法と言
ふへい	不	140	13	す．これは馬琴自ら書いた物の中に其の	不平	を訴へたことが見えましたから確かなることと
ふへん	不	246	06	云ふことを言はれました．是れ実に万世	不変	の一大原則で有りまする．因つて刑を適用する
ふべん	不	051	05	づ仮名文字は便利でありモロコシ文字は	不便	であるといふことは諸君のお話しもあり殊に外
	不	007	04	なか漢字の貴いことを知つては居やうが	不便	なことを知つて居る者は無く何でも漢字が盛な
	不	051	07	説は尤もで何も彼もふるつて支那文字の	不便	なこと仮名の便利なことを述べられましたから
	不	069	15	くは志願者一個人の為めから言へば甚だ	不便	なことで御坐いますが一国政府の上から観ます
	不	006	17	にならうか来年位には世の人多く漢字の	不便	を覚らうかと．私は悶てしまつた．なかなか世
ふぼ	父	107	05	つたといふことであるが，これ等男女の	父母	たり兄弟たり将た良人たる人々の心情は果して
	父	269	16	すい時で有るものと見えます，故に人の	父母	たる者は専ら十二歳より十八歳位までを非常に
	父	257	06	する盲人，聾，唖，癈疾，不具者は祖先	父母	等に於て之を養ふもので有りますが其の性質は
	父	173	01	ことで養はれて居り天恩，君恩，主恩，	父母	の恩，また長老朋友などに対してあの人は恩人
	父	162	10	其の所得を用ひて其の父母を孝養し其の	父母	喜ばゞ酒を家庭の間に用ひ献酬歓を承けて以て
	父	162	09	を率て遠きに往き其の所得を用ひて其の	父母	を孝養し其の父母喜ばゞ酒を家庭の間に用ひ献
	父	043	04	がおもになりて参りた．併し天子は民の	父母	，民は天子の赤子などと云ふのは今日まで存す
ふほう	不	106	07	るの任に堪へざるか若しくは怠慢其の他	不法	の所為あるに於ては其の海員の業務を停止し又
ふみ	文	219	06	，きらはしくも思ひ，また其の親も其の	文	が気に入れば女に勧めても返書を書かせ，また娘
	文	219	05	に入れば云ひより，また女の方でも男の	文	の体や風聞によつて，ゆかしくも，きらはしくも
	文	219	04	人をみそめると先づ便りを求めて公然と	文	をやり其の返書の体や歌のヨシアシなどを考へて
	文	219	06	ば女に勧めても返書を書かせ，また娘が	文	を受け取つても親が不承知なら，よさせると云ふ
ふみこん	踏	005	01	て居るものでは無い．ドシドシと土足で	踏み込ん	で来る奴だからイクラすまして居ても支那
ふみつける	踏	004	10	クサにならない．小さな蟻を大きな足で	踏みつける	様なものだが其の蟻も目のさめたのでは
ふもう	不	054	03	其れを用の弁ずるまで学ばさうとすると	不毛	の地が出来て肝腎のものを失ふ．この用を弁す
	不	164	08	船を駛せ紅海に至らしめ碧林の小島彼時	不毛	の地たり人の之を主どるなしを経略せんと欲す
ふもん	普	217	14	ら出ましたかと云ふに仏経に提婆品だの	普門	品だのと云ふ品目を立てたのに拠つたもので有
ぶもん	武	142	11	だ小説が盛んであつたとは云へませんが	武門	の世となつて殆んど其の跡を絶ちズット下りま
ふやし	殖	204	05	功徳の為めに寺を建てて坊主の俸給をお	殖し	なさい」と言ひました．そこでＬｏｕｉｓオヒ
ふやす	殖	274	05	卒を養ふ者と致しまするに三万八千人を	殖す	ことはイト易いでありませう．これにて欧米の
ぶゆう	武	103	07	の然らしめたものである．清正が非常の	武勇	を現はしたのは矢張り信仰心の然らしめたので
ふゅーと	フ	064	03	ありますが曾て英国ロンドンのドクトル	フュー	氏は汽車の連乗に由つて心臓の衰弱を起し
ふゆる	殖	175	05	年の間は国人の難儀な年柄でさえ人数の	殖ゆる	ことが今申した通りであれば後々とても人が
ぶらく	部	039	13	其れぢゃから働かぬ者を生かしておくと	部落	一般が害を被むる様になるから其れ故，殺さぬ
ふらむすてーど	フ	200	01	フランスではＰｉｃａｒｄイギリスでは	Ｆｌａｍｓｔｅｅｄ	などで有ります．其の観測の結
ふらんす	フ	226	16	御坐います．この行政官権と云ふことは	フランス	語でオートリテーと云ひ，イギリス語でオ
	フ	226	17	ーとか云ひます．行政議会と云ふことは	フランス	語でコンセイユと云ひ，イギリス語でカウ
	フ	227	12	，テもなく一地方の君主の如きもので，	フランス	語で云へばプレンス即ち藩主で有つて其の

代表形	判	ページ	行	出現文脈	
（ふらんす）	フ	122	05	，また私生の子が殖えます．私生の子は	フランス ではスタチスチック上から大層な調べにな
	フ	188	10	をきめる権力が無ければならぬ．其れを	フランス ではプーヴォアールと言ひイギリスではパ
	フ	188	13	しても之を分別しなければなりませぬ．	フランス では千七百八十九年の大革命より千八百七
	フ	191	14	る．かういふことはスタチスチック上で	フランス でも調べて居るです．日本でも調べたら色
	フ	200	01	定をしました．其の時に観測をした人は	フランス ではＰｉｃａｒｄイギリスではＦｌａｍｓ
	フ	242	09	ませう．監獄は昔は牢屋と申しました．	フランス ではプリゾンと申しまして其の字義はラテ
	フ	203	16	三十七年に出た彗星で有りますが其の時	フランス にＬｏｕｉｓｌｅＤébonnaireと
	フ	261	17	たしませう．初めにも申しました通り，	フランス におきましては監獄のことをプリゾンと申
	フ	262	03	リス同様ペニテンシヤリーと申します．	フランス に於て大革命以前には監獄には罪人は無論
	フ	274	13	者の務むるところとなつて居りまする．	フランス に於ては千八百五十五年五月五日の法律を
	フ	139	15	ミの仕様までをも，うかゞつて居ます．	フランス のビクトルヒューゴなども有名な人ですが
	フ	202	05	定を仕出さうと云ふに随分大変な仕事で	フランス のＬａｌａｎｄｅと云ふ人とＨｏｒｔｅｎ
	フ	209	12	分むづかしいことで有ります．私は先年	フランス のＦａｙｅの彗星の説を訳して東洋学芸雑
	フ	230	09	であつて郡は此の中を外れて居ります．	フランス の例でも外れて居りますが日本でも郡には
	フ	004	09	其れこそアカンベーとやられてしまふ．	フランス はまだイクサを始めたといはぬを分らぬこ
	フ	202	13	らでも見ゆると云ふ訳にはいけませんで	フランス やイギリスなどでは霧がかゝつて見えない
	フ	211	14	ん．其の時に日本あたりは昼で有つたが	フランス やイギリスは夜で有つて其の時分寝て居る
ふらんす	仏	083	09	．また時の近い例を申しますならば彼の	仏蘭西 の国を御覧なされ仏国に於て学術美術新発明
	仏	090	12	基督よりも立派な模範が御坐りませぬ．	仏蘭西 のレナンと云ふ不信者さへも耶蘇基督の性質
	仏	152	15	であります．けれど実地に就て見ますと	仏蘭西 の例で言へば国体の変るに従ひ憲法は度々変
	仏	035	15	略などのことも大慾で有りますが独逸や	仏蘭西 や英吉利などの人が皆酒を慎んで身体を丈夫
ふり	ふ	075	04	とをしなければならない．其の他，雨が	ふり つゞいて田地を耕すことが出来ぬといふなら土
ふり	不	045	12	ぢゃ．則ち一方の人を利して一方の人に	不利 なる法律が立ちて居るのぢゃ．併しこれは多く
ぶり	ぶ	060	09	は読み下すことも出来ぬくせに忽ち学者	ぶり て働くことを嫌ひ，田畑があつても耕すことを
ふりあぐれ	ふ	114	14	の欲と言ふぢゃ．今，犬猫に向つて棒を	ふり上ぐれ ば，すぐに逃げるのは，これは命が惜い
ふりかけ	ふ	216	10	るくときに人に射殺されてカラダに塩を	ふりかけ られる前表で有らう」と答へましたが果し
ぷりぞん	プ	242	09	は昔は牢屋と申しました．フランスでは	プリゾン と申しまして其の字義はラテン語に基づき
	プ	262	01	，フランスにおきましては監獄のことを	プリゾン と申します．其の意味はツカマヘておく場
ふりょう	不	251	11	のお疑ひは晴れませう．今度は未丁年の	不良 者でありまして此の者を不良少年と名づけます
	不	251	11	は未丁年の不良者でありまして此の者を	不良 少年と名づけまする．此の不良少年の中には種
	不	251	11	此の者を不良少年と名づけまする．此の	不良 少年の中には種類が三通り有りまして満二十歳
	不	252	01	を知らざる者が有ります．これは純粋の	不良 少年で有りまして未だ罪人では有りませぬが，
	不	252	11	ふのが趣意で有りまする．此の未丁年の	不良 少年は監獄に入れまることは宜しくありませ
	不	252	16	与へなければならない．よつて未丁年の	不良 少年には教育を与へ教誨を施し，これにても不
	不	257	05	が為めに心の人なみにならざる者（即ち	不良 少年）で有ります．而して天然の貧民に属する
	不	257	12	ます．而して壮健なる貧民を救助し及び	不良 少年を矯正（即ち心の救助をゝ）するは一時の資
	不	258	07	，又は親族なき者で有ります．第二種は	不良 少年にして親族の矯正なき者，又は矯正の足ら
	不	258	10	教育も致させなければなりませぬ．此の	不良 少年の種類は四種ありまして，其の一は出願慫
	不	258	12	其の三は幼年囚，其の四は徘徊する所の	不良 少年で有ります．これは前に申しました所の矯
	不	260	10	盲唖院，養育院即ち乞食院，矯正院即ち	不良 少年の慈恵所など色々と有りまするから一方に
	不	270	03	恐るべきことでは有りませぬか．また，	不良 少年の多少は其の教育の有無に関係することが
	不	275	02	また其の次に重もなる者は幼年囚，及び	不良 少年の教育，並びに保護でありまして，これは
	不	275	03	した．殊にアメリカにては幼年囚，及び	不良 少年の教育，並びに保護は実に盛大なる有様で
	不	261	07	つて善良なる少年は学校の管轄と致し，	不良 なる少年は矯正院の管轄と致し，丁年以上の不
	不	261	08	少年は矯正院の管轄と致し，丁年以上の	不良 なる人民は監獄の管轄と致し，放免者は慈恵と
	不	276	07	と云ふやうな意味がありまして何卒して	不良 なる心を改めて良民にしてやりたいと云ふ原則
	不	253	07	教誨，懲戒の三事を施します．尤も其の	不良 の度合ひに応じて右各科目の多少をきめること
	不	263	16	罪予防部と申しまして，此の部に於ては	不良 の少年を教育感化し，また無籍の幼年者を教育
	不	266	03	ころ）で有りまして此の所に於ては放恣	不良 の幼年者を感化し以て犯罪の予防をすることで
	不	270	12	．して見まするとと教育の一番少ない者に	不良 の者が多いと云ふことは此の事実から見ても尤
	不	270	14	でありまする．俗に智識がひろまるほど	不良 の奸智も殖ると申す者が有りまするけれども，
	不	250	11	う．即ち丁年以上の者が悪い事をすると	不良 民，所謂る罪人となりまする．此の不良民は其
	不	250	12	不良民，所謂る罪人となりまする．此の	不良 民は其の儘にして置く訳には参りませぬから再
ふる	ふ	207	09	云ふことが有ります．しかし雨のやうに	ふる と云ふことは少ない．雨と云つても今日の雨な
ふる	古	212	02	たのだとすれば，彗星が家ならば流星は	古 材木の様なもので有りますから，本当の彗星の中
ふるい	古	167	11	か．前に申したやうな訳で新しい問題は	古い 学問では解くことは出来ますまい．新しい人間
	古	213	06	をするなどと云ふことは大不得手の方で	古い 事を穿鑿するのが持ち前イヤ病ひで御坐います
	古	227	05	います．私の聞きました所では日本の極	古い ときは郡に分れまして各郡に其の時分には何と
	古	215	14	たもので小説の原とも云ふ昔話しの一番	古い ところは昔々隠岐の国に一疋の兎があつた所が
	古	090	06	出来ませぬ．神の御言葉と云ふ聖書の極	古い 所に申して御坐ります．即ち「神の御言葉はこ
	古	217	12	つた始めで有らうと思ひます．其の次に	古い のは宇津保物語で，此の作者は源の順だと云ひ
	古	168	03	でも本草でも鉄砲でも競ひ出して段々と	古い ものが新しく改良になつて来るのは人間の成り
	古	168	05	うなもので，これは当り前なことで若し	古い ものばかり見て，いゝ気になつて居るやうでは

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ふるい）	古	168	13	でも丁度其れと同じやうに騒ぎ立て大抵	古い　ものは押し倒されました．丁度私が二十四五の
	古	223	07	もので其の上人は朱雀，村上の朝の人で	古い　ものサ．これまでが演劇の成り立ちとも云ふべ
ぶるい	部	076	08	フェッソルのガハで御坐んして消極的の	部類　に属することで御坐んせう．さて又右の如く消
	部	226	06	申し上げました．今日よりは純粋の行政	部類　に這入りまして第一に行政官権並びに行政議会
ふるき	古	178	01	コロンボスがアトランチックの海浜にて	古き　器物のコワレをさがせしも木ひろひなりと見る
ふるく	古	216	14	たもので有りませう．其れから我が国に	古く　霊異記だの感霊録だのと云ふ仏法の霊験を書物
ふるつ	ふ	007	07	に八九は有りませう．だが実際裸にして	ふるつ　て見たら字を書くことの外は知らざる者が多
	ふ	051	07	り殊に外山君の御演説は尤もで何も彼も	ふるつ　て支那文字の不便なこと仮名の便利なことを
ふるは	揮	007	04	ると直に毛氈と唐紙を持つて来て名筆を	揮は　れむことを請ふを競ふ世の中．なかなか漢字の
ふるふ	振	168	08	つたが其の頃は世界開化の勢ひが弱くて	振ふ　ことが出来なかつた．其の後，二百六七十年す
ふるめかしい	古	225	07	辺のことには一向関はりませぬで，たゞ	古るめかしい　ことを述べて諸君のお耳を煩はしまし
	古	217	10	しながら天に昇つてしまつたなどと云ふ	古めかしい　趣向が有るだけに我が国で先づ小説を編
ふるめかしく	古	221	02	るにはよいもので後に馬琴などが趣向を	古めかしく　して高尚に構へたものよりは却つて考証
ふれ	触	052	04	数字の外はモロコシの字を用ひぬことと	触れ　出し一字使つた者は懲役一年，二字使つたら懲
	触	063	16	ぜず奔走し昼は炎天にさらし夜は湿気に	触れ　漸く提灯を股に狭んでウタゝネし時ならざるに
	触	204	15	らせ，彗星とトルコ人を調伏すべし」と	触れ　を出しました．あとで調べて見れば，これは全
ぶれんす	プ	227	13	君主の如きもので，フランス語で云へば	プレンス　即ち藩主で有つて其の領分内に於ては殆ん
ぶろしゃ	孛	068	04	諸君の中に御承知の方も御坐いませうが	孛漏生　国では裁判官たるの能力を有するには二回の
	孛	069	01	待たねばならぬ訳で有ります．之を以て	孛漏生　国の司法官吏たること及び代言人たるの難い
	孛	070	02	八百八十三年の調査に係つて居ります．	孛漏生　国の有様は斯の如くで御坐いますが眼を転し
	孛	070	08	リと調べましたので御座います．而して	孛漏生　と日本との人口を比較するが要用で御坐いま
	孛	068	01	すから私が見聞致しました独逸国，殊に	孛漏生　に於て裁判官及び代言人は如何なる順序によ
	孛	068	11	の大試験を受けることが出来ます．通例	孛漏生　に於て学生となることの出来るものは年令満
	孛	069	05	及び実地上の研究を要するにも係はらず	孛漏生　には司法官及び代言人たるを望む者年々に増
	孛	070	01	．実に邦国の幸ひで御坐います．而して	孛漏生　の裁判官代言人の数は何程かと言ふと裁判官
	孛	070	08	の人口を比較するが要用で御坐いますが	孛漏生　の人口は二千七百二十七万九千百十一人，日
ぷろふぇっそる	プ	076	07	殊に之を講究するといふことになつては	プロフェッソル　のガハで御坐んして消極的の部類に
	プ	210	09	したつと今度はまた山師が「ベルリンの	プロフェッソル　の誰がいよいよ彗星が地球に突き当
ふろん	不	251	16	心を矯め直すことを図ります．此の者を	不論　罪懲治者と申します．また弁別心が有つて悪事
	不	252	08	しなければならぬもので有ります．故に	不論　罪懲治者にあれ，出願懲治者にあれ，脅迫懲治
	不	253	06	りを三つに分けまして出願懲治者の部，	不論　罪懲治者の部，幼年囚の部と致して之に教育，
	不	258	11	まして，其の一は出願懲治者，其の二は	不論　罪懲治者，其の三は幼年囚，其の四は徘徊する
	不	272	01	る．第三，懲治場．こゝには刑法に於て	不論　罪懲治者の宣告を受けたる者と両親，又は親族
	不	275	13	．また近頃は感化事業即ち幼年囚，及び	不論　罪懲治者，並びに出願懲治者の教育保護の事業
ふわ	不	122	10	云ふ病を起したり発狂したり夫婦の間に	不和　を生じたり家の乱れを醸したりするのも酒から
ぶわけ	部	125	04	の間に其の色々の邪魔と妨げをチャント	部分け　して委さに説くことが出来ませぬ故に其の種
	部	231	09	かる．其れから各省の大臣は行政事務を	部分け　して担任して居りまして，各大臣の側らに専
ふん	分	063	10	之を笑ふ位の忙しき所にて日本にては五	分　はオロカ一時間も前からステーションに詰めかけ
	分	063	09	間を貫び鉄道のステーションに於ても五	分　も待つて居るときは人皆な之を笑ふ位の忙しき所
ぶん	分	013	02	い処で僅か日本の三千二百四十八里と四	分　の一で一番小さい所は三千二百三十七里と八分の
	分	013	02	で一番小さい所は三千二百三十七里と八	分　の一です．其れで地球は立派な球では無い，ひつ
	分	016	04	か有りませぬ．其れ故に地球の直径十一	分　の三，即ち地球の直径を十一に割つて其の三つに
	分	023	04	星は一尺一寸あります，直径が太陽の十	分　の一ありまして地球からの距離は太陽よりは余程
	分	174	17	遠いやうに思ふが維新以来モハヤ其の五	分　の一を過ぎましたからサホド遠いものではありま
	分	205	12	ｋｅの彗星と云ふが有りますが三年と四	分　の一ごとには戻つて来るもので有ります．諸君は
	分	254	08	獄を出ましたる放免者と名づける者は十	分　の九分九厘は将来の犯罪人と云ふ虞れが有ります
ぶん	文	218	04	目を立てゝ小説めかしたのは同体の仮名	文　だからで有りませう．さて，伊勢物語，源氏物語
	文	053	02	て仮名を附け其れが段々一種の真片仮名	文　になつたものと思はれます．もと漢学の開け始ま
	文	219	15	では迚も今日まで知れませぬ．全く仮名	文　の物語小説が有つたればこそ千年の後までも其の
	文	218	11	す．其の時分には男は漢文で書き，仮名	文　は女が書いたもので御坐います．ソコデ物語は婦
	文	059	12	以来如何なるものが舶来したかと云ふに	文　武工商農等の必要なる学芸の輸入せしは勿論なれ
	文	217	08	り且は既に遊仙窟などと云ふ支那の小説	文　も舶来して人々の翫びとなつて居ましたからソコ
	文	164	06	に付て一つの話しが載つて居た．今其の	文　を読みませう．余亜丁に在り聞く数年前，法君那
ぷん	プ	059	04	すから下水流しなどの穢い所を掃除して	プン　とする鰯の頭や香の物のキレッパジ等を常に堆
ぷん	分	027	05	々まで来ますに十分はかゝらない幾ど八	分　と少しで来ます，丁度九段の坂下からこゝまで人
	分	063	01	左なくしてナニ人力にて行くときは三十	分　にて行けると云ひながら安閑として囲碁や将棋を
	分	027	05	早いもので太陽から我々まで来ますに十	分　はかゝらない幾ど八分と少しで来ます，丁度九段
ぶんかい	分	152	12	と言ふと同じく憲法と行政法との詳細の	分界　は甚だむづかしいことも有ります．ツマリ行政
ぶんがく	文	140	14	で有つたかと申すに一つは文明国と違ひ	文学　がサホド進んで居らぬ故でも有りませうが多く
	文	156	01	治学，理財学，法律学，社会学，史学，	文学　まだ此の外にあるので，ごすけれども先づ此の
ぶんこ	文	062	12	は長き贅沢ぶくろを下げ背には大いなる	文庫　を背負ひ足には廻板然たる木履を穿ち，おまけ
ぶんこう	分	031	09	まいかと云ふ疑ひが起りますが此の頃，	分光　器と言ふものが発明になりまして総ての物体が
ふんじばつ	ふ	157	06	おのれは太い奴だ」と言つて，トウトウ	ふんじばつ　て牢に入れました．さうすると友達や親

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
ふんじゅう	糞	102	02	あると見たなれば必ずそれを外さない.	糞汁	も厭はない芋のシッポも嫌はない. 日本人は清
ぶんしょ	分	239	11	ころは監獄, 監獄派出所, 警察署, 警察	分署	, 裁判所, 県庁, 郡役所, 戸長役場, 等合せて
ぶんしょ	文	167	17	相互に智識交換の為めに書くものや法令	文書	の往復まで先づドウかカウか行はれて居ますが
ぶんしょう	文	142	07	もので御坐ります. 小説家もたとひ其の	文章	が流暢なばかりではいけません. 学問が有つて
	文	162	03	を為した元祖だ. 其の酒誥は至極面白い	文章	では有るが, むづかしいから私が其の大意をひ
	文	213	10	のやうなもので御坐います. さて小説は	文章	で書くもの, 演劇は立ち働いて見せるものと云
	文	216	16	. 其れから山城に都を遷されてから仮名	文章	と云ふものが起り, 物語と云ふツクリモノが出
	文	009	01	, 次第に長い言葉に移り, 言葉より短い	文章	に移り, 短い文章より次第に長い文章に移る様
	文	009	01	い文章に移り, 短い文章より次第に長い	文章	に移る様にして教へこんだなら遂には誰も漢字
	文	220	01	目の前に見るやうに書いたもので有るが	文章	の飾りが有るだけに小説が交つては居らぬかと
	文	220	04	は作り物語だと云はれましたが如何にも	文章	の面白いだけにお負け話しが有ることで有りま
	文	220	13	云つて継母に悪まれたムスメの話しや,	文正	の草紙と云つて常陸の国に居た大福長者の話し
	文	218	01	のは伊勢物語, 其れから源氏物語で段々	文章	も趣向も巧みになり殊に源氏物語は非凡の大筆
	文	219	17	平治物語, 源平盛衰記, 平家物語などは	文章	も面白くて目の前に見るやうに書いたもので有
	文	009	01	に移り, 言葉より短い文章に移り, 短い	文章	より次第に長い文章に移る様にして教へこんだ
	文	008	15	ず, また一つには仮名か羅馬字で綴つた	文章	を読ませるがよい. これは少しづゝ時をかくれ
	文	162	02	. この酒誥といふものが酒のことに付て	文章	を為した元祖だ. 其の酒誥は至極面白い文章で
ぶんたい	文	052	15	似たものを書く様になり庭訓往来の様な	文体	となり其れで記録を書いたのが東鑑, 其れが段
	文	052	16	れが段々流れて来て一筆啓上といふ様な	文体	になつたので漢文で公文を書いたのが流れて来
	文	217	01	して有ります. 其の作者は分りませぬが	文体	の古雅な所を見れば延喜以前のもので有りませ
ぶんつう	文	053	17	年月教へたら上等科のことを学ばないで	文通	が出来やう. 田舎の様子を見ますに漁村僻邑と
ふんど	憤	098	13	であるとありては我々の悲しみは変じて	憤怒	となるも蓋し当然のことであります. 全体我が
	憤	094	13	ながら我が人民は助からぬといふは実に	憤怒	に堪へぬことであります. これは我輩のみなら
	憤	094	16	るを得ぬことです. 併し此の悲歎と此の	憤怒	の感情より゛て証拠も無い者を以て有罪である
ぶんのう	文	162	05	の大意をひらたく申して見れば汝の皇考	文王	方伯と為り西国に在られしとき庶邦の官長に戒
	文	162	07	大祭に灌献の礼を行はしむるが為めのみ	文王	また群臣の小子に教へて曰く常に酒を飲んで以
ぶんばい	分	260	07	りまするから, これは他の有益なる方に	分配	すべきもので有ります. 故に相当の資本が備は
ふんばつ	奮	223	02	めに観世氏の祖, 観阿弥世阿弥の父子が	奮発	して其れまでの猿楽の舞を修正して多くの新曲
	奮	101	03	が併しながら長く怒ることは出来ない.	奮発	することもするが長く奮発することが出来ない
	奮	101	03	は出来ない. 奮発することもするが長く	奮発	することが出来ない. 我々日本人は素撒人種の
	奮	117	11	ら会を立てて約したことが有ると自から	奮発	する心にもなるものだから成るたけ此の会を盛
ぶんぴつ	文	214	16	はナホサラ真の理をして見せるものゆゑ	文筆	の業では及ばない所の人情の極意を写し出す真
ぶんぶ	文	192	16	行は天子がなさつて居られる. 其の下に	文武	百官を使つても執行権は天子が持つて居られる
ぶんぶつ	文	167	15	り東漸といふことがあり支那印度などの	文物	制度が入り来つて, まるで自分の物のやうにな
	文	102	08	のない話し. 日本だからと申しても制度	文物	の外国に優らずとも劣ることなきものがイクラ
	文	180	10	降世前の世界に於てギリシヤやローマが	文物	隆盛を極めた時の婦人の有様とキリスト教文明
ふんべつ	分	188	13	全く相異つて居るものでドウしても之を	分別	しなければなりませぬ. フランスでは千七百八
	分	188	15	度取り変へましたが立法権と執行権とは	分別	して混雑したことは無いことになつて居ります
	分	092	09	と云ふことで御坐ります. 花の様な智慧	分別	だに無きものも思はず知らず斯の如き立派な結
ぶんぼう	分	262	11	の方法が四通り有りまする. 其の第一は	分房	法と云ひまして, これは一房に一囚をおきまし
	分	263	07	る. 第四は階級法と申しまして, これは	分房	法と雑居法とを折衷してこしらへたるもので有
	分	263	08	もので有りまして刑期の初めは厳密なる	分房	法を用ひ, 其の後ち段々と改悛の情状をあらは
	分	266	07	犯罪者を入れまする. 其の方法は最初は	分房	法を用ひ沈黙させて其の所為の悪かつたことを
	分	266	11	を用ひまして最初は専ら懲戒を主として	分房	法を用ひます. 而して大分, 悔悟の徴をあらは
	分	267	01	いたしまする. さうして, これには必ず	分房	法を適用いたしまする. 其の趣意は未決者はま
	分	267	03	があるので起るもので有りまする. 故に	分房	法に致しませぬと, 他の未決者から証拠を押し
	分	267	07	になりまする. 故に此の部の事業は必ず	分房	法を用ひなければなりませぬ. 第四の出獄人授
ぶんめい	分	016	10	ルリを旋つて居ります. して見ると月は	分明	に地球の眷属, 地球の家来に違ひ無いです. 月
ぶんめい	文	065	02	は人力車や丸髷島田の増減は日本男女の	文明	如何を卜するに足るものと思ひます. 諸君如何
	文	065	01	代るは頗る緊要なことで日本もモウ少し	文明	が進歩し人智が開けて来たならば斯の如き犬馬
	文	043	17	れたらば人類は亡びたであらう. 又今日	文明	開化になりたのも強い人種が弱い人種を打ち負
	文	080	01	より完全なる所へ進み行くことでツマリ	文明	開化の方へ段々と進んで行くことを申します.
	文	085	10	不完全なる所より完全なる所へ進み畢竟	文明	開化の所へ進み行くことで御坐ります. それか
	文	086	04	るもので有りますか, 社会の進歩と所謂	文明	開化を妨げるもの, また之を進ませるものは如
	文	140	14	如何なる所以で有つたかと申すに一つは	文明	国と違ひ文学がサホド進んで居らぬ故でも有り
	文	180	10	盛を極めた時の婦人の有様とキリスト教	文明	国の婦人の有様を比較て御覧なさい. 今日の米
	文	276	08	たいと云ふ原則でありまする. これ則ち	文明	国に於て将さに為すべきの事業であらうと信じ
	文	182	01	関係が宜しきに適はなければ決して真の	文明	社会を見ることは出来ません. ナゼなれば夫婦
	文	274	12	と云ふので監獄改良と云ふ事柄が今日の	文明	世界に於て政府, 及び学者の務むるところとな
	文	178	04	. 其の頃の時代なれば兎もあれ, 今日の	文明	たゞ一席の口上なりとせず相互に問答研究して
	文	044	17	害してはならぬと云ふことも矢張り今の	文明	と云ふ欧羅巴でも実際に十分行はれて居らぬ.
	文	033	14	ます. 其の外, 近来国を開化させるとか	文明	にしようとか国を富すとか強くするとか云つて
	文	121	06	程下つた」と西哲は言はれましたが国が	文明	になるに随つて人間の品位が段々と上るべきの

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ぶんめい）	文	038	12	と云ふなれども近頃の説では野蛮の国と	文明	の国とは善悪も邪正も顚倒して道徳は其の時の
	文	065	06	邦今日の有様は未だ半開化の人物が多く	文明	の何たるを知らずして所謂五里霧中にさまよひ
	文	071	05	勉励と培育とを加へられて共に我が国の	文明	の基礎となるべき機関を製造陶冶せられむこと
	文	044	01	．若し初めより耶蘇の教が行はれたらば	文明	は起らぬであらう．併しあまり残忍のことも沢
	文	041	04	理屈は立たなくなる．中華と誇る国でも	文明	を以て鳴る国でも一度は彼様な風習を通りて来
	文	034	03	者は有りませぬ．然るに今日，日本で「	文明	」と訳字を付けましたシビリザションといふも
ぶんりょう	分	016	12	て其れは有りませぬ．若し有りましても	分量	が甚だ少くて迚も我々の測量に届かないです．
	分	117	12	たいもので有ります．人によりては酒の	分量	といふものは人によつて違ふ故に節酒と言つて
	分	028	03	有りますまい．そこで色々な星の明りの	分量	を比較して段々と距離の比例を取ると非常の遠
ふ／ひろそふ／ひい	フ	138	06	つと善い薬が有ると申してスペンサーの	フ／ヒロソフ／ヒー	を貸して呉れ之を寝しなに一ペ
へ	へ	216	02	中に海を渡つてしまつた．さて因幡の地	へ	上つた所が鰐は「兎が私たちをだました」と云つ
	へ	160	01	になるか灰になる外はなく余所へ行き天	へ	上りはしない．するとタマシヒのことで，なけれ
	へ	092	03	宗教で常に人を善の方へ進ませて貴い方	へ	上げる宗教で御坐ります．箇様な宗教をうちゃつ
	へ	211	12	ふ説が有ります．実はコッチが彗星の中	へ	頭を突こんだことが現に有つたのです．尤も僅の
	へ	012	12	羅巴へはドウ往く」「日本から亜米利加	へ	往くにはドンナ海が有る」などいふことは諸君が
	へ	182	14	の割合だといふことが出来ませうか．上	へ	往けば往くほど其の割合が多くなるではありませ
	へ	207	01	らぬと待つて居りました，けれどもドコ	へ	いつたか今度は全く見えなくなりました．其の後
	へ	054	01	言ふと漢語ですが田舎の百姓などが学校	へ	往つても天文地理だとか何だとかむつかしいこと
	へ	216	01	鰐が眷族を連れて来て隠岐から因幡の方	へ	一パイになりました．其の上に兎が乗つて一つ二
	へ	079	16	坐りませぬ．劣りたる所より優れたる所	へ	賤き所より貴い所へ不完全なる所より完全なる所
	へ	032	01	が彼の所謂る星雲でアマノガハから其れ	へ	移るのは丁度我々の太陽系から脇の太陽系に移る
	へ	089	07	モトの悪しき有様を出でまして善い有様	へ	移る願ひと望みと志しが無ければなりませぬ．然
	へ	003	01	とか其の外物理上化学上の智識をこちら	へ	得れば風雨を凌ぐことも出来れば暑さ寒さを防ぐ
	へ	006	07	お留守で字の講釈に止るのが有る．諸県	へ	お役で出た人の話にも偏がドウだとか傍がドウだ
	へ	247	01	子を生むと「これはモウ何人目だから元	へ	お戻し申さう」と云つて直ちに其の膝の下に，生
	へ	216	03	て怒つて兎の皮を剝いで行きました．所	へ	大己貴の神が通りかゝつてかわいさうだと思召さ
	へ	026	05	ますと海王星を太陽から三里ばかりの所	へ	置きまして此の星をば一万九千九百里ばかりの所
	へ	164	05	へ帰つて作つた書物で其の人から私の所	へ	贈つてよこしたが其の書物の中に酒のことに付て
	へ	159	11	をビックリすると同じことで軍配がドコ	へ	落ちるかは教法上の問題になつて居ます．アチラ
	へ	164	04	察の為めに欧羅巴亜米利加を巡回し支那	へ	帰つて作つた書物で其の人から私の所へ贈つてよ
	へ	255	01	牢獄と名づけました牢屋の前を通ると家	へ	帰つて門前で塩をかけると云ふ風も有りまするが
	へ	214	05	の雑学者の喜多静廬や村田了阿などの所	へ	買ひ出しに行きました．さう云ふ訳で有るから上
	へ	018	10	球が回つて居る，其の一遍回つて元の所	へ	来ます間が即ち一年と言ふもので有ります．そこ
	へ	184	15	なりません．曾て或る人がキリストの許	へ	来て「人は何の故に係らず妻を出しても支障御坐
	へ	196	03	とで，束髪会へ這入つたり，此の講談会	へ	聴きにお出でなさる方などは全く別儀で御坐りま
	へ	001	14	も少し申します．この四五日前に私の所	へ	今日この席に居らるゝ愛媛県高松の郡長兼県庁の
	へ	159	05	にして，あるものでござす．所が東洋の方	へ	来ると，さうはいけない．明の頃に天主教が渡り
	へ	035	08	う．己れの大切なる智慧までも徳利の中	へ	質物にするとは何と無欲なものでは御坐りますま
	へ	007	03	来るばかり．其れだから役人などが地方	へ	巡回に出ると直に毛氈と唐紙を持つて来て名筆を
	へ	090	14	が滅多に御坐りませぬ．人を完全なる所	へ	進ませる模範は耶蘇基督より外に御坐りませぬ．
	へ	092	03	督教は即ち進歩の宗教で常に人を善の方	へ	進ませて貴い方へ上げる宗教で御坐ります．箇様
	へ	080	01	り貴い所へ不完全なる所より完全なる所	へ	進み行くことでツマリ文明開化の方へ段々と進ん
	へ	085	09	歩と云ふものは劣りたる所より優れた所	へ	進み賤い所より貴い所へ進み不完全なる所より完
	へ	085	10	所より優れた所へ進み賤い所より貴い所	へ	進み不完全なる所より完全なる所へ進み畢竟文明
	へ	085	10	い所へ進み不完全なる所より完全なる所	へ	進み畢竟文明開化の所へ進み行くことで御坐りま
	へ	085	10	より完全なる所へ進み畢竟文明開化の所	へ	進み行くことで御坐ります．それから続いて改良
	へ	089	06	る御方は必ず賤き有様を免れて貴い有様	へ	進むの志が無ければなりませぬ．モトの悪しき有
	へ	015	04	作りまして三角から三角に移り次第に先	へ	進んでドンナに遠い所までも測量致します．そこ
	へ	080	01	所へ進み行くことでツマリ文明開化の方	へ	段々と進んで行くことを申します．抑も昔よりこ
	へ	102	10	特別の開化をして居るから国情さへ西洋	へ	通ずれば感心させるものは尠くない．然るに外国
	へ	032	12	球の中の事を調べる学問で私は地球の外	へ	出て言つたので有ります．これだけでは実は余り
	へ	136	01	ます．そこで見物人が表の口にはいり裏	へ	出まして其の庭を見ますれば誠に面白くも無く，
	へ	231	17	ふことも有り，また府県知事が自ら議会	へ	出て討論をすると云ふことも出来まする．此の如
	へ	176	10	て調べるが宜しからう．我が国人の外国	へ	出稼ぎ移住する有様を調べることが第一でありま
	へ	011	09	は答へは出来ないかも知れない．小学校	へ	でも参つたことの有るものなら「日本は亜細亜の
	へ	175	16	寄生物」といふ人間の道理に随つてドコ	へ	でも出稼ぎし移住して居るから大胆にもなり仕事
	へ	254	03	を致しましたから外へ出ると直きに妓楼	へ	でも上つて見たいと云ふ考へを起しまして忽ち其
	へ	119	13	易ならざることで有ります．只今此の会	へ	出る前に少しばかり其の事を書いて参りましたが
	へ	254	03	居りまして窮屈な目を致しましたから外	へ	出ると直きに妓楼へでも上つて見たいと云ふ考へ
	へ	158	14	局の使ひ野郎になつて銘々どもが「京都	へ	電信をお頼み申します」といふと「オット承知で
	へ	011	12	がりには限りの無いもので其れから其れ	へ	と知りたいのは欲心で唯今久原君の講談にも有り
	へ	239	07	り，新潟より長岡，高田を経て信州長野	へ	と道を取り，其れから信州上田追分等より有名な
	へ	275	01	どもナカナカ費用がかゝるので右から左	へ	と云ふやうに総体を変へる訳には参りませぬ．ま

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（へ）	へ	173	11	来るパンはバタでも付いて居るやうで口	へ	通りもよく，滋養もありさうな心持ちがします．
	へ	003	11	と．それで今我が国の有様を見るにドコ	へ	時が一番かゝつて居るかといふと肝腎の智識に時
	へ	220	11	りました．其れは画の方が重もで其の上	へ	説き明しを附けたもので福富の草紙と云つて善と
	へ	012	11	御話し申しませぬ．「亜細亜から欧羅巴	へ	はドウ往く」「日本から亜米利加へ往くにはドン
	へ	233	11	では左様に致さず成りたけムツカシイ所	へ	は行かずに稍々程度を下くして日本語を以て教ふ
	へ	002	06	あつたか知らない．そんならナゼ月の部	へ	はいつたといふに私は別にこれぞといふ考へも無
	へ	002	10	ナゼそんなら仮名の組の中で人の多い所	へ	はいつたかといふに何でもよい片仮名でも平仮名
	へ	196	03	と云ふのは一般の婦人のことで，束髪会	へ	這入つたり，此の講談会へ聴きにお出でなさる方
	へ	211	06	は有るかも知れません．彗星が我々の所	へ	這入つて来ると丁度何か化学の試験をする時に壜
	へ	255	15	で有るから華族の門前を通つて来たら家	へ	這入る前に塩をかけると云ふやうなことは決して
	へ	212	03	なもので有りますから，本当の彗星の中	へ	這入れるのは推して知れませう．たゞ少し恐ろし
	へ	169	01	れます．ところが我が国人の心は西の方	へ	ばかり向ひて東の方には向はない．これは人の自
	へ	142	13	勧善懲悪と云ふ桁をこしらへ悉く其の中	へ	はめこんだもので人情本などでも其の仕組は大体
	へ	005	08	のはアメリカへ留学したものでトルピド	へ	破裂丸を投げつけたは誰なるぞ．字は書ける奴だ
	へ	196	16	．故に彗星はドンナ所から出てドンナ所	へ	ひつこむと云ふことを知つたらば彗星を怖れるの
	へ	079	16	る所より優れたる所へ賤き所より貴い所	へ	不完全なる所より完全なる所へ進み行くことでツ
	へ	054	02	らない．初学で下り而して舟を漕ぎ，畑	へ	弁当を持つて行く様になる。其れを用の弁ずるま
	へ	237	15	見れば何でも無いことで骨の折りよい所	へ	骨を折つて，オマケに己れの大利益となることだ
	へ	239	07	り酒田に出で，酒田より蒸汽船にて新潟	へ	参り，新潟より長岡，高田を経て信州長野へと道
	へ	201	11	を致します．すると極丁寧な人はコッチ	へ	向いて答礼をしてくれますし，其れより少しドウ
	へ	255	13	言はれますまい．或ひは自分の妻を将軍	へ	妾同様に売り付けて其の禄高を増して貰つたと云
	へ	120	08	が世界に移住すると同じ様なもので日本	へ	も明治二三年頃から麦酒などが移住して来まして
	へ	023	10	ばならない，其れだから其の雛形をこゝ	へ	持つて来ることが出来なかつたので有ります．実
	へ	052	05	としモロコシの字を書いた書物は広い原	へ	持つて往つて焼いてしまふといふ大決断をいたす
	へ	250	13	く訳には参りませぬから再たび之を学校	へ	やつて其の心を改めさせたいが，学校では他の善
	へ	160	01	ラダは土になるか灰になる外はなく余所	へ	行き天へ上りはしない．するとタマシヒのことで
	へ	005	07	支那から留学生の一万人も二万人も西洋	へ	行く様にしたい．この間の戦争に誰か少しばかり
	へ	029	08	ものは天の中に沢山あります．段々先き	へ	行くに従つてチットづゝ分りかねて参ります．併
	へ	169	11	シルシがあるやうで，其の訳は亜米利加	へ	行く者が年々に多くなるやうに見えます．亜米利
	へ	170	05	す．これに就いて考へると官費で欧羅巴	へ	行く者の方は金も千両なら千両揃へて持つてゆき
	へ	170	06	千両揃へて持つてゆきませうが亜米利加	へ	行く者の方はさうでありますまい．欧羅巴へ行く
	へ	170	06	く者の方はさうでありますまい．欧羅巴	へ	行く者の方は富貴の財で行き亜米利加へ行く者の
	へ	170	07	へ行く者の方は富貴の財で行き亜米利加	へ	行く者の方は人に頼つたので無く全く自発して行
	へ	005	08	り戦争らしいことをやつたのはアメリカ	へ	留学したものでトルピドへ破裂丸を投げつけたは
	へ	215	15	一疋の兎があつた所が其の兎が内地の方	へ	渡らうと思つても海を渡ることが出来ない．ソコ
へ	経	232	11	レコレのことは是非とも府県会の決議を	経	て行へ，但し諮問の場合に於ては必ず其の意見を
	経	239	06	岩手，青森に道を取り，其れより秋田を	経	て山形に参り，山形より酒田に出で，酒田より蒸
	経	239	07	にて新潟へ参り，新潟より長岡，高田を	経	て信州長野へと道を取り，其れから信州上田追分
	経	232	04	規則第三条掲載の事項は府県会の議決を	経	なければならぬけれども府県に固有のことでも該
へい	塀	241	07	へませぬ．また監獄のことにしましても	塀	が立派で有つたとか，場所が高かつたとか低かつ
	塀	142	03	のは大切なものなれども，たゞ柱を削り	塀	を塗るは普通の職人にも出来る．小説家は其の仕
へい	弊	262	05	らなかつた者は入れておくと云ふやうな	弊	が大いに有りました．然るところ近世は段々と改
	弊	061	16	車せしむるあり．斯の如く人力車濫用の	弊	たる我が邦人をして暗々裏に健康を害すること頗
	弊	063	13	ルシでありませう．されば人力車濫用の	弊	たるや国民衛生上頗る有害なることで又人力車夫
	弊	061	12	りませうが現今に至つては非常に濫用の	弊	を生じて斯の如き必要の場合にのみ使用せずして
	弊	061	17	ものと思ひます．所で斯く人力車濫用の	弊	を生じたる所以を考るに其の原因となるべきもの
	弊	062	14	の如き種々の原因よりして人力車濫用の	弊	を生じ来り三助でもオサンドンでもダルマでもム
	弊	064	12	ものは必竟前に申した通り人力車濫用の	弊	を生ぜしに因るものにしてツマリ人民が人力車の
	弊	102	17	して然るなれば此の大原因たるところの	弊	を矯め直さねばならぬ．即ち私が示したる二個の
	弊	224	12	云ふものを起されましたのは定めて此の	弊	を矯正しやうと云ふので，強ち西洋風を移される
	弊	260	17	になる，此の度合ひを超ると惰民製造の	弊	を来すと云ふのを判断するのは容易いことで有る
へいい	兵	163	02	気は充分に有つた人で随分場所柄もよく	兵威	も益々盛んになつたから明智光秀に弑されなか
へいか	陛	231	03	の二原則で有ります．施政はツマリ天皇	陛下	御一人でおやりなされば宜いのですが，さうは
	陛	193	05	権も天子に属して居ります．政府は天皇	陛下	及び内閣大臣より成り立つて居る．政府の名義
	陛	191	17	在るかといふと天皇陛下に在るので天皇	陛下	が詔勅を出せば既に定まつたことを改むること
	陛	231	07	段に分けまして上から言ひますと，天皇	陛下	が内閣に居られて政を為さると其の下に大臣会
	陛	243	09	等を設け之に執行の事を掌らしめ．天皇	陛下	が此の二大政権事務の上部を握られて天下の事
	陛	243	06	名づけまする．我が国では主権者は天皇	陛下	でありまするから立法権も執行権も皆な天皇陛
	陛	191	17	る．この主権は誰に在るかといふと天皇	陛下	に在るので天皇陛下が詔勅を出せば既に定まつ
	陛	192	03	です．立法権は誰に在るかといふと天皇	陛下	に在る．明治元年に五箇条の御公論に決すとい
	陛	192	15	れから執行権は誰に在るかといふと天皇	陛下	に在るので執行は天子がなさつて居られる．其
	陛	231	02	第二には行政官は総て執行権，即ち天皇	陛下	に隷属すると云ふことの二原則で有ります．施
	陛	243	07	りまするから立法権も執行権も皆な天皇	陛下	に在りまする．けれども一方に於ては元老院等

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（へいか）	陛	190	09	す．日本では使ひませぬが外国では皇帝	陛下	の名義を以て判決すといふ言葉を使ふ所がありの
	陛	193	05	居る．政府の名義を以てやることは天皇	陛下	のなされることである．其れから裁判のことも
	陛	139	14	小説家のサカレイと申したら上はクエン	陛下	より下は裏店社会のおかみさんまでが其のクシ
	陛	151	06	全国一般の利益に関することで上は天皇	陛下	より内閣，諸省，府県庁，郡区役所，戸長役場
へいがい	弊	121	04	せたら其れからして論も起らうし，また	弊害	が有ると云ふことが分れば自然と節酒する人も
	弊	181	16	る道理で御坐ります．さて其の根本たる	弊害	とは何であるかとなれば一夫多婦或は蓄妾の風
	弊	121	09	らうかと思はれます．其れに就ては酒の	弊害	の及ぶ箇条が有りますがドウしたらば此の調べ
	弊	181	13	へには禁酒禁煙は抑も末でまだ其の上に	弊害	の根本たる者があらうと存じます．若しも世の
	弊	184	03	は出来ません．また，これから起る所の	弊害	不幸は何程だか知れません．キリスト教は即ち
	弊	034	14	し財を費すことになつて種々様々に人に	弊害	を及ぼして参りませうと思ひます．併し大慾の
	弊	119	01	だけのことで有ります．飲酒より生ずる	弊害	を調査するの方法を論ず明治十八年十二月二十
	弊	120	15	，申したのは西洋の学者が西洋の飲酒の	弊害	を除かんとの骨折苦心から出た話しで有ります
	弊	121	01	に申した通り西洋の学者は西洋の飲酒の	弊害	を見て説いたことで有りますが私はドウも日本
へいき	平	004	07	争をやつて居なくてはならない．それに	平気	になつて多くの字を頭に繰り込んで唐紙に字ぐ
へいきん	平	171	09	にも大層な便利がありませう．また十日	平均	位に行くことも出来ませう．一昨日，亜米利加
	平	068	16	官となり一定の俸給を得まするまでには	平均	三箇年を待たなければなりませぬ．其れはＡｓ
	平	174	02	除いたものと就籍等の増人数を四箇年に	平均	すると三十六万二千七百七十四人になります．
	平	070	11	僅で御坐いまして斯の如き需要供給の不	平均	で御坐いますから失敬では御坐いますが今日僅
	平	071	07	学士の供給は既に需要に溢れて居る，不	平均	である」と云ふ如き盛時に遭遇するの栄を得む
	平	172	11	たゞ北亜米利加人が我が金銀貨の価の不	平均	なのに乗じて大いなる利益を攫み去つたことが
	平	028	02	で，小さく見ゆるのは遠いのだと思へば	平均	の上では大違ひは有りますまい．そこで色々な
	平	179	14	制らるゝ者は之を放ち凡て世の不釣合不	平均	を取り除き人に自由幸福を与へる者で御坐りま
	平	260	12	行はれまするが，これは救助がソレゾレ	平均	を得たるもので有らうか或ひはムヤミに一方に
へいけ	平	219	17	れからして保元平治物語，源平盛衰記，	平家	物語などは文章も面白くて目の前に見るやうに
べいこく	米	088	09	するならば進歩することが出来ませぬ．	米国	の土人，ニュージーランド島のマオリと云ふ人
	米	088	12	も其の儘で満足して居ります．モウ多年	米国	の政府が骨折つて教訓いたしましたことも御坐
	米	180	11	婦人の有様を比較て御覧なさい．今日の	米国	や英国の婦人の有様と支那印度や土耳古の婦人
	米	131	09	す．基督教の反対論を駁つ為めに英国，	米国	，独逸国などに毎年出版になる所の書籍類も実
へいし	兵	059	06	け合ひます．又近くは我が陸軍や海軍で	兵士	の食物を改良し空気の通暢を善くし衛生に注意
	兵	059	07	の通暢を善くし衛生に注意せらるゝので	兵士	の病気が減じたと云ふも，これ皆開化の効能で
へいし	聘	058	10	とも出来，また諸君が東京より奏楽者を	聘し	て奏楽をお聞きなさることも出来ると云ふのは
へいじ	平	219	17	なる資けとなります．其れからして保元	平治	物語，源平盛衰記，平家物語などは文章も面白
へいじつ	平	162	08	と勿れまた民の小子を戒めて曰く農民は	平日	土物を愛し耕作を勤め能く其の父兄に事へ商賈
	平	218	15	だが大かたは源氏の君や其の他の人々の	平日	の動作言行を記して其の間に時々の景色と歌と
へいじょう	平	122	09	独逸でコレラ病に罹る者を調べたのには	平常	酒を多く飲む者が余計にコレラ病に罹つて死ん
	平	099	15	居るもの重大なる責任のあるものにして	平常	はこの義侠の勇気に富み殊に危難の場合に臨み
	平	111	06	ひ無い．即ち今回の事件の如きは彼等が	平常	我々を虐待する種々様々なる一部分であらうと
	平	100	02	我々を同等の人間と考へたるならば其の	平常	，義侠に富むの商売柄から考へて見ても決して
べいじん	米	100	10	は勿論，英人の如く尊敬さるゝこと無く	米人	の如く尊敬さるゝこと無く船長及び乗組員の心
へいそう	兵	164	14	て，日く惜む君の謀る所已に晩し余早に	兵艘	三隻をして前往駐守せしむと．客之を聞き猶ほ
へいそつ	兵	274	05	と云はざるを得ませぬ．此の費用を以て	兵卒	を養ふ者と致しますると三万八千人を殖すこと
へいたい	兵	075	02	暴行等があつて，こはくてたまらぬから	兵隊	も無ければならず巡査も無ければならず又凡夫
へいふう	弊	179	04	梶之助君演説婦人矯風会の目的は社会の	弊風	を矯め道徳を修め飲酒喫烟を禁し以て婦人の品
	弊	179	05	にありと規則書に見えますが凡て社会の	弊風	を改良すること取り分け婦人の地位を高くする
	弊	181	14	たる者があらうと存じます．若しも世の	弊風	を改めやうとならば先づ其の根本から改めてか
へいみん	平	045	03	思ふ．例へば英国は自由国ぢゃが貴族と	平民	が有りて上院は貴族が占め下院は人民の名代人
へいわ	平	173	06	ことをいやがるタチで，イクサは嫌ひで	平和	親睦しやうといふ気風があります．国内でも強
へー	へ	157	09	せんからネ）「向後キット申さんか」「	へー	申しません」と誓ひを立てた．さうして「申し
ぺーじ	ぺ	138	06	ソフ／ヒーを貸して呉れ之を寐しなに一	ページ	読みたまへと申されました．私も妙な医者だ
へーるす	へ	057	08	に「健康は万福の基」之を英語で云へば		Ｈｅａｌｔｈ　ｉｓｔｈｅｆｏｕｎｄａｔｉｏｎｏｆ
べから	べ	065	12	今にして之を改めなければ後年必ず測る	べから	ざるの惨状を醸すに至りませう．古語に曰く
	べ	075	05	去るなどといふ様なこと実に挙げて算ふ	べから	ざることで則ち其れ等のことが消極的のもの
	べ	086	13	は丁度こゝで御坐ります．基督教の欠く	べから	ざること即ち基督教の必要はこれ等の質問に
	べ	095	05	する．併し道徳と法律とは自から混同す	べから	ざるもので道徳上で賞罰することも法律上で
	べ	153	10	るのです．其れから人民の所有権は侵す	べから	ざるものといふことを憲法できめるが鉄道を
	べ	255	17	なることを知り，懲戒の厳にして酷なる	べから	ざることを知らなければなりませぬ．犯罪人
	べ	001	09	臨席になるとのことなれば此の機会失ふ	べから	ず．一体，仮名の会員になつて居るのは考へ
	べ	001	12	申し上げたい位のことゆゑ此の機会失ふ	べから	ずと考へまして，つまらないことなれども少
	べ	009	02	して教へこんだなら遂には誰も漢字廃す	べから	ずの論を唱へる人も無からう．この子供等が
べき	べ	219	11	或ひは心ざまのことを論じた所が妻とす	べき	女は容儀にも芸能にもよらず，たゞ心が落ち付
	べ	103	02	良をしたならば日本人は真面目になり得	べき	か．私は宗教の力に依るの外に方便あるまじと
	べ	255	09	ピキは悪かつたから今の警察官は賤しむ	べき	かと云ふと決して左様なものではない有様であ
	べ	217	09	て居ましたからソコラを考へ合せて然る	べき	学者が始めて此の空中楼閣の話しを作つたもの

代表形	判	ページ	行			
（べき）	べ	024	08	見えます，丸に一文字の紋所とでもいふ	べき	形に見えます．此の筋と同じ向に彼の四つの衛
	べ	113	06	修業するなどといふことは少しも非難す	べき	廉は無いが其れですら節せずに余り度を過すと
	べ	071	06	へられて共に我が国の文明の基礎となる	べき	機関を製造陶冶せられむことを望みまする．又
	べ	064	09	のものにして随分他に立派な業を営み得	べき	屈撓な壮年男子です．然るに斯の如く犬馬同様
	べ	107	02	出来ませぬ．たゞこの感情を言ひ現はす	べき	言語の無きを憾むのみであります．諸君は我が
	べ	106	13	五名の霊魂を慰め其の遺族の怨みを晴す	べき	公平正当の裁判あらむことを冀望する場所は則
	べ	038	02	所の一個の有機物ぢゃと云ふことを知る	べき	ことぢゃ．そこで日本国民は日本国民と云ふ一
	べ	047	10	はれぬならば其の時こそ其の事を歎息す	べき	ことぢゃ．欧羅巴人が亜米利加の土人を逐ひま
	べ	097	07	蒐集のことは迚も二三の人を以て為し得	べき	ことで無いから私が諸君に願ふ所は諸君充分に
	べ	111	01	うと信じます．終りに臨み我輩は一言す	べき	ことが御坐ります．若し今回の事変にして単に
	べ	120	03	染する内密の流行病で有ると解して然る	べき	ことと思はれます．世界に名高い経済学者Ｒｏ
	べ	168	04	つて来るのは人間の成り立ちに於て然る	べき	ことで丁度子供が成長したり智慧も段々と開け
	べ	181	10	す．今日我が邦の社会に於て改良を加ふ	べき	ことは色々あつて既に規則書にも見えた通り飲
	べ	183	10	儒者の教にも妻が夫に対して貞操を守る	べき	ことは随分喧しく説いてあるやうで御坐ります
	べ	183	11	御坐りますが夫が妻に対して貞操を守る	べき	ことはトント説いてないやうで御坐ります．然
	べ	185	08	百に十の比例としても実に驚くべく憂ふ	べき	ことと申さねばなりません．斯様に軽々しく妻
	べ	187	10	唱へつゝ神のため国のために御尽力ある	べき	ことと存じます．私が婦人矯風会の会員方に望
	べ	233	07	くなり，また卒業生も多くなり誠に祝す	べき	ことで有ります．実に此の専修学校は私立の専
	べ	235	05	卒業生の出来ることとなつたは実に祝す	べき	ことで有ります．其れに次では諸君の今日卒業
	べ	235	07	で今日の栄誉を得られたことで実に感ず	べき	ことで有ります．しかし尚ほ小成に安んずると
	べ	237	02	有つたが其れを取るだけで其の外に学ぶ	べき	ことで有ると思つても口出しすれば謀叛人同様
	べ	237	09	日と利害，幸不幸を異にすることは驚く	べき	ことで有ります．其れに反して御一新後，今日
	べ	270	02	を造り出すことになりまする．実に恐る	べき	ことでは有りませぬか．また，不良少年の多少
	べ	276	12	今，一層長くなるだけの罰に止めて然る	べき	ことと考へまする．其の他，何事につけても此
	べ	267	13	就いてお考へになれば監獄に於て執行す	べき	事業は明瞭にお分りになるで有りませう．前に
	べ	109	16	聞紙等に拠つて見ますと尚ほ一層怪しむ	べき	事実が有る．只今申した数多の事実によつて考
	べ	095	07	於て罪すべき人であつても法律上で罪す	べき	証拠が無いときにはノルマントン号船長と雖も
	べ	145	06	いと認めた新著を出版しまた手本になる	べき	西洋小説を翻訳させ検定の上で之を出版せしめ
	べ	099	14	たず．且船長は幾多船客の生命を保護す	べき	責任のあるものである即ち当時の主人の地位に
	べ	102	16	といふことがノルマントン号事件の起る	べき	大原因となつたのであらうと考へる．若し果し
	べ	096	15	然れば今日吾人が我が同胞の為めに尽す	べき	第一の職分は証拠の蒐集に尽力することで御坐
	べ	204	14	らば「ミゴトな彗星で有ります」と言ふ	べき	ですが其の頃は非常に驚いたものと見えまして
	べ	204	13	ふ有様で「各々安き心なし」とでも云ふ	べき	時で有りました．今日ならば「ミゴトな彗星で
	べ	250	02	丁年者と唱へまして専ら之に教育を施す	べき	時で御坐います．未丁年者の教育は智慧の教育
	べ	062	17	頃より家を出るときは充分先方に達し得	べき	に左なくしてナニ人力にて行くときは三十分に
	べ	065	11	髷や長袖広帯のナマケ服など共に皆改む	べき	の最も急務なるものです．今にして之を改めな
	べ	107	01	事は実に悲むべく憫むべく怒るべく恨む	べき	の極にして「情け無いことをした」といふより
	べ	121	07	になるに随つて人間の品位が段々と上る	べき	のが酒を飲む為めに却つて段々と下つて来る様
	べ	276	08	する．これ則ち文明国に於て将さに為す	べき	の事業であらうと信じまする．若し此の大原則
	べ	095	10	さぬものである．尚ほ尽すべき道がある	べき	のに，たゞ陳述のみを以て其の裁判を畢りたる
	べ	122	04	思はれませう．また其の為めに最も恐る	べき	黴毒が殖え，また私生の子が殖えます．私生の
	べ	130	09	ので有る故に必ずドコまでも互に符合す	べき	筈のもので御坐ります．優勝劣敗の面白い法則
	べ	184	17	である．神が合せ給ふたものを人が離す	べき	筈はない．姦淫の故でなくして妻を出して他の
	べ	268	07	のものにせよ，一切変つたことは無かる	べき	筈で有りまする．普通の監獄を別ちますると其
	べ	105	08	十五名の霊魂を慰め遺族の怨みを晴らす	べき	判決が有りさうなものだのに不当にも神戸在留
	べ	095	05	助けなかつたのは実に道徳上に於て罪す	べき	人で御坐りまする．併し道徳と法律とは自から
	べ	095	06	とが御坐ります．故に道徳上に於て罪す	べき	人であつても法律上で罪すべき証拠が無いとき
	べ	144	12	には此の節は追々西洋の本を読んだ然る	べき	人たちがソロソロ西洋の小説を訳したり又は著
	べ	214	11	まふ」などと云ふことで士は勿論，然る	べき	人とはツキアヒが出来ませんだつた．然る所，
	べ	038	06	の説には天然自然に有る所の吾人の守る	べき	法則ぢゃと云ふことなれども併し近頃の西洋の
	べ	080	17	歩，総ての改正改革を遂げる為めに用ゆ	べき	方法は斯の如きもので御坐ります．第三．総て
	べ	095	10	審理の道を尽さぬものである．尚ほ尽す	べき	道があるべきのに，たゞ陳述のみを以て其の裁
	べ	061	17	を生じたる所以を考るに其の原因となる	べき	もの種々ありますが第一市中を往来するに人力
	べ	080	16	個人に付ても，また社会に付ても適用す	べき	もので御坐ります．畢竟，人の総ての進歩，総
	べ	091	01	せうか．厚き志を起すには基督教に競ぶ	べき	ものが御坐りませぬ．基督教は人間の権力腕力
	べ	094	02	裁判は其の犯罪の地の裁判所にて管轄す	べき	ものでありまするから．尤も土地と言つても地
	べ	096	13	故殺に当るといふは少しく大早計と言ふ	べき	ものでは御坐りませぬか．然れば今日吾人が我
	べ	128	06	ます．また遠からずず全く聞えなくなる	べき	ものも御坐ります．学術の歴史を調ぶれば暫く
	べ	143	10	は小説を貴ぶが小説と云ふものは卑しむ	べき	もので有る，小説は人情本で有る，其の中でも
	べ	144	03	有るからとて画と言ふものは全く卑しむ	べき	ものとは言はれますまい．これと同じことで所
	べ	186	07	罪人であるし，若し男が神の恩恵を蒙る	べき	ものならば女も同様に神の恩恵を蒙るべきもの
	べ	186	07	きものならば女も同様に神の恩恵を蒙る	べき	ものと致します．故に新約書にもキリストを信
	べ	189	02	これ等は議政といふ立法権の種類に属す	べき	ものでありませう．其れから執行権の事は絶え

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（べき）	べ	192	17	ますが天子といふものは一体，何人ある	べき	ものか，二人あるか三人あるかといふに天子は
	べ	223	01	なりました．これが演劇の濫觴とも云ふ	べき	もので有りませう．足利の始めに観世氏の祖，
	べ	223	07	サ．これまでが演劇の成り立ちとも云ふ	べき	もので有ります．其の後，女歌舞伎，若衆歌舞
	べ	229	11	．今，性質から云へば区は郡の下につく	べき	もので有ります．其れならば区は郡の中にある
	べ	229	12	にあるかと云ふと中では無いが下にある	べき	もので有るに違ひ有りませぬ．戸長の大いなる
	べ	229	15	は違ひ知事の下役ですから人民の公撰す	べき	ものでは無いと思ひます．其れから沖縄県内は
	べ	240	17	争者が出来て遂に○○君の配偶者になる	べき	ものを他人に望まれ其の配偶者となると云ふこ
	べ	248	16	ませぬから決して罪人と同様に取り扱ふ	べき	ものでは有りませぬ．何故に罪人にあらざるも
	べ	254	16	御坐います．よつて監獄は決して賤しむ	べき	ものにあらずと申すことに注意致さねばなりま
	べ	255	14	これ等の為めに今日の華族は皆な賤しむ	べき	もので有るから華族の門前を通つて来たら家へ
	べ	257	17	貧民救助の目的は次に述ぶる如くに定む	べき	ものと考へられます．第一，貧民の救助．これ
	べ	258	13	た所の矯正院に於て掌るもの即ち救助す	べき	もので有りまする．前の二つの外に放免者即ち
	べ	258	17	でも出来たときには，そこで救つてやる	べき	もので有りまする．斯くの如く貧民の救助は慈
	べ	259	04	県，町村より補助するの仕方を以てやる	べき	もので有りまする．斯くの如く貧民の救助は犯
	べ	260	07	るから，これは他の有益なる方に分配す	べき	もので有ります．故に相当の資本が備はりたる
	べ	260	13	なことが有りはすまいかは宜しく注意す	べき	もので有りまする．第六，監督者を設くること
	べ	270	13	尤もで，また道理からしても，さうある	べき	ものに相違ありますまい．然れば犯罪人を減少
	べ	277	07	即ち感化院）放免囚監獄は決して賤しむ	べき	ものにあらず犯罪人と貧民との関係貧民救助の
	べ	040	15	申した様に今日から見れば悪人とも云ふ	べき	者が却りて賞められ貴ばれたので其れに反して
	べ	040	16	れに反して今日から見れば善人とも云ふ	べき	者は却りて擯斥される風習になり盗賊を働いた
	べ	099	11	間と見しならば斯くの如き事件は起り得	べき	や．私はあまり船乗につきあつて見たことは無
	べ	106	10	やを判決するに非ずして免状を取り上ぐ	べき	や否やを調べる為めである．故に刑事上の裁判
	べ	230	13	云ふやうなものが有れば郡を無形人とす	べき	や否やは考へものです．府県，郡区，町村の三
	べ	278	05	は我が国の現在の監獄上のことを論述す	べき	やの順序ではありまするが現在のことは学術の
	べ	062	16	り今日の午后六時に番町より神田に行く	べき	用事あるに当つて午后四時頃より家を出るとき
	べ	064	16	万の人は犬馬の如き業を廃し国益となる	べき	立派な他の業を営むことも出来ませう．又従つ
	べ	063	17	寐を分たず実に人間たるものの得て為す	べき	業に非ず犬馬の業と云はなければなりますまい
べき	可	164	16	此に由て之を観れば酒の事を誤るを見る	可き	也．我が日本帝国人民の将来を前知するの説及
	可	064	06	疾駆するものに於ては一層の劇症を発す	可き	は当然のことでありませう．現に人力車夫に頓
へきゆう	僻	053	17	が出来やう．田舎の様子を見ますに漁村	僻邑	と言ふと漢語ですが田舎の百姓などが学校へ往
へきりん	碧	164	07	三，提督をして船を駛せ紅海に至らしめ	碧林	の小島彼時不毛の地たり人の之を主どるなしを
べく	べ	106	17	海底の藻屑となりたるの一事は実に悲む	べく	憫むべく怒るべく恨むべきの極にして「情け無
	べ	106	17	たるの一事は実に悲むべく憫むべく怒る	べく	恨むべきの極にして「情け無いことをした」と
	べ	185	08	．よしや百に十の比例としても実に驚く	べく	憂ふべきことと申さねばなりません．斯様に軽
	べ	106	17	屑となりたるの一事は実に悲むべく憫む	べく	怒るべく恨むべきの極にして「情け無いことを
	べ	123	10	と云ふ御相談を致すので有ります．然る	べく	は此の次ぎの会の問題にでもして篤と御相談を
べし	べ	162	06	めらるゝには惟々，祭祀は則ち酒を用ふ	べし	蓋し天の我が民に酒を作らしむるは郊社宗廟の
	べ	037	04	に道徳なし」とは甚だ分りにくき題なる	べし	と考ふることゆゑ先づ初めに社会と云ふことか
	べ	162	12	るべし我この群飲の者を以て死刑に処す	べし	といふのだ．書経には偽書が有るといふことだ
	べ	093	02	さんとせば宜しく先づ証拠蒐集に尽力す	べし	明治十九年十一月十八日「ノルマントン号沈没
	べ	113	01	人類的の欲をして動物的の欲を制せしむ	べし	明治十八年六月二十七日大日本節酒会の第一小
	べ	162	11	献酬歓を承けて以て天倫の楽みを全くす	べし	若し故なく群を成し相聚り酒を飲む者あれば其
	べ	162	12	縦すことなく尽く執へて以て宗周に送る	べし	我この群飲の者を以て死刑に処すべしといふの
	べ	134	04	るに「爾等，世に在りて善き行ひを為す	べし	，これ爾等を誹りて悪を行ふものと言へる世の
	べ	177	14	れば学理上には不都合なることも多かる	べし	．殊に初めての趣向なれば胡乱に思はれて箇様
	べ	093	07	さんとせば宜しく先づ証拠蒐集に尽力す	べし	」といふ題に付て簡短に意見を述べやうと思ひ
	べ	106	09	し又は其の免状を没収するの処分を為す	べし	」といふことがあるが英国領事が言ひ渡したる
	べ	134	06	す「人の善悪は其の実によつて之を知る	べし	」と仰せられました．または「悪き木は善き実
	べ	134	09	善き行ひを見て天に在す爾等の父を崇む	べし	」と．この言葉は人々皆承知する所の道理に善
	べ	187	04	後，万世まで人々我を福なるものと称ふ	べし	」と謳ひましたが思ふに此はマリヤが我れ知ら
	べ	187	09	り後，万世まで人々我を福ある者と称ふ	べし	」と此の凱歌を唱へつゝ神のため国のために御
	べ	204	15	は鍾を鳴らせ，彗星とトルコ人を調伏す	べし	」と触れを出しました．あとで調べて見れば，
べし	可	104	09	を要するにノルマントンの事件は悲しむ	可し	憤る可しと雖も其の遠因は軽侮にありて斯くの
	可	104	09	にノルマントンの事件は悲しむ可し憤る	可し	と雖も其の遠因は軽侮にありて斯くの如き軽侮
	可	164	13	あたり敢て延擱せず即時に以て纜を解く	可し	と．英将従容として言て，曰く惜む君の謀る所
へそ	臍	158	12	様まで萌黄の蚊帳をつつて線香をたてゝ	臍	を隠したか，ドウだか其れは私にはお請け合ひは
へだたる	距	023	07	にあり，海王星は三寸八分の球で太陽を	距る	こと二里二十五丁幾ど三里で有ります．地球の
へつ	減	175	06	ば後々とても人が殖えませう．若し人が	減つ	て来たらモウ望みは無い．減らぬからこそお互
	減	196	17	ふことを知つたらば彗星を怖れるの念は	減つ	て来るに違ひ有りません．夜闇い所で人に遇ひ
	減	236	13	遂げやうと云ふので其の大難事も追々に	減つ	ては来ましたが，ヤハリ御一新前までは鎖国攘
	減	236	17	様なる有様も御一新前になつてはヨホド	減つ	ては来たが，まだ決してウケのよい学問と云ふ
べつ	別	140	09	旨いもので筆先きのオモシロミと言ふは	別	なもので御坐ります．時代が同じなれば馬琴と比
	別	141	03	の清少納言などは固より雲の上の人にて	別	なことなれども其の他の小説家は概して卑しめら

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（べつ）	別	186	11	へますが其の品位に至つては更に高下の	別	なきことを教へます．其の他に尚ほ例を挙ればキ
	別	183	08	いふことでは御坐りません．陰陽内外の	別	なく神の前に在つて真実に一夫一婦の道を守るこ
	別	186	09	ては「或は奴隷或は自主或は男或は女の	別	なしそは皆キリストに在つて一体なればなり」と
	別	002	03	さうだが見込を聞きたいとの仰せ．私は	別	に見込は無いと申したら，一体お前は元の「かな
	別	002	06	ならナゼ月の部へはいつたといふに私は	別	にこれぞといふ考へも無く，昔の通りに仮名遣ひ
	別	012	11	から，地理学の初歩は御存じと見做して	別	に今日は地理学のことは御話し申しませぬ．「亜
	別	013	13	のことを調べます序に我々には天の中で	別	にツレは有るまいか同士は有るまいかと云ふこと
	別	014	01	する様になりまして我々の世界の外にも	別	に之に似たものが有るといふことが知れる様にな
	別	039	15	云ふ字と「徳義」と云ふ字が同じことで	別	に二つは無かりた．其れは剛勇即ち徳義と云ふこ
	別	041	08	とぢゃ．昔開けぬ時分には道徳も法律も	別	に区分が付ては居らぬ．道徳と云ふても法律と申
	別	041	09	居らぬ．道徳と云ふても法律と申しても	別	にきまりては居らず，たゞ其の社会の風習により
	別	074	08	いつて来るので金を使つただけの効能が	別	に顕はれるもので御坐んす．さういふ風の金の使
	別	150	08	．この内公法中で刑法，治罪法の二つは	別	に法典となつて居りますが其の外のは法典となつ
	別	165	05	が祝詞は皆さんのでモウ充分だから私は	別	に述べませぬ．私が今日述べやうと思ふのは矢張
	別	223	03	曲を作り滑稽にかゝつた方は狂言として	別	にしました．然る所，慶長年中出雲からお国と云
	別	228	12	市街のある所を云ひ，また県と云ふのは	別	に府と違つた所は無いが，たゞ大いなる市街が無
	別	235	06	今日卒業されたことを祝するので，尤も	別	に珍らしい言葉を以て祝することは出来ませぬが
	別	258	05	救助，兼犯罪人の予防．此の両性質には	別	に甲乙は有りませぬ．此の二かどを以て救助いた
	別	263	03	と云ひまして，これは多くの囚徒を集め	別	に区別を致しませぬもので有ります．尤も中には
	別	002	02	では有りますが，お目通りを致した所，	別	のことでも無い，お前は仮名の会の会員ださうだ
	別	030	11	すと或る向には星が少しほか見えず或る	別	の所には星が沢山見えませう．而して星の沢山見
	別	268	04	及び海軍にありまするものですから自ら	別	の物になつて居りまする．因つて軍事の監獄に関
	別	264	01	ます．則ち幼年者を数組に分ち，長幼の	別	を正しくし以て教育感化することになつて居りま
べつぎ	別	196	04	談会へ聴きにお出でなさる方などは全く	別儀	で御坐ります）．今日は兎角，物の理屈を知ら
べっし	蔑	111	04	元来彼等は一般に日本人其の他東洋人を	蔑視	し之を蔑視するの極，之を虐待して殆ど彼等と
	蔑	111	05	一般に日本人其の他東洋人を蔑視し之を	蔑視	するの極，之を虐待して殆ど彼等と同種類の人
べつべつ	別	207	13	て雨がふつたと云へば星は星，雨は雨で	別々	なもので有りさうなものだのに．星と雨とはド
	別	046	13	国とか仏国とか日本とか支那とかは各々	別々	の社会になりて居る．社会が進化して来た所で
べつぼう	別	258	15	取人の無い者，又は帰郷旅費の無い者は	別房	留置者と名づけまして監獄の中に置いてありま
	別	273	15	懲治者は百二十一人ありまして其の外，	別房	留置者と申す者が千八百六十七人あります．こ
べつもの	別	229	16	いと思ひます．其れから沖縄県内は前と	別もの	で，これには那覇と首里と云ふところが有り
へづら	へ	003	14	の為めに稲を植るヒマも水車改正の時も	へづら	れて電信機の改正もせずに机の前に坐つて字
へつらふ	諂	089	02	のは御坐りませぬ．基督教は決して人に	諂ふ	ことも無く恐るゝことも無くして人の真の有様
ぺてろ	ペ	134	03	に就て聖書の明文が御坐ります．例へば	Ｐｅｔｅｒｏ	が仰せられまするに「爾等，世に在り
ぺにてんしやりー	ペ	262	02	ふことで有りまする．イギリスの如きは	ペニテンシヤリー	と申しまして其の意味は懲治する
	ペ	262	03	ります．アメリカに於てもイギリス同様	ペニテンシヤリー	と申します．フランスに於て大革
ぺのろじー	ペ	242	12	つの学問となつて居りまする．此の学を	ペノロジー	と申します．其の意味は刑の学，即ち刑
へら	減	004	06	も止む時の無きもので病の為めに人口が	減ら	さるゝ間にも各国と共に競争をやつて居なくて
	減	175	06	若し人が減つて来たらモウ望みは無い．	減ら	ぬからこそお互に勉強して，むづかしいことも
へり	減	004	04	者が多くあれば，こちらの物を買ふ人が	減り	，こちらの物を買ふ者が減れば，こちらは次第
へる	経	190	11	死刑に処するといふときには必ず勅裁を	経る	といふやうなことは自為裁判の種類であります
べるじうむ	ベ	149	06	と思ひます．既にこのスタチスチックは	ベルジウム	でも行政スタチスチックと言つて，たゞ
ぺるしゃ	ペ	082	14	今日世界において賤しき国はエジプトと	ペルシヤ	で御坐ります．また少し後の例を挙ぐれば
	ペ	082	12	坐ります．昔の例を挙ぐればエジプトと	ペルシヤ	の国が御坐ります．これ等の国は立派に開
ぺるそんぬ	ペ	151	12	るのです．第三は無形人即ちモーラル，	ペルソンヌ	でこれは財産を所有し負債を起すことの
べるりん	ベ	069	12	ふ非常なる数に増加して居ります．故に	ベルリン	の或る新聞記者は「世の父兄子弟たる者に
	ベ	205	17	と云ふ人が肉眼で見出して名高くなつて	ベルリン	のＥｎｃｋｅと云ふ人が（これは前のＣｌ
	ベ	210	09	ました．少したつと今度はまた山師が「	ベルリン	のプロフェッソルの誰がいよいよ彗星が地
へれ	減	004	05	を買ふ人が減り，こちらの物を買ふ者が	減れ	ば，こちらは次第に衰微する．交易上の競争は
へん	偏	006	07	のが有る．諸県へお役で出た人の話にも	偏	がドウだとか傍がドウだとか言つて虫の講釈をす
	偏	004	17	なかなかユウチュウカンと長い毛の筆で	偏	冠りを正し二時間も三時間も手習ひなどをして居
	偏	065	07	やうとするも将た退かしめやうとするも	偏	に先覚者の方寸にあることです．先覚者たる者は
へん	変	177	05	数を得るに従つて其の運動の有様に常と	変	との工合あることは明かに知れます．この常と変
	変	177	06	合あることは明かに知れます．この常と	変	との出来工合を明かに調べた上は将来，我が国の
	変	211	17	が夜あかしをして居つた所，何だか天が	変	になつて北光でも無いが何であらうかと云つただ
へん	辺	210	01	も其の辺ですが，進んで居ないのも其の	辺	で有ります．昨日の定説も今日はすたり，今日，
	辺	209	17	今日，天文学の駸々として進むのも其の	辺	ですが，進んで居ないのも其の辺で有ります．昨
	辺	029	09	すかと云ふと一体，星と云ふものはどの	辺	には沢山あつてどの辺には少ないといふことから
	辺	029	09	と云ふものはどの辺には沢山あつてどの	辺	には少ないといふことからして我々の眼に見ゆる
	辺	209	17	になりますから．実に天文学はまだこの	辺	に進んでは居りません．今日，天文学の駸々とし
	辺	225	05	は世間に高論者も沢山ありますから其の	辺	のことにトント勝手を知らぬ我輩などが漫りに喙
	辺	225	07	を容れる所では無いと思ひますれば其の	辺	のことには一向関はりませぬで，たゞ古るめかし
べん	遍	211	03	も無いことだ，地球に彗星が何十何まん	遍	突き当つても何とも無い」と言ふ者も有りました

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
ぺん	遍	018	10	陽のグルリを地球が回つて居る，其の一	遍	回つて元の所へ来ます間が即ち一年と言ふもので
べんえき	便	147	16	をスタチスチックで調べるのは行政法の	便益	になることが大いなることであります．其れか
	便	148	07	スチックの法に適つて居つても行政上の	便益	を為さぬときは調べ直しをしなければなりませ
へんか	変	221	16	を作りましたは何れも洒落本の口調から	変化	したものと思はれます．さて京伝以来，三馬も
	変	041	12	「道徳は思ひの外，早く開けてしまふて	変化	は無い，智慧は次第に開けて参るものぢゃが道
へんかく	変	156	13	回つて而して猫の眼では無いテ．実に大	変革	でござす．三百年このかた，かういふになりまし
べんぎ	便	110	17	人の嫌疑を避くること英国政府の為めに	便宜	の処置であらうと信じます．終りに臨み我輩は
べんきょう	勉	237	14	ヘラになつた．今日の学生が骨を折つて	勉強	されても昔の人のと比べて見れば何でも無いこ
	勉	238	07	々も諸君，さう云ふやうに力を尽されて	勉強	されたときには昔に百倍する功績の有るのは当
	勉	238	04	つた者のことを想像されて其の志を以て	勉強	されることを望みます．尤も今お話ししたこと
	勉	077	04	参りませぬ．浅近の例を挙げて見ますと	勉強	して金を拵へましても窃盗だとか詐偽取財だと
	勉	092	08	ます．「ある花園に咲いて居る花が能く	勉強	して自らを飾りながら思はず知らず自然と其の
	勉	124	05	が，いづれの学校の生徒たる者も皆多年	勉強	して終に卒業する積りである故に，これ等の為
	勉	175	07	モウ望みは無い．減らぬからこそお互に	勉強	して，むづかしいことも，やりとげやうと，い
	勉	237	16	生は昔し厄を身に引き請けながら学問を	勉強	した人のことを考へて其の心持になつて，やつ
	勉	003	07	そこで内八時間寝て八時間遊んで八時間	勉強	する．其の八時間を百般のことに使ふ訳にはい
	勉	084	17	々の進歩を調ぶると云ふことは万国史を	勉強	する人には至つて面白いことで，また有益なる
	勉	067	11	の深切なる尽力と又諸君が多年の刻苦と	勉強	とによつて得られたる栄誉は只今この満場に於
	勉	238	08	のは当然で有りますから，此の上にも御	勉強	なさるやうに致したいと思ひまして祝辞を述る
べんけい	弁	103	06	腕力があつたかも知れないが併しながら	弁慶	があの様な豪傑なのは概して信仰心の然らしめ
	弁	103	07	張り信仰心の然らしめたのである．即ち	弁慶	が天台の宗旨を信仰し清正が法華宗を信仰した
	弁	220	08	事を仕組んだものが多いから安宅の関で	弁慶	が勧進帳を読み，箱根で工藤祐経が箱王丸に対
	弁	103	04	の日本人には非常の豪傑があつて武蔵坊	弁慶	の如き人もあれば加藤清正の如き人もある．な
	弁	103	05	れば加藤清正の如き人もある．なるほど	弁慶	は腕力があつたかも知れないが併しながら弁慶
べんさむ	ベ	137	16	方が面白い．西洋のスペンサーやミル，	ベンサム	等の本を読みましたときには上下を着た人
へんさん	編	219	16	までも其の風俗を知ることが出来て歴史	編纂	などの大いなる資けとなります．其れからして
	編	273	02	ことに致しませう．（これは内閣統計局	編纂	の「日本帝国第五統計年鑑」に拠つたものであ
へんし	偏	260	03	ヤミに慈恵，慈恵と申して一方にばかり	偏し	たときには天下の財産を以て之を補ふとも引き
	偏	248	06	際に有りまするのは，ツマリ懲戒にのみ	偏し	て教誨其の宜しきを得ざると云ふことに基づく
	偏	260	10	など色々と有りまするから一方にばかり	偏し	ても困ります．近ごろ婦人慈善会と云ふ会が東
へんじ	変	098	13	でたのであるとありては我々の悲しみは	変じ	て憤怒となるも蓋し当然のことであります．全
べんし	弁	185	15	三には男女同等の教で御坐ります．前の	弁士	も述べられた通り我が邦に於ては儒道仏道の行
べんじ	弁	085	06	す．なぜなれば此の演説の最初から既に	弁じ	た所を以て充分の証拠を立てることが出来やう
	弁	092	01	に遇ふたことは一度も御坐りませぬ．今	弁じ	た所の種々のことに由つて見ればドコから見て
	弁	125	02	るものも亦少なからず．そこで私今専ら	弁じ	たいと思ひまする所は則ち若い伝道師の妨げま
	弁	085	04	で御坐りますゆゑに，これから段々之を	弁じ	ませう．併しながら私が思ふに此の演題を証拠
	弁	126	10	従つて申し上げ，また兼ねて其の得失を	弁じ	ませう．第一．年若き卒業生の中に珍らしい勇
へんしょ	返	219	04	と先づ便りを求めて公然と文をやり其の	返書	の体や歌のヨシアシなどを考へて気に入れば云
	返	219	06	の親も其の文が気に入れば女に勧めても	返書	を書かせ，また娘が文を受け取つても親が不承
へんず	変	158	09	ことに付ては論語に「迅雷風烈には必ず	変ず	」とあるから孔子様も雷の鳴るときには青くか
へんする	偏	260	12	で有らうか或ひはムヤミに一方にばかり	偏する	と云ふやうなことが有りはすまいかは宜しく
へんずる	変	104	02	最も適当の人民であります．即ち国語を	変ずる	といふことは他国にありては最もむつかしき
べんする	弁	054	04	地が出来て肝腎のものを失ふ．この用を	弁する	には仮名を用ふることを開くに如かずと思ひ
べんずる	弁	085	03	もので御坐ります．併しながら今こゝに	弁ずる	演題は「基督教は社会進歩の為めに必要なり
	弁	054	02	だとかむつかしいことを知つても用事を	弁ずる	ことを知らない．初学で下り而して舟を漕ぎ
	弁	079	04	於てG，F，Verbeck君演説只今	弁ずる	所の演題は「基督教は社会進歩の為めに必要
	弁	079	06	るものは種々の貴い性質の中に必ず只今	弁ずる	所の進歩すると云ふ性質が御坐ります．先づ
	弁	054	03	弁当を持つて行く様になる．其れを用の	弁ずる	まで学ばさうとすると不毛の地が出来て肝腎
べんぜ	弁	105	14	く誤認せる論者に対しては一言其の妄を	弁ぜ	ねばなりませぬ．若し該言渡にして論者の思惟
へんせん	変	040	12	の開けた社会でもモトは箇様な社会から	変遷	して来たのに違ひ無い．其れは今から言へば道
	変	101	12	て進歩するの覚悟なきことは二十余年の	変遷	でよく分つて居ります．西洋各国の歴史を見ま
へんとう	返	086	15	ります．若し基督教に問ふならば明白な	返答	が決して出来ぬと云ふことが無い．若し基督教
	返	087	09	ロに逆らひ之に合はざるものなりと云ふ	返答	が出来まする．また人の善き性質，人の益にな
	返	087	12	神のミコゝロに合ひたるものなりと云ふ	返答	が出来まする．また所謂，道徳法の原因と其の
	返	087	14	ロを顕はす所の聖書なりと云ふ明らかな	返答	が出来るので御坐ります．この故に既に申し上
	返	086	08	，また一般の輿論に問ふならば明らかな	返答	は出来まいと存じます．また世の普通の学問は
へんどう	変	027	10	ます．でありますから其の星に何か一朝	変動	が生ずるか或は全く此の星が無くなつても其れ
	変	035	14	」といふことで有ります．今日世界の大	変動	と思はれまする殖民政略などのことも大慾で有
べんとう	弁	054	02	ない．初学で下り而して舟を漕ぎ，畑へ	弁当	を持つて行く様になる．其れを用の弁ずるまで
へんぱ	偏	105	13	なるものとは看做さず実に疎漏にして且	偏頗	なる裁判であると思ふ．併しながら該言渡を以
へんぴ	偏	133	09	す．一人の宣教師は支那のズット内国の	偏鄙	な村に至りまして存外其の村の戸長の如き役人
べんべつ	弁	251	13	の者と同様の悪事を働いた者は其の心に	弁別	が有つた者と，また知らずにウッカリやつた者
	弁	251	14	区別をしなければなりませぬ．ところで	弁別	心なくして行つた者は其の罪を論せずして，た

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（べんべつ）	弁	251	16	此の者を不論罪懲治者と申します．また	弁別	心が有つて悪事を働いた者は已むを得ず之を罰
	弁	107	14	あるが罰しないもので例へば幼年の者が	弁別	なしに人を殺すなどの類であります．第三種は
べんり	便	171	09	もスッカリ開けたら渡航するにも大層な	便利	がありませう．また十日平均位に行くことも出
	便	051	05	だ不調法で御坐ります．先づ仮名文字は	便利	でありモロコシ文字は不便であるといふことは
	便	060	02	ひない所は少ないと云ふは必竟これ等は	便利	であるからです．又田舎では以前は絹衣などは
	便	177	09	を広く大きくする手段を運らすに至つて	便利	であつて，また予じめ国人増殖の後難を防ぎ止
	便	064	13	してツマリ人民が人力車のたゞチョット	便利	と云ふことを知つて緊要なる衛生上の害を知ら
	便	051	07	もふるつて支那文字の不便なこと仮名の	便利	なことを述べられましたから今日私はそこは申
	便	059	14	ませう．所で人間の性と云ふものは兎角	便利	な物を悦び奇麗な物を愛し，うまき物を好き楽
	便	059	16	くものは何かと云ふに先づ奇麗なものや	便利	なもの等であります．何となれば知識が無くて
	便	059	17	が無くても学問が無くても奇麗なものや	便利	なものを欲するのは自然の性です．御覧なされ
	便	061	06	力車の如きも其れと同じことでチョット	便利	なものですからヤタラに乗る故に年々歳々増加
	便	074	08	金を出しますると丁度快楽なるものか，	便利	なるものがはいつて来るので金を使つただけの
	便	009	03	等がオトナになつて千年の後には仮名が	便利	になりはせまいかと思はれる．漢字を廃さうと
	便	171	12	すから移住出稼の運動が始まつたら益々	便利	になりませう．また我が国の人民は北亜米利加
へんりー	へ	073	14	とに付ては一己説では御坐んせんで英人	Ｈｅｎｒｙ	ＤａｎｎｉｎｇＭａｃｌｅｏｄ氏のＥｌ
べんれい	勉	236	06	が，さう云ふことを熱心な人が刻苦して	勉励	したなれども其のイサヲシは至つて小さいこと
	勉	071	04	望み未だ卒業に至らざる諸君は益々刻苦	勉励	せられて他日の成業を期待せられ又学科上に就
	勉	235	06	て祝することは出来ませぬが諸君の刻苦	勉励	で今日の栄誉を得られたことで実に感ずべきこ
	勉	071	05	上に就て教師の任を執らるゝ方は一層の	勉励	と培育とを加へられて共に我が国の文明の基礎
べんろん	弁	135	02	若し私ども専らに基督教をのみ研究し且	弁論	するならば我れ等の区域，我れ等の趣意が至つ
ほ	補	070	06	たが二十人たらずで有りませう．又判事	補	は九百〇六人，代言人は千〇六十五人で内に法学
ほう	方	007	01	は反対した方にばかり流れ益々字を書く	方	が，はやって来て字を書くことだの支那流の道徳
	方	009	04	ふ方法．併し廃さうでは無い，廃さない	方	が天下の輿論で有ります．さればこの演説も時勢
	方	021	03	し火星の表面に動物が無かつたら其れの	方	が却つて不思議で有ります．全く動物植物の生活
	方	021	07	違ひない．其れに若しも無ければ其れの	方	が却つて解しにくい．そこで地球の表面に我々の
	方	040	07	会が有る．其の様な社会では男女共同の	方	が正しいので若し一人の夫が一人の女房をもつと
	方	042	04	ふて居る，して見れば支那よりは西洋の	方	が進んで居ると思はれることぢゃ．Ｂｕｃｋｌｅ
	方	043	03	の外総て異りて政府のする仕事は法律の	方	がおもになりて参りた．併し天子は民の父母，民
	方	047	06	一つの社会にならぬのが歎はしいと言ふ	方	がよい．各国が一つの社会になりても道徳が行は
	方	053	02	．もと漢学の開け始まりは漢語を用ひた	方	が上品の様なおつな習はしがあつて漢語が日本の
	方	075	13	家の為めに希ふ所はＰｏｓｉｔｉｖｅの	方	が余計に出来てＮｅｇａｔｉｖｅの少ない方がよ
	方	075	13	余計に出来てＮｅｇａｔｉｖｅの少ない	方	がよいといふ．これは先進の説に意見を加へぬ其
	方	076	11	済もドチラでも諸君方の様に研究された	方	が何の学科であつて見ても各々立身の道を得て積
	方	100	06	いふよりは「われは羅馬人なり」といふ	方	が遙かに世間に尊まれたといふことである．諸君
	方	107	16	よりは「致死」即ち「死に致す」と言ふ	方	が宜しいと思ふ．此の犯罪は或ひは故意に出るも
	方	113	08	には利も有り害も有るがドウ見ても害の	方	が余計に見ゆる．して見れば酒といふものは先づ
	方	115	06	ればならないのにヤッパリ動物的の欲の	方	が勝つて居て食ひ過ぎたり飲み過ぎたりする者の
	方	117	13	程が分らないからイツソのことに禁酒の	方	がよいと言ふ者もあれど其れは左様な会が有つた
	方	118	02	くやうな人ならば節酒会にも，はいらぬ	方	がよい．一体，一人で孤立して守ると人と約束を
	方	118	03	守ると人と約束をするのとは約束をした	方	が固くなるわけゆゑ此の節酒会にても成るたけ堅
	方	121	03	様なものだからよく事実を挙げて見せた	方	が宜からうと思はれます．事実を見せたら其れか
	方	127	10	ことで御坐りませう．故に先づ用心する	方	が宜しう御坐ります．よく熟した学者また熟練し
	方	128	08	う御坐ります．故に先づ暫時の間，待つ	方	が宜しう御坐りませう．即ち各国の学者皆よく互
	方	128	09	て近来の色々の新論を承知するまで待つ	方	が宜しう御坐りませう．其の外に学術の色々の論
	方	132	11	の間違ひを駁つよりも真の道理を設ける	方	が余程よいもので御坐ります．若しあなた方，世
	方	132	14	りませぬ．僞りを倒すよりも真を立てる	方	がよい仕方で御坐ります．第七．基督教の反対論
	方	137	16	五経よりは馬琴の八犬伝や春水の梅暦の	方	が面白い．西洋のスペンサーやミル，ベンサム等
	方	138	12	，しかつめらしいものより面白いものの	方	が間接に効能が著しい．馬琴若しくは其の流派を
	方	138	17	其のキヽメの深浅を云ひましたら小説の	方	が固くるしい本よりは斯様なことは善い斯様なこ
	方	145	16	るが此の演劇改良よりもまた小説改良の	方	が区域が広からうと思ひます．また此の演劇を改
	方	169	13	は知りませぬが先づ亜米利加に行く者の	方	が欧羅巴に行く者よりは多いに違ひありますまい
	方	206	12	れたと云ふよりは寧ろ子を生んだと云ふ	方	が宜しう御坐りませう．其れは丁度サトイモに子
	方	209	06	ませんが，しかし中に明りを通すと云ふ	方	が多くして尤もらしく，通さないと云ふ方が怪し
	方	209	07	が多くして尤もらしく，通さないと云ふ	方	が怪しいやうで有ります．大方は頭も心も稀薄な
	方	220	06	書いた義経記などは事実よりも作り事の	方	が沢山だらうと思はれます．しかしながら猿楽の
	方	220	11	テアソビモノとなりました．其れは画の	方	が重もで其の上へ説き明しを附けたもので福富の
	方	229	01	ときは之れを町と名づけ，また耕作地の	方	が過半を占めるときには之を村と名づけるとでも
	方	231	14	．（この戸長と云ふことは町村長と云ふ	方	が，よいやうに考へます）尤も行政上では施政者
	方	242	02	せうが，中には監獄の如何をも知らない	方	が無いとは云はれますまい．曾て旅行中，新潟監
	方	247	09	余計に苦しめて彼奴を早く殺してしまふ	方	が刑の趣意に適ふだらう」などと考へるやうなこ
	方	156	07	論天文者でも日が出ると言ひますが日の	方	から出るのだから日が出ると言ふのだらうが，所
	方	219	08	家に引き取らないで親の家に置いて男の	方	から通つたと云ふことで有ります．また源氏物語

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ほう）	方	074	10	ことになります．又之に反して害を除く	方で御坐んすが，これは世の中に快楽幸福が少なく
	方	145	15	金は出さねども此の演劇改良には賛成の	方で有るが此の演劇改良よりもまた小説改良の方が
	方	148	06	人員調査のことなどはスタチスチックの	方では大事なものであります．併し人員を調査する
	方	148	14	かを市街といふ風にしたいが人員調査の	方で，それが調ばつて居ないといふと折角だが用を
	方	149	11	ありませぬ．併しスタチスチック学者の	方では行政法に関係して居ることは斯の如くではあ
	方	153	02	属してあると，きまつて居れば行政法の	方ではドウいふ風に其の即位式を行ふといふことを
	方	155	14	動物学，金石学，物理学，其れから心の	方で心理学，哲学，倫理学，道徳学，政治学，理財
	方	156	08	とは言はれない．地が円いのだから地の	方で回つて，いくのださうでござす．其れが今では小
	方	190	05	たことを実際に行ふ即ち政を行ふといふ	方で，其れから行政上の法律規則を執行するのが行
	方	213	06	議論をするなどと云ふことは大不得手の	方で古い事を穿鑿するのが持ち前イヤ病ひで御坐い
	方	218	12	に作つたので，かの勧善懲悪などと云ふ	方では無くて人情の方を専らとして書いたので有る
	方	224	02	人気が人形座の方に向いたから狂言座の	方でも其の浄瑠璃を語つて俳優が人形の代りに働く
	方	233	10	りますが其れが一番肝腎なことで官立の	方では外国語で教ふるが私立学校では左様に致さず
	方	219	05	を考へて気に入れば云ひより，また女の	方でも男の文の体や風聞によつて，ゆかしくも，き
	方	075	17	もので御坐んせうし経済の方は積極的の	方と言つても宜しう御坐んせう．是れ等が則ち必要
	方	001	06	して参議方の御臨席を願ふに付ては其の	方にも席上の演説をせよとのこと．私は一向仮名の
	方	003	09	て来る．八時間の使ひ方を智識の方便の	方に使ひ過ればイヤでもオーでも真の智識を得る為
	方	007	01	んな見込は無い．今日の有様は反対した	方にばかり流れ益々字を書く方が，はやって来て字
	方	020	04	陽を続つて居ますから若し太陽の向ふの	方に此の星が居る時には太陽のソバに見ゆるもので
	方	030	04	さうでもないが小さな星がアマノガハの	方に行く程多いです．其れからして此のアマノガハ
	方	036	07	は「大いなる社会は大いなる欲」といふ	方に御賛成の様に見ゆる，誠に面白いことです．ど
	方	041	17	とは甚だしく違ふて居る．支那では上の	方に十分，権をもたせて上の者は下の者を圧制する
	方	062	11	て忽ち足を疲らし殊に婦人の如きは裾の	方には綿を入るゝこと恰も飾り餅を付けたるが如く
	方	074	17	ｕｅ即ち消極的の価値で御坐んす．前の	方には大分利が多う御坐んすが只今申した方の は疾
	方	075	06	のことが消極的のものであつて害を除く	方に付て居る様のもので御坐んす．而じて其所に至
	方	113	09	る．して見れば酒といふものは先づ悪い	方に勘定をしなければ，ならないので酒を節するは
	方	169	01	が国人の心は西の方へばかり向ひて東の	方には向はない．これは人の自由心と物理と関係の
	方	170	08	して行くのでありませう，富貴の働きの	方には限りがありませうが人民の自発の方には限り
	方	170	08	方には限りがありませうが人民の自発の	方には限りはありますまい，して見れば，これは我
	方	189	14	権で干渉することがあり，また執行権の	方にも立法権が干渉することがある．といふものは
	方	189	16	色々ありませう．其れで，この執行権の	方になりますと執行権は共和国に於ては大統領，君
	方	195	03	い用事が有りまして，相手と一所に東の	方に出て参りましたが，其の時，相手と「ミゴトな
	方	224	01	浄瑠璃作者が出て世間の人気が人形座の	方に向いたから狂言座の方でも其の浄瑠璃を語つて
	方	260	07	で有りまするから，これは他の有益なる	方に分配すべきもので有ります．故に相当の資本が
	方	075	01	には大分利が多う御坐んすが只今申した	方のは疾病に罹ると医者を頼むとか権利を伸張せむ
	方	075	15	の儘の説で御坐んす．兎も角も利を興す	方のガハに使用するのは積極的のもので害を除く方
	方	246	17	れるもので御坐います．例へば昔は北の	方の或る地方に於ては母親が子を生むと「これはモ
	方	003	02	の首を取ることも出来るけれども方便の	方はたゞ之を知つて居ても仕方が無い．言葉だの文
	方	006	06	物学の講義でも植物学の講義でも実物の	方はお留守で字の講釈に止るのが有る．諸県へお役
	方	017	14	違ひで月は地球より小さいけれど太陽の	方は地球よりも遙に大きい．其れのみならず月が地
	方	036	05	可笑くなりませう．一方のヒロソヒーの	方は調子が合ふから人が聞いても感じましてよく聞
	方	075	15	に使用するのは積極的のもので害を除く	方は消極的のものであるとして見るときは法律学と
	方	075	17	を得るといふもので御坐んせうし経済の	方は積極的の方と言つても宜しう御坐んせう．是れ
	方	114	13	欲をば人類的の欲と言つて，飲食の欲の	方は他の動物にも人類にも通じて有るから動物的の
	方	115	03	類たる甲斐はない．而して動物的の欲の	方は熾んなれども其の品等を言へば至つて低いもの
	方	120	02	予防をすることも，かなへますが酒疫の	方は内心に起るもので有つて外に見はれぬから酒疫
	方	146	04	かゞつて金を集めることはイヤだ．この	方は利益も有ることで資本も多くかゝらないことだ
	方	169	15	居るやうに見えます．欧羅巴に行く者の	方は学術研究の為めで官費を仰ぐ者か，または華族
	方	169	16	やうな金持ちたちで亜米利加に行く者の	方は大抵貧乏書生やハタラキテの類で自ら思ひ立つ
	方	170	05	就いて考へると官費で欧羅巴へ行く者の	方は金も千両なら千両揃へて持つてゆきませうが亜
	方	170	06	持つてゆきませうが亜米利加へ行く者の	方はさうでありますまい．欧羅巴へ行く者の方は富
	方	170	06	さうでありますまい．欧羅巴へ行く者の	方は富貴の財で行き亜米利加へ行く者の方は人に頼
	方	170	07	方は富貴の財で行き亜米利加へ行く者の	方は人に頼つたので無く全く自発して行くのであり
	方	189	07	権は法律をきめるものであり，執行権の	方は立法権できめましたことを実際に行ふといふ趣
	方	189	09	いふ趣意で御坐います．然るに立法権の	方はおもに代議士だとかいふやうな国会議員などよ
	方	189	10	な国会議員などより成り立ち，執行権の	方は皇帝のみで成り立つて居ります．併しながらド
	方	213	13	少の学問が無ければなりませぬが演劇の	方は下等社会までも見るものだから第一に世間の流
	方	223	03	正して多くの新曲を作り滑稽にかゝつた	方は狂言として別にしました．然る所，慶長年中出
	方	224	17	面を改めるやうになりませうが，小説の	方は，これまでと違つて立派な人の仕事となりまし
	方	225	02	い改良を見ることが出来ませうが演劇の	方はまだ見物の了簡が強盗や情死でなくては面白が
	方	231	12	りますと知事が一人で施政を為し議政の	方は府県会また常置委員会が有ります．町村になる
	方	196	08	．一体，この彗星をこはがるのは東洋の	方ばかりでは無く，西洋では東洋よりも甚しく，こ
	方	080	01	る所へ進み行くことでツマリ文明開化の	方へ段々と進んで行くことを申します．抑も昔より

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（ほう）	方	092	03	基督教は即ち進歩の宗教で常に人を善の	方	へ進ませて貴い方へ上げる宗教で御坐ります．箇
	方	092	03	の宗教で常に人を善の方へ進ませて貴い	方	へ上げる宗教で御坐ります．箇様な宗教をうちゃ
	方	159	05	のにして，あるものでござす．所が東洋の	方	へ来ると，さうはいけない．明の頃に天主教が渡
	方	169	01	はれます．ところが我が国人の心は西の	方	へばかり向ひて東の方には向はない．これは人の
	方	215	15	に一疋の兎があつた所が其の兎が内地の	方	へ渡らうと思つても海を渡ることが出来ない．ソ
	方	216	01	デ鍔が眷族を連れて来て隠岐から因幡の	方	へ一パイになりました．其の上に兎が乗つて一つ
	方	006	03	とを知らぬもの．併し考へて見れば外の	方	も分る，考へても分らないでは無からう，考へさ
	方	068	04	しようと思ひます．諸君の中に御承知の	方	も御坐いませうが孛漏生国では裁判官たるの能力
	方	019	09	で，正月元日の或る時刻に此の星の居る	方	をあき方とか何とか唱へて賞翫したものです．こ
	方	020	17	のまはりを回つて居りまして地球が内の	方	を回つて居ますと火星が外を回つて居ます．これ
	方	022	04	遠いものも有れば近いものも有り，内の	方	を通つて居るものも有り外の方を通つて居るもの
	方	022	05	り，内の方を通つて居るものも有り外の	方	を通つて居るものも有る．一番遠方に居るのが海
	方	115	02	人類といふものは低い欲よりは高い欲の	方	を勝たせなければ人類たる甲斐はない．而して動
	方	218	12	勧善懲悪などと云ふ方では無くて人情の	方	を専らとして書いたので有るからドレにも男女の
	方	224	04	から狂言作者は学問はさておいて気転の	方	を専らとするやうになり，少し学問気の有る者の
ほう	法	045	05	違ひ無い，法律の上で一般人民を害する	法	が有るのぢゃ．其れなら共和政治は公明正大ぢゃ
	法	045	12	ら参政の権を奪ふてあるので他を害する	法	が立ちて有るのぢゃ．則ち一方の人を利して一方
	法	129	11	ものなりと言はれた，これから我が道徳	法	がドウなりませうか」と．また或る人が「旧約聖
	法	248	01	をよく教ゆる法で有りまする．此の教誨	法	が有るので始めて己れの所業の悪かつたことを覚
	法	176	08	一必要でスタチスチックの穿鑿法，簿記	法	から着手し次第に進んで比較判決などの高尚なる
	法	247	16	ふることと致します．其の第二は，教誨	法	即ち心の教育法で有りまして其の目的は「汝の為
	法	147	01	お耳を煩はしたことで御坐ります．行政	法	大意第一回明治二十年二月十二日スタチスチック
	法	188	01	に望む所も即ちこれで御坐ります．行政	法	大意第二回明治二十年三月十二日スタチスチック
	法	226	01	述べて諸君のお耳を煩はしました．行政	法	大意第三回明治二十年五月十四日スタチスチック
	法	046	03	悪い事をせぬ人が已むことを得ず立てた	法	ぢゃ．当然と云ふ訳では無けれども社会の維持と
	法	094	07	律学上に於て研究するを要するは英吉利	法	で御坐りませう．併し私は英吉利法は職違ひで御
	法	130	16	居る大空と人の霊魂の中に住む所の道徳	法	で御坐ります」と．実に面白いお話しで御坐りま
	法	147	12	の権で，きまつて居つて其れが即ち行政	法	であります．また山林のことを調べましても川が
	法	147	15	出すとか町村から出すとかいふのは行政	法	であります．これ等の事実をスタチスチックで調
	法	150	11	の国と人民との成り立ちで其の次は行政	法	であります．行政法は内公法の一つで政治学の一
	法	150	16	ものの細密なる部分を定めるものが行政	法	であります．行政法と言へば一国施政上の法律規
	法	152	07	上，等の権理を保護するものであり行政	法	では憲法できめた原則を実際に行ふものでありま
	法	153	04	ものから税を取らないといふことは行政	法	できめることであります．また人民は血税を納め
	法	153	06	徴兵に取りこれは省くとかいふのは行政	法	で定めるのです．また憲法では宗教自由（耶蘇教
	法	153	07	信じてよいといふこと）を定めれば行政	法	では其の取締を設けます．また人民は同等のもの
	法	153	09	た侯爵だとか伯爵だとか，いふのは行政	法	で定めるのです．其れから人民の所有権は侵すべ
	法	153	11	に土地を買ひ上げるとかいふことは行政	法	できめなければならない．また人間の姓名は自由
	法	153	12	から束縛されることは無いといふが行政	法	では符牒が無いと分らないから名前をムヤミに変
	法	247	16	ます．其の第二は，教誨法即ち心の教育	法	で有りまして其の目的は「汝の為したる所業は悪
	法	247	17	ならぬ」と云ふやうなことをよく教ゆる	法	で有りまする．此の教誨法が有るので始めて己れ
	法	248	01	業の悪かつたことを覚り，一方では懲戒	法	で苦痛を受けると云ふので，此に於て始めて「ナ
	法	042	06	無い，進歩は大いに有ることぢゃ．さて	法	と道とは先刻も申した如くモトは分れなんだが開
	法	042	07	たことぢゃが如何なる違ひに由りて道と	法	とが分れたかと申すに道は他を利し法は己を利す
	法	042	10	なることをせねばならぬと云ふこと，又	法	と云ふものは己を利することを許すは固よりなれ
	法	042	12	道と云ふものは親類同士の寄り合ひで，	法	と云ふものは他人同士の寄り合ひと云ふ様なもの
	法	042	14	もさうはなりて居らぬ．希臘羅馬で道と	法	とが始めて分れて来た．政治上のことは法律でゆ
	法	086	06	で御坐りますか，また彼の道徳と道徳の	法	と其の基本は何で御坐りますか，人の心を深く動
	法	107	09	英国の法律には諸君の御承知の通り成文	法	と不文法とありますが今其の不文法に拠りますと
	法	107	09	律には諸君の御承知の通り成文法と不文	法	とありますが今其の不文法に拠りますと人命を断
	法	129	10	嗚呼哀しいかな先だつて某の学者が道徳	法	といふものには基が無し道徳は全く各国の慣習と
	法	147	08	まいが今日は先づスタチスチックと行政	法	との関係より始めて並べて見るのも一つの順序で
	法	147	09	りませう．さて，スタチスチックと行政	法	との関係に付て直ちに例を挙げて見るとスタチス
	法	150	12	部分に属するものであります．さて行政	法	と憲法との関係は如何なるものかと言ふに憲法で
	法	150	13	かいふものの組織，また其の職務の遺伝	法	といふものなどを書いたのが憲法で，憲法と言へ
	法	150	14	と言へば一国組織の謂であります．行政	法	といふものはたゞ憲法に基いて憲法の趣意を拡張
	法	150	16	を定めるものが行政法であります．行政	法	と言へば一国施政上の法律規則また官府とかいふ
	法	151	15	ことを，きめなければなりませぬ．行政	法	といふものは法律，規則及び之を運転させる機関
	法	152	09	ものを，こしらへます．故に憲法と行政	法	とを例へて見ると憲法はアタマで行政法は手足で
	法	152	11	動物か植物かと言ふと同じく憲法と行政	法	との詳細の分界は甚だむづかしいことも有ります
	法	153	14	などといふことも，きめます．この行政	法	といふものは一国の憲法のきまり塩梅で色々に，
	法	154	01	ませうから私は申しませぬ．憲法と行政	法	との関係はこれ位にしまして，この次ぎには日本
	法	154	03	を併せて述べて見たいと思ひます．行政	法	とスタチスチックと合はないとスタチスチックの
	法	188	05	に於て宇川盛三郎君講演前回に於て行政	法	とスタチスチックとの関係，行政法の釈義並に行

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ほう）	法	188	05	チックとの関係，行政法の釈義並に行政	法	と憲法との関係を一言申し上げておきました．就
	法	247	12	まするもので有ります．其の第一は懲戒	法	と申しまして罪人を懲らしめるもので，これは所
	法	262	11	法が四通り有りまする．其の第一は分房	法	と云ひまして，これは一房に一囚をおきまして，
	法	262	14	になる者が多く有りまする．第二は緘黙	法	と云ひまして，これは昼間は厳密なる規則を以て
	法	263	03	白くないもので有りまする．第三は雑居	法	と云ひまして，これは多くの囚徒を集め別に区別
	法	263	07	完全なるもので有りまする．第四は階級	法	と申しまして，これは分房法と雑居法とを折衷し
	法	263	07	第四は階級法と申しまして，これは分房	法	と雑居法とを折衷してこしらへたるもので有りま
	法	263	07	級法と申しまして，これは分房法と雑居	法	とを折衷してこしらへたるもので有りまして刑期
	法	264	01	で有ります．此の部に於ては重もに家族	法	と称する方法を用ひます．則ち幼年者を数組に分
	法	264	02	化することになつて居ります．この家族	法	と申しまするは例へば百人の囚人あれば之を二十
	法	149	16	ては最も必要でありませう．これが行政	法	とか憲法とかいふものを一回か二回で其の趣意を
	法	264	12	其の各国に於て施行して居りまする監獄	法	などを参酌して一覧表を製しましたが之を御覧に
	法	094	09	が後程，陳べられませうから私は英吉利	法	によらずして法理に付て考へを述べやうと思ひま
	法	096	09	の証拠とは看做せませぬ．既に我が治罪	法	にも情況の裁判は禁じて御坐ります．徳川の頃は
	法	107	10	成文法と不文法とありますが今其の不文	法	に拠りますと人命を断つことをホミサイドと申し
	法	148	07	調査するのはドレほどスタチスチックの	法	に適つて居つても行政上の便益を為さぬときは調
	法	149	04	律規則をこしらへなければならぬか行政	法	には，ちつとも関係が無いといふ事実にしまして
	法	149	12	．併しスタチスチック学者の方では行政	法	に関係して居ることは斯の如くではあるけれども
	法	153	15	，きまる点もあります．故に憲法は行政	法	に大いなる勢力を及ぼすものであります．故に憲
	法	267	04	るので起るもので有りまする．故に分房	法	に致しませぬと，他の未決者から証拠を押し隠す
	法	087	12	云ふ返答が出来まする．また所謂，道徳	法	の原因と其の基本は何処に在るかと基督教に問は
	法	094	08	ひで御坐りますゆゑ知りませぬが英吉利	法	のことは大谷木君が後程，陳べられませうから私
	法	130	03	有ります．イヽエ基督教と基督教の道徳	法	の基は決して弱きものでは御坐りませぬ．基督教
	法	147	05	計協会会堂に於て宇川盛三郎君講演行政	法	の大意を講究しやうと云ふ趣意は色々ありますが
	法	147	15	事実をスタチスチックで調べるのは行政	法	の便益になることが大いなることであります．其
	法	150	03	を規定して，たとへば民法，商法，訴訟	法	の如き人民と人民間の事を規定したもので公法と
	法	150	08	と言ひます．この内公法中で刑法，治罪	法	の二つは別に法典となつて居りますが其の外のは
	法	151	01	法律規則を言ふのであります．故に行政	法	の原則は憲法の中にあるのです．併し斯の如く行
	法	151	02	法の中にあるのです．併し斯の如く行政	法	の範囲を定めると至つて小さいもののやうであり
	法	151	03	際に至ると甚だ広いものです．第一行政	法	の中に，はいるものは日本の行政法の組織だと行
	法	151	03	行政法の中に，はいるものは日本の行政	法	の組織だと行政官吏，行政議会，其れから行政裁
	法	151	17	憲法と密接して居るものです．故に行政	法	の原則を調べるには第一には憲法との関係を調べ
	法	152	14	ますから憲法の範囲内はドコで終る行政	法	の範囲はドコで終るといふことはむづかしいこと
	法	153	01	人に属してあると，きまつて居れば行政	法	の方ではドウいふ風に其の即位式を行ふといふこ
	法	188	05	行政法とスタチスチックとの関係，行政	法	の釈義並に行政法と憲法との関係を一言申し上げ
	法	188	07	係しましたことを申し上げませぬと行政	法	の原則に大関係をしますから其れを今日チョット
	法	190	17	るといふ区別です．この行政裁判は行政	法	の部にはいりますから地方行政を終りましたとき
	法	042	07	と法とが分れたかと申すに道は他を利し	法	は己を利すると云ふことで分れたのぢゃ．道と云
	法	044	07	ｔｙの点は越えて居ることぢゃ．然るに	法	は大いにヒカヘメなるもので唯人を害しさへせね
	法	044	08	を害しさへせねば其れで許すのぢゃ．且	法	は政府が権をもちて居るから背けば罰することが
	法	094	08	吉利法で御坐りませう．併し私は英吉利	法	は職違ひで御坐りますゆゑ知りませぬが英吉利法
	法	150	01	るといふ理由で御坐います．今日は行政	法	はドウいふものであるといふことを一言申し上げ
	法	150	11	立ちで其の次は行政法であります．行政	法	は内公法の一つで政治学の一部分に属するもので
	法	151	16	科の学問になつて居ります．ツマリ行政	法	は憲法と密接して居るものです．故に行政法の原
	法	152	09	法とを例へて見ると憲法はアタマで行政	法	は手足であります．また民法は本で訴訟法は附属
	法	152	10	は手足であります．また民法は本で訴訟	法	は附属物であると同じく憲法が本で行政法は附属
	法	152	10	は附属物であると同じく憲法が本で行政	法	は附属物であります．併し珊瑚珠を見て，これは
	法	152	12	むづかしいことも有ります．ツマリ行政	法	は被治者と治者との関係をきめるものと言つても
	法	228	04	して居りましたから，ツマリ日本の行政	法	はムヤミに数が多く有つたやうな有様で御坐いま
	法	131	01	また人間の心に植えられたる所の道徳の	法	も人の色々の浅ましい論によつて容易に変るもの
	法	149	09	ことです．故にスタチスチック家は行政	法	を知つて居らなければ要用なる調べは出来ず，ま
	法	149	10	ければ要用なる調べは出来ず，また行政	法	を知るには是非ともスタチスチックを知らなけれ
	法	150	10	にくいです．この公法の中で刑法，治罪	法	を除けば憲法といふのが一つであります．憲法は
	法	256	11	に起るもので，これは日本では備荒儲蓄	法	を以て行なつて居りまする．さて貧民の救助の結
	法	263	08	で有りまして刑期の初めは厳密なる分房	法	を用ひ，其の後ち段々と改悛の情状をあらはすに
	法	266	07	者を入れまする．其の方法は最初は分房	法	を用ひ沈黙させて其の所為の悪かつたことを回想
	法	266	08	悔悟の徴をあらはしたときに至つて家族	法	を用ひまして其の模様を験しして専ら教育を施し
	法	266	11	執行いたしまする．此の所に於ては階級	法	を用ひまして最初は専ら懲戒を主として分房法を
	法	266	12	ひまして最初は専ら懲戒を主として分房	法	を用ひます．而して大分，悔悟の徴をあらはしま
	法	266	12	分，悔悟の徴をあらはしました者は緘黙	法	を用ひまして昼は多くの囚徒同様の場所に於て仕
	法	266	15	と看認めらるヽときに至りましては雑居	法	を用ひまして其の模様を試験し，いよいよ改悛し
	法	267	01	しまする．さうして，これには必ず分房	法	を適用いたしまする．其の趣意は未決者はまだ罪
	法	267	07	りまする．故に此の部の事業は必ず分房	法	を用ひなければなりませぬ．第四の出獄人授業部

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ほう）	法	176	08	ックは第一必要でスタチスチックの穿鑿	法	，簿記法から着手し次第に進んで比較判決などの
	法	278	11	きことに御坐います．なほ，監獄の取締	法	，役法，囚徒取扱法，工銭，給与，衛生，構造，
	法	278	11	．なほ，監獄の取締法，役法，囚徒取扱	法	，工銭，給与，衛生，構造，教誨などに関するこ
ぼう	房	262	13	遷善の利益は有りまするけれども長く一	房	一囚に致しておきますとキチガヒになる者が多く
	房	274	17	の二国の改良の中で最も重もなる者は一	房	一囚の制でありまするけれどもナカナカ費用がか
	房	262	11	の第一は分房法と云ひまして，これは一	房	に一囚をおきまして，夜も昼も他の囚徒と面を見
	房	262	15	一の場所にて役業に就かしめ，夜分は一	房	に一囚づゝ置きまする方法で有ります．然れども
	房	266	13	同様の場所に於て仕事を致させ，夜は一	房	に一囚づゝ分けて入れます．此の場合には専ら感
ぼう	棒	276	01	維新前は罪人は棒罰すると云ふ主義で，	棒	でぶつておけ又は道具でカラダを苦しめろ，或ひ
	棒	114	14	物的の欲と言ふぢゃ．今，犬猫に向つて	棒	をふり上ぐれば，すぐに逃げるのは，これは命が
ぼう	方	006	02	を言つても取り合はない．兎角，人は一	方	より外には見ることを知らぬもの．併し考へて見
ほういつ	放	161	10	様なもので其れからして怒りを起すとか	放逸	に流れるとか色欲に耽るとか物を貪るとかいふ
ほうえい	宝	223	12	と云ふ者も出来て続き狂言を作り元禄，	宝永	の時分になつては三番続き五番続きの狂言の趣
	宝	223	16	て人形を遣ふことになりました．元文，	宝永	の時分には竹本筑後掾，世に義太夫と云ふ浄瑠
ぼうえき	貿	169	07	にまた疑ふといふものは我が日本の海外	貿易	の利は東に益があつて西に利が見えないやうだ
	貿	169	08	いやうだのに我が国の人心は西に向つて	貿易	の利とは反対を示すやうに見えます．これには
	貿	171	16	先導者となつたこと我が国，の第二海外	貿易	の道を開いたこと我が国人に阿片の禁を勧めた
	貿	172	10	製茶，生糸などの大得意先きで，これは	貿易	表を見ると，よく分ります．たゞ北亜米利加人
	貿	168	09	十年すぎて北亜米利加合衆国の人が和親	貿易	を誘ひに来ました．丁度私が二十四五の時だつ
ぼうえん	望	014	04	のは月で有ります．この月と云ふものは	望遠	鏡の開けます余ほど前からして円いもので時と
	望	014	06	たのは先づ其の位なものです．其れから	望遠	鏡で月を見ると中々妙なもので肉眼で見ては唯
	望	019	12	で見ましては木星に少し小さい位ですが	望遠	鏡で見ますと其のグルリに鍔が有ります，丁度
	望	019	16	ット肉眼で見えるといふまでで今一つは	望遠	鏡で無ければ見えませぬ．此の外にもまだ有り
	望	024	07	星には月の様なものが四つついて居る．	望遠	鏡で木星を見ますとドンナけちな望遠鏡でも星
	望	024	08	．望遠鏡で木星を見ますとドンナけちな	望遠	鏡でも星の真中の所に筋の様なものが見えます
	望	027	15	星は肉眼で見ゆる位な星です．此の外に	望遠	鏡で無ければ見えない星が沢山ありますが其れ
	望	028	11	で見ますと唯一つの星の様に見えますが	望遠	鏡で見ますと二つに分れて見え，多くは一つは
	望	029	17	どんなものだかよく知れなかつたですが	望遠	鏡で見ますとアマノガハは全く星のかたまりで
	望	031	01	る，ではない星のかたまりが有ります．	望遠	鏡で見ますと星のいくつとはなく簇つて居る者
	望	031	03	似したもので矢張り肉眼で見ては見えず	望遠	鏡で見ると云つても雲の様に見えて粒々とした
	望	031	05	ります．此の星雲の中にはチョットした	望遠	鏡で見ては唯雲の様に見えても少し強い眼鏡で
	望	031	07	るのも有り，又今日世の中にある極上の	望遠	鏡で見ても矢張り雲の様に見ゆるのも有ります
	望	031	08	張りアマノガハみた様な星のかたまりで	望遠	鏡のモットよいのを用ひたら粒々と見ゆるもの
	望	031	14	アマノガハの中にも大分瓦斯体であつて	望遠	鏡で見ても矢張り雲の様に見える部分も有りま
	望	205	05	災が絶えずに有るので有ります．近頃，	望遠	鏡の発明が有りましてから少くも一年三度位，
ほうおう	法	156	17	鉢巻で驚いた．さうすると西洋には羅馬	法皇	と言つて，やかましい人が教法を握つて居るん
	法	157	03	気なものさネ．西洋各国の天子様が羅馬	法皇	の御免許を受けないと天子様になれないと云ふ
	法	157	04	りましたが）若し地が回るとなると羅馬	法皇	の，仏教で申したら法華経とか三部経とかいふ
	法	157	02	方だつたが今は其れも無いが，モト羅馬	法皇	は天主の代理だといふから実に強気なものさネ
	法	204	14	非常に驚いたものと見えまして，ローマ	法皇	は「毎日正午には鍾を鳴らせ，彗星とトルコ人
ぼうおく	茅	239	15	生徒，其の他の諸友人知人等が屢々私の	茅屋	をお尋ね下されて，私が巡閲したる監獄の有様
ほうか	放	269	09	罪質を区別して見まするとと謀殺，故殺，	放火	，強姦，窃盗，強盗，無籍乞食，親不孝，其の
ほうがい	法	156	06	時分には天が円いと思つて居たが近来は	法外	な違ひになりましたネ．昔でも今でも日が出る
ほうがく	方	031	13	近所に在るものが有り或はアマノガハと	方角	の違つた様に見ゆるのも有ります．そこで又ア
ほうがく	法	070	05	に三百六十四人で御坐いまして其の中に	法学	士の称を持つて居る人数は調べ落しましたが二
	法	070	06	百〇六人，代言人は千〇六十五人で内に	法学	士が十二人御坐います，これはシッカリと調べ
ほうかん	幇	214	08	鑿つことばかり専としたものだから自ら	幇間	みたやうになり人に尊ばれるなどと云ふことは
ほうき	箒	208	13	と云ふものが有る．其の尾と云ふは即ち	箒	の形ちになつて居る所で頭には心或ひは核と云ふ
ほうきぼし	彗	195	04	度，只今から三年ほど前にヨホド立派な	彗星	が出ました。諸君は定めて御記臆で御坐りませ
	彗	195	10	をこらへて彗星を御覧になつて「立派な	彗星	が出ました」と言つて互に御挨拶をなさつたこ
	彗	196	09	く，こはがつたものと見え「箇様箇様の	彗星	が出たときは人が夥しく死んだ」の「国が亡び
	彗	198	14	抛物線はコンナ形ちで有ります．そこで	彗星	が惑星と同じもので有りますなら是非，其のあ
	彗	199	05	ｗｔｏｎが起しまして実際しかしながら	彗星	が其の通りになつて居るかドウかと彗星の軌道
	彗	199	14	マハリを回つて見えなくなつてしまつた	彗星	が再び帰つて来るかも知れない．さういふこと
	彗	201	13	が彗星の身の上にも有るので有ります．	彗星	が太陽のソバを離れて来ると一体，主人と云ふ
	彗	201	16	ます．しかし木星なら木星が通る時には	彗星	がジットして居ると思つてはいけません，ある
	彗	202	03	数学者で有りますが，この人が出まして	彗星	が太陽を離れて方々を回つて居るうちに木星か
	彗	204	16	とで調べて見れば，これは全くハレーの	彗星	がイツモの日限に遠方から戻つて来たまでのこ
	彗	205	04	て，こはがつたので有りますが，其れは	彗星	が出た為めに災が有るので無く人間社会には災
	彗	205	10	さて，前に申した通りに立ち戻つて来る	彗星	が有ることが知れましたが，この外に十か十一
	彗	207	04	思議なことにはモウ大かたＢｉｅｌａの	彗星	が地球のソバに帰つて来る時分だと云ふ時に非
	彗	210	03	間にやかましい問題が有ります．其れは	彗星	が地球に突き当つて地球がこわれてしまふと云
	彗	210	09	ルリンのプロフェッソルの誰がいよいよ	彗星	が地球に突き当ると言つた，今度のこそは本当

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（ほうきぼし）	彗	210	13	に用心をしなければなりません．しかし	彗星	が地球に必ず突き当らないとも言へません．な
	彗	210	14	は各々持論によつて色々なことを言ひ「	彗星	が地球に突き当たつたら蟻の群つて居る中に熱
	彗	211	03	した．また「何でも無いことだ，地球に	彗星	が何十何まん遍突き当つても何とも無い」と言
	彗	211	06	くなる位なことは有るかも知れません．	彗星	が我々の所へ這入つて来ると丁度何か化学の試
	彗	212	02	．流星は彗星のこわれたのだとすれば，	彗星	が家ならば流星は古材木の様なもので有ります
	彗	212	12	ｌｌｅｙの彗星の戻つて来る時で立派な	彗星	が肉眼で見ゆるであらうと思ひます．お互に長
	彗	195	11	只今から三年前で有りますから「立派な	彗星	だ」と言つて済みましたが，若しもこれが天保
	彗	195	12	年間ででも有りましたら，たゞ「立派な	彗星	だ」と言つただけでは済まなかつたかも知れま
	彗	195	13	なかつたかも知れません．「ドウも凄い	彗星	だ，大風でも吹きはすまいか，又は地震が有り
	彗	196	02	かも知れません．婦人方などは「イヤな	彗星	だ」と言はれたかも知れません，（尤も婦人方
	彗	199	17	ｅｙが千六百八十二年の八月に出ました	彗星	で勘定をしました．其の時に観測をした人はフ
	彗	203	16	最も名高いのは西暦八百三十七年に出た	彗星	で有りますが其の時フランスにＬｏｕｉｓｌｅ
	彗	204	09	年の前，即ち千四百五十六年に出ました	彗星	で有ります．この彗星は日本では歴史に載つて
	彗	204	13	時で有りました．今日ならば「ミゴトな	彗星	で有ります」と言ふべきですが其の頃は非常に
	彗	195	08	りましたが，其の時，相手と「ミゴトな	彗星	ですネ」と言つて互に挨拶を致したことが御坐
	彗	197	17	ないで，総ての学者の苦しんで居る所の	彗星	と云ふものは若しや惑星と同じ種類のものでは
	彗	203	08	違ひで有りました．して見ますと，この	彗星	と云ふものは先づ惑星と同種類のもので有る，
	彗	203	09	が分りました．抛物線を書いて居る間は	彗星	と云ふものは極遠から極遠に，一時のお客で有
	彗	204	15	ーマ法皇は「毎日正午には鍾を鳴らせ，	彗星	とトルコ人を調伏すべし」と触れを出しました
	彗	205	12	しい．Ｈａｌｌｅｙの次にＥｎｃｋｅの	彗星	と云ふが有りますが三年と四分の一ごとには戻
	彗	205	16	有りますから．さて，このＥｎｃｋｅの	彗星	と云ふのはマルセイユの天象台の門番のＰｏｎ
	彗	206	09	たが其の中で珍らしいのはＢｉｅｌａの	彗星	と云ふて，この人がイツも六七年目には戻つて
	彗	208	01	と見えます．このごろでは段々と流星と	彗星	との関係が分り出しました．しかし，これから
	彗	195	14	たかも知れません．尤も，この三年前の	彗星	にしろ「戦争や何かには関係の無い」と云ふ人
	彗	200	06	りました．其れで，これは先に現はれた	彗星	に違ひないと云ふことが分りました．と言ひま
	彗	208	02	ますから先づこの位でおきまして今度は	彗星	に立ちかへつて彗星は一体，何で有るか，地球
	彗	209	11	の通り随分長う御坐りました．ドウして	彗星	にはコンナに長い尾が出来るかと言ひますと，
	彗	210	16	らう」と言ふ人が有れば，また「地球が	彗星	に突き当れば我々はズット寒い所に持つて行か
	彗	211	01	もドツチも有り難くない．また「地球が	彗星	に突き当るとコナ微塵になる」と言ふ人も有れ
	彗	211	02	ば「ズツト膨脹して大きくなつて自分が	彗星	になつて他の世界を見物にあるき出すものだか
	彗	195	01	の為めに申し上げて，おきますのです．	彗星	の話明治十八年十月十六日理医学講談会東京神
	彗	197	03	とで有ります．天文学は近来進歩して，	彗星	の運動のことに付てはドコから出てドコに帰る
	彗	199	06	彗星が其の通りになつて居るかドウかと	彗星	の軌道，即ちあるく道の勘定をしました．勘定
	彗	199	08	つて大学までいくには及びません．さて	彗星	の毎日の観測を以て其の軌道を取り出して見ま
	彗	199	12	ひました楕円と抛物線の関係が有るから	彗星	の軌道も抛物線のやうには見ゆるが事によつた
	彗	200	03	では有るが形ちから大きさまで昔し出た	彗星	の道に違はない．昔し千六百〇七年にＫｅｐｌ
	彗	200	05	百三十一年にＡｐｉａｎの観測しました	彗星	の軌道がＨａｌｌｅｙの勘定した彗星のに，よ
	彗	200	05	た彗星の軌道がＨａｌｌｅｙの勘定した	彗星	のに，よく似て居りました．其れで，これは先
	彗	200	15	ほどで有りますが，丁度そんなもので，	彗星	の正体を見顕はさうと思へば必ず其の道によつ
	彗	201	13	が有りましたが，丁度其の通りのことが	彗星	の身の上にも有るので有ります．彗星が太陽の
	彗	202	16	所に来ました．これが天文学に於て同じ	彗星	の二度現はれることの分つた始めで有ります．
	彗	205	01	，あのやうにこはがつた訳と云ふものは	彗星	の出ました度ごとにドコかに何か災の無いこと
	彗	205	02	何か災の無いことは無いから，この前に	彗星	の出た時にはかう云ふことが有つた，イツ彗星
	彗	205	03	出た時にはかう云ふことが有つた，イツ	彗星	の出た時はかう云ふ災が有つたと，イツでも前
	彗	205	06	明が有りましてから少くも一年三度位，	彗星	の出ない時は有りません，チョットして何公が
	彗	205	08	う．丁度同じ位なもの故，イツもイツも	彗星	の出る度ごとに災が有ると云つて，こはがつた
	彗	205	14	かし肉眼では見えません．この十一二の	彗星	の歴史はナカナカ面白いと云ふことですが私は
	彗	206	02	ｅａｕのほどには十分いきます．）其の	彗星	のあるいて居ります道を勘定しましたが抛物線
	彗	206	06	これは一番始めに発見された今のやうな	彗星	の元祖で有ります．Ｈａｌｌｅｙが今日まで一
	彗	208	16	て居りますだけに止めますと，先づこの	彗星	の頭は軽いもので有る，稀薄なもので有ると分
	彗	209	12	ります．私は先年フランスのＦａｙｅの	彗星	の説を訳して東洋学芸雑誌に出して置きました
	彗	209	16	きは天文学者でも無いものがヤジムマに	彗星	の説を述べるやうになりますから．実に天文学
	彗	211	10	ハヅレを研究する学問によつて見ますと	彗星	の突き当る前には地球は老病で死んでしまふか
	彗	211	12	ないと云ふ説が有ります．実はコッチが	彗星	の中へ頭を突こんだことが現に有つたのです．
	彗	211	13	も僅の間では有りますが現にアリアリと	彗星	の尾の中に五時間が六時間，居つたに違ひ有り
	彗	212	01	うかと云つただけで有りました，其れが	彗星	の尾の中に居つたので有ります．また彗星の頭
	彗	212	01	星の尾の中に居つたので有ります．また	彗星	の頭のコナゴナの中は地球がショッチュウ通つ
	彗	212	02	がショッチュウ通つて居ります．流星は	彗星	のこわれたのだとすれば，彗星が家ならば流星
	彗	212	03	材木の様なもので有りますから，本当の	彗星	の中へ這入れるのは推して知れませう．たゞ少
	彗	212	04	れませう．たゞ少し恐ろしいのは若しや	彗星	の心がぶつつかりはしないかと云ふことですが
	彗	212	12	ち今から二十六年後にはＨａｌｌｅｙの	彗星	の戻つて来る時で立派な彗星が肉眼で見ゆるで
	彗	212	13	ひます．お互に長生きをして其の頃また	彗星	の話をするのも随分面白いことで有りませう．
	彗	212	14	せう．其の時こそ学問も今日より進んで	彗星	の物理学上，何物たるかと云ふことを言ふこと

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（ほうきぼし）	彗	196	16	るのが朝なので有りますけれど）．故に	彗星	はドンナ所から出てドンナ所へひつこむと云ふ
	彗	199	10	つて楕円では有りません．抛物線を通る	彗星	はドンナで有るかと云ひますと，極遠の場所か
	彗	200	11	にも一応は御尤もで有りますが，しかし	彗星	はイヤに形ちの変るもので，今度出る時には先
	彗	201	06	ホド骨の折れるもので有ります．一体，	彗星	は長の旅をする間にはミチグサをくつて来ます
	彗	203	15	因縁が有りません．このＨａｌｌｅｙの	彗星	は其の前にも度々出たことが有ると云ふことが
	彗	204	09	十六年に出ました彗星で有ります．この	彗星	は日本では歴史に載つて居ましたかドウだか支
	彗	204	10	ウだか支那では出て居さうですが，この	彗星	はエウロッパでは非常に大きかつたものと見え
	彗	207	17	と思はれます．して見るとＢｉｅｌａの	彗星	は失せてしまつたのでは無く，化けて流星にな
	彗	208	03	でおきまして今度は彗星に立ちかへつて	彗星	は一体，何で有るか，地球や火星や土星と同じ
	彗	208	04	遠ざかつていつたやつが有る．いよいよ	彗星	は地球のやうに堅くつて水が有り草が有り人が
	彗	208	10	た位では分りません．其れと同じことで	彗星	はドンナものか瓦斯体か固形体かと云ふ調べは
	彗	208	12	調べはむつかしいもので有ります．また	彗星	は惑星と違つてポーットしたもの故に一部分一
	彗	208	13	一部分に研究をしなければいけません．	彗星	は大抵頭と尾と云ふものが有る．其の尾と云ふ
	彗	209	01	は他の惑星から引かれると，感じますが	彗星	はイクラ引つぱつたとて地球の運動に狂ひは有
	彗	210	08	かう」などと云ふ者が有りました．所が	彗星	はナカナカ突き当らなくて，アトで大こまりを
	彗	200	07	ら，こゝで諸君がお疑ひなすつて「先の	彗星	もドンナ形ちで尾の長さがどの位，心の大きさ
	彗	202	01	めに後れるです．其れでＨａｌｌｅｙの	彗星	も七十五六年目に戻つては来ますが，どの位後
	彗	195	09	ました．諸君も定めてネムサをこらへて	彗星	を御覧になつて「立派な彗星が出ました」と言
	彗	196	08	して見なければなりません．一体，この	彗星	をこはがるのは東洋の方ばかりでは無く，西洋
	彗	196	16	ナ所へひつこむと云ふことを知つたらば	彗星	を怖れるの念は滅つて来るに違ひ有りません．
	彗	204	03	ば安倍の晴明とでも云ふやうな人に其の	彗星	を占つて，もらつた所が「これは天子の御身の
	彗	200	04	百〇七年にＫｅｐｌｅｒの観測しました	彗星	，また其れより七十五六年前即ち千五百三十一
ほうきゅう	俸	068	16	而して裁判官検察官の本官となり一定の	俸給	を得まするまでには平均三箇年を待たなければ
	俸	204	05	有るから功徳の為めに寺を建てて坊主の	俸給	をお殖しなさい」と言ひました．そこでＬｏｕ
ほうくん	法	164	07	読みませう．余亜丁に在り聞く数年前，	法君	那波倫第三，提督をして船を駛せ紅海に至らし
ほうけん	封	201	08	有りませんが，譬へて言ひますと，私は	封建	時代から居つた者で有りますが其の頃，私は身
	封	101	09	直ちに分ることで日本人民は忽ちにして	封建	制度を覆へし忽ちにして西洋の開化に酔ひ忽ち
	封	227	06	事のやうなものが有りました．其れから	封建	の世になりまして或ひは州と云ひ或ひは国と云
ほうけん	法	094	05	が至当で御坐りませう．併し今日は治外	法権	が存して居るから英国の領事に於て支配するこ
	法	093	14	ことになりました．今日我が国には治外	法権	といふものが行はれて居ります．併し純理上か
ほうげん	保	219	17	大いなる資けとなります．其れからして	保元	平治物語，源平盛衰記，平家物語などは文章も
ほうこう	奉	133	14	の役人が答へまするに「私は内に随分，	奉公	人を多勢使ひますが中に一人の鬼の如くにけし
ほうこう	方	108	17	避け方に気を付けて必ず其の人の避ける	方向	に向つて避けるに違ひ無い．また船が沈没しき
	方	139	10	多いことは凡庸では無い．ナポレオンと	方向	は違へど智能の一点は劣りますまい．彼のスペ
	方	169	06	．其れからして自由心が，さういふ風に	方向	を取つたに違ひない．そこにまた疑ふといふも
ぼうこう	暴	075	02	せむが為め法律家を頼むとか又内乱とか	暴行	等があつて，こはくてたまらぬから兵隊も無け
ほうこく	報	035	16	して智慧を研いたからで御坐りませう，	報国	をしようとか大事業を仕遂げようとかいふに酒
ほうこく	邦	069	17	の他の人を得ることが出来ませう．実に	邦国	の幸ひで御坐います．而して孛漏生の裁判官代
ぼうこく	亡	164	02	立て家を興したといふ者は一人も無し，	亡国	廃家に至つた者は古来歴々としてある．近ごろ
ぼうさつ	謀	108	02	刑のもあります．第四種はマーダー即ち	謀殺	でありますが，これは日本の刑法で言ふ謀殺に
	謀	093	11	これまで喋々して居る所を聞けば或ひは	謀殺	に当ると言ひ或ひは故殺に当ると言ひますが，
	謀	095	17	ぎないことで御坐りませう．これを以て	謀殺	に当る故殺に当るといふも其の説は取れませぬ
	謀	096	13	といふに充分なる証拠を探さずして之を	謀殺	に当る故殺に当るといふは少しく大早計と言ふ
	謀	108	02	でありますが，これは日本の刑法で言ふ	謀殺	に比すれば其の範囲が広く例へば予め謀つて人
	謀	096	03	せぬ．其の証拠を挙げてかゝらぬければ	謀殺	又は故殺に問ふことは出来ますまい．なぜなれ
	謀	096	01	と外部との元素が無ければなりませぬ．	謀殺	を以て問ふには予謀殺意及び殺害の所為が無け
	謀	269	09	人の幼年者の罪質を区別して見まするとと	謀殺	，故殺，放火，強姦，窃盗，強盗，無籍乞食，
ほうし	放	266	03	すところ）で有りまして此の所に於ては	放恣	不良の幼年者を感化し以て犯罪の予防をするこ
ぼうし	帽	197	01	ロボウでは無いかと思ひましても，其の	帽子	を看て大学の学生だと云ふことが知れゝばモウ
	帽	215	03	編笠どころでは無く勅任官の冠るやうな	帽子	を頂き，玉の輿イヤ車に乗りあるくと云ふは実
ほうしゅう	報	074	15	ければならぬ．而じて其の労力に向つて	報酬	の金を払ふ其の労力を供給してくれる人は其れ
ほうじゅつ	砲	235	13	其れは僅かで先づ一番は医術，其れから	砲術	で其れより今日の勢ひに移つて来たことで有り
	砲	237	01	よい学問と云ふことでは無かつた．先づ	砲術	などはイクサの為めにしなければならぬと云ふ
	砲	235	12	云ふのは蘭学で，ワザは医術，其の後，	砲術	に移りました．尤も天文も渡りましたが其れは
ほうじょう	北	222	17	言つて身ぶりをするもので有りましたが	北条	時代には田楽が盛に行はれて其の舞の中に故事
	北	163	16	．」また駿河の今川は歌舞を好み相摸の	北条	は酒を好み皆其の国を亡ぼした．福島正則など
ほうしん	方	243	13	於て執行いたします．故に政府は政治の	方針	を定むるだけにして，其の実際の運転は総て行
ほうじん	邦	061	16	あり．斯の如く人力車濫用の弊たる我が	邦人	をして暗々裏に健康を害すること頗る大いなる
ぼうず	坊	004	17	支那におハムキは宜しいが今日は散切り	坊主	で，つゝつぼ袖を着てなかなかユウチュウカン
	坊	005	06	ばクルベーだぞと忠告してチャンチャン	坊主	の毛をきり支那から留学生の一万人も二万人も
	坊	204	05	ことが有るから功徳の為めに寺を建てて	坊主	の俸給をお殖しなさい」と言ひました．そこで
ほうずる	報	172	17	れば我が国人は永く之を忘れずして恩を	報ずる	ことがあらうと思はれます．其れはなぜかと
ほうすん	方	065	07	将た退かしめやうとするも偏に先覚者の	方寸	にあることです．先覚者たる者は能く事物の是

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
ほうぜ	奉	180	12	さい．実にキリスト教国とキリスト教を	奉ぜ	ぬ国の最も大なる差別は何かと問はゞ婦人の地
ほうせい	法	137	07	言はせたなら政治の改良，社会の改良，	法制	局には法律の改良，外務省には条約の改正，中
	法	231	08	に大臣会議と云ふものが有り其の側らに	法制	局とか又は参事院とか云ふ行政議会が有つて議
ほうせき	宝	212	08	のを知ることが出来ます．また金や銀や	宝石	を持つて来るかも知れませんが，古物学者など
ほうそう	疱	120	01	るもので有つて御承知の通り流行病には	疱瘡	，コレラ，チフスなどと云ふ色々なものが有り
ほうそく	法	038	06	には天然自然に有る所の吾人の守るべき	法則	ぢゃと云ふことなれども併し近頃の西洋の説で
	法	130	10	のもので御坐ります．優勝劣敗の面白い	法則	により，やがて二千年ぢかく生存したる基督教
	法	046	02	がら一方の人間を処罰することの出来る	法則	は誰が立てたことか．これは社会の為めにすて
	法	086	10	此の世の権威と勢力また人の立てた所の	法則	また此の世の富などに係はらぬもので御坐りま
ほうちゃく	放	099	17	考へ而して二十五名の我が同胞を棄てた	放擲	したウッチャッタといふ所から見たときには如
ほうちょう	庖	198	07	コがのびまして，まだ竹にならない時に	庖丁	でハスカケに切りますと其の切り口が楕円の形
ぼうちょう	傍	125	09	多く何に本づいたもので有りませうか．	傍聴	人の耳を塞ぎ，よく其の心を奪ふものは何で御
ぼうちょう	膨	211	01	微塵になる」と言ふ人も有れば「ズット	膨脹	して大きくなつて自分が彗星になつて他の世界
ほうてい	法	106	14	則ち今回神戸領事庁に於て更に開く所の	法廷	であります．想ふに去月二十四日の晩，彼の紀
	法	105	11	付き神戸の英国領事庁に於て開かれたる	法廷	を以て船長等の再審を為すものである」と報道
	法	105	16	何なる求刑をするとも英国領事は決して	法廷	を開く訳は御坐りますまい．然るに諸君も知ら
	法	105	17	英国領事は兵庫県知事の請求を容れ現に	法廷	を開き船長以下の審問に着手したといふことで
ほうてん	法	150	08	の内公法中で刑法，治罪法の二つは別に	法典	となつて居りますが其の外のは法典となつて居
	法	150	09	別に法典となつて居りますが其の外のは	法典	となつて居りませぬから研究するのに，しにく
ほうとう	放	060	12	て酒を呑み煙草を喫し無益の美服を飾り	放蕩	を極め身を過まり家を亡ぼし遂には獄内に籠城
	放	183	16	操を破れば忽ち離別されるけれども夫が	放蕩	をしたり或は妾を蓄ひても妻は何ともいふこと
ほうどう	報	105	11	以て船長等の再審を為すものである」と	報道	するものもあります．然れどもこれ等は総て誤
	報	108	09	調べが出来ずして僅に新聞紙又は世間の	報道	より外に材料は御坐りませぬ．併しながら未だ
ほうはく	方	162	05	意をひらたく申して見れば汝の皇考文王	方伯	と為り西国に在られしとき庶邦の官長に戒めら
ぼうばつ	棒	276	01	のは何であるかと申せば維新前は罪人は	棒罰	すると云ふ主義で，棒でぶつておけ又は道具で
	棒	276	05	にきめたので有りまする．故に維新前は	棒罰	と云ふ主義であり，維新後は自由剝奪と云ふだ
ほうび	褒	008	06	大騒ぎ，人は黒山の如く提燈は星の如く	褒美	は五六百円のものもあり，花火を打ち揚げてヒ
ぼうふうう	暴	256	10	助と云ふものが有ります．これは洪水，	暴風雨	等の為めに田を流し畑を荒されたる等の時に
ほうぶつ	抛	198	02	，太陽から引かれて居りますればいづれ	抛物	線か楕円の形ちに運動してあるに違ひ有るまい
	抛	198	04	いが，実は鉛筆で書き出しました．この	抛物	線と楕円と云ふことは若しお分りの無い方があ
	抛	198	10	ましたから，これだけにして置き，さて	抛物	線とはドンナものかと言ひますと，これはモッ
	抛	198	12	を空に向けて斜に抛りますと真直で無く	抛物	線の形ちにあるきます．チョイト図に書きます
	抛	198	13	ト図に書きますと楕円はコンナ形ちで，	抛物	線はコンナ形ちで有ります．そこで彗星が惑星
	抛	199	01	りますから申しますまい．さて，楕円と	抛物	線とはドンナ関係の有るものかと言ひますと，
	抛	199	02	ひますと，楕円が段々に長くなりますと	抛物	線に近くなります．最初は円い楕円も引きのば
	抛	199	03	も引きのばすと其の一部分だけは殆んど	抛物	線に違はないやうになります．ツマリ抛物線は
	抛	199	03	物線に違はないやうになります．ツマリ	抛物	線は楕円のカタッパウが開いてしまつたものと
	抛	199	09	以て其の軌道を取り出して見ますと皆な	抛物	線で有つて楕円では有りません．抛物線を通る
	抛	199	09	な抛物線で有つて楕円では有りません．	抛物	線を通る彗星はドンナで有るかと云ひますと，
	抛	199	12	て来ません．しかし今言ひました楕円と	抛物	線の関係が有るから彗星の軌道も抛物線のやう
	抛	199	12	と抛物線の関係が有るから彗星の軌道も	抛物	線のやうには見ゆるが事によつたら楕円の長い
	抛	200	02	Ｈａｌｌｅｙが調べましたれば其の道は	抛物	線では有るが形ちから大きさまで昔し出た彗星
	抛	203	09	なもので有ると云ふことが分りました．	抛物	線を書いて居る間は彗星と云ふものは極遠から
	抛	206	02	のあるいて居ります道を勘定しましたが	抛物	線では有りません．其れならば楕円かと云ふに
ほうべん	方	103	03	り得べきか．私は宗教の力に依るの外に	方便	あるまじと思ひまする．日本人が保守の心尠な
	方	003	03	仕方が無い．言葉だの文字だのは智識の	方便	即ちテダテで其れを知つただけでは役に立たぬ
	方	003	04	知つただけでは役に立たぬ．されば其の	方便	と真の智識との関係を考へて見なければならな
	方	002	16	識と智識の様に見ゆるも実は真の智識の	方便	に過ぎざる智識が有りまする．例へば家を建る
	方	003	10	識を得る為めの時は少なくなる．三時間	方便	に使へばあとは五時間になるのは知れきつたこ
	方	003	12	の智識に時をかけるが少なくつて智識の	方便	に莫大の時を費すことになつて居る．今喋々と
	方	003	02	れば敵の首を取ることも出来るけれども	方便	の方はたゞ之を知つて居ても仕方が無い．言葉
	方	003	08	が出来て来る．八時間の使ひ方を智識の	方便	の方に使ひ過ればイヤでもオーでも真の智識を
	方	103	17	．次ぎに日本の国情を外国に知らしむる	方便	は何かといへば英語を盛んにするのであります
ぼうべん	某	164	11	じ衣袋の内より紙を取りて数字を揮灑し	某弁	に頤指し施措を飛行し復た客と酌む．夜闌にし
ほうほう	方	178	05	て学理の上より我が帝国の将来を知るの	方法	あらば何の仔細もなきことなれば有志の学者は
	方	277	10	貧民との関係貧民救助の目的貧民救助の	方法	欧米の監獄の事欧米の監獄の方法欧米諸国に於
	方	277	12	救助の方法欧米の監獄の事欧米の監獄の	方法	欧米諸国に於て実行せる監獄事業欧洲の監獄の
	方	254	11	を致さなければなりませぬ．此の保護の	方法	が日本には有りませぬから為めに再犯，三犯，
	方	260	14	六，監督者を設くること．これは相当の	方法	が立ちました上は或ひは郡区長，或ひは府県知
	方	262	10	欧米の監獄の方法を略述しまするに其の	方法	が四通り有りまする．其の第一は分房法と云ひ
	方	263	10	や否やを試みるもので有りまする．此の	方法	が一番宜しいかと考へられます．前に述べまし
	方	277	02	ると監獄の行政上の位置監獄の目的及び	方法	監獄と警察と裁判との関係監獄と教育との関係
	方	248	08	前に申しました所が則ち監獄の目的及び	方法	で有りまする．さて，こゝで監獄と警察と裁判

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ほうほう）	方	262	15	しめ，夜分は一房に一囚づゝ置きまする	方法 で有ります．然れども此の方法はヨホド実際に
	方	275	07	まするので，今から考へまするとと野蛮の	方法 であつたには相違ありませぬ．然るに維新の改
	方	080	10	の進歩の働き方，其の発達の仕様，其の	方法 等を見れば三つの明らかな手続きが御坐ります
	方	268	06	申し述べますまい．また監獄の目的及び	方法 などに至つては軍事のものにせよ，普通のもの
	方	008	12	か廃されませぬ．さて漢字を廃するなら	方法 は如何といふに今俄に廃さうといふことは出来
	方	080	17	総ての改正改革を遂げる為めに用ゆべき	方法 は斯の如きもので御坐ります．第三．総て人間
	方	126	16	のだかも知れぬけれども其の用ふる所の	方法 は決して，よいもので御坐りませぬ．西洋の高
	方	176	07	のを調べるものであります．この調べの	方法 は事実の上から道理の知れるやうにしなければ
	方	259	06	関係をもつて居りまするから此の救助の	方法 は監獄上よりしても確にきめて貰はなければな
	方	259	08	せぬ．私の考へまする所では貧民救助の	方法 は次の如く定めたら宜しからうと信じます．第
	方	261	03	誠に必要の点で有らうと思ひます．其の	方法 は異名又は番号を以て行つても宜からうと存じ
	方	262	12	，話しをさせることも有りませぬ．此の	方法 は悔悟遷善の利益は有りまするけれども長く一
	方	262	16	きまする方法で有ります．然れども此の	方法 はヨホド実際に困難でありまして多くの囚人を
	方	263	01	しないと云ふことになりまするから此の	方法 はアマリ面白くないもので有りまする．第三は
	方	263	05	分ちを為す位なもので有りまする．此の	方法 は最も不完全なるもので有りまする．第四は階
	方	263	11	考へられます．前に述べましたる四つの	方法 は国によつて其の用ひ方を異にして居りまする
	方	266	04	防をすることで有ります．これ等に施す	方法 は教育と教誨と懲戒との三つで有りまするけれ
	方	266	06	に於ては幼年犯罪者を入れまする．其の	方法 は最初は分房法を用ひ沈黙させて其の所為の悪
	方	267	15	お分りになるで有りませう．前に申した	方法 は二百年以来エウロッパの有名なる学者たちの
	方	165	01	帝国人民の将来を前知するの説及び其の	方法 明治二十年一月十六日スタチスチック社の第一
	方	119	01	ます．飲酒より生ずる弊害を調査するの	方法 を論ず明治十八年十二月二十日大日本節酒会の
	方	177	13	ひませう．右は一席の演説にて一大事の	方法 を述べたれば学理上には不都合なることも多か
	方	245	14	たらうから，こゝに於て監獄の目的及び	方法 を申し上げることに致しませう．さて，監獄は
	方	247	10	云へませぬ．よつて監獄に於ては二つの	方法 を以て人心の改良を図りまするもので有ります
	方	252	17	ゑ，また懲戒を与へると云ふ此の三つの	方法 を要しまする．則ち監獄よりも教育だけ余計の
	方	262	09	云ふ場所で有りまする．今欧米の監獄の	方法 を略述しまするに其の方法が四通り有りまする
	方	264	01	．此の部に於ては重もに家族法と称する	方法 を用ひます．則ち幼年者を数組に分ち，長幼の
	方	267	09	するので此の会社に於ては或ひは授業の	方法 を与へ又は出獄人を周旋して通常の雇人と致す
	方	267	16	き抜いて申したので有りまするから此の	方法 を参考して実際の事業を為すときには必ず大い
	方	009	04	る．漢字を廃さうとならば先づかういふ	方法 ．併し廃さうでは無い，廃さない方が天下の輿
	方	165	10	が日本帝国人民の将来を前知するの説と	方法 」といふことであります．一寸さきはヤミの世
ほうぼう	方	210	06	らないから騒がないのかも知れません．	方々 で「今度は世界のシマヒだから今の中にオイシ
	方	202	03	，この人が出まして彗星が太陽を離れて	方々 を回つて居るうちに木星からどの位後らかされ
ぼうぼう	某	244	07	め，また時としては法律の委任を受けて	某々 の事を定むる等のもので，これは執行権に於て
ほうむら	葬	094	12	りませうが）我が同胞二十五人が水中に	葬むら れ魚の腹を肥したのは我輩に於て悲歎に堪へ
	葬	106	12	マントン号の沈没した為め紀海の魚腹に	葬ら れたる我が同胞二十五名の亜魂を慰め其の遺族
ほうめん	放	254	08	第でありまするから，監獄を出ましたる	放免 者と名づける者は十分の九分九厘は将来の犯罪
	放	254	10	慈恵と犯罪予防との二つの理由よりして	放免 者保護会社の如きものを設けて或ひは仕事を教
	放	258	14	べきもので有りまする．前の二つの外に	放免 者即ち出獄人にして必需の資力なき者，又は引
	放	258	17	全国を調べたら随分ありませう．これは	放免 者保護会社でも出来たときには，そこで救つて
	放	261	08	上の不良なる人民は監獄の管轄と致し，	放免 者は慈恵と犯罪予防との二点よりするところの
	放	261	09	恵と犯罪予防との二点よりするところの	放免 者保護会社の管轄と致し，将来の犯罪人となる
	放	267	08	部の事業は慈恵上より成り立つところの	放免 者保護会社に於て之を執行いたしまするので此
	放	253	16	造されまする訳で有りまする．其れから	放免 囚即ち監獄を出ました者の中で種類が三つ有り
	放	277	06	獄と教育との関係矯正院（即ち感化院）	放免 囚監獄は決して賤しむべきものにあらず犯罪人
	放	264	10	部と申しまして，此の部に於ては罪人の	放免 となりました者を保護して正業に就かしめ其の
	放	271	02	監獄に送つてしまひまするか，又は無罪	放免 になりまするからのことで有りまする．今度述
	放	273	16	八百六十七人あります．これは監獄にて	放免 になりましても行きどころが無いとか，又は帰
ほうゆう	朋	173	01	天恩，君恩，主恩，父母の恩，また長老	朋友 などに対してあの人は恩人だと言ふやうになり
ほうり	方	228	16	別したがよいか知れませぬが，例へは一	方里 の場所が有るとしますと其の中で家邸又は公園
ほうり	法	095	17	に当るといふも其の説は取れませぬ．今	法理 上より言へば凡そ罪を組成するには内部と外部
	法	232	10	ると云ふことは間違つて居るので，たゞ	法理 ではコレコレのことは是非とも府県会の決議を
	法	094	04	．紀州沖であれば日本の領海なれば裁判	法理 に照せば日本の裁判権理に付するのが至当で御
	法	094	09	れませうから私は英吉利法によらずして	法理 に付て考へを述べやうと思ひます．諸君．我輩
	法	094	17	拠も無い者を以て有罪であるといふのは	法理 の許さない所で御坐ります．今道徳上の原理よ
ほうり	抛	198	11	が有ります．其れは石を空に向けて斜に	抛り ますと真直で無く抛物線の形ちにあるきます．
ほうりつ	法	075	01	と医者を頼むとか権利を伸張せむが為め	法律 家を頼むとか又内乱とか暴行等があつて，こは
	法	075	11	するのである．権利を失はむとする故に	法律 家に頼んで権利を伸張するのはたゞモトの権利
	法	067	16	を得られむことを望みます．而して私は	法律 科卒業の諸君に特に望む所の事が御坐いますか
	法	043	03	は大いに違ひ，次第に後世に至るに及び	法律 が立ちて来て刑律其の外総て具りて政府のする
	法	045	12	ち一方の人を利して一方の人に不利なる	法律 が立ちて居るのぢゃ．併しこれは多くは其の社
	法	068	05	まして第一回の試験は三年間大学に於て	法律 学を修め殊に其の中一年半は必ず独逸の大学に
	法	068	12	備科を卒業し其れより大学に入り三年間	法律 学科を専修し第一回の試験を受けて見習生とな

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ほうりつ）	法	075	16	は消極的のものであるとして見るときは	法律	学と経済学と其の学科の性質上より論じて見ま
	法	076	09	せう．さて又右の如く消極的の学科即ち	法律	学の如きは直接に物を生ずるもので無いと言ひ
	法	093	12	ますが，これはたゞ感覚に過ぎぬことで	法律	学上果して賞罰があるやといふことを研究した
	法	094	07	英国の領事に於て支配することであれば	法律	学上に於て研究するを要するは英吉利法で御坐
	法	155	14	学，倫理学，道徳学，政治学，理財学，	法律	学，社会学，史学，文学まだ此の外にあるので
	法	069	13	子弟たる者に告ぐ」と云ふ題にて「最早	法律	学士の供給は需要に過ぎて居る，物好きなら兎
	法	071	07	する．又我が国に於て新聞記者が「最早	法律	学士の供給は既に需要に溢れて居る，不平均で
	法	070	17	が出来ることで御坐いませう．斯の如く	法律	学者の輩出いたしますのは我が国家の大幸，之
	法	070	16	卒業生が出来，又来る十七日には英吉利	法律	学校の卒業式にも案内を受けて居りますが又何
	法	239	14	まずると，スタチスチック社社員，明治	法律	学校校員生徒，其の他の諸友人知人等が屢々私
	法	149	04	などを調べるにしてもドレだけの行政	法律	規則をこしらへなければならぬか行政法には，
	法	150	17	あります．行政法と言へば一国施政上の	法律	規則また官府とかいふやうな機関を要する道具
	法	150	17	かいふやうな機関を要する道具に関係の	法律	規則を言ふのであります．故に行政法の原則は
	法	151	11	上で定まつてある権理と義務を行政上の	法律	規則で行はれるやうにするのです．第三は無形
	法	152	03	理とか皆これを制限し規定する所の行政	法律	規則を研究しなければなりませぬ．第四には全
	法	152	16	るに従ひ憲法は度々変りますが行政上の	法律	規則は始終変りませぬ．千七百九十年の大革命
	法	190	03	のである．第二は行政府である．これも	法律	規則の執行を為すので，行政府と政府の区別を
	法	190	05	政を行ふといふ方で，其れから行政上の	法律	規則を執行するのが行政府である．第三には裁
	法	226	09	何れにしましても其の目的たる行政上の	法律	規則を適用すると云ふことと一個人の権利，利
	法	228	04	，各諸侯国で租税を異にし裁判を異にし	法律	規則をも異にして居りましたから，ツマリ日本
	法	243	16	法律，即ち全国の利益に関する行政上の	法律	規則等は総て行政権で執行することになつて居
	法	067	06	に此の盛場に列するの栄を得ました．且	法律	経済の二科に就て卒業をせられたる所の数十人
	法	095	06	からざるもので道徳上で賞罰することも	法律	上では賞罰せぬことが御坐ります．故に道徳上
	法	095	07	故に道徳上に於て罪すべき人であつても	法律	上で罪すべき証拠が無いときにはノルマントン
	法	097	09	道徳上の罪人なる船長ドレーキをして亦	法律	上の罪人たるに充分なる証拠を蒐集することに
	法	248	15	居りまする．然れども此の未決者は未だ	法律	上，罪人と定まりたる者では有りませぬから決
	法	042	14	とが始めて分れて来た．政治上のことは	法律	でゆく様になりた．それから後，欧羅巴では政
	法	137	08	中々数へ尽されません．私などは専門が	法律	で，職業が政事新聞記者でありますから日々法
	法	041	08	に区分が付ては居らぬ．道徳と云ふても	法律	と申しても別にきまりては居らず，たゞ其の社
	法	046	09	は到底害を受けるのぢゃ．其れぢゃから	法律	と道徳との本主義を云へば先刻言ふた様な訳な
	法	046	14	で其の維持と進歩とに必要だけに道徳と	法律	とが進化して来て居ることぢゃ．其れ故ドウし
	法	073	01	と共に熱心希望することで御坐います．	法律	と経済との関係明治十九年七月十一日専修学校
	法	073	09	しう御坐んせう．先刻も卒業諸君の中で	法律	と経済との関係といふことで御演説が御坐んし
	法	073	10	ふことで御演説が御坐んしたが私もその	法律	と経済との関係に付て一つのお話しを致したい
	法	077	06	矢張り己れの財産にはならない．そこで	法律	と経済とは社会上同一に必要なもので又今の様
	法	077	08	んす．故に我輩が諸君に望みまする所は	法律	と経済との学科の性質に相違あるにも係はらず
	法	095	05	罪すべき人で御坐りまする．併し道徳と	法律	とは自から混同すべからざるもので道徳上で賞
	法	243	12	内閣にして，こゝに於ては天下の政治を	法律	と憲法との範囲内に於て定めることにして，こ
	法	067	15	君も今日の卒業を以て足れりとせず益々	法律	に経済に従事せられ赫々の光華を得られむこと
	法	097	10	う．尚ほ委しきことは大谷木君が英国の	法律	に照して論ぜられませうから．真正の改良明治
	法	107	09	べるのが必要であると考へます．英国の	法律	には諸君の御承知の通り成文法と不文法とあり
	法	173	02	対してあの人は恩人だと言ふやうになり	法律	には無いが田舎の隅のものまでよく知つて居て
	法	244	08	行権に於て制定するもので有りまする．	法律	に至つては必ず立法権の制定に係るもので御坐
	法	043	03	刑律其の外総て具りて政府のする仕事は	法律	の方がおもになりて参りた．併し天子は民の父
	法	044	15	に行はれるもので無い．其れのみならず	法律	の主義も矢張り主義通りには行はれぬことぢゃ
	法	045	01	居らぬ．啻に道徳が行はれぬのみならず	法律	の本趣意も行はれて居らぬぢゃ．僕の考へでは
	法	045	04	般が人民の害を為してあるに違ひ無い，	法律	の上で一般人民を害する法が有るのぢゃ．其れ
	法	048	10	らうと思はれる．さうしたら先刻申した	法律	の主義と云ふものは無論行はれる様になるであ
	法	054	12	機械の学問，蒸気の学問，電信の学問，	法律	の学問，測量の学問などの本が出来なくつては
	法	073	10	係に付て一つのお話しを致したい．さて	法律	の学科と経済の学科とこの二つの者は社会上に
	法	137	07	ら政治の改良，社会の改良，法制局には	法律	の改良，外務省には条約の改正，中々数へ尽さ
	法	189	11	行権が関係することがあります．例へば	法律	の草案を出すとか，また法律を議するときには
	法	243	15	行を掌ることで有ります．また司法権は	法律	の執行を掌ることで有りまするが単に民法，刑
	法	244	05	権に於て執行いたしまする事柄は第一は	法律	の執行で第二は規則の制定及び執行で有ります
	法	244	06	行で有ります．規則と申しまするものは	法律	の細目を定め，また時としては法律の委任を受
	法	244	07	のは法律の細目を定め，また時としては	法律	の委任を受けて某々の事を定むる等のもので，
	法	255	06	して之を持ち出しました．警察に於ては	法律	の違反者，又は国事に関係する者は探索するこ
	法	043	01	を以て天下を治めると云ふ三代の主義で	法律	は睨しむる様になりて居る．併し支那でも三代
	法	075	17	其の学科の性質上より論じて見まずると	法律	は消極的の価値を得るといふもので御坐んせう
	法	077	03	占めて居ることで御坐んす．さう致すと	法律	は害を除くものであるとか経済は利を興すもの
	法	094	01	でありませう．なぜなれば安寧に関する	法律	は其の土地に住するものは内外人を問はず支配
	法	150	02	を一言申し上げるやうにしませう．凡そ	法律	は公法と私法とに別れ私法といふものは人民の
	法	041	08	前のことぢゃ．昔開けぬ時分には道徳も	法律	も別に区分が付ては居らぬ．道徳と云ふても法

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ほうりつ）	法	076	10	上に付て言つて見ましたら，さうで無く	法律	も経済もドチラでも諸君方の様に研究された方
	法	137	09	職業が政事新聞記者でありますから日々	法律	や政治の改良のことには筆を執つて居る其の言
	法	048	08	の社会様のものを為すことになり一つの	法律	を用ふる様になるであらう．尤もどれほど年数
	法	107	08	ーに対して求刑が有るからには英国の	法律	を取り調べるのが必要であると考へます．英国
	法	149	02	たら役に立ちますまい．規則を立るとか	法律	を立るとかいふことが知れゝば出生のことにし
	法	189	07	して居るものであります．即ち立法権は	法律	をきめるものであり，執行権の方は立法権でき
	法	189	12	す．例へば法律の草案を出すとか，また	法律	を議するときには政府の委員が出て討論をする
	法	189	13	の委員が出て討論をする．また立法権で	法律	を議決したときには執行権者が裁可する．裁可
	法	191	05	イギリスには力の種類が三つある．即ち	法律	を制定するの力其れから政を行ふの力，其れか
	法	191	08	ーの説を読んで見ましても裁判をするは	法律	を執行するに止まる．政を行ふのも亦，法律を
	法	191	08	を執行するに止まる．政を行ふのも亦，	法律	を執行するに止まるものであるから行政権，司
	法	274	13	ンスに於ては千八百五十五年五月五日の	法律	を以て府県監獄費をも国庫より支弁することと
	法	150	15	法に基いて憲法の趣意を拡張する為めに	法律	，規則を設けるもので憲法で定まつて居るもの
	法	151	15	ければなりませぬ．行政法といふものは	法律	，規則及び之を運転させる機関をいふもので定
	法	243	16	を掌ることとなつて居りまして其の他の	法律	，即ち全国の利益に関する行政上の法律規則等
ほうれい	法	167	17	通り相互に智識交換の為めに書くものや	法令	文書の往復まで先づドウかカウか行はれて居ま
ほうろうかく	宝	217	06	註解をする者があつて穿鑿したところが	宝楼閣	経と云ふ経にさう云ふことが書いて有つたの
ぼーっと	ボ	208	12	ので有ります．また彗星は惑星と違つて	ボーット	したもの故に一部分一部分に研究をしなけ
ほーる	ホ	024	06	のワシントンの天象台の教師Ａｓａｐｈ	Ｈａｌｌ	と言ふ人が発見いたしました．次ぎに木星
ぼーるど	ボ	106	05	メント，アクトの第二十三節に「英国の	ボールド	，ヲフ，トレード即ち商務局若しくは海事
ほか	ほ	016	05	ち地球の直径を十一に割つて其の三つに	ほか	当りませぬ．そこでザット地球と月との位置を
	ほ	016	04	里で有りますが月の直径は八百八十七里	ほか	有りませぬ．其れ故に地球の直径十一分の三，
	ほ	013	05	つて見ますと長い所が僅か一万二百五里	ほか	ない．私は僅かだと申しました．なぜだといふ
	ほ	021	10	にしか居ない，智慧と言ものは人間より	ほか	は持たない，人間の上は直に神だと思つて居り
	ほ	030	11	つて居るとしますと或る向には星が少し	ほか	見えず或る別の所には星が沢山見えませう．而
ほか	外	237	08	の二大難事を遂げて来たのは実に感服の	外	ありませぬ．実に今日と利害，幸不幸を異にする
	外	052	12	様になり手紙を書くにも甚だ困る．其の	外	一旦に大決断をやるのは宜い様で御坐りますが，
	外	137	13	凡そ教育に関する事柄の改良を教育会の	外	から持ち出されては済まないことと思ひまして今
	外	122	10	て死んだと云ふことで有りました．其の	外	御承知の通り卒中だの中風だのと云ふ病を起した
	外	150	06	ので国と国との関係を規定したるものを	外	公法または万国公法と言ひ，国と国民と其の国に
	外	087	07	，人の位を下げる所のモノゴトまた其の	外	社会の進歩を妨げるものは如何なるものかと基督
	外	052	09	人はこの時に差しつかへてしまふ．其の	外	秦の始皇に出かけられたと思ふと大層な不都合が
	外	235	09	つて，さうして幸福を得ることは思ひの	外	少なく今の学者は骨を折ることは少なくして幸福
	外	043	03	に至るに及び法律が立ちて来て刑律其の	外	総て具りて政府のする仕事は法律の方がおもにな
	外	169	09	には色々な訳もありませうが今日の題の	外	だから言ふのはよしませう．然るに此の両三年以
	外	115	09	ウ一つ人類に必要のことが有る．其れは	外	でも無い，人類といふものは品行をよくしなけれ
	外	119	09	有るなら何分お骨折を願ひたい．其れは	外	では無い矢張り酒の事で今も三島先生のお話しの
	外	057	17	つてお断り申すことがあります．其れは	外	でもありませぬが凡て話しと云ふものは何でもオ
	外	006	01	は分らぬもので政治家は政治のことより	外	には取り合はず，仮名の会の凝り固まりは外のこ
	外	006	03	ても取り合はない．兎角，人は一方より	外	には見ることを知らぬもの．併し考へて見れば外
	外	013	15	十里先きのものが見えなかつたら地球の	外	にドンナものが有るか一向分らないで有りませう
	外	014	01	遠ぎゝする様になりまして我々の世界の	外	にも別に之に似たものが有るといふことが知れる
	外	017	04	づ此の位で月のお話しはおきまして此の	外	に何ぞ地球の近所に居るものが有るか知らんと言
	外	018	11	で太陽が地球を引きつれて居るばかりで	外	に地球のツレは無いか，地球は月といふ僕とタッ
	外	019	16	つは望遠鏡で無ければ見えませぬ．此の	外	にもまだ有りますが此の位でおいて外のことに移
	外	022	01	も知れませぬが，さうしたら金星か其の	外	にズット進んだのが有るに違ひ有りませぬ．そこ
	外	024	04	球の眷属で太陽の孫で有ります．地球の	外	にも眷属を持つた惑星が有るかと云ふに随分有る
	外	025	03	らうか，まるで世界の中に孤立して居て	外	に党類は有るまいかと云ふに天の中には日と月と
	外	025	04	かと云ふに天の中には日と月と惑星と其	外	に星と言ふものが有る．先づ星と言ふものは大事
	外	027	15	した星は肉眼で見ゆる位な星です．此の	外	に望遠鏡で無ければ見えない星が沢山ありますが
	外	028	15	に明りを持つたものが二つは有りますが	外	に惑星の様に明りを持たない眷属が多分有るだら
	外	029	01	す．して見ますと果して我々の太陽系は	外	にツレがあるのです．色々な星の中に二つ以上組
	外	084	03	のこと学術のことを専ら勉める間は其の	外	に種々の進歩が暫くの間止まつて居るか或は後れ
	外	088	04	得ます．けれども既に演べましたものの	外	に社会の進歩の為め種々の必要なものが御坐りま
	外	090	14	全なる所へ進ませる模範は耶蘇基督より	外	に御坐りませぬ．この浮世の荒野の中で基督の足
	外	100	15	らず窃に義捐金を募集するのみならず，	外	に多くの考へが無くてはなるまじ．即ち我々が斯
	外	103	03	になり得べきか．私は宗教の力に依るの	外	に方便あるまじと思ひまする．日本人が保守の心
	外	108	09	来ずして僅に新聞紙又は世間の報道より	外	に材料は御坐りませぬ．併しながら未だ知り得な
	外	120	02	すが酒疫の方は内心に起るもので有つて	外	に見はれぬから酒疫は人心に伝染する内密の流行
	外	122	02	いことでは有るまいと思はれます．其の	外	に売淫女などが殖えます．これは外のことからも
	外	128	09	まで待つ方が宜しう御坐りませう．其の	外	に学術の色々の論の中にたゞ一人か二人が起した
	外	134	15	せぬ．基督教の反対論に答へむには其の	外	にまだ色々の仕方が御坐りませうけれども先づ今
	外	153	13	す．またお前の所のムスコは気違ひなら	外	に出してはいけないなどといふことも，きめます

代表形	判	ページ	行	出現文脈	
（ほか）	外	156	01	，法律学，社会学，史学，文学まだ此の	外 にあるので，ごすけれども先づ此の通り聞きまし
	外	185	03	於ては一旦夫婦になつたからには姦淫の	外 には，たとひ如何やうなことが出来しても決して
	外	191	10	のである．故に立法権力と執行権力より	外 に権力が無いといふことはモンテスキューは同意
	外	205	10	る彗星が有ることが知れましたが，この	外 に十か十一ばかり有ります．ざつと一ダースばか
	外	206	08	さいので有ります．其れからして，この	外 にイクラも有ると言ひましたが其の中で珍らしい
	外	219	09	の品定めと云つて源氏の君，頭の中将，	外 に両名ばかり集つて世間の女の品定めをし女の種
	外	237	02	云ふので有つたが其れを取るだけで其の	外 に学ぶべきことで有ると思つても口出しすれば謀
	外	251	17	此の者を幼年囚と申します．此の二つの	外 に，まだ罪人とはなりませぬが根性の悪い者，ま
	外	256	10	有ります．今，申しました二つの種類の	外 に天災の救助と云ふものが有ります．これは洪水
	外	258	14	助すべきもので有りまする．前の二つの	外 に放免者即ち出獄人にして必需の資力なき者，又
	外	006	01	は取り合はず，仮名の会の凝り固まりは	外 のことには構はず夢中になつて居るから羅馬字の
	外	006	03	ることを知らぬもの．併し考へて見れば	外 の方も分る，考へても分らないでは無からう，考
	外	019	17	の外にもまだ有りますが此の位でおいて	外 のことに移りませう．今までお話ししました星の
	外	021	05	るのは空気が有つたり水が有つたり其の	外 の色々のものが有つたりするからです．然るにそ
	外	021	11	は直に神だと思つて居りましたが今では	外 の世界にも人民のある事が知れた．して見れば外
	外	021	11	にも人民のある事が知れた．して見れば	外 の世界にはどれだけ人間世界より進んだものが有
	外	021	13	シが無い位で有ります．今日理学や其の	外 の学問をする人が満足する有様に至らないので追
	外	027	13	中でまごついて居るから．これからして	外 の星と云ふものはこれより遠い．遠いと云ふこと
	外	035	11	せぬが私どもは善いと思ひます．其れは	外 のことでも無い「大いなる社会は大いなる欲，大
	外	084	14	様な種々の進歩が御坐りました時分には	外 の進歩が或は後れて居たか或は全く滞止したので
	外	110	08	新聞で船長は四千弗の保釈金を出し其の	外 の者も保釈を許されたといふからには現に大金を
	外	122	03	其の外に売淫女などが殖えます．これは	外 のことからも殖えるで有りませうが酒の為めに殖
	外	122	12	い様に思はれます．かういふ様なことは	外 のことからも起りませうが多くは酒の上から来る
	外	127	07	の専門と致した所のことを論ぜず色々の	外 の廉に移りて天地の間の道理を広く論ずる間には
	外	133	16	なりました．が其れから，かの者が全く	外 の人になつたやうに，まるで変つて来ましたので
	外	150	08	二つは別に法典となつて居りますが其の	外 のは法典となつて居りませぬから研究するのに，
	外	197	10	て居る，太陽は夥しいもので地球や其の	外 の惑星をひつぱりますのは，丁度，地球が他の物
	外	211	10	ません．確には分りませんが双六や其の	外 のアタリハヅレを研究する学問によつて見ますと
	外	232	05	けれども府県に固有のことでも該事項の	外 のものは府県会に於て議決するを得ない．よつて
	外	241	06	たとか云ふやうなことは内務大臣の命令	外 のことで有るから申しても構へませぬ．また監獄
	外	005	17	とは知らない．兎角人は一方のことより	外 は分らぬもので政治家は政治のことより外には取
	外	007	07	裸にしてふるつて見たら字を書くことの	外 は知らざる者が多いで有りませう．字が書けると
	外	052	03	が国のことでは無い話しとして）数字の	外 はモロコシの字を用ひぬことと触れ出し一字使つ
	外	052	08	を用ひたので無ければ横文字の書物より	外 は無いから英書か仏書の読める人は宜う御坐いま
	外	067	13	す，御愉快で御坐いませう」と申すより	外 は御坐いませぬ．併しながら我々は隴を得て蜀を
	外	100	01	は我々を軽蔑したものなりと考へるより	外 はない．彼等は実に我々日本人を同等の人間と思
	外	107	01	して「情け無いことをした」といふより	外 は私は言を尽すことが出来ませぬ．たゞこの感情
	外	108	15	ばならないか．船長等の指図に従ふより	外 はありますまい．然れば誰も彼も端艇に乗うとい
	外	110	11	平な考へからして実に不思議と思ふより	外 は無い．若しや我輩の疑ふ所をして事実に違はざ
	外	143	05	人の思想即ち無形の人情を写すは筆より	外 は無い．即ち小説の管内で御坐ります．凡そ人情
	外	160	01	あるまい．カラダは土になるか灰になる	外 はなく余所へ行き天へ上りはしない．するとタマ
	外	181	04	は是非ともキリスト教の力を借りるより	外 は致し方がないと論ずる人が御坐りますが何故に
	外	214	10	を改正した時に「楽屋に出入するときの	外 は必ず編笠を冠れ」の「アタマをヤッコにしてし
	外	232	06	く府県固有の用で有るものでも右事項の	外 は知事が勝手に決定して行ふことが出来ると考へ
	外	002	17	とか大砲を拵へるとか薬を煉るとか其の	外 物理上化学上の智識をこちらへ得れば風雨を凌ぐ
	外	254	02	に居りまして窮屈な目を致しましたから	外 へ出ると直きに妓楼へでも上つて見たいと云ふ考
	外	230	01	内地の区のやうなもので有ります．其の	外 間切と云ふもの即ち内地の郡の如きものが三十六
	外	008	07	ぬ程の騒ぎ．其れは豆粒の中の盛なので	外 を見れば盛でも何でも無い．他国の有様を見れば
	外	033	14	を飲むことが慣習になつて居ます．其の	外 ，近来国を開化させるとか文明にしようとか国を
	外	041	12	Ｂｕｃｋｌｅと云ふ人が「道徳は思ひの	外 ，早く開けてしまふて変化は無い，智慧は次第に
	外	045	09	挙にかゝると云ふことが出来ず租税其の	外 ，種々のことによりて出来ると出来ぬの違ひが有
	外	054	11	術までも仮名で書いた本がほしい．其の	外 ，天文，地理，本草，地質もつと欲深く鉱物の学
	外	141	15	者にはなれまいと思ふ鈍才の者が思ひの	外 ，学者になつたものも有る．併し是等はたとひ学
	外	145	13	葉がかゝつたとか何とか云ふので思ひの	外 ，金のダシテが有つて私も一万円私も二万円を出
	外	168	01	なさい，日本はヤミになりませう．其の	外 ，色々ありませうが先づそんなものです．世が開
	外	205	07	死んだとか誰宰相が黜けられたとか其の	外 ，人間社会に災の有ることも一年に三度位はキッ
	外	230	06	に一つの鎮守府を置いてあります．其の	外 ，裁判区山林区，学区など色々あります．其の外
	外	230	08	区山林区，学区など色々あります．其の	外 ，行政上で無形人と認むるものは全国，府県，町
	外	235	10	とは少なくして幸福を得ることは思ひの	外 ，多いに就ては今の学問をする人は昔の人の難儀
	外	236	15	た為めに災にかゝつたので有つた．其の	外 ，西洋学をした為めに藩を逐はれ，また苦しめら
	外	239	12	等合せて百〇三箇所でありまして，其の	外 ，参考上に見ました所は小学校，高等小学校，中
	外	261	02	ませう．第七，被救助者の姓名は役員の	外 ，他人に知らしめざること．これは貧民救助の点
	外	273	10	りますまいかのやうに思はれます．此の	外 ，東京，兵庫，宮城，三池の四箇所に仮留監と申

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ほか）	外	273	15	人，懲治者は百二十一人ありまして其の	外　，別房留置者と申す者が千八百六十七人あります
ほか	他	037	07	の統御の権を受けて居るものを云ふので	他　の言葉で申せばネーション即ち国民と云ふことぢ
ほかに	他	034	09	道理によつて分るもので有ります．然る	他に　かのナルコチカを飲んで食物と同様に思ふのは
ぼき	簿	176	08	は第一必要でスタチスチックの穿鑿法，	簿記　法から着手し次第に進んで比較判決などの高尚
ぼく	僕	018	12	に地球のツレは無いか，地球は月といふ	僕　とタッタ二人づれで毎年太陽のグルリを旅行する
	僕	045	01	ず法律の本趣意も行はれて居らぬぢゃ．	僕　の考へでは今日行はれぬのみで無く，いつまでも
ほくしゅう	北	143	17	弊でありますから仕方が無い．彼の南宗	北宗　などの山水の美景或ひは武人の像を画くものも
ぼくする	卜	065	03	丸髷島田の増減は日本男女の文明如何を	卜する　に足るものと思ひます．諸君如何です．さて
ぼくり	木	062	10	歩行するときは裾は常に脛脚にからまり	木履　はボクリボクリして忽ち足を疲らし殊に婦人の
	木	062	12	大いなる文庫を背負ひ足には俎板然たる	木履　を穿ち，おまけに頭にはバクバクして蝦蟇の様
ぽくりぼくり	ポ	062	10	るときは裾は常に脛脚にからまり木履は	ポクリポクリ　して忽ち足を疲らし殊に婦人の如きは
ほけん	保	110	10	も疑はしいことである．また外国の例に	保険　附きの船を沈めて保険料を取うといふこともあ
	保	110	10	．また外国の例に保険附きの船を沈めて	保険　料を取うといふこともある．我々は公平な考へ
ほご	反	007	12	と属官までが小癪に手習ひして唐紙位は	反古　にしようといふ意気ぐみになる．其れですから
ほご	保	254	10	犯罪予防との二つの理由よりして放免者	保護　会社の如きものを設けて或ひは仕事を教へ或ひ
	保	258	17	調べたら随分ありませう．これは放免者	保護　会社でも出来たときには，そこで救つてやるべ
	保	261	09	罪予防との二点よりするところの放免者	保護　会社の管轄と致し，将来の犯罪人となるの恐れ
	保	267	08	業は慈恵上より成り立つところの放免者	保護　会社に於て之を執行いたしますので此の会社
	保	264	10	部に於ては罪人の放免となりました者を	保護　して正業に就かしめ其の再犯を防ぐ所で有りま
	保	099	14	るを俟たず．且船長は幾多船客の生命を	保護　すべき責任のあるものである即ち当時の主人の
	保	152	07	の政事上，宗教上，民事上，等の権理を	保護　するものであり行政法では憲法できめた原則を
	保	193	09	いふことをするとか，また人民の権理を	保護　するとかいふ保証をなされたことがあるです．
	保	275	02	は幼年囚，及び不良少年の教育，並びに	保護　でありまして，これは近来，大いに進歩いたし
	保	254	11	なことを致さなければなりませぬ．此の	保護　の方法が日本には有りませぬから為めに再犯，
	保	275	13	不論罪懲治者，並びに出願懲治者の教育	保護　の事業を世間の有志者，有力者に於て非常に尽
	保	275	03	は幼年囚，及び不良少年の教育，並びに	保護　は実に盛大なる有様であるとのことで御坐いま
ほこう	歩	062	10	です．諸君試みに御覧なされ和服を着て	歩行　するときは裾は常に脛脚にからまり木履はポク
	歩	062	09	廉なるとは原因の二です．第三は衣服の	歩行　に適せざることです．諸君試みに御覧なされ和
ほこる	誇	041	04	る」と云ふ理屈は立たなくなる．中華と	誇る　国でも文明を以て鳴る国でも一度は彼様な風習
ほし	星	019	08	星を水星とも申します．次に木星と言ふ	星　が有りますが，これは歳星とも唱へます．支那で
	星	020	04	て居ますから若し太陽の向ふの方に此の	星　が居る時には太陽のソバに見ゆるもので有ります
	星	025	05	のことを言はなければなりませぬ．さて	星　が我々の太陽の様なものでは無からうかと云ふ疑
	星	025	08	見ると惑星が地球の党類で有ると同様に	星　が太陽の党類では有るまいかと考へます．併し素
	星	027	11	に何か一朝変動が生ずるか或は全く此の	星　が無くなつても其れから九年と三ケ月たつて始め
	星	027	15	す．此の外に望遠鏡で無ければ見えない	星　が沢山ありますが其れは小さいから見えないのか
	星	028	03	距離の比例を取ると非常の遠くに居ます	星　が有ります．今のαＣｅｎｔａｕｒｉより一万倍
	星	028	04	ｉより一万倍乃至三万倍位の距離に居る	星　が確に有る様です．こんな星から出立した明りは
	星	028	06	れば地球まで来ない．三万年の昔こんな	星　が無くなつて居ても我々は今に有ると思つて居る
	星	028	09	此等の星を観測して見ると中には面白い	星　が有る，一つ二つ三つ四つなどとかたまつて居る
	星	028	10	一つ二つ三つ四つなどとかたまつて居る	星　が有る．多くは散らばつて居ますが中にはコンナ
	星	030	01	たまりです．濃い所になりますと夥しく	星　があります．一体，肉眼で見えない星が沢山あり
	星	030	01	く星があります．一体，肉眼で見えない	星　が沢山ありますが其の中で此のアマノガハの上に
	星	030	02	すが其の中で此のアマノガハの上にある	星　が一番多い．又アマノガハの外にある星の中でも
	星	030	04	な粒々とした星はさうでもないが小さな	星　がアマノガハの方に行く程多いです．其れからし
	星	030	11	系がはいつて居るとしますと或る向には	星　が少しほか見えず或る別の所には星が沢山見えま
	星	030	11	には星が少しほか見えず或る別の所には	星　が沢山見えませう．而して星の沢山見ゆる部分は
	星	031	01	ない．然るに中にはアマノガハの形した	星　が有る，ではない星のかたまりが有ります．望遠
	星	207	07	通りイツでもあることだが殊に秋の頃，	星　が天の中から，とれて流れてしまふやうなことが
	星	207	13	雨」と云ふことだらうと言ひましたが，	星　が隕ちて雨がふつたと云へば星は星，雨は雨で別
	星	207	15	くしてしまつたやうに思はれます．其の	星　が隕ちたと云ふのは今言ひました流星と同じこと
	星	209	03	い星でも見えます．尾をすかして大きな	星　が見ゆるなら宜う御坐りますが小さな星までも能
	星	027	01	しましても余り大きい数になりますから	星　学者は広大無辺の物さしを作ります．其れは何で
	星	026	16	鳥宮といふ所の六十一号の星で今申した	星　から見ますと三倍ばかりも距離が遠い．此の様に
	星	028	05	距離に居る星が確に有る様です．こんな	星　から出立した明りは一万年から三万年ばかりも，
	星	022	08	陽の鏃形とします．さうすると一番近い	星　即ち水星は距離が一丁と十五間で直径が三分七厘
	星	018	16	火星とも言ひます．肉眼で見ますと赤い	星　で時としては同し所にヂッとして時としては非常
	星	019	02	其れから宵の明星或は明の明星とも云ふ	星　で有ります．これは太白星とも長庚星とも言ひ或
	星	020	02	ます．矢張り太陽のグルリを回つて居る	星　で地球と同様に自分には明りを持たないで太陽の
	星	021	02	無い今言つた通り火星は全く地球に似た	星　で有りますから地球には人間などが居ると反対し
	星	024	10	す．其の次ぎには土星これは余程贅沢な	星　で八つほど眷属を引きつれて居ります．次ぎに天
	星	026	14	せぬ．其れはαＣｅｎｔａｕｒｉといふ	星　で有りますが其れは鹿児島辺か高知辺からは見ゆ
	星	026	14	が其れは鹿児島辺か高知辺からは見ゆる	星　で八月の頃，宵の中にチ　と出て，やがてひつ
	星	026	15	宵の中にチョイと出て，やがてひつこむ	星　で有ります．これが一番　い星でで有りますが近

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ほし）	星	026	15	ひつこむ星で有ります．これが一番近い	星	でで有りますが近いと云つても随分遠い．モウ一
	星	026	16	モウ一つは白鳥宮といふ所の六十一号の	星	で今申した星から見ますと三倍ばかりも距離が遠
	星	029	02	色々な星の中に二つ以上組み合つてある	星	で無ければ本当に回つて居るか居らぬか分らない
	星	204	02	学と云ふものが有りました．星占学とは	星	で占をする学と云ふことで実は学でもなく，また
	星	018	17	にヂッとして時としては非常に早く動く	星	です．支那人は之をひどく恐れまして螢＊惑がど
	星	027	14	今まで申しました星は肉眼で見ゆる位な	星	です．此の外に望遠鏡で無ければ見えない星が沢
	星	031	16	る所の限りで総てあるとあらゆるものは	星	でも星雲でも皆この中にはいつて居るものである
	星	209	03	ふ証拠は尾を透して，どのやうな小さい	星	でも見えます．尾をすかして大きな星が見ゆるな
	星	020	06	て見にくいですが之と替つて地球が此の	星	と太陽との間にはいりますと此の星の距離が非常
	星	025	04	云ふに天の中には日と月と惑星と其外に	星	と言ふものが有る．先づ星と言ふものは大事のも
	星	025	04	惑星と其外に星と言ふものが有る．先づ	星	と言ふものは大事のもので天文学のことを星学と
	星	027	13	まごついて居るから．これからして外の	星	と云ふものはこれより遠い．遠いと云ふことは知
	星	029	05	す．そこで我々の太陽の同士が即ち此の	星	と云ふもので有るといふことが分ります．其の同
	星	029	09	．其れは何で有りますかと云ふと一体，	星	と云ふものはどの辺には沢山あつてどの辺には少
	星	031	11	る様になりまして此の純粋の星雲は常の	星	と違つて瓦斯だと云ふことが知れました，全く瓦
	星	207	14	で別々なもので有りさうなものだのに．	星	と雨とはドンナ関係が有ることか知りませんが何
	星	027	10	三ケ月かゝります．でありますから其の	星	に何か一朝変動が生ずるか或は全く此の星が無く
	星	008	05	も三日も大騒ぎ，人は黒山の如く提燈は	星	の如く褒美は五六百円のものもあり，花火を打ち
	星	019	06	詩に「太白当舟明似月」と云ふのが此の	星	のことで御坐います．其れからまだ辰星と申しま
	星	019	09	れたもので，正月元日の或る時刻に此の	星	の居る方をあき方とか何とか唱へて賞翫したもの
	星	020	01	とに移りませう．今までお話ししました	星	の中で一番我々のよく観測の出来ます星は火星即
	星	020	06	此の星と太陽との間にはいりますと此の	星	の距離が非常に近くなる上に丁度太陽の光をマト
	星	024	08	木星を見ますとドンナけちな望遠鏡でも	星	の真中の所に筋の様なものが見えます，丸に一文
	星	025	05	学のことを星学と言ふ位で有りますから	星	のことを言はなければなりませぬ．さて星が我々
	星	025	14	離の知れた上でなければ論にならない．	星	の距離は月の距離を測りますのから見ますと余ほ
	星	026	01	さしの両端から測量して見ても大かたの	星	の距離は大き過ぎて測量することが出来ませぬ．
	星	028	01	．さりながら，ならして言つたら数多の	星	の中で大きく見ゆるのは近いので，小さく見ゆる
	星	028	03	は大違ひは有りますまい．そこで色々な	星	の明りの分量を比較して段々と距離の比例を取る
	星	028	11	まつて居る星は肉眼で見ますと唯一つの	星	の様に見えますが望遠鏡で見ますと二つに分れて
	星	029	01	太陽系は外にツレがあるのです．色々な	星	の中に二つ以上組み合つてある星で無ければ本当
	星	029	17	すが望遠鏡で見ますとアマノガハは全く	星	のかたまりです．濃い所になりますと夥しく星が
	星	030	03	星が一番多い．又アマノガハの外にある	星	の中でも精しく調べて見るとアマノガハの近所が
	星	030	11	別の所には星が沢山見えませう．而して	星	の沢山見ゆる部分は帯の形して天を取りまいて居
	星	030	13	ります．そこから見ますとアマノガハは	星	のかたまりで太陽も地球の仲間もそこの中に居る
	星	031	01	アマノガハの形した星が有る，ではない	星	のかたまりが有ります．望遠鏡で見ますと星のい
	星	031	01	かたまりが有ります．望遠鏡で見ますと	星	のいくつとはなく簇つて居る者が沢山ある．併し
	星	031	04	ると云つても雲の様に見えて粒々とした	星	のかたまりの様に見えないのが有ります．其れは
	星	031	06	雲の様に見えても少し強い眼鏡で見ると	星	のかたまりの様に見ゆるのも有り，又今日世の中
	星	031	08	．其れとても矢張りアマノガハみた様な	星	のかたまりで望遠鏡のモットよいのを用ひたら粒
	星	207	11	「春秋」に「星隕如雨」とありましたが	星	の隕るのが雨の如くではアンマリひどいことであ
	星	020	01	星の中で一番我々のよく観測の出来ます	星	は火星即ち螢＊惑星で有ります．矢張り太陽のグ
	星	020	03	明りを借りて照つて居ります．所で此の	星	は地球の軌道の外を通つて太陽を繞つて居ますか
	星	025	09	かと考へます．併し素人は其れにしては	星	は余り小さいと言ひます．小さいとは眼で見て小
	星	026	11	割り合ひによつて見ますと我々に見ゆる	星	は中には太陽よりは小さいのも有りませうが太陽
	星	026	13	ますか知れませぬ．此の一番太陽に近い	星	は何で有るかといふに不幸にして東京からは見え
	星	027	14	ふことは知れませぬ．今まで申しました	星	は肉眼で見ゆる位な星です．此の外に望遠鏡で無
	星	027	17	は解けない．いくらかの大きさに見ゆる	星	は小さいものが近所に居るのか，大きなものが遠
	星	028	11	まつて居ます．先づ二つかたまつて居る	星	は肉眼で見ますと唯一つの星の様に見えますが望
	星	029	04	るといふ場合が有りますから此の色々の	星	は皆太陽で其のグルリに多分回つて居る惑星があ
	星	029	10	いといふことからして我々の眼に見ゆる	星	は何かの部分を為して居るといふことが粗分る様
	星	030	04	から次第に少くなる．大きな粒々とした	星	はさうでもないが小さな星がアマノガハの方に行
	星	030	16	中だ」と言ふことが出来ます．あらゆる	星	は皆悉くアマノガハの中であらうか或はアマノガ
	星	207	13	したが，星が隕ちて雨がふつたと云へば	星	は星，雨は雨で別々なもので有りさうなものだの
	星	026	07	ませぬ．して見ると云ふと此の一番近い	星	まで往くには非常な距離を通らねばなりませぬ．
	星	209	04	星が見ゆるなら宜う御坐りますが小さな	星	までも能く見えます．頭の所はドウで有るかと云
	星	020	17	大きいです．前にも言ひました通り此の	星	も同しく太陽のまはりを回つて居りまして地球が
	星	028	17	界で有ります．三つ以上組み合つて居る	星	も矢張り同じ様な運動をして居ますのが有ります
	星	030	16	中であらうか或はアマノガハの外に有る	星	もあらうか，あらかた先づアマノガハの中で無け
	星	019	08	，太陽のおそばさらずが有ります．此の	星	を水星とも申します．次に木星と言ふ星が有りま
	星	019	11	の優美を貴む国で有りますから大層此の	星	を珍重しました．肉眼で見ましては木星に少し小
	星	028	09	取る様なことが有ります．そこで此等の	星	を観測して見ると中には面白い星が有る，一つ二
	星	130	17	お話しで御坐ります．数へも出来ぬ日月	星	を含む所の大空が人の色々の新論，新説，新発明
	星	026	06	陽から三里ばかりの所へ置きまして此の	星	をば一万九千九百里ばかりの所に置かなければな

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ほし）	星	014	03	て一番我々の眼に着くものは大陽，月，	星 ，アマノガハなどで有ります．其の中一番近いの
	星	207	13	が，星が隕ちて雨がふつたと云へば星は	星 ，雨は雨で別々なもので有りさうなものだのに．
ほしい	ほ	054	11	幾何から三角術までも仮名で書いた本が	ほしい ．其の外，天文，地理，本草，地質もつと欲
ぽしちーぶ	ポ	075	13	るもので有るから国家の為めに希ふ所は	Ｐｏｓｉｔｉｖｅ の方が余計に出来てＮｅｇａｔｉ
	ポ	074	09	んす．さういふ風の金の使ひ方を原語で	Ｐｏｓｉｔｉｖｅ Ｖａｌｕｅ即ち積極的の価値とい
ほしゃく	保	110	08	みで無い．今日の新聞で船長は四千弗の	保釈 金を出し其の外の者も保釈を許されたといふか
	保	110	08	長は四千弗の保釈金を出し其の外の者も	保釈 を許されたといふからには現に大金を持つて居
ほしゅ	保	101	11	改革を計画し而して採長補短の斟酌なく	保守 して而して進歩するの覚悟なきことは二十余年
	保	103	03	に方便あるまじと思ひまする．日本人が	保守 の心勘なく物事に耐へられないのは宗教が衰へ
ぼしゅう	募	100	15	啻に訴訟を起すのみならず啻に義捐金を	募集 するのみならず，外に多くの考へが無くてはな
ほじょ	補	259	04	は私設救助に政府，又は府県，町村より	補助 するの仕方を以てやるべきもので有りまする．
ほしょう	保	157	13	したが実は地が回るか回らないか私には	保証 が出来ませんが其れから，まだ四百年にはなり
	保	159	01	日の学問の極度であるかドウかは私には	保証 が出来ないが実際人々の精神に，のみこんだの
	保	193	09	か，また人民の権理を保護するとかいふ	保証 をなされたことがあるです．我々は古代の事に
ほそかわ	細	073	03	校卒業証書授与式東京両国中村楼に於て	細川 潤次郎君演説私はこのたび始めて本校の卒業式
ほそながい	細	198	08	ます．楕円は先づ円のやうなものですが	細長い もので，惑星即ち木星土星などのあるいて居
ほぞん	保	058	02	何でも総ての事を能く覚え能く忘れずに	保存 するにはオモシロミが大切だ」と云ふことです
	保	048	17	に足らぬことぢゃ．道徳は社会の維持と	保存 との為めに出来たものぢゃ．其れ故，社会を為
ほたん	補	101	11	張し忽ちにして改革を計画し而して採長	補短 の斟酌なく保守して而して進歩するの覚悟なき
ほっかいどう	北	228	10	々と一定しまして今では三府四十一県と	北海道 庁とになりました．この府と云ふことと県と
	北	272	09	．然るところ昨年．官制の改革のときに	北海道 庁に監獄署を置かれましたので北海道の集治
	北	272	10	ので北海道の集治監も通常の監獄も皆な	北海道 庁監獄署と云ふ部に這入つてしまへましたか
	北	272	08	申しまするは俗に島地監獄と申しまして	北海道 に設けてありまする．然るところ昨年．官制
	北	272	09	に北海道庁に監獄署を置かれましたので	北海道 の集治監も通常の監獄も皆な北海道庁監獄署
ほっき	発	097	04	疑つて居つたが此の頃或る新聞社の人の	発起 で漸く水潜り器械で探すことになつたといふこ
	発	033	06	高論卓説もさぞかし多く御坐りませうが	発起 人諸君から亨二にも是非演説をしてくれとのお
ほっきょく	北	020	12	位だから空気も有る．又地球に似て南極	北極 と云ふものが有り此の南極北極には時候の如何
	北	020	13	似て南極北極と云ふものが有り此の南極	北極 には時候の如何に拘はらずいつも氷がはりつめ
ほっけ	法	157	05	るとなると羅馬法皇の，仏教で申したら	法華 経とか三部経とかいふものに差支が起るからコ
	法	103	08	．即ち弁慶が天台の宗旨を信仰し清正が	法華 宗を信仰したればこそ固く信じて疑はず百折不
ほっこう	北	211	17	をして居つた所，何だか天が変になつて	北光 でも無いが何であらうかと云つただけで有りま
ほっし	欲	065	13	至りませう．古語に曰く「木静ならむと	欲し て風未だ止まず」とやら改良の必要蓋し今日に
	欲	074	14	で御坐んす．其れを務めて除かむことを	欲し まするには人を雇はんければならぬ．而じて其
ぼっしゅう	没	106	08	其の海員の業務を停止し又は其の免状を	没収 するの処分を為すべし」といふことがあるが英
ほっす	欲	164	08	地たり人の之を主どるなしを経略せんと	欲す ．一日行て亜丁に抵る英将の邀飲を被り以て地
ほっする	欲	164	10	君今航海して此に至る果して何に往んと	欲する かと．時に客，已に酔郷に入り遂に実を吐き
	欲	093	13	に已むを得ず私が一言，諸君に陳べむと	欲する ことになりました．今日我が国には治外法権
	欲	059	17	問が無くても奇麗なものや便利なものを	欲する のは自然の性です．御覧なされ今如何様な田
	欲	059	14	び奇麗な物を愛し，うまき物を好き楽を	欲する ものでありますから（無くては大変だ）今欧
ほど	ほ	017	10	千六百二十三里で地球の直径の百八倍半	ほど 有ります．さつきの一寸の玉を地球の雛形とし
	ほ	053	16	いふ様なものを書くことを教へて，どれ	ほど かの年月教へたら上等科のことを学ばないで文
	ほ	024	05	ふに随分有る．先づ第一に火星には二つ	ほど 眷属が有る，二つほど月をみた様なものが有る
	ほ	024	10	次ぎには土星これは余程贅沢な星で八つ	ほど 眷属を引きつれて居ります．次ぎに天王星海王
	ほ	236	08	には無く本も十分には無いことゆゑ如何	ほど 志が厚くつても思ふ半分も出来なかつた．其れ
	ほ	148	07	あります．併し人員を調査するのはドレ	ほど スタチスチックの法に適つて居つても行政上の
	ほ	070	14	て出席いたしましたがアチラでも十一人	ほど 卒業生が御坐いました．今日はこの専修学校で
	ほ	070	15	した．今日はこの専修学校で昨日の倍数	ほど 卒業生が出来，又来る十七日には英吉利法律学
	ほ	182	14	ふことが出来ませうか．上へ往けば往く	ほど 其の割合が多くなるではありませんか．シテ見
	ほ	024	05	一に火星には二つほど眷属が有る，二つ	ほど 月をみた様なものが有る，其れは衛星と言ひま
	ほ	116	10	覚えも無い．されども二三年前の春二年	ほど 続いて腸胃痛がありて十二時間ばかり痛み続い
	ほ	016	01	数になります，即ち地球の直径の三十倍	ほど で有ります．してこの距離が分りました上は其
	ほ	131	10	の色々の書名を挙げることが出来ませぬ	ほど で御坐ります．たゞ一方の論のみを読みまする
	ほ	200	14	どには同じ団十郎でも見分けは出来ない	ほど で有りますが，丁度そんなもので，彗星の正体
	ほ	206	01	云ふ人が（これは前のＣｌａｉｒａｎｔ	ほど にはいきませんがＰｏｎｔｅｃｏｕｌａｎｔや
	ほ	206	02	ｃｏｕｌａｎｔやＤａｍｏｉｓｅａｕの	ほど には十分いきます．）其の彗星のあるいて居り
	ほ	211	02	世界を見物にあるき出すものだから其れ	ほど に恐ろしく無い」と言ふ者も有りました．また
	ほ	270	05	千四百七十二人ありまして丁度五割三分	ほど に当りまする．また読むことだけを知つて居り
	ほ	270	07	千三百四十三人ありまして丁度一割六分	ほど に当りまする．また読むことと書くことを知つ
	ほ	270	08	千七百七十八人ありまして丁度二割一分	ほど に当りまする．また読むことと書くことと算へ
	ほ	274	04	に割り当てまするとと一人に付き四十八円	ほど になりまする．実に莫大の費用と云はざるを得
	ほ	148	08	ぬ．人員疎密を調べるといふことはドレ	ほど 日本に備つて居るか知りませぬが例へば五万以
	ほ	048	09	律を用ふる様になるであらう．尤もどれ	ほど 年数がたつたら，さういふことになるか知れぬ
	ほ	039	05	る．其れはナゼぢゃと申せば強盗をする	ほど の者で無ければ社会を守ることが出来ぬからぢ

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（ほど）	ほ	202	02	irantと云つてNewtonに次ぐ	ほど	の数学者で有りますが，この人が出まして彗星
	ほ	027	07	間に来ます，僅か一秒時間に七万六千里	ほど	走りますから地球のかたつ方の端から，かたつ
	ほ	023	08	形一尺一寸ばかりの玉より三丁と十四間	ほど	離すと見れば海王星は本郷よりも王子よりもズ
	ほ	202	16	Clairantの勘定したより三十日	ほど	早く太陽に一番近い所に来ました．これが天文
	ほ	270	14	仕事でありまする．俗に智識がひろまる	ほど	不良の奸智も殖ると申す者が有りまするけれど
	ほ	005	11	になつたのは当り前．我が国にも二十年	ほど	前にさういふことが有りました．ドウしても今
	ほ	195	04	寺尾寿君講談諸君．丁度，只今から三年	ほど	前にヨホド立派な彗星が出ました．諸君は定め
	ほ	249	05	効になりまする．また，裁判と監獄が何	ほど	よく整頓しましても警察が悪いとムヤミに誰で
	ほ	249	04	効になりまする．また，警察と監獄が何	ほど	宜しくとも裁判が悪いと警察と監獄が無効にな
	ほ	249	03	き関係で有りますから，警察と裁判が何	ほど	立派に整頓いたしましても監獄が其の宜しきを
	ほ	130	14	．我れ此の二つのものを深く思へば思ふ	ほど	我れ之に感服しまた之を尊敬す．この二つのも
ほど	程	023	01	になりましたのだけが二百いくつと云ふ	程	ありますが其れでおしまひでは無い，化学の元素
	程	063	06	の比例です．而して欧米の馬車の数は何	程	あると云ふに英国に於ては一千八百三十年に於て
	程	030	04	ないが小さな星がアマノガハの方に行く	程	多いです．其れからして此のアマノガハと云ふも
	程	012	17	比べても随分大きい．さりながら考へた	程	大きいものでは無い，至つて小さいものと私は申
	程	070	01	．而して孛漏生の裁判官代言人の数は何	程	かと言ふと裁判官が三千九百〇一人，代言人が二
	程	117	12	人によつて違ふ故に節酒と言つても其の	程	が分らないからイツソのことに禁酒の方がよいと
	程	184	03	．また，これから起る所の弊害不幸は何	程	だか知れません．キリスト教は即ち此の無理圧制
	程	020	15	小さいと云つても月と地球との割り合ひ	程	では無い，月よりは大きい，直径が地球の半分よ
	程	022	13	半は少し大げさで其の実は三丁と十四間	程	で大きさは即ち一寸の玉．其の次ぎが螢＊惑星即
	程	023	05	丁の所で木星より小さい，幾ど九寸三分	程	で有ります．其の次ぎが天王星，これは三寸八九
	程	059	01	の居候ではないチフス病を鍾太鼓で探す	程	であると云ふが，これ則ち衛生の有り難い証拠で
	程	141	01	の流派を酌んで居るものは見るに忍びぬ	程	で有つたと申します．また日本の小説家の品格を
	程	185	06	今，我が邦の結婚と離縁との比例は如何	程	であるか只今諳記いたしませんが恐らくは結婚が
	程	203	05	言ひました．今度はカタヅをのむと云ふ	程	では有りませんが計算の結果は，どの位，精密に
	程	079	08	世の中の動物は数へも尽すことが出来ぬ	程	なれども進歩と云ふものは只人間のみに限つたこ
	程	051	11	この誰が会員になつた，して会費が如何	程	になつたなどといふだけでは，これで盛大になつ
	程	136	09	中の有様を観れば面白いことは言はれぬ	程	にて覚ることは実に明かで御坐ります．日本小説
	程	008	07	て鹿鳴館に往て見ると賑で押し返されぬ	程	の騒ぎ．其れは豆粒の中の盛なので外を見れば盛
	程	027	08	ら，かたつ方の端までゆくに瞬きをする	程	の時間はかゝりませぬ．月まで行きますにも二セ
	程	186	03	が多く御坐ります．幸に我が国には其れ	程	のことはありませんが矢張男尊女卑の風は免れま
	程	212	09	取つては金剛石や金銀にもかへられない	程	の品物を得ることが出来るかも知れません．しか
	程	094	09	ませぬが英吉利法のことは大谷木君が後	程	，陳べられませうから私は英吉利法によらずして
ほどこし	施	258	09	これには教育，即ち智育，徳育，体育を	施し	且，懲戒，懲治を施し，また将来，就業の準備
	施	043	13	教では人間のみならず禽獣にまで慈悲を	施し	決して残酷なことをしてはならぬと云ふことを
	施	097	03	ますまい．海底を探ね，また他に名案を	施し	たらば罪跡が現はれないことはありますまい．
	施	250	15	設けまして，こゝに於て懲戒と教誨とを	施し	て此の罪人の心の教育を致しまする．其れに此
	施	266	09	ひまして其の模様を験しして専ら教育を	施し	丁年に至れば通常の人民に入れることで有りま
	施	253	07	と致して之に教育，教誨，懲戒の三事を	施し	ます．尤も其の不良の度合ひに応じて右各科目
	施	259	03	恵と犯罪予防と云ふのが一つで，救助を	施し	ますには或ひは公けの救助を以てし，或ひは私
	施	264	05	また感化にも尽力し，且職業の教育をも	施し	ますことになつて居りまする．第二は懲必＊感
	施	252	16	未丁年の不良少年には教育を与へ教誨を	施し	，これにても不充分なるがゆゑ，また懲戒を与
	施	258	09	育，徳育，体育を施し且，懲戒，懲治を	施し	，また将来，就業の準備として仕事の教育も致
ほどこす	施	274	15	の直轄と致しました為めに大いに改良を	施す	ことが出来ました．また，イギリスに於ては千
	施	250	02	を未丁年者と唱へまして専ら之に教育を	施す	べき時で御坐います．未丁年者の教育は智慧の
	施	266	04	の予防をすることで有ります．これ等に	施す	方法は教育と教誨と懲戒との三つで有りまする
ほととぎす	ホ	222	01	が多かつた．今，千歳座で興行して居る	ホトトギス	と云ふ狂言なども種彦が作つた読本から
ほとんど	ほ	120	05	世界に流行する所を見れば各の住民は，	ほとんど	飲酒家の鑑札を持つて居る様なものだ」と
ほとんど	幾	023	05	土星は三十一丁の所で木星より小さい，	幾ど	九寸三分程で有ります．其の次ぎが天王星，こ
	幾	023	07	八分の球で太陽を距ること二里二十五丁	幾ど	三里で有ります．地球の鑵形の一寸の玉を太陽
	幾	027	09	三年と六ケ月かゝり白鳥宮からは其れの	幾ど	三倍で九年と三ケ月かゝります．でありますか
	幾	030	08	形したもので有るさうです．其れだけは	幾ど	確に見ゆる様で有ります．其れには譬へを取ら
	幾	027	05	から我々まで来ますに十分はかゝらない	幾ど	八分と少しで来ます，丁度九段の坂下からこゝ
ほとんど	殆	098	10	死を聞きては流涕長大息いたさぬものは	殆んど	ありますまい．然るに今や我々同胞二十五名
	殆	111	05	蔑視し之を蔑視するの極，之を虐待して	殆ど	彼等と同種類の人類でないと思つて居るに違ひ
	殆	142	11	つたとは云へませんが武門の世となつて	殆んど	其の跡を絶ちズット下りまして馬琴の八犬伝
	殆	091	08	何で御坐りませうか．人間を衰へさせて	殆んど	畜生にまで下げるものは何で御坐りませうか
	殆	227	13	ス即ち藩主で有つて其の領分内に於ては	殆んど	天子とも異なる所は無かつた位の様で有りま
	殆	084	02	歩の盛んな時も御坐りまするし或る時は	殆んど	無い位なことも御坐ります．たとへて申すな
	殆	199	02	い楕円も引きのばすと其の一部分だけは	殆んど	抛物線に違はないやうになります．ツマリ抛
ほね	骨	088	12	足して居ります．モウ多年米国の政府が	骨	折つて教訓いたしましたことも御坐りまして器械
	骨	055	01	ひます．さて書物はヤミクモに作るさへ	骨	が折れるもので御坐ります．今私の申した目録だ
	骨	236	04	いし，読む本も無いと云ふ始末でヨホド	骨	が折れて今ならば一月か二月かゝつて出来ること

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ほね）	骨	201	05	こにむつかしいことが有るので，ヨホド	骨　の折れるもので有ります．一体，彗星は長の旅を
	骨	237	14	の人のと比べて見れば何でも無いことで	骨　の折りよい所へ骨を折つて，オマケに己れの大利
	骨	167	04	かしくなり金も大層にかかるやうになり	骨　も大層に折れるやうになります．併し一たび事実
	骨	175	07	りとげやうと，いふので額に汗を流して	骨　も折る．家族でも子がみな死ぬと親も先きの望み
	骨	043	07	は申せぬことぢゃ．道徳は教法者が大層	骨　を折りて開いた．教法と云ふものも野蛮の教法と
	骨	156	14	スといふ人が考へたので其の人は天文を	骨　を折つて見たが日蝕や月蝕が算盤に合はないこと
	骨	157	16	，あの佐田介石が天を動かさうと云つて	骨　を折りましたが中々動かんと云ひました．さうで
	骨	235	09	す．其れに付て序ながら昔の学者は多く	骨　を折つて，さうして幸福を得ることは思ひの外少
	骨	235	10	を得ることは思ひの外少なく今の学者は	骨　を折ることは少なくして幸福を得ることは思ひの
	骨	237	14	デ昔とウラヘラになつた．今日の学生が	骨　を折つて勉強されても昔の人のと比べて見れば何
	骨	237	15	れば何でも無いことで骨の折りよい所へ	骨　を折つて，オマケに己れの大利益となることだか
ほねおり	骨	238	01	難事を知らぬと昔から当り前だと思つて	骨折り　方もいゝ加減にしてしまふと云ふやうになる
	骨	119	12	が為めに世の中を救はうと云つて色々と	骨折　苦心をして居ることは実に容易ならざることで
	骨	120	15	の学者が西洋の飲酒の弊害を除かんとの	骨折　苦心から出た話しで有りますが日本では此の事
	骨	166	04	間生活の真理を発明しやうといふ為めに	骨折り　最中で其の事実といふものが半は分つても，
	骨	091	05	ことも無く命にかけて天国の為めに常に	骨折り　したことが御坐ります．併しながら古今に箇
	骨	119	05	本節酒会の納会で有りますから諸君のお	骨折　で此の会の盛んになつたのを祝して何かお話し
	骨	090	17	しながら種々の進歩を成就する為めには	骨折り　と熱心などのものが無ければなりませぬ．さ
	骨	036	11	メテの無いことでせう．どうか皆様のお	骨折り　を以て大慾の社会になることを希ひます．賛
	骨	055	09	字をやらして居ります．ドウゾ皆様のお	骨折り　を以て全く仮名の世界にしてしまひ，秦の始
	骨	119	09	いから諸君にも御賛成で有るなら何分お	骨折　を願ひたい．其れは外では無い矢張り酒の事で
	骨	127	15	し且喜んで受け容れます．而して色々の	骨折　をして近来聞いた所の新発明などを基督教に符
ほへと	ほ	053	13	づ「いろは」でも「あいうえお」でも「	ほへと　」でも宜しいがモロコシの字を知らないうち
ほぼ	粗	029	11	は何かの部分を為して居るといふことが	粗　分る様で有ります．諸君御存じで有りませうが秋
ほみさいど	ホ	107	10	の不文法に拠りますと人命を断つことを	ホミサイド　と申し，このホミサイドを分つて四種と
	ホ	107	11	ます．第一種をジャスチファイァブル，	ホミサイド　と言ひますが，これは訳して言ふと正当
	ホ	107	13	ります．第二種をエキゼキューサブル，	ホミサイド　と言ひますが，これは宥恕殺といつて罪
	ホ	107	10	命を断つことをホミサイドと申し，この	ホミサイド　を分つて四種としてあります．第一種を
ほめ	賞	007	08	いで有りませう．字が書けると地方でも	賞め　られ書けぬと百姓町人までが馬鹿にする．其れ
	賞	040	15	から見れば悪人とも云ふべき者が却りて	賞め　られ貴ばれたので其れに反して今日から見れば
ほめ	褒	240	15	のことを褒めると云ふことならばイクラ	褒め　ても差支ない筈で有ります．然れども前に申し
ほめる	褒	240	15	云ふことも有ります．例へば人のことを	褒める　と云ふことならばイクラ褒めても差支ない筈
ぽりちかる	ポ	073	14	ａｃｌｅｏｄ氏のＥｌｅｍｅｎｔｓｏｆ	Ｐｏｌｉｔｉｃａｌ　Ｅｃｏｎｏｍｙといふものの中
ぽるとがる	ポ	083	05	各国の中で至つて弱い国はイスパニヤと	ポルトガル　で御坐ります．また地理によつて諸君に
	ポ	083	03	中古の例を申しますならばイスパニヤと	ポルトガル　の二箇国が暫らくの間，余程盛んに開け
ぽるとがる	葡	168	07	日本に入り来つたのは三百年ばかり前に	葡萄牙　，和蘭の渡来に始まつたが其の頃は世界開化
ぽるほぉーるす	ポ	180	05	では御坐りませんか．また彼のウ／キル	ボルフォールス　やクラルクソンをして奴隷廃止のた
ほれる	ほ	142	15	つこと．初めに情夫が有つて其れに女が	ほれる　遂に勘当を喰ふ其れから困難をする後に団く
ほろび	亡	038	17	たものは漸々に栄え其れが出来ぬ社会は	亡び　たであらう．今申した野蛮の有様に付て一例を
	亡	043	17	初めより仏法の教が行はれたらば人類は	亡び　たであらう．又今日文明開化になりたのも強い
	亡	196	09	出たときは人が夥しく死んだ」の「国が	亡び　た」のなどと云ふことがイクラも書物などに書
	亡	082	14	ましたが道徳の進歩が無かったゆゑ遂に	亡び　てしまひました．今日世界において賤しき国は
ほろび	滅	129	08	た所の学術の為めには基督教が遂に全く	滅び　てしまふであらう．故にこの輩は学問をけしか
	滅	129	14	うか，斯の如き論によつて基督教が遂に	滅び　てしまふのでは有るまいか」と云ふ．箇様な臆
	滅	130	11	は設理，或は一人か二人の量見によつて	滅び　てしまふと云ふことは決して御坐りませぬ．先
ほろびる	亡	040	11	．若し其のウラにゆけば其の社会は必ず	亡びる　に違ひ無い．今の開けた社会でもモトは箇様
ほろぼさ	滅	132	05	．昔より今に至るまで此の聖書の効力を	滅ぼさ　うと思ふ所の敵が多う御坐りましたけれども
ほろぼし	亡	161	05	ものは大変な悪いもので其の為めに身を	亡ぼし　家を亡ぼし国を亡ぼすものが有る．殷の紂王
	亡	161	05	な悪いもので其の為めに身を亡ぼし家を	亡ぼし　国を亡ぼすものが有る．殷の紂王などは酒の
	亡	161	16	飲んだに違ひ無からうが酒池肉林で国を	亡ぼし　た元祖は殷の紂王だらうと思はれる．武王は
	亡	163	16	を好み相撲の北条は酒を好み皆其の国を	亡ぼし　た．福島正則などといふ人は勇気はすさまじ
	亡	060	12	の美服を飾り放蕩を極め身を過まり家を	亡ぼし　遂には獄内に籠城するか又はモルヒネ往生等
	亡	162	01	はふかく其れに感じたものと見えて殷を	亡ぼし　て後，弟の康叔を衛に封じたときに酒誥とい
ほろぼし	滅	130	07	が基督教の敵になり或は基督教が学術を	滅ぼし　或はまた学術が基督教を滅ぼすものなりなど
ほろぼす	亡	033	11	千年来行はれてありますが酒を以て国を	亡ぼす　といふ方には世間で賛成者が少くして酒は百
	亡	161	05	で其の為めに身を亡ぼし家を亡ぼし国を	亡ぼす　ものが有る．殷の紂王などは酒の池，肉の林
	亡	033	09	たことと見えて或は「後世酒を以て国を	亡ぼす　者あらむ」と言はれ又「酒は百薬の長」とも
ほろぼす	滅	132	13	らにして倒れてしまふもので有ります．	滅ぼす　こと，また破ることと駁つことは露西亜の虚
	滅	130	08	が学術を滅ぼし或はまた学術が基督教を	滅ぼす　ものなりなどのことは誠に拙き論で御坐りま
ほん	品	217	14	ふ所から出ましたかと云ふに仏経に提婆	品　だの普門品だのと云ふ品目を立てたのに拠つたも
	品	217	14	ましたかと云ふに仏経に提婆品だの普門	品　だのと云ふ品目を立てたのに拠つたもので有りま
ほん	本	054	09	なのは算術，算術も仮名ばかりで書いた	本　が入り用で御坐ります．内田先生の奥方がお拵へ
	本	054	10	ウか幾何から三角術までも仮名で書いた	本　がほしい．其の外，天文，地理，本草，地質もつ

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ほん）	本	054	12	の学問，法律の学問，測量の学問などの	本	が出来なくつては困ります．手紙の書き方の本は
	本	055	08	字の本をやめて仮名の本を読ませたくも	本	が無いから涙を流して漢字をやらして居ります．
	本	220	14	福長者の話しなど種々様々の画入の慰み	本	が出来ました．かの桃太郎，カチカチ山，舌切雀
	本	250	09	を以て終わりまする．只今，申したのは	本	街道で有りまするけれども，また時としては此の
	本	250	09	りまするけれども，また時としては此の	本	街道を外れて他の悪い道に飛び込むことが有りま
	本	042	09	の為めにしなくてはならぬと云ふことが	本	趣意で，己を利するの心を抱いてはならぬ，己を
	本	042	12	するの事を行ふてはならぬと云ふことが	本	趣意になりて居る．丁度道と云ふものは親類同士
	本	045	01	．啻に道徳が行はれぬのみならず法律の	本	趣意も行はれて居らぬぢゃ．僕の考へでは今日行
	本	046	09	るのぢゃ．其れぢゃから法律と道徳との	本	主義を云へば先刻言ふた様な訳なれども併し全く
	本	165	17	あり，考へがあるから物もある，考へは	本	だ物は末だといふ学派もあり，精神があるから身
	本	054	16	用ひなければならない．我が国は支那の	本	で修身を学んだが修身は支那よりは日本がよい．
	本	152	10	で行政法は手足であります．また民法は	本	で訴訟法は附属物であると同じく憲法が本で行政
	本	152	10	で訴訟法は附属物であると同じく憲法が	本	で行政法は附属物であります．併し珊瑚珠を見て
	本	234	02	で有る専門学校とも云ふ学校が翻訳した	本	で教へると云ふやうでは迚も十分なことは出来な
	本	134	10	ものでは御坐りませぬか．原因と結果，	本	と末といふものが有りますが結果が宜しければ其
	本	235	17	容易で無かつた．先生と云ふものも無く	本	と云ふものも無い．初めはオランダ通事に習つた
	本	138	09	とは出来ません．ウ／ヲタースコットの	本	などを読みまするとの面白い話しに連れ後はド
	本	143	13	積りで有ります．たとへば米八丹治郎の	本	ならば之を見て男なら丹治郎になつて見たい女な
	本	006	10	ことで現に漢学先生に講釈をして貰ふと	本	についてやるので本につかないでは出来ない．孟
	本	006	10	に講釈をして貰ふと本についてやるので	本	につかないでは出来ない．孟子の主義はドウか會
	本	218	06	，源氏物語などはイサヽカ有つたことを	本	にして作り広めたのも有り，またマルマル無いこ
	本	054	12	来なくつては困ります．手紙の書き方の	本	は物集先生の御著述を待つて居ります．さて又今
	本	134	12	で有りまする．末が貴いものならば其の	本	は勿論貴いもので御坐ります．先づ基督教は善の
	本	236	03	分らない．字を引く字引も無いし，読む	本	も無いと云ふ始末でヨホド骨が折れて今ならば一
	本	236	08	かし御一新頃までは先生も十分には無く	本	も十分には無いことゆゑ如何ほど志が厚くつても
	本	237	11	難事が全く消滅しました．先生もあり，	本	もあり，西洋語でやらうと，日本語でやらうと何
	本	138	17	浅を云ひましたら小説の方が固くるしい	本	よりは斯様なことは善い斯様なことはして悪いと
	本	006	12	かと聞くとなかなか出来ない，いつでも	本	を持つて一枚一枚に一字づゝ講釈をする，本を見
	本	006	12	持つて一枚一枚に一字づゝ講釈をする，	本	を見なくては講釈をすることが出来ない．今日は
	本	053	04	ば分らない．「しゅっぱん」と言つても	本	を版にすることだか船の出るのだか分らない．其
	本	054	05	様に書物を皆な焼いてしまつても英仏の	本	を知らないでも何でも知れる様に知れるものを作
	本	054	17	よい．其れ故矢張り仮名で書いた修身の	本	を願ひたいと思ひます．さて書物はヤミクモに作
	本	055	08	教へます．其れはナゼだと申せば漢字の	本	をやめて仮名の本を読ませたくも本が無いから涙
	本	055	08	ナゼだと申せば漢字の本をやめて仮名の	本	を読ませたくも本が無いから涙を流して漢字をや
	本	131	07	対論を駁つ為めに西洋の学者が著はした	本	を研究して而して西洋の学者の論を以て西洋の学
	本	137	16	西洋のスペンサーやミル，ベンサム等の	本	を読みましたときには上下を着た人に小言を頂戴
	本	138	07	医者だと思ひましたが其の意に随ひ其の	本	を読んで居りますと果して，ぢきに眠つてしまひ
	本	144	12	し悦ばしいことには此の節は追々西洋の	本	を読んだ然るべき人たちがソロソロ西洋の小説を
	本	167	12	一切経をひつくりかへして見ても漢土の	本	を万巻読んで見ても分りますまい．ヤッパリ新し
	本	233	16	れを起すには今より西洋の名家の書いた	本	を翻訳して其れを教科書にする支度をしなければ
	本	054	07	ことが肝腎だと思ひます．先づ小学校の	本	，また学問のある人の研究の為めの本，それから
	本	054	07	の本，また学問のある人の研究の為めの	本	，それから第三種は慰みの為めの本，それを類を
	本	054	07	めの本，それから第三種は慰みの為めの	本	，それを類を分けて見ますと御国より始めてモロ
ぼん	本	140	16	と言ふものが進まず彼れは戯作者だ人情	本	書きだなどと世間で卑しめられて居たから此の故
	本	143	11	のは卑しむべきもので有る，小説は人情	本	で有る，其の中でもよいと云ふ米八丹治郎の梅暦
	本	221	05	し専ら遊里の事態などを書いた八文字屋	本	と云ふものが流行し其れから明和，天明の時分に
	本	221	06	から明和，天明の時分には一変して洒落	本	となり恋川春町，芝全交などの赤本作者の手に落
	本	142	14	らへ悉く其の中へはめこんだもので人情	本	などでも其の仕組は大体きまつて居ります．春水
	本	221	13	を作りました．其の趣向は重もに浄瑠璃	本	に出たもので有るから其の作である稲妻双紙だの
	本	144	04	ますまい．これと同じことで所謂る人情	本	の猥褻なる如きものは抑も末なるものとして美術
	本	221	16	一家の人情本を作りましたは何れも洒落	本	の口調から変化したものと思はれます．さて京伝
	本	221	15	春水なども日用の言葉を以て一家の人情	本	を作りましたは何れも洒落本の口調から変化した
	本	221	12	見えます．其の時分，京伝は元来，洒落	本	，草双紙の作者で有りましたが後には画入読本と
ぼん	盆	060	05	に乗り散らし，日曜日と云つては休み，	盆	だと云つては休み，実にハヤ勝手至極な結構な世
	盆	030	09	が有りますアマノガハといふものは此の	盆	の形をして居るとしまして，そこの中に我々の太
ぼん	本	241	17	邸の全体を見ずに，ただ溝の端の竹が一	本	曲つて居るとか折れて居るとか云ふやうなことば
ほんい	本	175	14	．このことは吉事で無いから言ふことは	本意	では無けれど移住のことに就ては述べて置かな
	本	141	07	不品行とに因り且卓見が無いのと小説の	本意	と言ふものを知らずして之を進歩せしめざりし
	本	143	01	が主意では御坐りません．然らば小説の	本意	と云ふものは何だと云ふと人間の人情を写し出
ほんかい	本	137	10	る其の言ひ慣れたる自分の勝手なことを	本会	にて申すも如何と存じ何か教育上に関係したこ
ほんかん	本	068	16	ので御座います）而して裁判官検察官の	本官	となり一定の俸給を得まするまでには平均三箇
ほんこう	本	073	04	て細川潤次郎君演説私はこのたび始めて	本校	の卒業式に出ましたが段々過刻より卒業証書の
ほんごう	本	079	02	十一日本郷青年奨励会東京本郷区春木町	本郷	一致教会会堂に於てG，F，Verbeck君

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ほんごう）	本	079	02	治十九年九月十一日本郷青年奨励会東京	本郷	区春木町本郷一致教会会堂に於てG，F，Ve
	本	079	02	の為めに必要なり明治十九年九月十一日	本郷	青年奨励会東京本郷区春木町本郷一致教会会堂
	本	037	02	徳なし明治十九年四月二十日哲学会東京	本郷	帝国大学に於て加藤弘之君演説「社会外に道徳
	本	015	13	測つては間に合はない．例へばこれから	本郷	までは九万七千五百寸あるなどと言つては，ど
	本	023	09	三丁と十四間ほど離すと見れば海王星は	本郷	よりも王子よりもズット遠くの処に置かなけれ
ほんごく	本	176	04	日本帝国を広く大きくするので，あれば	本国	なる日本帝国も広く大きくなるに，つれて其れ
	本	177	08	いなどといふ種々様々なる事実を知つて	本国	なる我が日本帝国を広く大きくする手段を運ら
ぼんさい	凡	142	04	までをも立派にやらなければならぬから	凡才	では中々いけません．凡そ仕組と申すものは家
ほんじ	本	272	05	りまする．尤も集治監には二種類，即ち	本地	の集治監と島地の集治監とありまする．本地の
	本	272	05	の集治監と島地の集治監とありまする．	本地	の集治監は徒刑，流刑，禁獄，及び旧法の懲役
ほんしつ	本	081	02	て人間の進歩と云ふものは其の本心本性	本質	の進歩で無ければなりませぬ．人が自分の勝手
ほんしゅう	本	136	03	誠に面白いもので有ります．此の帝国の	本州	と諸々の島は皆な眼の前に，この庭に敷て御座
ほんしょう	本	081	02	．総て人間の進歩と云ふものは其の本心	本性	本質の進歩で無ければなりませぬ．人が自分の
	本	104	01	前段にも申したるが如く日本人は浮薄の	本性	を備へ居りまするが大改革を行ふには最も適当
ほんしん	本	081	02	第三．総て人間の進歩と云ふものは其の	本心	本性本質の進歩で無ければなりませぬ．人が自
ぽんす	ポ	205	17	と云ふのはマルセイユの天象台の門番の		Ｐｏｎｓ　と云ふ人が肉眼で見出して名高くなつてペ
ほんそう	奔	063	16	て炎暑厳寒を厭はず疾駆し風雨を論ぜず	奔走	し昼は炎天にさらし夜は湿気に触れ漸く提灯を
ほんぞう	本	168	03	て来ましたから何事も競ひ出し医者でも	本草	でも鉄砲でも競ひ出して段々と古いものが新し
	本	054	11	いた本がほしい．其の外，天文，地理，	本草	，地質もつと欲深く鉱物の学問，機械の学問，
ほんたい	本	160	05	ち付けるのが学問の極点で，教法は心の	本体	なるものは如何なるものか上るものか下るもの
ほんだい	本	057	16	るゝことを賀する訳で御坐います．次で	本題	を陳べやうと思ひますが其の演説の前にモウ一
ぽんてくーらん	ポ	206	01	Ｃｌａｉｒａｎｔほどにはいきませんが		Ｐｏｎｔｅｃｏｕｌａｎｔ　やＤａｍｏｉｓｅａｕの
	ポ	203	03	はよく知れて，どの位な作用が起るかと		Ｐｏｎｔéｃｏｕｌａｎｔ　，Ｄａｍｏｉｓｅａｕと
ほんとう	本	210	10	地球に突き当ると言つた，今度のこそは	本当	だ」などと騒ぎ立てたことなどが有ります．其
	本	082	10	し道徳のことが乱れて不道徳盛んならば	本当	な進歩がキット出来ませぬ．万国史を調ぶれば
	本	082	17	が其の人民が真の神を知らず偶像を拝し	本当	な道徳を知らず一体道に疎いものであつたに由
	本	008	09	の如きも気違ひにならぬのは此の違ひが	本当	に分らぬからのこと，若し其れが分つたならば
	本	011	16	なる．物質とはドンナものと言ふことは	本当	に知つて居る人は恐らく有りますまい．実に其
	本	027	16	いから見えないのかといふと其の問題は	本当	には解けない．いくらかの大きさに見ゆる星は
	本	029	02	に二つ以上組み合つてある星で無ければ	本当	に回つて居るか居らぬか分らない様ですが肉眼
	本	043	06	なりて居る様ぢゃ．其れぢゃからドウも	本当	に分れたとは申せぬことぢゃ．道徳は教法者が
	本	044	11	をすてて他人の為めにすると云ふ主義が	本当	には行はれぬことぢゃ．前に云ふ君臣父子夫婦
	本	044	15	して己の利益を顧みる勿れと云ふ主義も	本当	に行はれるもので無い．其れのみならず法律の
	本	114	17	なことは犬猫には分らない．して見ると	本当	に命の惜いといふことを知つて居るものは人類
	本	234	11	日本語で専門学が出来るで無ければ国の	本当	に開けるやうにならぬのは当り前で有ります．
	本	039	11	有ると其の為めに負ける恐れが有るゆゑ	本当	の役に立つ者だけで無ければ他の社会と戦争を
	本	083	08	智慧も随分明らかに御坐りますけれども	本当	の道徳を知らず道徳の進歩いたさずして居るに
	本	089	01	しなければなりませぬ．併しながら人の	本当	の有様，人々の不完全なることを教ゆるには基
	本	091	13	功績に由らざれば人が此の罪悪を免れて	本当	の自由を得て進歩することが出来ませぬ．なぜ
	本	128	10	論が多う御坐りまする．箇様な論は遂に	本当	のものになるか或は誤つたものであるか未だ一
	本	131	11	方はドコまでも基督教と学術との関係の	本当	の道理は分ることが出来ませぬ．其の両方の論
	本	141	17	の出来ぬものも有ります．斯る先生では	本当	の小説の仕組は出来ません．凡て物事と言ふも
	本	212	03	星は古材木の様なもので有りますから，	本当	の彗星の中へ這入れるのは推して知れませう．
	本	220	09	対面して赤木の短刀を与へたことなどが	本当	のことのやうに思ふ人が多い．さて足利の時代
	本	042	13	のぢゃ．併しこれは極度を申したことで	本当	は今日でもさうはなりて居らぬ．希臘羅馬で道
	本	221	08	前々太平記などと云ふウソバナシをサモ	本当	らしく作り，後には真田三代記とか難波戦記と
ほんにん	本	133	11	」と思つたが遂に本人に伺ひましたれば	本人	が「イヽエ，さうでは御坐りませぬ，未だ基督
	本	133	11	聞いた者に相違は無い」と思つたが遂に	本人	に伺ひましたれば本人が「イヽエ，さうでは御
ほんねん	本	239	04	二十年十月十五日宇川盛三郎君講演私は	本年	六月，福島県，宮城県，岩手県，青森県，秋田
ほんの	ホ	214	01	れから演劇と云ふものは維新前よりして	ホンノ	女子供の見るもので士分の者などは表向き見
ほんのう	本	163	12	り，これからして自から疑ひ出して遂に	本能	寺の事になつたが大閤様でも権現様でも信長の
ぼんぶ	凡	075	03	無ければならず巡査も無ければならず又	凡夫	であれば僧侶に頼んで罪を攘ひ除けるとかいふ
ぽんぽん	ポ	163	11	，これはよい頭だ丁度鼓によいと言つて	ポンポン	と叩いた．光秀は且つ慙ぢ且つ怒り，これ
	ポ	008	06	もあり，花火を打ち揚げてヒュウヒュウ	ポンポン	．また夜になつて鹿鳴館に往て見ると賑で
ほんむ	本	096	05	英国の如く怠務殺人となすにもせよ其の	本務	を怠りたること及び其の怠務に因りて人を殺し
ほんもの	真	081	13	部の進歩は根なくしてアサハカなもので	真物	で無く偽物で御坐ります．また鞏固ならぬもの
ほんや	本	146	05	多くかゝらないことだから十軒ばかりの	本屋	が集まつて出したら訳が無からうと思ひます．
	本	140	11	家し米屋炭屋がカケトリに来れば，まだ	本屋	から草稿料を呉れないから待つて呉れろと手を
ほんやく	翻	145	06	を出版しまた手本になるべき西洋小説を	翻訳	させ検定の上で之を出版せしめ続々売り出すが
	翻	233	16	起すには今より西洋の名家の書いた本を	翻訳	して其れを教科書にする支度をしなければなら
	翻	234	02	シイことで有る専門学校とも云ふ学校が	翻訳	した本で教へると云ふやうでは迚も十分なこと
	翻	052	09	の読める人は宜う御坐いませうが今まで	翻訳	書をあてにした人はこの時に差しつかへてしま
	翻	234	04	分なことは出来ない．まして専門学校で	翻訳	書をもつて教へるやうな先生が有つたからとて

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ほんやく）	翻	215	02	殊に近日西洋学者は競つて西洋の小説を	翻訳　するとか又は自分で著述するやうになり，俳優
ぼんやり	ボ	013	12	ルリと取りまはして居て其の中に地球は	ボンヤリ　して居るもので実に心細いもので有ります
	ボ	014	07	を見ると中々妙なもので肉眼で見ては唯	ボンヤリ　して何だか分らず俗に兎が餅を搗くのだと
ぼんよう	凡	139	10	ましたる人なるが其の智能の多いことは	凡庸　では無い．ナポレオンと方向は違へど智能の一
	凡	142	06	説を著すに致せ最も大切なるもので中々	凡庸　の才智では旨く出来ないもので御坐ります．小
ほんろん	本	080	04	先づ其の重もなるものを述べ而して後に	本論　に取りかゝりませう．第一．凡そ社会の進歩は
	本	278	08	とは出来ませぬ．前にも申しました通り	本論　は専ら監獄全体に係る事柄を述べたので有りま
ま	間	015	13	と長いものになりますと，寸で測つては	間　に合はない．例へばこれから本郷までは九万七千
	間	015	14	離だか少しも分らない．だから寸や尺で	間　に合はない処は間で測り，間で間に合はなけりゃ
	間	015	15	や尺で間に合はない処は間で測り，間で	間　に合はなけりゃ町，町が小さすぎれば里と段々に
	間	015	16	球から月までの距離を唱へるには里でも	間　に合ひかねるから物さしをズット大きくして地球
	間	025	16	ります．三千二百里も有る物さしが最早	間　に合はなくなつて来ますからモウ少し大きい物さ
	間	145	01	うと思ひます．其れも急激に致したとて	間　に合ふ訳でも無いから徐々と計らなければなりま
ま	真	053	01	して，すて仮名を附け其れが段々一種の	真　片仮名文になつたものと思はれます．もと漢学の
まー	マ	213	08	などと云ふ面白い話しでは有りませぬ．	マー　先生方のシッカリとした演説の間の狂言のやう
まあ	マ	155	09	は極上無類飛切といふのだから，ざつと	マア　学問の献立をならべなければ学者らしく見えな
まーだー	マ	108	02	或ひは終身徒刑のもあります．第四種は	マーダー　即ち謀殺でありますが，これは日本の刑法
	マ	108	04	為すの結果，人を殺すに至つたものも亦	マーダー　と為す如きものであります．そこで自分は
	マ	108	06	要のことと考へます．然るに其の所為は	マーダー　に当るか又メンスローターに当るかといふ
	マ	108	07	実況は我々が想像に止まることで果して	マーダー　になるか，メンスローターになるか事実を
	マ	110	03	ことが出来ますまい．また一層考へると	マーダー　になるかも知れない事実がある．現今取り
	マ	110	12	ふ所をして事実に違はざらしめば彼等は	マーダー　の犯罪たることは免るゝを得ますまい．以
まーちゃんと	マ	106	03	国政府に於て制定されたる商船条例即ち	マーチャント　，シッピング，アクトと千八百五十五
	マ	106	04	と千八百五十五年に其れを改正になつた	マーチャント　，シッピング，アクト，アメンドメン
まい	ま	009	03	つて千年の後には仮名が便利になりはせ	まい　かと思はれる．漢字を廃さうとならば先づかう
	ま	013	14	す序に我々には天の中で別にツレは有る	まい　か同士は有るまいかと云ふことに自然と眼が着
	ま	013	14	の中で別にツレは有るまいか同士は有る	まい　かと云ふことに自然と眼が着きます．併し若し
	ま	014	10	有るからは月が地球と似たものでは有る	まい　か，第一番に地球の様に円い，其れに谷だの山
	ま	025	03	世界の中に孤立して居て外に党類は有る	まい　かと云ふに天の中には日と月と惑星と其外に星
	ま	025	08	で有ると同様に星が太陽の党類では有る	まい　かと考へます．併し素人は其れにしては星は余
	ま	031	09	いのを用ひたら粒々と見ゆるもので有る	まい　かと云ふ疑ひが起りますが此の頃，分光器と言
	ま	035	09	するとは何と無欲なものでは御坐ります	まい　か．さて其のことに付て近頃ヒロソヒーが亨二
	ま	115	08	ば他の動物に対しても言訳が無いで有る	まい　か．今，言つたのは身体に付て言つたことだが
	ま	121	08	様では実にあさましきことでは有ります	まい　か．何でも論ばかりではいけませぬから，よく
	ま	123	09	たことを諸君がお調べ下さる訳にはいく	まい　かと云ふ御相談を致すので有ります．然るべく
	ま	129	14	て基督教が遂に滅びてしまふのでは有る	まい　か」と云ふ．箇様な臆病な人の思ふには学術は
	ま	174	12	肉を附けて見て篤と考へたらば活きます	まい　か感じますまいか．迚も一人前三十円では足り
	ま	174	12	篤と考へたらば活きますまいか感じます	まい　か．迚も一人前三十円では足りますまいが其れ
	ま	185	07	が二十或は三十位ある比例では有ります	まい　か．よしや百に十の比例としても実に驚くべく
	ま	195	13	「ドウも凄い彗星だ，大風でも吹きはす	まい　か，又は地震が有りはすまいか，戦争でも起り
	ま	195	13	も吹きはすまいか，又は地震が有りはす	まい　か，戦争でも起りはすまいか」と言つたかも知
	ま	195	14	震が有りはすまいか，戦争でも起りはす	まい　か」と言つたかも知れません．尤も，この三年
	ま	197	17	は若しや惑星と同じ種類のものでは有る	まい　かと云ふ考へを起しました．Ｎｅｗｔｏｎの調
	ま	260	13	かり偏すると云ふやうなことが有りはす	まい　かは宜しく注意すべきもので有りまする．第六
	ま	273	09	も未だ立派なものと申す訳には参ります	まい　かのやうに思はれます．此の外，東京，兵庫，
	ま	015	01	あてたり間縄を打つたりする訳にはいく	まい　が」と疑ふ人が有ります．併し測量術を少し心
	ま	144	07	品行端正なりと云ふには違ひが有ります	まい　が其れにしてはタント好い小説を見受けませぬ
	ま	147	07	がお分りになつて居るには違ひあります	まい　が今日は先づスタチスチックと行政法との関係
	ま	174	12	まいか．迚も一人前三十円では足ります	まい　が其れでも其の通りになりますが経済学者は之
	ま	185	11	は種々原因の有ることに相違御坐ります	まい　が儒者七去の教も其の一大原因であると申さね
	ま	085	06	には種々の新しい事柄を演べ出すに及ぶ	まい　と存じます．なぜなれば此の演説の最初から既
	ま	086	08	の輿論に問ふならば明らかな返答は出来	まい　と存じます．また世の普通の学問は誠に大切な
	ま	089	05	研究するならば分らぬことが御坐ります	まい　と存じます．第二．また種々の進歩をせむとす
	ま	099	07	ければならぬ無形の原因が無ければなる	まい　と考へまする．私のおもへらく，此の度の事件
	ま	117	15	禁じたらば却つて身体の為めによく有る	まい　と思ひます．昔から禁酒をしたり，また廃酒と
	ま	122	02	殖えることはドコでも少いことでは有る	まい　と思はれます．其の外に売淫女などが殖えます
	ま	124	06	故に，これ等の為めにも全く無益で有る	まい　と希望いたします．併しまた若し図らず今度の
	ま	141	15	もので御坐ります．彼奴は学者にはなれ	まい　と思ふ鈍才の者が思ひの外，学者になつたもの
	ま	157	08	からだ，地の回ることは決して言ひます	まい　と言つてきゝませんからネ）「向後キット申さ
	ま	198	02	か楕円の形ちに運動してあるに違ひ有る	まい　と云ふことを算盤で，はぢき出したと言ひたい
	ま	241	01	まれ其の配偶者となると云ふことが出来	まい　とも申されませぬから善く言ふも悪く言ふもナ
	ま	158	05	ではきまつて居ますが，アスが日に狂ふ	まい　ものでも無いが狂ふと極点が違つて来る．其の
	ま	018	06	になるお方は忘れてお出でにはなります	まい　，即ちＳｔｅｐｈｅｎｓｏｎが「蒸気車の走る

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（まい）	ま	170	09	うが人民の自発の方には限りはあります	まい	，して見れば，これは我が国の大勢に関係する
	ま	012	01	は本当に知つて居る人は恐らく有ります	まい	．実に其れまでも知りたい訳ですが中々今の有
	ま	028	02	と思へば平均の上では大違ひは有ります	まい	．そこで色々な星の明りの分量を比較して段々
	ま	035	17	ふに酒を飲んではそんなことは出来ます	まい	．そこでヒロソヒーでは「大いなる社会は大い
	ま	063	03	にハヤ濫用の極と云はなければなります	まい	．所で私が斯く濫用と申す証拠には日本の人力
	ま	064	01	に非ず犬馬の業と云はなければなります	まい	．さて営業既に斯の如くなるが故に胃病を起し
	ま	095	13	も已むを得ず無罪にせぬければなります	まい	．而して今新聞紙上，我輩に知らする所は充分
	ま	096	03	れば謀殺又は故殺に問ふことは出来ます	まい	．なぜなれば船長ドレーキが日本人を殺さうと
	ま	097	02	を尋ねるのは敢て難いことではあります	まい	．海底を探ね，また他に名案を施したらば罪跡
	ま	097	03	たらば罪跡が現はれないことはあります	まい	．我輩は此の事に付て疑つて居つたが此の頃或
	ま	098	10	涕長大息いたさぬものは殆んどあります	まい	．然るに今や我々同胞二十五名の人はウタカタ
	ま	099	02	其れで我々が満足するといふことは出来	まい	．我々は何故斯くの如き事件が起つたか何故斯
	ま	104	04	は，さまでむつかしきことではあります	まい	．設令全国を挙げて英語を談ぜしむるは，むつ
	ま	105	17	領事は決して法廷を開く訳は御坐ります	まい	．然るに諸君も知らるゝ如く英国領事は兵庫県
	ま	108	15	．船長等の指図に従ふより外はあります	まい	．然れば誰も彼も端艇に乗うといふ考へはあつ
	ま	109	11	てあるか知らぬといふことは御坐ります	まい	．既に三人の同胞は端艇を下すことに尽力して
	ま	110	01	メンスローターは逃るゝことが出来ます	まい	．また一層考へるとマーダーになるかも知れな
	ま	110	12	ーダーの犯罪たることは免るゝを得ます	まい	．以上述るが如くでありますから我輩は英国領
	ま	115	14	るやうでは人類といふものの甲斐はある	まい	．さて品行を惜むといふ欲は人類ばかりに有る
	ま	123	02	ら，さまでむつかしいことでも有ります	まい	．先刻も人が参つて話しましたが其の人は木曽
	ま	127	01	卒業生が容易に之に勝つことは出来ます	まい	．この者が用ふる所の仕方は随分ケンノンな仕
	ま	127	06	迚も，たやすく之に勝つことは出来ます	まい	．勿論これ等の専門家が其の専門と致した所の
	ま	139	11	ンと方向は違へど智能の一点は劣ります	まい	．彼のスペンサー先生などは日本では貴まれて
	ま	144	03	のは全く卑しむべきものとは言はれます	まい	．これと同じことで所謂る人情本の猥褻なる如
	ま	145	11	が有る．併しこれも出来ないことは有る	まい	．彼の演劇改良会では金は集まつたが演劇の作
	ま	149	02	ばかりのを調べて居つたら役に立ちます	まい	．規則を立るとか法律を立るとかいふことが知
	ま	159	15	時にこしらへたと，いふことは出来ます	まい	．アチラでも，さういふ論が有りますとサ．東
	ま	160	01	があるにもせよ，カラダが行くではある	まい	．カラダは土になるか灰になる外はなく余所へ
	ま	166	06	引力が出来て居るといふとサー分ります	まい	．時といふことも半分は分つて居る様なものの
	ま	166	08	．人間はドコまで開けるものか分ります	まい	．其れだから事実によりて色々に考へ種々様々
	ま	166	15	上げるのだから誰も駁つことは出来ます	まい	．世間に「百聞一見に如かず」とかいふことが
	ま	166	17	出来たものか，たゞ一見しては分ります	まい	．併し之をこはしてケミストリーで見ると，よ
	ま	167	08	居つては迚もあれだけのことは分ります	まい	．西洋に往つて理合をつめて来たからこそ分つ
	ま	167	10	の位，人世に大功徳を及ぼすか知れます	まい	．実に面白いことではありませぬか．前に申し
	ま	167	11	問題は古い学問では解くことは出来ます	まい	．新しい人間の問題を解くにはイクラ一切経を
	ま	167	13	も漢土の本を万巻読んで見ても分ります	まい	．ヤッパリ新しい問題は新しい学問の力によら
	ま	168	06	は日本もモウ其れきりに望みはあります	まい	．その新しい物の我が日本に入り来つたのは三
	ま	169	13	羅巴に行く者よりは多いに違ひあります	まい	．我が国人の欧羅巴に行くのと亜米利加に行く
	ま	170	06	亜米利加へ行く者の方はさうであります	まい	．欧羅巴へ行く者の方は富貴の財で行き亜米利
	ま	170	12	を好んで行きませうか．さうであります	まい	．朝鮮や満州や支那には移住を為すものが多く
	ま	170	13	支那には移住を為すものが多くあります	まい	．日本人は新しいことを好みますからアンナい
	ま	170	14	アンナいやらしい国に行く気はあります	まい	．支那や朝鮮はたゞ商売の地で利を争ふばかり
	ま	172	14	米利加の人ばかり咎めることは出来ます	まい	．コッチに，そんなことが無ければ責められる
	ま	176	05	其れに相応して手段が無ければなります	まい	．手段は術で学科では無い．学科といふは其の
	ま	180	01	リスト教の力に籍らぬものは御坐ります	まい	．彼のジョン，ハワルドをして欧羅巴諸国の監
	ま	184	11	我が邦のやうに離縁の多い所は有ります	まい	．其れは兎に角に今日我が邦に於て離縁の造作
	ま	198	17	が其のことは長くなりますから申します	まい	．さて，楕円と抛物線とはドンナ関係の有るも
	ま	224	13	を移されると云ふばかりでは御坐います	まい	．右のやうな次第で，これまで小説と演劇とは
	ま	225	04	重ねなければ迚も改良の効は顕はれます	まい	．さて，改良のことに付ての可否討論などは世
	ま	232	10	と云ふのでは学問上，決して御坐います	まい	．諮問もせずに，きめると云ふことは間違つて
	ま	241	16	シのことを聞かれても何も役に立ちます	まい	．例へば或る人の邸を見に行つて其の邸の全体
	ま	242	02	何をも知らない方が無いとは云はれます	まい	．曾て旅行中，新潟監獄に於て副典獄，福島武
	ま	255	11	つたと云つて賤しめるものでは有ります	まい	．若し，かういふことを以て尊卑を定めると昔
	ま	255	12	大名になつた先祖が無いとは言はれます	まい	．或ひは自分の妻を将軍へ妾同様に売り付けて
	ま	255	14	たと云ふやうなことも無いではあります	まい	．これ等の為めに今日の華族は皆な賤しむべき
	ま	255	16	けると云ふやうなことは決して有ります	まい	．よつて獄吏は此の趣意を最もよく心に銘して
	ま	268	05	監獄に関係しましたことは申し述べます	まい	．また監獄の目的及び方法などに至つては軍事
	ま	270	13	ても，さうあるべきものに相違あります	まい	．然れば犯罪人を減少するは教育の普及を図る
まい	蒔	253	10	と云ふ実験が有ります．其の故は種子を	蒔い	て之を世話をして其の実を収むると云ふまでに
まい	舞	222	11	上古には久米舞，吉志舞など云ふ固有の	舞	が有りました．三韓来朝の後，三韓とモロコシか
	舞	222	15	と云ふものが有り，婦女の間に白拍子の	舞	が有りましたが，また田楽と猿楽と云ふものが起
	舞	222	10	れから演劇のことを述べませう．演劇は	舞	と，能の狂言とが転変してアー云ふ風になりまし
	舞	222	14	へて居ります．中古以来，僧家に延年の	舞	と云ふものが有り，婦女の間に白拍子の舞が有り

代表形	判	ページ	行			
（まい）	舞	222	11	う．先づ我が国の上古には久米舞，吉志	舞	など云ふ固有の舞が有りました．三韓来朝の後，
	舞	222	17	が北条時代には田楽が盛に行はれて其の	舞	の中に故事などを交ぜてすることとなりました．
	舞	222	15	と猿楽と云ふものが起りました．これは	舞	ばかりで無く高い所で芸をしたり又は刀を使つた
	舞	223	02	阿弥の父子が奮発して其れまでの猿楽の	舞	を修正して多くの新曲を作り滑稽にかゝつた方は
	舞	222	11	述べませう．先づ我が国の上古には久米	舞	，吉志舞など云ふ固有の舞が有りました．三韓来
まい	枚	006	12	かなか出来ない，いつでも本を持つて一	枚	一枚に一字づゝ講釈をする，本を見なくては講釈
	枚	006	12	か出来ない，いつでも本を持つて一枚一	枚	に一字づゝ講釈をする，本を見なくては講釈をす
まいつ	参	011	09	は出来ないかも知れない．小学校へでも	参つ	たことの有るものなら「日本は亜細亜の中だ」
	参	123	02	しいことでも有りますまい．先刻も人が	参つ	て話しましたが其の人は木曽の三尾と云ふとこ
	参	233	06	一番初めの卒業の年で有りましたか私が	参つ	て祝辞を述べましたが其の後ち段々盛んになつ
	参	240	10	貰ひたい」と云ふので私が其の娘を見に	参つ	て性質が温良か然らざるかを巡閲して帰れば其
まいど	毎	016	14	れは出さなくてもよい問題で有ります．	毎度	この席で化学の講談が有りますから諸君は定め
まいとし	毎	023	02	ひでは無い，化学の元素よりは甚だしく	毎年	いくつも発見されますから今日申した数が明日
	毎	174	04	は三千八百十五万一千二百十七人で大約	毎年	三十六万人づゝ殖えるとしますと百六年たらず
	毎	131	09	を駁つ為めに英国，米国，独逸国などに	毎年	出版になる所の書籍類も実に夥しう御坐ります
	毎	018	12	，地球は月といふ僕とタッタ二人づれで	毎年	太陽のグルリを旅行する訳のものか，これは調
	毎	174	01	べで積ると明治十五年から同十八年まで	毎年	の生れた数から死んだ数を除いたものと就籍等
まいにち	毎	204	15	いたものと見えまして，ローマ法皇は「	毎日	正午には鍾を鳴らせ，彗星とトルコ人を調伏す
	毎	199	08	学までいくには及びません．さて彗星の	毎日	の観測を以て其の軌道を取り出して見ますと皆
まいゆう	毎	196	14	どと思ふ人は一人も無く，太陽は朝出て	毎夕	ひつこむのが当り前だと思つて居るやうです，
まいら	参	142	09	も直せ学問も急に上達せよと云ふ訳にも	参ら	ず，これは徐々と計つて行かなければなりませ
	参	044	10	も矢張り其の説く所の真の主義通りには	参ら	ぬものぢゃ．支那は道徳の国なれども決して己
	参	047	03	け謀ればよい，他の利益を顧みる訳には	参ら	ぬことぢゃ．其れは固より当り前のこととせね
	参	144	15	を読んだ者は筆先が鈍し．兎角双方旨く	参ら	ぬから日本の筆の立つ人と西洋の小説の読める
	参	044	04	の通りになるから全く反対の点まで持て	参ら	ねばならぬことぢゃが其れと同じことぢゃ．仏
まいり	参	040	13	ども全く其の為めに其の社会を維持して	参り	たのぢゃ．これは実に余儀ないことで維持と進
	参	043	04	府のする仕事は法律の方がおもになりて	参り	た．併し天子は民の父母，民は天子の赤子など
	参	119	14	会へ出る前に少しばかり其の事を書いて	参り	ましたが西洋の学者が酒が人間社会に害の有る
	参	120	11	通りに商家が出来て麦酒などが移住して	参り	ました．またイギリスのスタチスチック，ジョ
	参	144	13	洋の小説を訳したり又は著はしたりして	参り	ましたがタカが少数で中々満足いたされません
	参	166	10	って人間世界を調子よく今日まで開いて	参り	ました．昔の学風といふものは事実の穿鑿をし
	参	195	08	有りまして，相手と一所に東の方に出て	参り	ましたが，其の時，相手と「ミゴトな彗星です
	参	261	05	からうと存じまする．前に段々と論じて	参り	ました所をひつくるめて申しまするとと学校と慈
	参	015	15	すぎれば里と段々に物さしを大きくして	参り	ます．さて地球から月までの距離を唱へるには
	参	026	10	く無ければならないと云ふことが分つて	参り	ます．現に此の割り合ひによつて見ますと我々
	参	029	08	きへ行くに従つてチットづゝ分りかねて	参り	ます．併しモウ少し分るものが有る．其れは何
	参	076	04	は御坐んせぬ．其の訳は右の如く申して	参り	ますと経済学はドウいふものかといふに利を興
	参	076	11	各々立身の道を得て積極的の結果を得て	参り	ますゆゑ其の違ひの有るといふことはたゞ二個
	参	138	17	に連れて政治を改良することにも向つて	参り	ます．また其のキゝメの深浅を云ひましたら小
	参	139	04	．之を害用するときは甚だ深い害が出て	参り	ます．其れ故今日の小説中に之は害の有るもの
	参	273	09	るけれども未だ立派なものと申す訳には	参り	ますまいかのやうに思はれます．此の外，東京
	参	275	17	を取り違へまするとと，あとは皆な狂つて	参り	まする．さて此の一つと云ふのは何であるかと
	参	006	16	くなしたいと申した所が，さううまくは	参り	ませぬ．泉川君のお尋ねにドウで有うか仮名の
	参	034	14	になつて種々様々に人に弊害を及ぼして	参り	ませうと思ひます．併し大慾の人はさうで無い
	参	077	04	済は利を興すものであるとかいふ様にも	参り	ませぬ．浅近の例を挙げて見ますと勉強して金
	参	240	13	向ひ其の性質の如何を申し上げる訳には	参り	ませぬ．尤も右の如きことでも中には他人に漏
	参	250	12	．此の不良民は其の儘にして置く訳には	参り	ませぬから再たび之を学校へやつて其の心を改
	参	262	17	るときは如何しても話しをしない訳には	参り	ませぬ．其れで話しをするとロクなことは稽古
	参	275	01	ら左へと云ふやうに総体を変へる訳には	参り	ませぬ．また其の次に重もなる者は幼年囚，及
	参	239	06	に道を取り，其れより秋田を経て山形に	参り	，山形より酒田に出で，酒田より蒸汽船にて新
	参	239	07	酒田に出で，酒田より蒸汽船にて新潟へ	参り	，新潟より長岡，高田を経て信州長野へと道を
まいる	参	041	13	まふて変化は無い，智慧は次第に開けて	参る	ものぢゃが道徳は其れに反して居る」と申した
	参	076	15	ふことは口で言ひ文字で書く様に判然と	参る	もので無い．利で無ければ害，害で無ければ利
まえ	前	202	08	月のナカバには出るだらう，尤も三十日	前	か三十日後位にはなるかも知れないと云つて其の
	前	014	04	月と云ふものは望遠鏡の開けます余ほど	前	からして円いもので時としては虧けたり時として
	前	063	10	所にて日本にては五分はオロカ一時間も	前	からステーションに詰めかけ待つて居る位の緩慢
	前	069	04	より高等司法官吏に任用せらるゝまでは	前	三年，次四年，次三年で都合十年間で有りまする
	前	174	12	きますまいか感じますまいか．迚も一人	前	三十円では足りますまいが其れでも其の通りにな
	前	200	04	しました彗星，また其れより七十五六年	前	即ち千五百三十一年にＡｐｉａｎの観測しました
	前	221	07	作者の手に落ち，其れから元禄の頃より	前	太平記，前々太平記などと云ふウソバナシをサモ
	前	143	16	甚だしき猥褻でもありませんが随分人の	前	で読むことの出来ぬ奴があります．併しこれ等は
	前	195	11	たことと存じます．これが只今から三年	前	で有りますから「立派な彗星だ」と言つて済みま
	前	233	13	ことで有ります．丁度，今から十年余も	前	で有りましたらうが或る人が私に申しまするには

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（まえ）	前	237	03	西洋学を始めたのは今から三十年ばかり	前	で丁度御一新から十年ばかり昔のことで有つたが
	前	229	16	は無いと思ひます．其れから沖縄県内は	前	と別もので，これには那覇と首里と云ふところが
	前	269	01	例を申し上ることに致しませう．順序は	前	と違ひますが中央獄は二十四箇所ありまして其の
	前	001	14	ことなれども少し申します．この四五日	前	に私の所へ今日この席に居らるゝ愛媛県高松の郡
	前	003	15	もへづられて電信機の改正もせずに机の	前	に坐つて字を習ひ，コレラ病の原因を見出すこと
	前	005	11	つたのは当り前．我が国にも二十年ほど	前	にさういふことが有りました．ドウしても今日の
	前	020	16	，直径が地球の半分よりは大きいです．	前	にも言ひました通り此の星も同しく太陽のまはり
	前	024	16	だからで有ります．」さてこれでズット	前	に言ひました「地球は何の中であるか」といふ問
	前	035	02	ます．小欲の人は酒を飲むことを好んで	前	に述べた様なことは致しませぬ．西洋の諺にも「
	前	041	02	り道徳の様になりて来たものと見える．	前	に申したのは風習を比較する近頃の学者の考へで
	前	044	12	云ふ主義が本当には行はれぬことぢゃ．	前	に云ふ君臣父子夫婦でも君と父と夫との権は強く
	前	054	05	ずと思ひます．また後のことを考へると	前	に申した秦の始皇の話しの様に書物を皆な焼いて
	前	057	06	て聊かお話しを致さうと思ひますが其の	前	に諸君に向つて祝し且会頭及び幹事諸君に厚くお
	前	057	16	本題を陳べやうと思ひますが其の演説の	前	にモウ一つ諸君に向つてお断り申すことがありま
	前	064	12	多きを加ふるに至りし所以のものは必竟	前	に申した通り人力車濫用の弊を生ぜしに因るもの
	前	067	08	祝辞を呈し併せて私の感ずる所を諸君の	前	に申し述べようと思ひます．諸君は我が天父の無
	前	089	13	の種々の進歩を励ます為めには人の目の	前	にある貴い目的，高尚なるゆくアテのあるのは大
	前	115	16	第二の高い欲で有る．人類の第一の欲は	前	に言つた通り身命の惜いといふことで第二の欲は
	前	119	13	ざることで有ります．只今此の会へ出る	前	に少しばかり其の事を書いて参りましたが西洋の
	前	120	17	長だ」とか言ふ位なことで有りました．	前	に申した通り西洋の学者は西洋の飲酒の弊害を見
	前	127	13	教師は総て学術の趣意を感心して，また	前	に申した仕方の間違つて居ることをよく承知して
	前	134	08	明かな所はこれで御坐ります．「人々の	前	に爾等の光りを耀かせ，さすれば人々爾等の善き
	前	136	03	．此の帝国の本州と諸々の島は皆な眼の	前	に，この庭に敷て御座ります．こゝには九州が見
	前	156	10	地が回るんだと云ふことを知つて居るが	前	に地が回ると聞いては，みんな驚いたネ．地が回
	前	158	15	，なるものでごすネ．昔は仏教のお寺の	前	には雷門と云つて大層な勢ひで，コンナ塩梅にや
	前	167	11	い．実に面白いことではありませぬか．	前	に申したやうな訳で新しい問題は古い学問では解
	前	168	07	我が日本に入り来つたのは三百年ばかり	前	に葡萄牙，和蘭の渡来に始まつたが其の頃は世界
	前	172	16	あるから先づ五分五分と見てよからう．	前	に申した箇条箇条がタシカで間違ひが無ければ我
	前	176	17	其の調べに何年何月と記し其れを集めて	前	に述べたやうに男女の人数，年齢，職業などの種
	前	183	08	は御坐りません．陰陽内外の別なく神の	前	に在つて真実に一夫一婦の道を守ることで御坐り
	前	184	06	坐ります．一夫一婦の教の大切なことは	前	に述べた通りで御坐りますが，たとひ一人で多く
	前	185	17	坐りますがキリスト教は之に反して神の	前	に於て男女とも全く同等のものであると教へます
	前	186	06	全く同等な者と致します．若し女が神の	前	に於て罪人であるならば男も矢張罪人であるし，
	前	187	02	坐りませう．今より大凡一千八百八十年	前	に処女マリヤが救世主の母となつたことを知つた
	前	193	06	とも無論，天子がなされるといふことは	前	にも申し上げた通りのことです．其れから行政の
	前	195	04	寿君講談諸君．丁度，只今から三年ほど	前	にヨホド立派な彗星が出ました．諸君は定めて御
	前	195	05	御坐りませうが，これは朝，日の出ます	前	に，東に当つて出ましたので，ドコの国からもよ
	前	195	07	を致して居りましたが，朝，日の出ます	前	にあるかなければならない用事が有りまして，相
	前	197	04	アラマシ分りましたが其れをお話しする	前	にチョット惑星のことをお話ししなければなりま
	前	198	10	も有ります．しかしソンナことは，この	前	に言ひましたから，これだけにして置き，さて抛
	前	203	15	ません．このＨａｌｌｅｙの彗星は其の	前	にも度々出たことが有ると云ふことがアトで知れ
	前	205	02	かに何か災の無いことは無いから，この	前	に彗星の出た時にはかう云ふことが有つた，イツ
	前	205	10	て，こはがつたものと見えます．さて，	前	に申した通りに立ち戻つて来る彗星が有ることが
	前	206	04	楕円ならば是非戻つて来る．其れならば	前	にも有るだらうと段々穿鑿をしました所，其の前
	前	206	04	るだらうと段々穿鑿をしました所，其の	前	に千七百八十六年，千七百九十五年，千八百十五
	前	209	10	に長いもので，ムヤミに長いもので三年	前	に見えましたのも御存じの通り随分長う御坐りま
	前	211	11	る学問によつて見ますと彗星の突き当る	前	には地球は老病で死んでしまふから非業の死は遂
	前	219	17	記，平家物語などは文章も面白くて目の	前	に見るやうに書いたもので有るが文章の飾りが有
	前	224	07	猥雑なことで無ければ面白がらぬから，	前	に申した小説と同じく士君子の見物するもので無
	前	236	16	有りました．尤も左様なる有様も御一新	前	になつてはヨホド減つては来たが，まだ決してウ
	前	240	16	めても差支ない筈で有ります．然れども	前	に申した「某の娘は温良である」と他人に言ふと
	前	241	12	先づ私が諸君にお話し致しますることは	前	に申しました区別の趣意で致しますが，諸君の
	前	242	05	看守長，書記，看守，等凡そ四五十名の	前	に於て一場の演説を致しました．其の演説の大趣
	前	244	01	権で執行することになつて居りまする．	前	に申しまする如く立法権事務は元老院，又は国会
	前	245	16	上げることに致しませう．さて，監獄は	前	に申し上げたる通り刑の執行を掌る所で有ります
	前	248	08	ると云ふことに基づくので有りませう．	前	に申しました所が則ち監獄の目的及び方法で有り
	前	254	14	うな者が随分あるやうにも聞きまする．	前	に申しました如き次第で有りまするから監獄と云
	前	255	15	ら華族の門前を通つて来たら家へ這入る	前	に塩をかけると云ふやうなことは決して有ります
	前	258	12	徊する所の不良少年で有ります．これは	前	に申しました所の矯正院に於て掌るもの即ち救助
	前	261	05	を以て行つても宜からうと存じまする．	前	に段々と論じて参りました所をひつくるめて申し
	前	263	11	の方法が一番宜しいかと考へられます．	前	に述べましたる四つの方法は国によつて其の用ひ
	前	267	15	業は明瞭にお分りになるで有りませう．	前	に申した方法は二百年以来エウロッパの有名なる
	前	270	04	ることが最も甚しいものと見えまして，	前	に申した八千四百十四人の者の教育の度合ひを其

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（まえ）	前	274	10	．監獄は実に数万の囚徒を取り扱ふ所で	前	に述べましたる如く一種の人心改良学校でありま
	前	278	03	ことと存じます．尤も此の講談に於ては	前	にも申しました通り陸軍海軍の監獄と国事犯のこ
	前	278	08	，こゝには申し述ることは出来ませぬ．	前	にも申しました通り本論は専ら監獄全体に係る事
	前	074	17	ａｌｕｅ即ち消極的の価値で御坐んす．	前	の方には大分利が多う御坐んすが只今申した方の
	前	116	10	したといふ覚えも無い．されども二三年	前	の春二年ほど続いて腸胃痛がありて十二時間ばか
	前	174	09	て仮りに三千八百万人として一箇年一人	前	の衣食の費用を三十円としますと今，日本人の衣
	前	180	09	若し之を疑ふものがあればキリスト降世	前	の世界に於てギリシヤやローマが文物隆盛を極め
	前	185	15	．第三には男女同等の教で御坐ります．	前	の弁士も述べられた通り我が邦に於ては儒道仏道
	前	195	14	言つたかも知れません．尤も，この三年	前	の彗星にしろ「戦争や何かには関係の無い」と云
	前	205	03	た時はかう云ふ災が有つたと，イツでも	前	のことを証拠に引いて，こはがつたので有ります
	前	206	01	ルリンのＥｎｃｋｅと云ふ人が（これは	前	のＣｌａｉｒａｎｔほどにはいきませんがＰｏｎ
	前	254	06	ます．また第二の資金なき者と云ふのは	前	のと同様でありまして第三の仕事を知らざる者も
	前	258	14	もの即ち救助すべきもので有りまする．	前	の二つの外に放免者即ち出獄人にして必需の資力
	前	267	13	ず世間に出すと云ふ結果になりまする．	前	の表と只今の説明とに就いてお考へになれば監獄
	前	275	05	ことで御坐います．我が国に於ては維新	前	のことは実に論ずるに足りませぬ．牢屋に入れま
	前	275	16	要するに我が国の現在の監獄改良は維新	前	の監獄と異なる点はタッター一つでありまする．此
	前	157	15	の時分で日本では足利時代の人だが其の	前	は天と言ふものが動いて居つたのがガリレオから
	前	276	01	一つと云ふのは何であるかと申せば維新	前	は罪人は棒罰すると云ふ主義で，棒でぶつておけ
	前	276	05	ことにきめたので有りまする．故に維新	前	は棒罰と云ふ主義であり，維新後は自由剝奪と云
	前	276	06	云ふだけの主義でありまする．また維新	前	は復讐と云ふ意味がありましたけれども，今日で
	前	236	13	々に減つては来ましたが，ヤハリ御一新	前	までは鎖国攘夷の論が盛んだから世間に嫌はれ，
	前	091	09	りませうか．また進歩しやうと思ふ人が	前	以て棄てねばならぬものは何で御坐りませうか．
	前	214	01	ました．其れから演劇と云ふものは維新	前	よりしてホンノ女子供の見るもので士分の者など
	前	254	17	せぬ．古来，牢獄と名づけました牢屋の	前	を通ると家へ帰つて門前で塩をかけると云ふ風も
	前	164	04	溯原を著述した丁韋良といふ人が二三年	前	，支那政府の命令を承け学事視察の為めに欧羅巴
	前	164	07	文を読みませう．余亜丁に在り聞く数年	前	，法君那波倫第三，提督をして船を駛せ紅海に至
	前	204	08	した一番の大きいのは千五百三十一年の	前	，即ち千四百五十六年に出ました彗星で有ります
まえがし	前	257	10	救助と云ふものでは無く，言はば資本の	前貸し	で有ります．之と同じく貧病人を救助するの
	前	257	11	同じく貧病人を救助するのも一時の資本	前貸し	で有ります．而して壮健なる貧民を救助し及
	前	257	12	正（即ち心の救助を）するは一時の資本	前貸し	と犯罪人の予防との両性質を有するものであ
まえく	前	214	03	れた馬琴や種彦でさへ傍ら狂歌師や川柳	前句	の点者などをしたもので馬琴などは初めの中は
まえぶれ	前	203	12	な発見が出来ましてからは，ナニソレの	前表	で有るとか言つてムヤミにこはがるやうなこと
	前	216	10	射殺されてカラダに塩をふりかけられる	前表	で有らう」と答へましたが果して牡鹿は猟人に
まえまえ	前	200	17	で有ります．さてＨａｌｌｅｙの曰く「	前々	の順でゆけば，今から七十何年後には同じのが
まおり	マ	088	09	ぬ．米国の土人，ニュージーランド島の	マオリ	と云ふ人種の様なものに付て至極其の困つた
まかし	任	252	04	からで有りまするから斯くの如き両親に	任し	て置いても覚束なく，両親が無いときはナホあ
まかせ	任	134	01	今，我が家の事一切皆な喜んでこの人に	任せ	て置きます．そこで私が基督教を見たので有り
まかせる	任	133	17	御坐る．昔は極軽い事柄をも，かの人に	任せる	ことは出来なかつたれど今，我が家の事一切
まがつ	曲	241	17	の全体を見ずに，ただ溝の端の竹が一本	曲つ	て居るとか折れて居るとか云ふやうなことばか
まがり	曲	044	03	うと云ふので右様の教を起したのぢゃ．	曲り	たものを真直にしようと云ふには真直にしたば
	曲	179	09	に「諸の谷は埋められ諸の岡は夷げられ	曲り	たるは直く嶮しきは易くせられ人々みな神の救
	曲	179	14	ります．故にキリスト教は何処に往ても	曲り	たるは直くし嶮しきは易くし圧制らるゝ者は之
まかりで	罷	057	05	大日本私立衛生会埼玉支会の第三総会に	罷り出	まして聊かお話しを致さうと思ひますが其の
まき	巻	217	13	ひますが能く分りませぬ．物語に俊蔭の	巻	とか吹上の巻とか云ふ標目の見えたのは此の書が
	巻	217	13	分りませぬ．物語に俊蔭の巻とか吹上の	巻	とか云ふ標目の見えたのは此の書が始めで有りま
	巻	219	09	ことで有ります．また源氏物語の箒木の	巻	に雨夜の品定めと云つて源氏の君，頭の中将，外
まきまき	巻	218	04	水鏡などのやうな実事を書いたものにも	巻々	の標目を立てゝ小説めかしたのは同体の仮名文
まきり	間	230	01	地の区のやうなもので有ります．其の外	間切	と云ふもの即ち内地の郡の如きものが三十六あ
まくらのそうし	枕	141	02	説家の品格を申さば源氏物語の紫式部や	枕の草子	の清少納言などは固より雲の上の人にて別
	枕	142	10	改良を計らねばなりませんが源氏物語や	枕の草子	の出来た頃は未だ小説が盛んであつたとは
まくろーど	マ	073	14	んせんで英人ＨｅｎｒｙＤａｎｎｉｎｇ	Ｍａｃｌｅｏｄ	氏のＥｌｅｍｅｎｔｓｏｆＰｏｌｉ
	マ	075	08	のもので御坐んす．而じて其所に至つて	Ｍａｃｌｅｏｄ	氏の説が御坐んすがドウも消極的の
	マ	076	17	せうが其の間，髪を容れぬのです．右の	Ｍａｃｌｅｏｄ	氏の如く積極消極と限界されたは宜
まけ	負	133	01	また卒業生の行ひの証拠はたゞの議論に	負け	易いもので御坐りませぬ．この仕方のよいこと
まげ	髷	065	11	や家屋や人力車の濫用や丸髷島田の窮屈	髷	や長袖広帯のナマケ服など共に皆改むべきの最も
まける	負	039	11	たときに足手まとひが有ると其の為めに	負ける	恐れが有るゆゑ本当の役に立つ者だけで無け
まご	孫	122	07	例へば私が酒飲みだと私の子が酒を飲み	孫	が亦酒を飲むと云ふ様になつて行きます．また独
	孫	024	03	子供だとすれば月は地球の眷属で太陽の	孫	で有ります．地球の外にも眷属を持つた惑星が有
	孫	024	12	ませぬ．太陽は親父で惑星は子，衛星は	孫	であります．其の中で地球は第何番の子だと云ふ
	孫	055	06	使はなければならない様な訳で私どもも	孫	の頃は楽にもなりませうが今の所では漢字を読ま
まごつい	ま	013	07	す．昔はさうでは有りませぬが今日では	まごつい	て二三千里位のむだ足はしても僅か八十日
	ま	027	12	る，其れまでは分りませぬ明りが途中で	まごつい	て居るから．これからして外の星と云ふも
まこと	真	051	03	総集会東京神田区錦町学習院に於て近藤	真琴	君演説私はとんと演説を致したことは御坐りま

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（まこと）	真	054	10	田先生の奥方がお拵へになるさうですが	真	に喜ばしいことでドウか幾何から三角術までも仮
	真	064	10	造病否心臓病等に罹りワカジニするとは	真	にハヤ悶然の至りでありませう．併し斯の如く有
	真	082	11	国史を調ぶれば只今申したことの証拠は	真	に沢山ありまして甚だ明らかで御坐ります．昔の
	真	082	16	開けたもので御坐りましたが其の人民が	真	の神を知らず偶像を拝し本当な道徳を知らず一体
	真	089	03	ふことも無く恐るゝことも無くして人の	真	の有様を示しまた人の種々の不足不完全を明らか
	真	089	04	教ゆる宗教で御坐ります．人若し己れの	真	の有様を知りたいならば先づ新約書旧約書を研究
	真	125	11	ゝエ決してさうでは御坐りませぬ．総て	真	の学術また其の色々の正しき結局は基督教に敵対
	真	132	10	いふのに人の色々の間違ひを駁つよりも	真	の道理を設ける方が余程よいもので御坐ります．
	真	182	01	女の関係が宜しきに適はなければ決して	真	の文明社会を見ることは出来ません．ナゼなれば
	真	182	11	ち古より我が日本国の風で妾を持つ者は	真	の万人に一人か，千人に一人に過ぎないといふ人
	真	214	14	朝するに従つて小説と云ふものは天下の	真	の象と真の理とを能く探り得る美術てあつて，か
	真	214	14	従つて小説と云ふものは天下の真の象と	真	の理とを能く探り得る美術てあつて，かの高尚な
	真	214	16	とになり，また演劇に至つてはナホサラ	真	の理をして見せるものゆゑ文筆の業では及ばない
	真	214	17	では及ばない所の人情の極意を写し出す	真	の美術だと云ふやうな訳で其れゆゑ西洋に於ては
	真	219	01	れない面白みの有るのは今の学者の云ふ	真	の理と云ふものに近い訳でも有りませうか．さて
	真	132	14	仕方で御坐りませぬ．偽りを倒すよりも	真	を立てる方がよい仕方で御坐ります．第七．基督
まこと	誠	127	15	い説，新らしい論，新らしい考へなどを	誠	とし且喜んで受け容れます．而して色々の骨折を
	誠	023	11	を概した世界で）其れに比べると地球は	誠	に小さいものだ．周囲が僅か一万里ばかりと申し
	誠	034	10	実に条理が分らぬことでは有りませぬか	誠	に不思議な訳では有りませぬか．かういふ所から
	誠	036	07	る欲」といふ方に御賛成の様に見ゆる，	誠	に面白いことです．どうか此の会も大いなる欲の
	誠	060	08	きをするかと云ふに芸術の点に至つては	誠	にハヤお恥かしき次第にて仮名つき新聞も満足に
	誠	083	10	され仏国に於て学術美術新発明商法など	誠	に能く進んで居りますが道徳の進歩充分で有りま
	誠	086	09	まいと存じます．また世の普通の学問は	誠	に大切なものなれども，これ等の高尚なものを充
	誠	115	06	ひ過ぎたり飲み過ぎたりする者のあるは	誠	に困つたもので人類といふものは其れを節するや
	誠	130	08	が基督教を滅ぼすものなりなどのことは	誠	に拙き論で御坐ります．学術と宗教との出所は一
	誠	131	08	以て西洋の学者の反対論に答へることは	誠	によい仕方で御坐ります．基督教の反対論を駁つ
	誠	136	01	はいり裏へ出まして其の庭を見ますれば	誠	に面白くも無く，また分らぬやうに見えます．け
	誠	136	02	階に上つて，かの庭の景を見下すならば	誠	に面白いもので有ります．此の帝国の本州と諸々
	誠	136	05	白妙の富士が眼に立つ如くに見えます．	誠	に面白いもので御坐ります．下から見れば面白い
	誠	136	06	の高い所から見れば面白いこと覚ること	誠	に感心の訳で御坐ります．之に擬へて申しまする
	誠	139	02	感ずるものなれば其の感も強く且深くて	誠	に宜しきもので御坐ります．併しながら此の小説
	誠	184	10	ドウして一夫一婦の教が立ちませうか．	誠	に恥かしいことながら恐らくは世界中に我が邦の
	誠	233	07	の数も多くなり，また卒業生も多くなり	誠	に祝すべきことで有ります．実に此の専修学校は
	誠	233	12	下くして日本語を以て教ふると云ふのが	誠	に宜しいことで有ります．丁度，今から十年余も
	誠	261	03	れは貧民救助の点，即ち慈恵の点に於て	誠	に必要の点で有らうと思ひます．其の方法は異名
まこと	寔	098	16	て義捐金を募り遭難者の遺族に贈るなど	寔	に懇切なことである．斯くの如く尽力すれば二十
まさかず	正	001	03	時懇親会東京芝公園地紅葉館に於て外山	正一	君演説今日この席に於て演説をすることは思ひ
まさくに	正	093	05	論演説会」東京浅草井生村楼に於て薩埵	正邦	君演説諸君．私は「ノルマントン号船長の罪を
まさしく	正	227	10	れに就ては任命の仕方や何かは行政上，	正しく	いつて居つたとは云はれませぬ．足利尊氏な
	正	264	02	．則ち幼年者を数組に分ち，長幼の別を	正しく	し以て教育感化することになつて居ります．
まさしげ	正	220	03	ふ小説家の作で信ぜられぬことが多く楠	正成	の桜井のことだの或ひは後醍醐帝の笠置の夢見
まさなお	正	161	04	町東京大学予備門構内講義室に於て中村	正直	君演説酒といふものは大変な悪いもので其の為
まさに	将	276	08	則でありまする．これ則ち文明国に於て	将さに	為すべきの事業であらうと信じまする．若し
まさに	早	164	14	て言て，日く惜む君の謀る所已に晩し余	早に	兵艘三隻をして前往駐守せしむと．客之を聞き
まさに	当	019	06	つても諸君が御承知の山陽の詩に「太白	当	舟明似月」と云ふのが此の星のことで御坐います
まさのり	正	163	16	条は酒を好み皆其の国を亡ぼした．福島	正則	などといふ人は勇気はすさまじいものだが酒を
まさら	優	102	08	日本だからと申しても制度文物の外国に	優ら	ずとも劣ることなきものがイクラもある．日本
まし	ま	001	04	することは思ひもよらざることで御坐り	まし	た．然るに演説をするに立ち至りたるは先日こ
	ま	002	01	の御用掛泉川健といふお方がお出になり	まし	た．一面識もないお方では有りますが，お目通
	ま	002	04	有るか又は何で有るかとのお尋ねで有り	まし	た．私は「かなのとも」か，いろは会か，そん
	ま	005	11	にも二十年ほど前にさういふことが有り	まし	た．ドウしても今日の有様では西洋人と競争し
	ま	011	13	いのは欲心で唯今久原君の講談にも有り	まし	た通り「砂糖と云ふものは何の中だ」と言つた
	ま	012	06	と題をつけて致します演説は先づ今申し	まし	た位を目的と致しますことで御座います．追々
	ま	012	08	中，亜細亜は地球の中と云ふことが有り	まし	たが，さういふことを調べるは何と言ふ学問か
	ま	013	05	万二百五里ほかない．私は僅かだと申し	まし	た．なぜだといふに此の位の距離は僅かの間に
	ま	014	02	ものが有るといふことが知れる様になり	まし	たから先づ其れからお話し致しませう．天の中
	ま	014	05	りするもので有ると云ふことは知れて居	まし	たが昔の人の知つて居つたのは先づ其の位なも
	ま	016	02	倍ほどで有ります．してこの距離が分り	まし	た上は其の大きさは容易に勘定が出来ます．月
	ま	016	03	は地球よりは小さい．地球はさつき申し	まし	た通り其の直径三千二百四十八里で有りますが
	ま	016	07	から三尺離して直径二分七厘の玉をおき	まし	たのが月の雛形になります．距離も随分遠く大
	ま	018	07	つたと云ふことを桜井先生が講談になり	まし	た．其れが私の今申しましたことと同じ趣意で
	ま	018	07	が講談になりました．其れが私の今申し	まし	たことと同じ趣意で御坐います．して見ると太
	ま	018	14	同士が沢山あるといふことが発見になり	まし	た，其の地球の同士は学者は其れを惑星と名づ

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（まし）	ま	019	12	む国で有りますから大層此の星を珍重し	まし	た．肉眼で見ましては木星に少し小さい位です
	ま	019	15	天王星，海王星と言ふものが発見になり	まし	たが其れの中に一つはヤット肉眼で見えるとい
	ま	020	01	外のことに移りませう．今までお話しし	まし	た星の中で一番我々のよく観測の出来ます星は
	ま	020	11	観測の時には海は無いと云ふことを申し	まし	たが火星を見ますと陸も有れば海も有る，海が
	ま	020	16	球の半分よりは大きいです．前にも言ひ	まし	た通り此の星も同しく太陽のまはりを回つて居
	ま	021	10	ない，人間の上は直に神だと思つて居り	まし	たが今では外の世界にも人民のある事が知れた
	ま	022	03	地球の仲間が有ると云ふことを申し上げ	まし	たが其の中太陽から測りますと地球より遠いも
	ま	022	07	を以て解き明しませう．先づさつき申し	まし	た直径一寸の玉を地球の雛形とし一丈一尺の玉
	ま	022	17	の数は夥しいことで今日まで発見になり	まし	たのだけが二百いくつと云ふ程ありますが其れ
	ま	023	12	ものだ．周囲が僅か一万里ばかりと申し	まし	たのはこゝです．私は大きなことが言ひたいか
	ま	024	06	ｓａｐｈＨａｌｌと言ふ人が発見いたし	まし	た．次ぎに木星には月の様なものが四つついて
	ま	024	13	で地球は第何番の子だと云ふことも知れ	まし	た．此の家内のことを総称して太陽系と言ひま
	ま	024	14	系の字で有りまして私が親子眷属に譬へ	まし	たのは決して無理では無い他人が太陽系と付け
	ま	024	15	決して無理では無い他人が太陽系と付け	まし	たのも私の言つた通りの訳柄だからで有ります
	ま	024	16	有ります．」さてこれでズット前に言ひ	まし	た「地球は何の中であるか」といふ問に対して
	ま	024	17	の眷属の一人である」といふ答へが出来	まし	た．これから先きがむつかしくなる．「太陽系
	ま	027	14	かと云ふことは知れませぬ．今まで申し	まし	た星は肉眼で見ゆる位な星です．此の外に望遠
	ま	031	11	常の星と違つて瓦斯だと云ふことが知れ	まし	た，全く瓦斯で無いにしても瓦斯の部分が多い
	ま	032	07	も其の通りで有ると始めにお話しを申し	まし	た通りに段々推しつめて行つて丁度今日の学問
	ま	032	09	ぬ．いづれにしても私の最初に持ち出し	まし	た問題即ち「我々はどこに居るか」といふ問題
	ま	032	11	か解いた積りで有ります．今日お話しし	まし	たのは地理書の先きを言つたので地理書は地球
	ま	032	16	ふ題で全世界の地理をザットお話し申し	まし	た．節酒会を賛成するの趣意明治十八年三月二
	ま	034	04	るに今日，日本で「文明」と訳字を付け	まし	たシビリザションといふものの意味を尋ねます
	ま	034	05	るとか雷は大鼓をしょつて居るとか言ひ	まし	たが段々に開けて来て月といふものは，かうい
	ま	035	10	ことに付て近頃ヒロソヒーが亨二に教へ	まし	たよく当る詞が有ります．あなた方は何とお思
	ま	051	07	不便なこと仮名の便利なことを述べられ	まし	たから今日私はそこは申しませぬ．たゞ愈々広
	ま	052	14	文を用ひて公文は漢文で書くことになり	まし	たが漢文はむつかしいから已むことを得ず漢文
	ま	053	03	習はしがあつて漢語が日本の言葉になり	まし	た．さういふ訳で見ると言葉は漢字を知らなけ
	ま	058	01	彼の欧羅巴の学者スペンサーが曾て申し	まし	たに「何でも総ての事を能く覚え能く忘れずに
	ま	058	04	好む者は之を楽しむ者に如かず」と申し	まし	た位で仮令むつかしいことを陳べても脳髄に這
	ま	060	06	実にハヤ勝手至極な結構な世の中になり	まし	たが併し私も絹衣を着し休日に休むといふこと
	ま	061	08	人力車の数十四万二千五百七十二であり	まし	たが十三年には十五万七千十八個となり現今で
	ま	064	04	リ症（俗に血の道）を発することを論じ	まし	たが乗車する人ですら斯の如く心臓病を発する
	ま	067	04	この専修学校の始めての卒業式に招かれ	まし	たことが御坐いました．其の後はコチラに居り
	ま	067	04	ての卒業式に招かれましたことが御坐い	まし	た．其の後はコチラに居りませぬ故に其の後の
	ま	067	06	今日は幸ひに此の盛場に列するの栄を得	まし	た．且法律経済の二科に就て卒業をせられたる
	ま	067	07	る所の数十人の諸君が卒業証書を得られ	まし	たのを観まして大いに感ずる所が御坐いました
	ま	067	07	たのを観まして大いに感ずる所が御坐い	まし	た．其れ故に私は聊か諸君に祝辞を呈し併せて
	ま	067	16	む所の事が御坐いますから私が見聞致し	まし	た独逸国，殊に孛漏生に於て裁判官及び代言人
	ま	069	08	には八百十八人試験を願つた者が御坐い	まし	た．随つて見習生即ちＲｅｆｅｒｅｎｄａｒの
	ま	069	09	一日の統計には千九百八十三人で御坐い	まし	たが千八百八十五年即ち昨年の七月一日には三
	ま	069	14	る者善く注意をせよ」と云ふ忠告を致し	まし	た．斯の如くは志願者一個人の為めから言へば
	ま	069	16	政府の上から観ますれば供給者益々増し	まし	た時には政府に取つては容易に立派なる裁判官
	ま	070	05	法学士の称を持つて居る人数は調べ落し	まし	たが二十人たらずで有りませう．又判事補は九
	ま	070	07	二人御坐います，これはシッカリと調べ	まし	たので御座います．而して孛漏生と日本との人
	ま	070	14	大学の卒業式に招かれまして出席いたし	まし	たがアチラでも十一人ほど卒業生が御坐いまし
	ま	070	15	がアチラでも十一人ほど卒業生が御坐い	まし	た．今日はこの専修学校で昨日の倍数ほど卒業
	ま	073	04	説私はこのたび始めて本校の卒業式に出	まし	たが段々過刻より卒業証書の授与また卒業諸君
	ま	073	16	したるものより生ずるとの説を思ひ出し	まし	た．一体この説は前人に労力は則ち価値なりと
	ま	076	13	まして右の通りになるといふことを申し	まし	たので御坐んす．さて私が考へて見ますに利を
	ま	082	13	．これ等の国は立派に開けた国で御坐り	まし	たが道徳の進歩が無かったゆゑ遂に亡びてしま
	ま	082	14	の進歩が無かったゆゑ遂に亡びてしまひ	まし	た．今日世界において賢しき国はエジプトとペ
	ま	082	16	デンスの町は立派に開けたもので御坐り	まし	たが其の人民が真の神を知らず偶像を拝し本当
	ま	083	01	つたに由つてツマリ恥かしく衰微いたし	まし	た．また其の後の時代において彼の盛んな羅馬
	ま	083	04	歩がサツパリ無かつた故に遂にまた衰へ	まし	た．今日欧羅巴各国の中で至つて弱い国はイス
	ま	083	06	り支那では昔より儒学が能く開けて居り	まし	た．支那人決して愚人では御坐りませぬ．其の
	ま	084	10	で不意に商法が盛んになつた頃が御坐り	まし	た．これ則ちコロンボスが新世界を発見した時
	ま	084	11	械と製造のことが沢山開けた頃が御坐り	まし	た．これ則ち蒸汽力が発明された時に当ります
	ま	084	12	政治のことが能く進歩したことが御坐り	まし	た．これ則ち千六百四十八年より以降のことで
	ま	084	13	千六百四十八年より以降のことで御坐り	まし	た．或は貴国の上で申すならば勿論御維新の頃
	ま	084	14	各国において箇様な種々の進歩が御坐り	まし	た時分には外の進歩が或は後れて居たか或は全
	ま	084	15	後れて居たか或は全く滞止したのであり	まし	た．何れの国においても其の総体の進歩は速力
	ま	085	08	ることが出来やうと存じます．既に申し	まし	たことを取り撮んで其の大意を繰りかへして言

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（まし）	ま	088	04	来ませうと心得ます．けれども既に演べ	まし	たものの外に社会の進歩の為め種々の必要なも
	ま	088	13	ウ多年米国の政府が骨折つて教訓いたし	まし	たことも御坐りまして器械をやつたこと学校を
	ま	088	14	学校を建て教師を遣はしたことも御坐り	まし	たがドウもいけませぬ．ニュージーランド島の
	ま	088	15	ます．英吉利の政府でも種々世話を致し	まし	たがヤハリいけませぬ．立派な家を建て家財を
	ま	090	08	分に「我れは世の光りなり」と仰せられ	まし	たことも有ります．なぜなれば所謂聖書は神の
	ま	091	16	も陸にも旅をして二回ばかり地球を周り	まし	たが耶蘇基督に係はらず彼の恐ろしい罪悪を免
	ま	093	10	に訴へ或ひは之を口に唱ふることになり	まし	た．併し各新聞紙がこれまで喋々して居る所を
	ま	093	13	一言，諸君に陳べむと欲することになり	まし	た．今日我が国には治外法権といふものが行は
	ま	096	10	す．徳川の頃は情況裁判が行はれて居り	まし	たが今では証拠裁判で無ければなりませぬ．英
	ま	105	06	在留の英国領事が今月の五日に言ひ渡し	まし	た判決に付て或る論者は「我々の同胞二十五名
	ま	106	15	四日の晩，彼の紀州大島沖に於て沈没し	まし	た彼のノルマントン号に乗り組んで居つた同胞
	ま	116	11	時間ばかり痛み続いて弱つたことが有り	まし	たが，あとで考へて見ると両度とも二三日も続
	ま	119	06	祝して何かお話しでもしようと思つて居	まし	たが此の間中から忙くつて其れが為めに趣向を
	ま	119	07	れが為めに趣向を考へることが出来かね	まし	た．其れで昨夜フト思ひ付いて今度は諸君に御
	ま	119	08	いて今度は諸君に御相談を致すことにし	まし	た．これは御相談で有つて演説では無いから諸
	ま	119	14	出る前に少しばかり其の事を書いて参り	まし	たが西洋の学者が酒が人間社会に害の有ると云
	ま	119	16	悪鬼の働きなり，また酒疫なり」と述べ	まし	た．之を解して見ると人心に伝染する内密の流
	ま	120	05	の鑑札を持つて居る様なものだ」と述べ	まし	た．またＯｅｔｔｉｎｇｅｎと云ふ人は酒と麦
	ま	120	07	せる刺戟剤の働きを為すものだ」と言ひ	まし	た．此の移住と云ふことは西洋の人が世界に移
	ま	120	09	近辺を通つて見ても麦酒屋が沢山に出来	まし	た．昔は私の居る近辺は大抵，旗下屋敷で有つ
	ま	120	11	に商家が出来て麦酒などが移住して参り	まし	た．またイギリスのスタチスチック，ジョルナ
	ま	120	17	「百薬の長だ」とか言ふ位なことで有り	まし	た．前に申した通り西洋の学者は西洋の飲酒の
	ま	121	06	間の品位が余程下つた」と西哲は言はれ	まし	たが国が文明になるに随つて人間の品位が段々
	ま	122	09	レラ病に罹つて死んだと云ふことで有り	まし	た．其の外御承知の通り卒中だの中風だのと云
	ま	123	03	も有りますまい．先刻も人が参つて話し	まし	たが其の人は木曽の三尾と云ふところに教員を
	ま	123	06	うです．私は先刻始めて其の話しを聞き	まし	たが実に妙な慣はしではありませぬか，日本も
	ま	125	14	言ふＳｐｅｎｃｅｒ氏が何々と仰せられ	まし	た故に学術と基督教は決して相符合するに非ず
	ま	125	15	或る人はＨｕｘｌｅｙ氏が何々と申され	まし	た故に基督教は素より全く間違つたもので御坐
	ま	129	13	ｄａｌｌ氏の議論が新聞紙に出版になり	まし	た故にかの旧約書は遂にドウなりませうか，斯
	ま	130	13	なる哲学者Ｋａｎｔといふお人が申され	まし	たことをお聞きなされ．「天地の間に二つの感
	ま	131	04	のなるが故で御坐ります．これまで説き	まし	た所の三つの仕方は皆な誤つた仕方で御坐りま
	ま	132	06	力を滅ぼさうと思ふ所の敵が多う御坐り	まし	たけれども，かの敵の色々の働きは水の外面に
	ま	132	07	一向アトにシルシの残らぬもので御坐り	まし	た．これ等の色々の敵は既に久しき以前に世を
	ま	132	08	の色々の敵は既に久しき以前に世を去り	まし	たもので御坐りますれども聖書はキズも無くカ
	ま	133	02	の仕方のよいことは昔から明かで御坐り	まし	た．元来，基督教が起りました時節より三百年
	ま	133	02	かで御坐りました．元来，基督教が起り	まし	た時節より三百年の間は基督教信徒が苦しめら
	ま	133	04	目にあはされたことは実に甚しう御坐り	まし	た．けれども其の時に基督信徒をひどい目にあ
	ま	133	06	す．故に昔より，かういふ格言が御坐り	まし	た．「基督教の為めに殺されたる者の血は却つ
	ま	133	07	れたる者の血は却つて基督教の種となり	まし	た．」先だつて隣のモロコシに面白いことが御
	ま	133	08	つて隣のモロコシに面白いことが御坐り	まし	た．漸く昨日新聞紙で読んだことで御坐ります
	ま	133	10	の村の戸長の如き役人に深切に迎へられ	まし	た．かの宣教師が「アゝこの役人は既に基督教
	ま	133	13	れども見たことは御坐りまする」と答へ	まし	た．大きに宣教師が驚いて「ドウして基督教を
	ま	133	13	が驚いて「ドウして基督教を御覧なされ	まし	たか」と問ひましたれば，かの役人が答へます
	ま	133	15	如くにけしからぬイタヅラな奴が御坐り	まし	た．けれども去年かの者が基督教を聞いて不意
	ま	133	16	を聞いて不意に信仰を起したものになり	まし	た．が其れから，かの者が全く外の人になつた
	ま	133	17	外の人になつたやうに，まるで変つて来	まし	たので御坐る．昔は極軽い事柄をも，かの人に
	ま	134	02	私が基督教を見たので有ります」と答へ	まし	た．只今説きまする仕方に就て聖書の明文が御
	ま	134	06	」また耶蘇基督御自分にも明かに申され	まし	たことが御坐ります「人の善悪は其の実によつ
	ま	134	07	の実によつて之を知るべし」と仰せられ	まし	た．または「悪き木は善き実を結ぶこと能はず
	ま	134	07	き実を結ぶこと能はず」などと仰せられ	まし	たことも御坐ります．尚ほ明かな所はこれで御
	ま	137	06	して現に只今も書き方改良の説明もあり	まし	たが演劇改良其の他家屋の改良，衣服の改良，
	ま	137	10	か教育上に関係したことは無いかと思ひ	まし	たところが此の小説と云ふものは学校教育では
	ま	138	01	ペンサーやミル，ベンサム等の本を読み	まし	たときには上下を着た人に小言を頂戴いたす様
	ま	138	04	ませんでしたが其の時，医者に見て貰ひ	まし	た処，其の医者先生の申すには貴君にはモルヒ
	ま	138	07	を寝しなに一ページ読みたまへと申され	まし	た．私も妙な医者だと思ひましたが其の意に随
	ま	138	07	と申されました．私も妙な医者だと思ひ	まし	たが其の意に随ひ其の本を読んで居りますと果
	ま	138	08	居りますと果して，ぢきに眠つてしまひ	まし	た．小説を読みましては斯様に眠つてしまふこ
	ま	138	11	トウトウ夜を明かしてしまふことも有り	まし	た．なるほど経書や哲学やむつかしいものには
	ま	140	13	た物の中に其の不平を訴へたことが見え	まし	たから確かなることと思ひますが此の慾れなク
	ま	144	13	小説を訳したり又は著はしたりして参り	まし	たがタカが少数で中々満足いたされません．小
	ま	149	08	られたときにも政表といふ字を使つて居	まし	た．日本でいふマツリゴトは行政のことです．
	ま	151	04	政裁判所であります．こゝで官吏と言ひ	まし	たのは漢学者などは色々お説がありませうが行
	ま	156	01	るので，ごすけれども先づ此の通り聞き	まし	た．此の通り学問があるが極点といふと極意を

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（まし）	ま	156	04	だが昔は天が円くつて地が四角だといひ	ました．其れは天円地方と言つて支那以来のおキマ
	ま	156	06	と思つて居たが近来は法外な違ひになり	ましたネ．昔でも今でも日が出ると言ひます．勿論
	ま	156	14	ごす．三百年このかた，かういふになり	ましたが，これはコペルニカスといふ人が考へたの
	ま	157	04	勢ひで，ごした（尤も今ではカタが変り	ましたが）若し地が回るとなると羅馬法皇の，仏教
	ま	157	07	言つて，トウトウふんじばつて牢に入れ	ました．さうすると友達や親類が集つてアンナつま
	ま	157	12	儀，地球儀をころがし回すやうに，なり	ましたが実は地が回るか回らないか私には保証が出
	ま	157	16	は天を動かしたいとしても動かなくなり	ました．この間まで，あの佐田介石が天を動かさう
	ま	157	17	田介石が天を動かさうと云つて骨を折り	ましたが中々動かんと云ひました．さうで，ごんせ
	ま	157	17	つて骨を折りましたが中々動かんと云ひ	ました．さうで，ごんせう．動かなくなつたんだか
	ま	159	05	に天主教が渡りまして今日は繁昌になり	ましたが支那では老子，孔子，釈迦を三教と唱へま
	ま	159	06	支那では老子，孔子，釈迦を三教と唱へ	ました．弘法大師は其れを三聖と言ひましたが其の
	ま	159	06	へました．弘法大師は其れを三聖と言ひ	ましたが其の時分には欧羅巴の教法は渡りませんか
	ま	159	09	子の教とも言ひ，仏学とも仏教とも言ひ	ました．西洋の教へ方は天で，天主を立て天上，天
	ま	163	08	とは日本外史には書いて無いが何かで見	ました）そこで信長は光秀を押し伏せて其の項に騎
	ま	164	03	てある．近ごろ西学考略といふ書を読み	ましたが，これは天道溯原を著述した丁韋良といふ
	ま	165	07	なことで此の間，東京学士会院で演説し	ましたところが社員の方でお聴きなすつた方は至つ
	ま	166	10	人間世界を調子よく今日まで開いて参り	ました．昔の学風といふものは事実の穿鑿をしない
	ま	167	16	り来つて，まるで自分の物のやうになり	ました．文字でも其の通り相互に智識交換の為めに
	ま	168	02	に従つてまた新しいものが，はいつて来	ましたから何事も競ひ出し医者でも本草でも鉄砲で
	ま	168	09	米利加合衆国の人が和親貿易を請ひに来	ました．丁度私が二十四五の時だつたが其の時は大
	ま	168	12	で何も，かも吹き倒さんずる有様であり	ました．西洋でも千百年の頃に天が落ちるとか云つ
	ま	168	14	うに騒ぎ立て大抵古いものは押し倒され	ました．丁度私が二十四五の時のことだから今でも
	ま	168	16	へ改良をなして段々かういふ世の中にし	ましたが開化の勢ひが西から東に移つて来るとする
	ま	171	10	加に行つて居る私の次男から手紙が着き	ましたが今度合衆国では蒸気車などは書生には当り
	ま	174	17	ふが維新以来モハヤ其の五分の一を過ぎ	ましたからサホド遠いものではありませぬ．かねて
	ま	175	15	ればなりませぬからチョイと凡例を述べ	ましたまでのこと．また英国人は「人は地球の寄生
	ま	177	11	先づ箇様な訳で先日も学士会院で演説し	ましたが其の時，其のあとに附けてチョイと言つた
	ま	179	11	たんために世に遣されたり」と仰せられ	ましたが千八百年以来の歴史をみて此の言の決して
	ま	183	17	是れいふのは却つて悪いことになつて居	ました．ナント無理な教では御坐りませんか．ナン
	ま	185	02	も亦，姦淫を行ふ者である」と仰せられ	ましたが，これが即ちキリスト教の結婚の道で御坐
	ま	187	04	人々我を福なるものと称ふべし」と謳ひ	ましたが思ふに此はマリヤが我れ知らず世界万国の
	ま	188	06	法と憲法との関係を一言申し上げておき	ました．就ては今日よりは全国行政といふ部を申し
	ま	188	07	上げる順序で御坐いますが主権に関係し	ましたことを申し上げませぬと行政法の原則に大関
	ま	188	15	で国の組織となる憲法を十一度取り変へ	ましたが立法権と執行権とは分別して混雑したこと
	ま	189	07	ものであり，執行権の方は立法権できめ	ましたことを実際に行ふといふ趣意で御坐います．
	ま	190	17	法の部にはいりますから地方行政を終り	ましたときに申し上げて見たいといふ考へです．こ
	ま	191	03	ち立法権と行政権と司法権とあると論じ	ましたが段々と種々の学者が寄つて取り調べました
	ま	191	03	たが段々と種々の学者が寄つて取り調べ	ましたところがモンテスキューの言つたことを人が
	ま	192	06	輿論といふのが正しいといふことであり	ましたが其れは範囲の広い狭いで輿論といふことに
	ま	192	09	て事を議せしむるといふことの詔もあり	ましたしまた元老院といふものもありますし，今に
	ま	192	12	言しろ肺肝を吐露しろといふこともあり	ましたが，これも公議輿論に従ふといふことです．
	ま	193	02	でも執行権者が幾人もあつたことがあり	ましたが事を行ふ者が多いと船頭が多くて船が山に
	ま	194	05	日は少し講旨と離れて居ることではあり	ましたが順序の為めに申し上げて，おきますのです
	ま	195	04	から三年ほど前にヨホド立派な彗星が出	ました．諸君は定めて御記臆で御坐りませうが，こ
	ま	195	05	れは朝，日の出ます前に，東に当つて出	ましたので，ドコの国からもよく見えました．当時
	ま	195	06	出ましたので，ドコの国からもよく見え	ました．当時私はこゝからチト遠方のアメリカの熱
	ま	195	07	のアメリカの熱帯地方に旅を致して居り	ましたが，朝，日の出ます前にあるかなければなら
	ま	195	08	まして，相手と一所に東の方に出て参り	ましたが，其の時，相手と「ミゴトな彗星ですネ」
	ま	195	09	と言つて互に挨拶を致したことが御坐い	ました．諸君も定めてネムサをこらへて彗星を御覧
	ま	195	10	て彗星を御覧になつて「立派な彗星が出	ました」と言つて互に御挨拶をなさつたことと存じ
	ま	195	11	ますから「立派な彗星だ」と言つて済み	ましたが，若しもこれが天保年間ででも有りました
	ま	196	10	どに書いて有ります．其の様にこはがり	ました所以は畢竟，品物の性質が知れないからで有
	ま	197	04	てドコに帰ると云ふことがアラマシ分り	ましたが其れをお話しする前にチョット惑星のこと
	ま	197	07	ドンナ惑星があると云ふことをお話しし	ましたが，あの時はザツトしたことで，申さば人別
	ま	197	08	だけで，委しいことは言ひませんで有り	ました．今，あのことに立ちかへつて……惑星は我
	ま	197	15	Ｎｅｗｔｏｎから惑星の運動の律が分り	ました．そこでＮｅｗｔｏｎは惑星の運動のことを
	ま	198	01	のものでは有るまいかと云ふ考へを起し	ました．Ｎｅｗｔｏｎの調べました所によれば，太
	ま	198	01	考へを起しました．Ｎｅｗｔｏｎの調べ	ました所によれば，太陽から引かれて居りますれば
	ま	198	03	したと言ひたいが，実は鉛筆で書き出し	ました．この抛物線と楕円と云ふことは若しお分り
	ま	198	10	す．しかしソンナことは，この前に言ひ	ましたから，これだけにして置き，さて抛物線とは
	ま	199	06	と彗星の軌道，即ちあるく道の勘定をし	ました．勘定してドウして分ると云ふことは，こゝ
	ま	199	12	つて再び帰つて来ません．しかし今言ひ	ました楕円と抛物線の関係が有るから彗星の軌道も
	ま	199	14	かと云ふ考へがＮｅｗｔｏｎの頭に起り	ました．さうするとグリット太陽のマハリを回つて

代表形	判	ページ	行	出現文脈	
（まし）	ま	199	16	来やうかと云ふのが其の時の問題で有り	ました．そこでＮｅｗｔｏｎの友だちのＨａｌｌｅ
	ま	199	17	ａｌｌｅｙが千六百八十二年の八月に出	ました彗星で勘定をしました．其の時に観測をした
	ま	200	01	十二年の八月に出ました彗星で勘定をし	ました．其の時に観測をした人はフランスではＰｉ
	ま	200	04	し千六百〇七年にＫｅｐｌｅｒの観測し	ました彗星，また其れより七十五六年前即ち千五百
	ま	200	04	ち千五百三十一年にＡｐｉａｎの観測し	ました彗星の軌道がＨａｌｌｅｙの勘定した彗星の
	ま	200	05	ｅｙの勘定した彗星のに，よく似て居り	ました．其れで，これは先に現はれた彗星に違ひな
	ま	200	06	はれた彗星に違ひないと云ふことが分り	ました．と言ひましたら，こゝで諸君がお疑ひなす
	ま	201	02	の初めには見つけるであらう」と断言し	ました．ところが，この五十八年の終りか五十九年
	ま	201	09	私は身が軽くつてイツもスタスタあるき	ましたが途中で身分の重い人に遇ひますと丁寧にジ
	ま	201	12	なるとテンデ見向きもしないことが有り	ましたが，丁度其の通りのことが彗星の身の上にも
	ま	202	02	した．ところがＨａｌｌｅｙのあとに出	ましたＣｌａｉｒａｎｔと云つてＮｅｗｔｏｎに次
	ま	202	05	せらるゝと云ふことを勘定する式を与へ	ました．其の式によつて勘定を仕出さうと云ふに随
	ま	202	07	月の間，寐食を廃する位にして勘定をし	ました．其れも充分の計算にはゆきませんが多分千
	ま	202	09	知れないと云つて其の結果を世間に出し	ました．いよいよ天文学で竟にこれまで無かつたこ
	ま	202	12	せう．ところが果して其れが肉眼で見え	ました．しかしドコからでも見ゆると云ふ訳にはい
	ま	202	14	ないでイタリヤまで見に行つた人が有り	ました．果してＨａｌｌｅｙの言つた通りに千七百
	ま	202	16	り三十日ほど早く太陽に一番近い所に来	ました．これが天文学に於て同じ彗星の二度現はれ
	ま	203	05	太陽に近い所に戻つて来るだらうと言ひ	ました．今度はカタヅをのむと云ふ程では有りませ
	ま	203	06	の位，精密にゆくかと云つて待つて居り	ました所が今度は十三日と言つたのが十六日に来ま
	ま	203	06	が今度は十三日と言つたのが十六日に来	ました，丁度七十五六年の中で僅か三日の違ひで有
	ま	203	07	七十五六年の中で僅か三日の違ひで有り	ました．して見ますと，この彗星と云ふものは先づ
	ま	203	09	と同じ様なもので有ると云ふことが分り	ました．抛物線を書いて居る間は彗星と云ふものは
	ま	203	11	，其れだけが惑星と違ふ所だと言つて居	ましたが今度は楕円を書いて居るのも有ると云ふこ
	ま	203	11	いて居るのも有ると云ふことまでが分り	ました．このやうな発見が出来ましてからは，ナニ
	ま	203	13	るやうなことは有りませんやうに，なり	ました．丁度二十四時間，過ぎると同じ太陽が同じ
	ま	203	15	出たことが有ると云ふことがアトで知れ	ました．最も名高いのは西暦八百三十七年に出た彗
	ま	203	17	ｅＤéｂｏｎｎａｉｒｅと云ふ帝があり	ましたが，このＤéｂｏｎｎａｉｒｅと云ふのは綽
	ま	204	02	天文学の代りに星占学と云ふものが有り	ました．星占学とは星で占をする学と云ふことで実
	ま	204	05	てて坊主の俸給をお殖しなさい」と言ひ	ました．そこでＬｏｕｉｓオヒトヨシは大心配をさ
	ま	204	07	の疲れかしてトウトウ三年の後に死なれ	ました．其の後に出ました一番の大きいのは千五百
	ま	204	08	ウ三年の後に死なれました．其の後に出	ました一番の大きいのは千五百三十一年の前，即ち
	ま	204	08	三十一年の前，即ち千四百五十六年に出	ました彗星で有ります．この彗星は日本では歴史に
	ま	204	09	す．この彗星は日本では歴史に載つて居	ましたかドウだか支那では出て居さうですが，この
	ま	204	13	々安き心なし」とでも云ふべき時で有り	ました．今日ならば「ミゴトな彗星で有ります」と
	ま	204	15	とトルコ人を調伏すべし」と触れを出し	ました．あとで調べて見れば，これは全くハレーの
	ま	205	01	うにこはがつた訳と云ふものは彗星の出	ました度ごとにドコかに何か災の無いことは無いか
	ま	205	10	に立ち戻つて来る彗星が有ることが知れ	ましたが，この外に十か十一ばかり有ります．ざつ
	ま	206	02	其の彗星のあるいて居ります道を勘定し	ましたが抛物線では有りません．其れならば楕円か
	ま	206	03	れならば楕円かと云ふに楕円でよく合ひ	ました．楕円ならば是非戻つて来る．其れならば前
	ま	206	04	ならば前にも有るだらうと段々穿鑿をし	ました所，其の前に千七百八十六年，千七百九十五
	ま	206	05	年，千七百九十五年，千八百十五年に出	ましたのが其れと同じ道をあるいて居りました．こ
	ま	206	05	ましたのが其れと同じ道をあるいて居り	ました．これは一番始めに発見された今のやうな彗
	ま	206	07	るいて居るので有ります．其の後発見し	ましたのはＥｎｃｋｅのよりは大きな楕円を書いて
	ま	206	09	からして，この外にイクラも有ると言ひ	ましたが其の中で珍らしいのはＢｉｅｌａの彗星と
	ま	206	10	がイツも六七年目には戻つて来ると言ひ	ましたが，しかし其れが突然二つに分れましたこと
	ま	206	10	ましたが，しかし其れが突然二つに分れ	ましたことが有ります．同じやうな形ちで一つは大
	ま	206	12	は小さくなつて頭も尾も同じやうで有り	ましたが，これは分れたと云ふよりは寧ろ子を生ん
	ま	206	14	段々遠方にいつてトウトウ見えなくなり	ました．其の後に天文学者がモウ戻つて来さうなも
	ま	207	01	頃に現はれなければならぬと待つて居り	ました，けれどもドコへいつたか今度は全く見えな
	ま	207	02	ドコへいつたか今度は全く見えなくなり	ました．其の後も待つて居りましたがドウしても見
	ま	207	02	えなくなりました．其の後も待つて居り	ましたがドウしても見えません．無くなつたか知り
	ま	207	03	知りませんが全く迷ひ子になつてしまひ	ました．ところが不思議なことにはモウ大かたＢｉ
	ま	207	04	分だと云ふ時に非常に流星が多く御坐り	ました．私は日本で此の流星を見たと云ふ人は知り
	ま	207	06	私は其の頃はまだ気をとめませんで有り	ましたが……また話しに枝がさきますが，諸君の御
	ま	207	11	ふことで「春秋」に「星隕如雨」とあり	ましたが星の隕るのが雨の如くではアンマリひどい
	ま	207	13	で「星隕而雨」と云ふことだらうと言ひ	ましたが，星が隕ちて雨がふつたと云へば星は星，
	ま	207	16	ます．其の星が隕ちたと云ふのは今言ひ	ました流星と同じことと思はれます．して見るとＢ
	ま	208	01	は段々と流星と彗星との関係が分り出し	ました．しかし，これから流星のことを言ひますと
	ま	208	03	球や火星や土星と同じやうなものと言ひ	ましたが，また太陽から遠ざかつていつたやつが有
	ま	209	10	ので，ムヤミに長いもので三年前に見え	ましたのも御存じの通り随分長う御坐りました．ド
	ま	209	11	ましたのも御存じの通り随分長う御坐り	ました．ドウして彗星にはコンナに長い尾が出来る
	ま	209	13	の説を訳して東洋学芸雑誌に出して置き	ましたが，あの説を信ずれば，あれまでで有ります
	ま	210	07	も，たべて置かう」などと云ふ者が有り	ました．所が彗星はナカナカ突き当らなくて，アト

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（まし）	ま	210	08	なくて，アトで大こまりをした者も有り	ました．少したつと今度はまた山師が「ベルリンの
	ま	210	17	持つて行かれて寒える」と言ふ人も有り	ました．ゆでられるのも寒えさせられるのもドツチ
	ま	211	03	れほどに恐ろしく無い」と言ふ者も有り	ました．また「何でも無いことだ，地球に彗星が何
	ま	211	04	き当つても何とも無い」と言ふ者も有り	ました．しかし両方とも極端に走つた説で有ります
	ま	211	17	無いが何であらうかと云つただけで有り	ました，其れが彗星の尾の中に居つたので有ります
	ま	213	16	を乱り風俗を害するなどと云ふ説も有り	ました．其れから演劇と云ふものは維新前よりして
	ま	214	02	どは表向き見ることを憚つたもので有り	ました．また従前小説家と云ふものは其の中で泰斗
	ま	214	05	盧や村田了阿などの所へ買ひ出しに行き	ました．さう云ふ訳で有るから上等の学者の目から
	ま	214	06	からは何でもないもののやうに見下され	ました．馬琴や種彦でさへ，さうだから，ましてや
	ま	215	08	て「アダシゴトは，さておき」と読ませ	ましたが私の此のお話しも「アダシゴトは，さてお
	ま	215	17	多いか眷族の多少競べをしやう」と云ひ	ました．ソレデ鰐が眷族を連れて来て隠岐から因幡
	ま	216	01	て来て隠岐から因幡の方へ一パイになり	ました．其の上に兎が乗つて一つ二つと勘定をしな
	ま	216	03	た」と云つて怒つて兎の皮を剝いで行き	ました．所へ大己貴の神が通りかゝつてかわいさう
	ま	216	07	，摂津の菟我野と云ふ所に鹿が二疋居り	ました所が牡鹿が牝鹿に云ふには「昨夜，夢を見た
	ま	216	10	をふりかけられる前表で有らう」と答へ	ましたが果して牡鹿は猟人に殺されたと云ふ話しが
	ま	216	17	起り，物語と云ふツクリモノが出来て来	ました．其の中，竹取物語が始めで源氏物語にも物
	ま	217	09	小説文も舶来して人々の翫びとなつて居	ましたからソコラを考へ合せて然るべき学者が始め
	ま	217	14	で有りますが此の名はドウ云ふ所から出	ましたかと云ふに仏経に提婆品だの普門品だのと云
	ま	217	17	御坐います．其れから色々の物語が出来	ましたが今以て名高いのは伊勢物語，其れから源氏
	ま	218	09	きや雨夜などの徒然を慰むる為めで有り	ました．また傍ら上等社会の婦人は深窓の中に居つ
	ま	219	12	のを第一にすることにツマリ論が落着し	ました．して見ると昔の風俗は自由結婚に近かつた
	ま	220	04	の夢見のことなどは作り物語だと云はれ	ましたが如何にも文章の面白いだけにお負け話しが
	ま	220	11	流行つて女子供のモテアソビモノとなり	ました．其れは画の方が重もで其の上へ説き明しを
	ま	220	14	話しなど種々様々の画入の慰み本が出来	ました．かの桃太郎，カチカチ山，舌切雀などの話
	ま	220	17	代女などを作り其の他，色々の作が出来	ましたが其の言葉つきから趣向の立て方まで下等社
	ま	221	09	々出来て講談師の種や貸本屋の料となり	ました．これは大かた浄瑠璃作者などが作つたと云
	ま	221	12	伝は元来，洒落本，草双紙の作者で有り	ましたが後には画入読本と云ふものを作りました．
	ま	221	13	したが後には画入読本と云ふものを作り	ました．其の趣向は重もに浄瑠璃本に出たもので有
	ま	221	14	菩提の類は近ごろ劇場でするやうになり	ました．また三馬，一九などは今日の言葉を用ゐて
	ま	221	16	も日用の言葉を以て一家の人情本を作り	ましたは何れも洒落本の口調から変化したものと思
	ま	221	17	三馬も種彦も画入読本と云ふものを作り	ましたが奇怪なことは勿論，自殺や残酷なことが多
	ま	222	03	意して意匠を支那の小説に採るやうにし	ました．こゝが他の作者より学問が有つたから了簡
	ま	222	08	士君子は見るのを恥るやうな様子が有り	ました．小説の来歴はこれまでとして，これから演
	ま	222	10	能の狂言とが転変してアー云ふ風になり	ましたと先づ大要を申して次に其の濫觴をザット述
	ま	222	12	久米舞，吉志舞など云ふ固有の舞が有り	ました．三韓来朝の後，三韓とモロコシから伝はつ
	ま	222	15	のが有り，婦女の間に白拍子の舞が有り	ましたが，また田楽と猿楽と云ふものが起りました
	ま	222	15	たが，また田楽と猿楽と云ふものが起り	ました．これは舞ばかりで無く高い所で芸をしたり
	ま	222	17	イことを言つて身ぶりをするもので有り	ましたが北条時代には田楽が盛に行はれて其の舞の
	ま	223	01	の中に故事などを交ぜてすることとなり	ました．これが演劇の濫觴とも云ふべきもので有り
	ま	223	03	り滑稽にかゝつた方は狂言として別にし	ました．然る所，慶長年中出雲からお国と云ふ女が
	ま	223	04	ふ女が上京して歌舞伎と云ふことを始め	ました．これは念仏踊だのヤゝ子踊だのと云ふ踊の
	ま	223	06	出たち，伝助と云ふ滑稽家を交ぜて踊り	ました．念仏踊と云ふは空也上人から始まつたもの
	ま	223	09	舞伎，若衆歌舞伎などと云ふものか有り	ましたが共に停止せられて承応年中に物真似狂言尽
	ま	223	10	名称を改め，京と江戸とに狂言座を立て	ました．其の始めは踊とヲカシミとが主になつて居
	ま	223	16	して其れに合して人形を遣ふことになり	ました．元文，宝永の時分には竹本筑後掾，世に義
	ま	224	02	つて俳優が人形の代りに働くやうになり	ました．後には浄瑠璃狂言，世話狂言と区別し年々
	ま	224	08	士君子の見物するもので無いやうになり	ました．其れゆゑ維新以来は官からも不都合のこと
	ま	224	10	と風評が有つて俳優や作者も気が付て来	ましたが，まだ兎角，強盗や情死の仕組は止みませ
	ま	224	12	の人々が演劇改良会と云ふものを起され	ましたのは定めて此の弊を矯正しやうと云ふので，
	ま	224	14	と演劇とは実に兄弟のやうなもので有り	ましたから此の後とてもヤハリ大いなる関係が有つ
	ま	225	08	かしいことを述べて諸君のお耳を煩はし	ました．行政法大意第三回明治二十年五月十四日ス
	ま	226	05	原則の区別を致しますることを申し上げ	ました．今日よりは純粋の行政部類に這入りまして
	ま	227	04	云ふことが大事で御坐います．私の聞き	ました所では日本の極古いときは郡に分れまして各
	ま	227	05	分れまして各郡に其の時分には何と云ひ	ましたか知りませぬが先づ只今の知事のやうなもの
	ま	227	06	ぬが先づ只今の知事のやうなものが有り	ました．其れから封建の世になりまして或ひは州と
	ま	227	07	か国とか云ふ一部を大名が所持して居り	ました．この大名と云ふものは世襲知事のやうなも
	ま	227	08	のは世襲知事のやうなものになつて居り	ました．大名の上には将軍と云ふものが有りまして
	ま	227	09	有りましてイクラか大名を総裁して居り	ました．これに就ては任命の仕方や何かは行政上，
	ま	228	04	裁判を異にし法律規則をも異にして居り	ましたから，ツマリ日本の行政法はムヤミに数が多
	ま	228	07	り，また町には町年寄と云ふものが有り	ました．かういふやうな有様で有りましたから一定
	ま	228	08	有りました．かういふやうな有様で有り	ましたから一定即ちユニテーと云ふことは有りませ
	ま	228	10	今では三府四十一県と北海道庁とになり	ました．この府と云ふことと県と云ふこととに付て
	ま	230	04	つて居ります．之を行政上の区画と定め	ましたのは廃藩置県のときからで有ります．また，

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（まし）	ま	233	06	で有りますが一番初めの卒業の年で有り	まし	たか私が参つて祝辞を述べましたが其の後ち段
	ま	233	06	年で有りましたか私が参つて祝辞を述べ	まし	たが其の後ち段々盛んになつて先刻幹事さんの
	ま	234	01	をしなければならないと云ふことを言ひ	まし	た．そこで私が答へましたには其れは甚だヲカ
	ま	234	01	云ふことを言ひました．そこで私が答へ	まし	たには其れは甚だヲカシイことで有る専門学校
	ま	234	09	出来ないと云ふことを話したことが有り	まし	たが，則ち此の専修学校は右様なる先生が嘗て
	ま	234	10	て日本語を以て教ふる学校の元祖になり	まし	た．ドウしても，これから後には日本語で専門
	ま	234	16	学問に用ひられるもので無いと思つて居	まし	た．其れが段々開けて今日ではギリシャローマ
	ま	235	01	ーマの言葉は半分は飾りものになつて来	まし	た．日本でも後には日本の言葉で高尚な学問も
	ま	235	13	学で，ワザは医術，其の後，砲術に移り	まし	た．尤も天文も渡りましたが其れは僅かで先づ
	ま	235	13	後，砲術に移りました．尤も天文も渡り	まし	たが其れは僅かで先づ一番は医術，其れから砲
	ま	236	13	云ふので其の大難事も追々に減つては来	まし	たが，ヤハリ御一新前までは鎖国攘夷の論が盛
	ま	236	16	逐はれ，また苦しめられた者も沢山有り	まし	た．尤も左様なる有様も御一新前になつてはヨ
	ま	237	10	をする人は右二つの大難事が全く消滅し	まし	た．先生もあり，本もあり，西洋語でやらうと
	ま	237	13	は世に歯せられぬと云ふ有様になつて来	まし	た．マルデ昔とウラヘラになつた．今日の学生
	ま	239	09	午後五時に上野着の汽車にて帰京いたし	まし	た．此の巡回に費しました日数は都合八十一日
	ま	239	10	にて帰京いたしました．此の巡回に費し	まし	た日数は都合八十一日で，此の間に公務上，巡
	ま	239	12	箇所でありまして，其の外，参考上に見	まし	た所は小学校，高等小学校，中学校，師範学校
	ま	239	13	小の社寺，等ナカナカ沢山なことで有り	まし	た．此の旅行を畢りまして帰京しますると，ス
	ま	240	01	，何々何々と矢をつく如くに詰問せられ	まし	た．けれども元来，上官又は他人の命，又は依
	ま	241	12	諸君にお話し致しまることは前に申し	まし	た区別の趣意で致しまするが，諸君の私にお問
	ま	242	04	を演説して貰ひたいと云ふお頼みが有り	まし	た．因つて其の需に応じ八月二十日を以て副典
	ま	242	05	そ四五十名の前に於て一場の演説を致し	まし	た．其の演説の大趣意は其の時の諸新聞に出ま
	ま	242	06	其の演説の大趣意は其の時の諸新聞に出	まし	たが甚だ欠くる所も有り，また一方から申せば
	ま	242	08	ら，これより新潟監獄に於て演説いたし	まし	た趣意に従つて申し上げることと致しませう．
	ま	242	09	とと致しませう．監獄は昔は牢屋と申し	まし	た．フランスではプリゾンと申しまして其の字
	ま	246	01	タキウチ即ち復讐と云ふ考へが沢山あり	まし	たから彼れは斯くの如き悪い事をした．因つて
	ま	246	02	く殺してしまへと云ふやうな考へが有り	まし	た．然れども孔夫子の言はれたる如く，人には
	ま	246	06	んで其の人を悪まずと云ふことを言はれ	まし	た．是れ実に万世不変の一大原則で有りまする
	ま	248	08	ことに基づくので有りませう．前に申し	まし	た所が則ち監獄の目的及び方法で有りまする．
	ま	250	06	三つの教育を終りまして並の人間になり	まし	たのを丁年者と申しまする．丁年者は則ち良民
	ま	251	04	云ふやうな者は直ちに首を斬つてしまひ	まし	たが今日では人を殺した者でもナカナカ容易に
	ま	251	06	覚束ないだらうと云ふやうな悪事を為し	まし	た者は已むを得ず終身の刑に処しまするけれど
	ま	253	17	りまする．其れから放免囚即ち監獄を出	まし	た者の中で種類が三つ有りまする．其の第一は
	ま	254	02	い間，監獄に居りまして窮屈な目を致し	まし	たから外へ出ると直きに妓楼へでも上つて見た
	ま	254	14	随分あるやうにも聞きまする．前に申し	まし	た如き次第で有りまするから監獄と云ふものは
	ま	254	17	さねばなりませぬ．古来，牢獄と名づけ	まし	た牢屋の前を通ると家へ帰つて門前で塩をかけ
	ま	255	06	徳内の悪事までも探索して之を持ち出し	まし	た．警察に於ては法律の違反者，又は国事に関
	ま	256	10	から救助することで有ります．今，申し	まし	た二つの種類の外に天災の救助と云ふものが有
	ま	258	12	の不良少年で有ります．これは前に申し	まし	た所の矯正院に於て掌るもの即ち救助すべきも
	ま	260	14	を設くること．これは相当の方法が立ち	まし	た上は或ひは郡区長，或ひは府県知事，或ひは
	ま	261	05	うと存じまする．前に段々と論じて参り	まし	た所をひつくるめて申しまするとと学校と慈恵と
	ま	261	17	の事を一言いたしませう．初めにも申し	まし	た通り，フランスにおきましては監獄のことを
	ま	262	05	入れておくと云ふやうな弊が大いに有り	まし	た．然るところ近世は段々と改良を加へまして
	ま	262	06	的は人心を改良すると云ふことに定まり	まし	た．故に今日の監獄は決して復讐の道具などと
	ま	264	10	して，此の部に於ては罪人の放免となり	まし	た者を保護して正業に就かしめ其の再犯を防ぐ
	ま	264	13	する監獄法などを参酌して一覧表を製し	まし	たが之を御覧になると監獄学の一斑は一目して
	ま	266	12	ます．而して大分，悔悟の徴をあらはし	まし	た者は緘黙法を用ひまして昼は多くの囚徒同様
	ま	266	14	まする．而して感化も其の効があらはれ	まし	たと看認めらるゝときに至りましては雑居法を
	ま	267	15	来エウロッパの有名なる学者たちの考へ	まし	たものを其の極宜しい所だけを引き抜いて申し
	ま	268	05	居りまする．因つて軍事の監獄に関係し	まし	たことは申し述べますまい．また監獄の目的及
	ま	269	03	所には一万五千七百〇六人の囚徒があり	まし	た．矯正院即ち感化院は男子の部は公立のもの
	ま	269	05	まする生徒の数は六千七百七十七人あり	まし	た．女子の部は公立のもの二箇所，私立のもの
	ま	269	07	て，其の生徒の数は千六百三十七人あり	まし	た．此の数を合せますと男子の部と女子の部と
	ま	270	04	者の教育の度合ひを其の入院の時に調べ	まし	たのを見まするとと一丁字をも知らざる者が四千
	ま	271	10	区別が有りまするが軍事の監獄に関係し	まし	たことは省きまして，普通の監獄に関係しまし
	ま	271	10	ことは省きまして，普通の監獄に関係し	まし	たことだけ申し述べませう．普通の監獄を別ち
	ま	272	09	改革のときに北海道庁に監獄署を置かれ	まし	たので北海道の集治監も通常の監獄も皆な北海
	ま	272	10	海道庁監獄署と云ふ部に這入つてしまへ	まし	たから名前の上では島地監獄と云ふものは消え
	ま	274	14	全国の監獄は総て中央政府の直轄と致し	まし	た為めに大いに改良を施すことが出来ました．
	ま	274	15	した為めに大いに改良を施すことが出来	まし	た．また，イギリスに於ては千八百七十年にこ
	ま	274	16	政府の直轄と定め以て大いに改良を加へ	まし	た．其の二国の改良の中で最も重もなる者は一
	ま	275	03	まして，これは近来，大いに進歩いたし	まし	た．殊にアメリカにては幼年囚，及び不良少年
	ま	275	10	発表せられましてから非常の改良を加へ	まし	た．其の後，内務省に於て各府県の典獄，即ち

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（まし）	ま	275	14	常に尽力せられまするの時機にまで到り	ましたから，これも遠からずして其の効を奏するこ
	ま	276	02	はハリツケにしろと云ふ如き主義であり	ました．然るに維新後の主義は罪を犯す者があれば
	ま	276	06	る．また維新前は復讐と云ふ意味があり	ましたけれども，今日では却つて憐愍と云ふやうな
	ま	276	11	なりませう．若し斯くの如き囚徒が有り	ましたときには其の自由を剝ぐことが今，一層長く
	ま	278	02	獄に関する実例監獄の改良のことを述べ	ました．これで監獄全体に係る事柄は了解せられた
	ま	278	03	ます．尤も此の講談に於ては前にも申し	ました通り陸軍海軍の監獄と国事犯のことは一切述
	ま	278	04	と国事犯のことは一切述べませぬであり	ました．此の上は我が国の現在の監獄上のことを論
	ま	278	08	申し述ることは出来ませぬ．前にも申し	ました通り本論は専ら監獄全体に係る事柄を述べた
	ま	011	04	我々はどこに居るかかういふ問題をかけ	ましたら「造作もない問題だ，誰でも答へが出来る
	ま	053	14	ないうちに仮名を教へ仮名の字面を知り	ましたら先づ「は」の字と「な」の字を知れば「は
	ま	076	10	言ひませうが一個人の上に付て言つて見	ましたら，さうで無く法律も経済もドチラでも諸君
	ま	123	07	か，日本も広いことだから随分穿鑿をし	ましたら酒に付ては沢山に色々なことがありませう
	ま	138	17	参ります．また其のキヽメの深浅を云ひ	ましたら小説の方が固くるしい本よりは斯様なこと
	ま	141	08	馬琴，三馬，京伝などは少々学問も有り	ましたらうが甚しきに至りては四書，五経も読めな
	ま	195	12	たが，若しもこれが天保年間ででも有り	ましたら，たゞ「立派な彗星だ」と言つただけでは
	ま	200	07	ひないと云ふことが分りました．と言ひ	ましたら，こゝで諸君がお疑ひなすつて「先の彗星
	ま	202	11	たです．この有様を日本の作者に言はせ	ましたら「各々カタヅをのんで待つて居つた」と．
	ま	245	12	に属するかと云ふことは，お分りになり	ましたらうから，こゝに於て監獄の目的及び方法を
	ま	139	09	承知の通りセクスピヤは彼の芝居を書き	ましたる人なるが其の智能の多いことは凡庸では無
	ま	254	08	と云ふ次第でありまするから，監獄を出	ましたる放免者と名づける者は十分の九分九厘は将
	ま	263	11	一番宜しいかと考へられます．前に述べ	ましたる四つの方法は国によつて其の用ひ方を異に
	ま	274	10	実に数万の囚徒を取り扱ふ所で前に述べ	ましたる如く一種の人心改良学校でありまするから
	ま	276	15	るものでありまする．以上に縷陳いたし	ましたることを約説しまするると監獄の行政上の位置
	ま	133	11	相違は無い」と思つたが遂に本人に伺ひ	ましたれば本人が「イヽエ，さうでは御坐りませぬ
	ま	133	14	て基督教を御覧なされましたか」と問ひ	ましたれば，かの役人が答へまするに「私は内に随
	ま	200	02	観測の結果を取つてＨａｌｌｅｙが調べ	ましたれば其の道は抛物線では有るが形ちから大き
	ま	001	12	のことゆゑ此の機会失ふべからずと考へ	まして，つまらないことなれども少し申します．こ
	ま	012	08	意もよく分りませう．話しをあとに戻し	まして日本は亜細亜の中，亜細亜は地球の中と云ふ
	ま	014	01	歩してから眼が益々遠ぎゝする様になり	まして我々の世界の外にも別に之に似たものが有る
	ま	014	08	くのだと言ひます処が余程はつきり見え	まして全く高い山や深い谷などで有ります．山だの
	ま	015	03	ませぬ．唯最初の一個所だけを直に測り	まして，あとは器械で角度と云ふものを測り三角と
	ま	015	04	と云ふものを測り三角と云ふものを作り	まして三角から三角に移り次第に先へ進んでドンナ
	ま	015	06	すに地球の表面に於て二個所の点を取り	まして先づ精密に其の距離を測りまして其れから先
	ま	015	06	を取りまして先づ精密に其の距離を測り	まして其れから先きは地球の上で或る距離を測る時
	ま	015	11	ると云ふのは例へば糸などの長さを測り	まして此の糸は八寸だと言へば，どの位の長さと云
	ま	016	06	置を比べて見ますと直径一寸の玉を拵へ	まして其れを地球の雛形にすると其の玉から三尺離
	ま	017	04	ります．先づ此の位で月のお話しはおき	まして此の外に何ぞ地球の近所に居るものが有るか
	ま	017	10	す．さつきの一寸の玉を地球の雛形とし	まして太陽の雛形はドンナものであらうといふと一
	ま	018	08	と太陽は我々の為めの生活の根元で有り	まして随分主人親分と貴んでも我々は恥る所は有り
	ま	018	17	く動く星です．支那人は之をひどく恐れ	まして螢＊惑がどこそこに来ると，どこそこに災か
	ま	019	07	で御坐います．其れからまだ辰星と申し	まして太陽のソバに居て滅多に離れない太陽の秘蔵
	ま	019	12	ら大層此の星を珍重しました．肉眼で見	まては木星に少し小さい位ですが望遠鏡で見ます
	ま	020	17	の星も同しく太陽のまはりを回つて居り	まして地球が内の方を回つて居ますと火星が外を回
	ま	023	03	ぬ．其れから木星は十七丁の距離に在り	まして太陽を一丈一尺とすると木星は一尺一寸あり
	ま	023	04	寸あります，直径が太陽の十分の一あり	まして地球からの距離は太陽よりは余程遠い．其の
	ま	024	14	系と言ひます．系は系図の系の字で有り	まして私が親子眷属に譬へましたのは決して無理で
	ま	026	06	海王星を太陽から三里ばかりの所へ置き	まして此の星をば一万九千九百里ばかりの所に置か
	ま	030	10	といふものは此の盆の形をして居るとし	まして，そこの中に我々の太陽系がはいつて居ると
	ま	031	04	えないのが有ります．其れは星雲と言ひ	まして近世になつて大層名高くなつたもので有りま
	ま	031	10	此の頃，分光器と言ふものが発明になり	まして総ての物体が瓦斯か固体かと云ふことを見分
	ま	031	10	ふことを見分けることが出来る様になり	まして此の純粋の星雲は常の星と違つて瓦斯だと云
	ま	033	10	と言はれ又「酒は百薬の長」とも言はれ	まして説が両端になつて居ります．さて酒は世間に
	ま	033	16	つる時などには，いつでも酒が媒になり	まして新聞紙などにも，いつ何会が盛会であつたと
	ま	034	15	人は余り酒を用ひませぬ．歴史などを見	ましても酒を飲まない人は古へより功を成し国家の
	ま	036	05	の方は調子が合ふから人が聞いても感じ	ましてよく聞えますが「大いなる社会は大いなる酒
	ま	057	05	私立衛生会埼玉支会の第三総会に罷り出	まして聊かお話しを致さうと思ひますが其の前に諸
	ま	067	07	の諸君が卒業証書を得られましたのを観	まして大いに感ずる所が御坐いました．其れ故に私
	ま	068	05	るの能力を有するには二回の試験を要し	まして第一回の試験は三年間大学に於て法律学を修
	ま	068	08	ｎｄａｒと申します）これを四年いたし	まして裁判官代言人検察官に就て実地研究をして後
	ま	069	10	三十九人となつて居ります．さういたし	まして此のＡｓｓｅｓｓｃｒ即ち試補官と申す者は
	ま	070	04	任以上の者は僅に三百六十四人で御坐い	まして其の中に法学士の称を持つて居る人数は調べ
	ま	070	11	りませぬ．然るに前陳の如く僅で御坐い	まして斯の如き需要供給の不平均で御坐いますから
	ま	070	14	ぶ所は私は昨日は大学の卒業式に招かれ	まして出席いたしましたがアチラでも十一人ほど卒

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（まし）	ま	073	05	書の授与また卒業諸君の演説などが有り	まし	て賢才の輩出し教育の盛んなること実に欣喜に
	ま	073	11	の二つの者は社会上に必要なる点に至り	まし	ては固より優劣も無く同一のもので御坐んす．
	ま	076	12	たゞ二個の学科の学術上の性質から論じ	まし	て右の通りになるといふことを申しましたので
	ま	082	12	ば只今申したことの証拠は真に沢山あり	まし	て甚だ明らかで御坐ります．昔の例を挙ぐれば
	ま	088	13	骨折つて教訓いたしましたことも御坐り	まし	て器械をやつたこと学校を建て教師を遣はした
	ま	089	07	ばなりませぬ．モトの悪しき有様を出で	まし	て善い有様へ移る願ひと望みと志しが無ければ
	ま	091	15	も憚り有る様なれども私は年たけて居り	まし	て．海にも陸にも旅をして二回ばかり地球を周
	ま	095	01	身を殺しても仁を為すといふことがあり	まし	て尋常一般の人でも他人の危きに臨んでは之を
	ま	096	08	と言ふも，これは情況上のことで御坐り	まし	て充分の証拠とは看做せませぬ．既に我が治罪
	ま	120	08	明治二三年頃から麦酒などが移住して来	まし	て此の節は私の居る神保町近辺を通つて見ても
	ま	124	09	．凡そ卒業生といふものは今漸く世に出	まし	て善く励んで基督教をのべ伝へるうちに必ず二
	ま	133	09	師は支那のズット内国の偏鄙な村に至り	まし	て存外其の村の戸長の如き役人に深切に迎へら
	ま	136	01	．そこで見物人が表の口にはいり裏へ出	まし	て其の庭を見ますれば誠に面白くも無く，また
	ま	137	05	の中に改良と言ふことは甚だ流行いたし	まし	て現に只今も書き方改良の説明もありましたが
	ま	137	14	から持ち出されては済まないことと思ひ	まし	て今日其のお話しを致さうと存じます．小説と
	ま	138	08	ぢきに眠つてしまひました．小説を読み	まし	ては斯様に眠つてしまふことは出来ません．ウ
	ま	142	12	となつて殆んど其の跡を絶ちズット下り	まし	て馬琴の八犬伝を書いた時分が最も小説の盛ん
	ま	146	06	ら訳が無からうと思ひます．斯様いたし	まし	て其の小説の極精良なる高尚なるものが果して
	ま	146	08	ば此のことは是非やつて貰ひたいと思ひ	まし	て聊か諸君のお耳を煩はしたことで御坐ります
	ま	154	01	ぬ．憲法と行政法との関係はこれ位にし	まし	て，この次ぎには日本の全国行政，地方行政，
	ま	159	05	さうはいけない．明の頃に天主教が渡り	まし	て今日は繁昌になりましたが支那では老子，孔
	ま	191	02	て見たいといふ考へです．この儀に付き	まし	て仏国のモンテスキューといふ学者が社会には
	ま	195	07	前にあるかなければならない用事が有り	まし	て，相手と一所に東の方に出て参りましたが，
	ま	196	05	「何でもないことだ」と言ふのが流行り	まし	て旧は理屈を知らなくつて「こはい」と言つた
	ま	197	01	ますと驚いてドロボウでは無いかと思ひ	まし	ても，其の帽子を看て大学の学生だと云ふこと
	ま	198	07	ります．其れは春の頃にタケノコがのび	まし	て，まだ竹にならない時に庖丁でハスカケに切
	ま	199	05	，このやうな考へをＮｅｗｔｏｎが起し	まし	て実際しかしながら彗星が其の通りになつて居
	ま	202	03	ほどの数学者で有りますが，この人が出	まし	て彗星が太陽を離れて方々を回つて居るうちに
	ま	203	12	でが分りました．このやうな発見が出来	まし	てからは，ナニソレの前表で有るとか言つてム
	ま	204	14	ですが其の頃は非常に驚いたものと見え	まし	て，ローマ法皇は「毎日正午には鍾を鳴らせ，
	ま	205	05	で有ります．近頃，望遠鏡の発明が有り	まし	てから少くも一年三度位，彗星の出ない時は有
	ま	207	08	とが有ります，あれのことが流星であり	まし	て，秋の頃，沢山に「ソラ飛んだ，また飛んだ
	ま	208	02	すと長くなりますから先づこの位でおき	まし	て今度は彗星に立ちかへつて彗星は一体，何で
	ま	209	05	，明りを通すもので無いと色々説が有り	まし	てハッキリと申せませんが，しかし中に明りを
	ま	211	15	に寝て居り，起きて居る者も起きて居り	まし	て少しも何も変つたことは有りませんだつたが
	ま	222	13	々盛になつて上古から伝はつたのは衰へ	まし	て今は僅かに東舞と倭舞の類を存し，また神楽
	ま	224	17	これまでと違つて立派な人の仕事となり	まし	て看る人の意も，これまでとは格別で有ります
	ま	226	05	会堂に於て宇川盛三郎君講演前回におき	まし	ては行政上で二大原則の区別を致しますること
	ま	226	06	た．今日よりは純粋の行政部類に這入り	まし	て第一に行政官権並びに行政議会及び行政裁判
	ま	226	11	ことを講究しまするには先づ二部に分ち	まし	て第一部は行政，第二部は行政裁判と云ふ順序
	ま	227	05	した所では日本の極古いときは郡に分れ	まし	て各郡に其の時分には何と云ひましたか知りま
	ま	227	06	が有りました．其れから封建の世になり	まし	て或ひは州と云ひ或ひは国と云ひ其の州とか国
	ま	227	09	た．大名の上には将軍と云ふものが有り	まし	てイクラか大名を総裁して居りました．これに
	ま	228	09	ませんでした．漸く明治の四年頃になり	まし	て日本全国を一定するに付て廃藩置県と云ふこ
	ま	228	10	藩置県と云ふことが行はれ段々と一定し	まし	て今では三府四十一県と北海道庁とになりまし
	ま	228	15	町村が有ります．この町村の区別に至り	まし	ては地学上ドウ区別したがよいか知れませぬが
	ま	229	04	其れから村の数は五万九千三百八十あり	まし	て合せて七万一千五百九十七の町村と云ふもの
	ま	230	04	ります．また，この区画を色々に利用し	まし	て陸軍に於ては数多の県を合せて一つの軍管を
	ま	231	01	上の仕方になりまするに沿革はさておき	まし	て先づ第一に二つの原則が有ります．即ち第一
	ま	231	06	政は数人でやるのです．之を四段に分け	まし	て上から言ひますと，天皇陛下が内閣に居られ
	ま	231	09	臣は行政事務を部分けして担任して居り	まし	て，各大臣の側らに専門の議会を置きます．例
	ま	232	02	有ります．之に付ては府県会規則にあり	まし	て，よく其の文言を諳んじて居ませぬが府県知
	ま	232	14	には府県行政，第三には町村行政と分け	まし	て其の各自に就いて其の行政官権及び行政議会
	ま	238	09	にも御勉強なさるやうに致したいと思ひ	まし	て祝辞を述る序でに一言其れだけのことを御忠
	ま	239	05	県，新潟県の七県の監獄巡閲の命を受け	まし	て，去る六月九の午前六時に上野発の汽車にて
	ま	239	12	，戸長役場，等合せて百〇三箇所であり	まし	て，其の外，参考上に見ました所は小学校，高
	ま	239	14	山なことで有りました．此の旅行を畢り	まし	て帰京しまするとスタチスチック社社員，明
	ま	240	08	．例へば私の友人に〇〇と云ふ人が有り	まし	て，此の人は未だ配偶者が無い．ところで私に
	ま	242	09	しました．フランスではプリゾンと申し	まし	て其の字義はラテン語に基づきまするとツカマ
	ま	243	16	執行，又は適用を掌ることとなつて居り	まし	て其の他の法律，即ち全国の利益に関する行政
	ま	245	03	通常の悪人とは全く変つたるもので有り	まし	て数から申しますと，有れども無きが如きもの
	ま	247	12	ので有ります．其の第一は懲戒法と申し	まし	て罪人を懲らしめるもので，これは所謂，道具
	ま	247	12	もので，これは所謂，道具じかけで有り	まし	て悪い事をしたから斯くの如き現在の地獄の苦

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（まし）	ま	247	16	の第二は，教誨法即ち心の教育法で有り	まし
	ま	248	05	るので有りまする．然るを監獄に這入り	まし
	ま	248	11	索して之を裁判所に引き渡すものであり	まし
	ま	248	13	者には刑の言ひ渡しを為すだけに止まり	まし
	ま	250	01	十歳に至るまで）は之を未丁年者と唱へ	まし
	ま	250	06	ひまする．付ては此の三つの教育を終り	まし
	ま	250	07	と申しまする．丁年者は則ち良民と唱へ	まし
	ま	250	15	ないと云ふので，監獄と云ふものを設け	まし
	ま	251	07	に於て心の教育を受くること十五年たち	まし
	ま	251	08	遷善の徴をあらはした者は仮出獄を許し	まし
	ま	251	11	れませう．今度は未丁年の不良者であり	まし
	ま	251	12	此の不良少年の中には種類が三通り有り	まし
	ま	252	02	有ります．これは純粋の不良少年で有り	まし
	ま	252	05	ければなりませぬ．之を二た通りに分ち	まし
	ま	252	06	係者から願ひ出る者を出願懲治者と申し	まし
	ま	252	09	，皆な当人の心を改良するが目的で有り	まし
	ま	253	06	院に於ては其の中の仕切りを三つに分け	まし
	ま	253	13	は盗賊が少ないと云ふことの原因で有り	まし
	ま	254	02	金を多少有する者は長い間，監獄に居り	まし
	ま	254	03	楼へでも上つて見たいと云ふ考へを起し	まし
	ま	254	06	資金なき者と云ふのは前のと同様であり	まし
	ま	256	05	す．而して此の慈恵に二つの種類が有り	まし
	ま	256	07	しくは町村よりして救助することで有り	まし
	ま	256	13	結果は何かと云へば，ただ二つに止まり	まし
	ま	256	14	第一の結果は貧民の救助即ち慈恵で有り	まし
	ま	257	02	ぬ．其の第一の種類は天然の貧民で有り	まし
	ま	257	03	，等で第二の種類は社会上の貧民で有り	まし
	ま	258	01	，貧民の救助．これに二つの種類が有り	まし
	ま	258	06	救助いたしまする者に二つの種類が有り	まし
	ま	258	09	を矯正すること（即ち心の救助）で有り	まし
	ま	258	11	ませぬ．此の不良少年の種類は四種あり	まし
	ま	258	16	帰郷旅費の無い者は別房留置者と名づけ	まし
	ま	259	14	うに救助しては惰民を製造する訳になり	まし
	ま	260	09	したい．また救助の種類もイクツも有り	まし
	ま	261	17	めにも申しました通り，フランスにおき	まし
	ま	262	02	ギリスの如きはペニテンシヤリーと申し	まし
	ま	262	06	た．然るところ近世は段々と改良を加へ	まし
	ま	262	11	り有りまする．其の第一は分房法と云ひ	まし
	ま	262	11	と云ひまして，これは一房に一囚をおき	まし
	ま	262	14	が多く有りまする．第二は緘黙法と云ひ	まし
	ま	262	16	ども此の方法はヨホド実際に困難であり	まし
	ま	263	03	もので有りまする．第三は雑居法と云ひ	まし
	ま	263	07	もので有りまする．第四は階級法と申し	まし
	ま	263	08	法とを折衷してこしらへたるもので有り	まし
	ま	263	16	なります．其の第一は犯罪予防部と申し	まし
	ま	264	04	て其の各家族に家族長と云ふものを置き	まし
	ま	264	06	居りまする．第二は懲必＊感化部と申し	まし
	ま	264	07	ての犯罪人を懲必＊し感化する所で有り	まし
	ま	264	08	有りまする．第三は未決者監禁部と申し	まし
	ま	264	10	有りまする．第四は出獄人授業部と申し	まし
	ま	266	03	（則ち俗は感化院と申すところ）で有り	まし
	ま	266	06	主と致します．乙の場所は懲治場で有り	まし
	ま	266	08	ことを回想せしめ之を悔るやうに致させ	まし
	ま	266	08	をあらはしたときに至つて家族法を用ひ	まし
	ま	266	11	しまする．此の所に於ては階級法を用ひ	まし
	ま	266	12	の徴をあらはしました者は緘黙法を用ひ	まし
	ま	266	15	らはれましたと看認めらるゝときに至り	まし
	ま	266	15	らるゝときに至りましては雑居法を用ひ	まし
	ま	267	11	此の部の事業は最も大切なることで有り	まし
	ま	268	03	述べませう．これには二つの区別が有り	まし
	ま	268	09	を別ちますると其の第一は留置場と申し	まし
	ま	268	13	とも有りまする．第二は地方監獄で有り	まし
	ま	268	14	人を入れて置き，第三は中央監獄と申し	まし

出現文脈	
て其の目的は「汝の為したる所業は悪い，人間	
てからは益々悪い上に悪い者になると云ふこと	
て，裁判所に於ては右の犯罪人及び嫌疑者の判	
て，さて其の刑を執行するのは監獄で有ります	
て専ら之に教育を施すべき時で御坐います．未	
て並の人間になりましたのを丁年者と申します	
て，終りを善くする者は死亡するまで良民を以	
て，こゝに於て懲戒と教誨とを施して此の罪人	
て悔悟遷善の徴をあらはした者は仮出獄を許し	
て，たゞ警察上よりイクラかの監視を受くるだ	
て此の者を不良少年と名づけまする．此の不良	
て満二十歳以下でも二十歳以上の者と同様の悪	
て未だ罪人では有りませぬが，かういふ者は先	
て親族，又は関係者から願ひ出る者を出願懲治	
て，また出願人は誰も無いが例へば東京の日本	
て，また一方からするときは犯罪人を予防する	
て出願懲治者の部，不論罪懲治者の部，幼年囚	
て盗賊は重もに東京大坂の如き大都府に沢山製	
て窮屈な目を致しましたから外へ出ると直きに	
て忽ち其の資金を無くなしてしまふ者が多く有	
て第三の仕事を知らざる者も，これもドウも仕	
て，第一は公けの救助，第二は私の救助で有り	
て第二の私の救助と申しますものは一私人，又	
て第一の結果は貧民の救助即ち慈恵で有りまし	
て第二の結果は犯罪人を予防すること，即ち貧	
て，例へば盲人，聾，唖，癈疾，不具者，等で	
て，例へば衣食住の一部，又は全部を欠く者（	
て第一種は盲人，聾，唖，癈疾，不具者にして	
て，第一種は壮健なる貧民にして親族の救助し	
て，これには教育，即ち智育，徳育，体育を施	
て，其の一は出願懲治者，其の二は不論罪懲治	
て監獄の中に置いてあります．これは全国を調	
て甚だ不都合で有ります．よつて例へば東京の	
て例へば訓盲唖院，養育院即ち乞食院，矯正院	
ては監獄のことをプリゾンと申します．其の意	
て其の意味は懲治する場所と云ふことで有りま	
て監獄の目的は人心を改良すると云ふことに定	
て，これは一房に一囚をおきまして，夜も昼も	
て，夜も昼も他の囚徒と面を見合すことも，話	
て，これは昼間は厳密なる規則を以て囚徒を緘	
て多くの囚人を一つの場所に集めて仕事をさせ	
て，これは多くの囚徒を集め別に区別を致しま	
て，これは分房法と雑居法とを折衷してこしら	
て刑期の初めは厳密なる分房法を用ひ，其の後	
て，此の部に於ては不良の少年を教育感化し，	
て，さうして，この家族長が教育の世話もし，	
て，此の部に於ては幼年犯罪者を除いて其の他	
て則ち俗に称する所の監獄で有りまする．第三	
て，此の部に於ては未決者を一時監禁しておく	
て，此の部に於ては罪人の放免となりました者	
て此の所に於ては放恣不良の幼年者を感化し以	
て此の所に於ては幼年犯罪者を入れまする．其	
て，大分に悔悟の徴をあらはしたときに至つて	
て其の模様を験しして専ら教育を施し丁年に至	
て最初は専ら懲戒を主として分房法を用ひます	
て昼は多くの囚徒同様の場所に於て仕事を致さ	
ては雑居法を用ひまして其の模様を試験し，い	
て其の模様を試験し，いよいよ改俊したるに相	
て若し此の部の仕事が行き届きませぬと常に何	
て一つは軍事の監獄で有り，一つは普通の監獄	
て，これは各警察署，又は憲兵署などの在る所	
て，こゝには通常の罪人を入れて置き，第三は	
て，こゝには刑期の長い者を入れて置き，第四	

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（まし）	ま	269	02	前と違ひますが中央獄は二十四箇所あり	まし	て其の中，六箇所が女子部で，アトの十八箇所
	ま	269	05	もの三十四箇所，合せて四十五箇所あり	まし	て，そこに居りまする生徒の数は六千七百七十
	ま	269	06	もの二十二箇所，合せて二十四箇所あり	まし	て，其の生徒の数は千六百三十七人ありました
	ま	269	08	男子の部と女子の部とで六十九箇所あり	まし	て，其の生徒の数が八千四百十四人となります
	ま	269	10	無籍乞食，親不孝，其の他のもので有り	まし	て其の中，最も多き者は窃盗，強盗で其の数五
	ま	270	03	に関係することが最も甚しいものと見え	まし	て，前に申した八千四百十四人の者の教育の度
	ま	270	05	をも知らざる者が四千四百七十二人あり	まし	て丁度五割三分ほどに当りまする．また読むこ
	ま	270	06	つて居りまする者が千三百四十三人あり	まし	て丁度一割六分ほどに当りまする．また読むこ
	ま	270	08	つて居りまする者が千七百七十八人あり	まし	て丁度二割一分ほどに当りまする．また読むこ
	ま	270	09	知つて居りまする者が七百八十七人あり	まし	て丁度九分六厘ばかりに当りまする．また小学
	ま	270	10	小学の教育を受けたる者が三十四人あり	まし	て丁度たゞの四厘に当りまする．また，小学教
	ま	271	10	が軍事の監獄に関係しましたことは省き	まし	て，普通の監獄に関係しましたことだけ申し述
	ま	272	08	治監と申しまするは俗に島地監獄と申し	まし	て北海道に設けてありまする．然るところ昨年
	ま	273	04	りまする）府県監獄は百九十二箇所あり	まし	て，集治監，即ち中央監獄は東京，宮城，三池
	ま	273	15	千〇四十二人，懲治者は百二十一人あり	まし	て其の外，別房留置者と申す者が千八百六十七
	ま	275	02	及び不良少年の教育，並びに保護であり	まし	て，これは近来，大いに進歩いたしました．殊
	ま	275	08	新の改革と共に監獄も非常の改良を受け	まし	て明治十四年九月十九日の太政官達第八十一号
	ま	275	09	達第八十一号を以て監獄則を発表せられ	まし	てから非常の改良を加へました．其の後，内務
	ま	275	10	に於て各府県の典獄，即ち監獄長を集め	まし	て典獄会議を開かれまして監獄取扱上の細密な
	ま	275	11	ち監獄長を集めまして典獄会議を開かれ	まし	て監獄取扱上の細密なることを打ち合せ致され
	ま	276	07	では却つて憐愍と云ふやうな意味があり	まし	て何卒して不良なる心を改めて良民にしてやり
	ま	016	12	不幸にして其れは有りませぬ．若し有り	まし	ても分量が甚だ少くて迚も我々の測量に届かな
	ま	026	04	すが，こんな大きな物さしを工夫して見	まし	ても二十二万などといふ大きな数が出ます．さ
	ま	027	01	つかなくなりズット気張つた物さしにし	まし	ても余り大きい数になりますから星学者は広大
	ま	077	04	の例を挙げて見ますと勉強して金を拵へ	まし	ても窃盗だとか詐偽取財だとかに由て其れを奪
	ま	141	13	能力が入りまする．たとへば経書を読み	まし	ても其の意味通りに講じますは誰でも出来るが
	ま	147	13	政法であります．また山林のことを調べ	まし	ても川がイクツあるといふことを調べましても
	ま	147	13	しても川がイクツあるといふことを調べ	まし	ても例へば此の川にはイクラの費用がかゝつて
	ま	147	16	あります．其れからまた季候の如きにし	まし	ても季候を調べるのは是非，必要でありますが
	ま	148	17	調べも出来ませぬ．また年齢のことにし	まし	ても徴兵年齢とか学校年齢とかいふ必要な年齢
	ま	149	05	は，ちつとも関係が無いといふ事実にし	まし	ても，このやうに関係なさざるものは無いだら
	ま	188	17	ことになつて居ります．また日本におき	まし	ても立法上のことと執行上のこととは必ず分け
	ま	191	08	も無い．モンテスキューの説を読んで見	まし	ても裁判をするは法律を執行するに止まる．政
	ま	226	08	ども行政と云ひ行政裁判と云ひ何れにし	まし	ても其の目的たる行政上の法律規則を適用する
	ま	241	07	しても構へませぬ．また監獄のことにし	まし	ても塀が立派で有つたとか，場所が高かつたと
	ま	249	03	，警察と裁判が何ほど立派に整頓いたし	まし	ても監獄が其の宜しきを得ませぬければ警察も
	ま	249	06	．また，裁判と監獄が何ほどよく整頓し	まし	ても警察が悪いとムヤミに誰でも拘引して警察
	ま	273	16	人あります．これは監獄にて放免になり	まし	ても行きどころが無いとか，又は帰郷旅費が無
まし	増	039	08	なる訳かと云ふと開けぬ社会には人口が	増し	てはクラシが出来ぬ．殊に女子は身体も弱くて
	増	069	05	は司法官及び代言人たるを望む者年々に	増し	て千八百七十八年には登用大試験を願ひたる者
	増	173	17	訳はといふと我が国の人数が年々増しに	増し	て来ます．現在人別調べのことが無いから分り
	増	255	13	を将軍へ妾同様に売り付けて其の禄高を	増し	て貰つたと云ふやうなことも無いではあります
	増	173	17	．其の訳はといふと我が国の人数が年々	増し	に増して来ます．現在人別調べのことが無いか
	増	069	16	一国政府の上から観ますれば供給者益々	増し	ました時には政府に取つては容易に立派なる裁
まじ	ま	103	03	か．私は宗教の力に依るの外に方便ある	まじ	と思ひまする．日本人が保守の心勘なく物事に
	ま	100	16	ならず，外に多くの考へが無くてはなる	まじ	．即ち我々が斯く軽蔑されたる原因を深くたづ
ましたら	ま	233	13	ります．丁度，今から十年余も前で有り	ましたら	うが或る人が私に申しまするには今，西洋
	ま	274	06	我が国の監獄のことは大抵お分りになり	ましたら	うから，これより監獄の改良と申すことを
まじつ	交	220	01	で有るが文章の飾りが有るだけに小説が	交つ	ては居らぬかと思はれる．既に先日，学士会院
まして	ま	219	13	分は上等社会さへ，さうで有つたから，	まして	下等の風は思ひやられます．しかし箇様な風
	ま	234	04	ソンナことでは十分なことは出来ない．	まして	専門学校で翻訳書をもつて教へるやうな先生
	ま	220	05	にお負け話しが有ることで有りませう．	まして	曽我兄弟のことを書いた曽我物語だの，義経
	ま	214	06	した．馬琴や種彦でさへ，さうだから，	まして	や京伝だの三馬だのに於ては狂言作者同様に
まして	況	092	10	斯の如き立派な結果が御坐りますならば	況して	尚ほ智慧を備へて居て道理を知つて居る諸君
ましまず	在	134	09	さすれば人々爾等の善き行ひを見て天に	在す	爾等の父を崇むべし」と．この言葉は人々皆承
まじめ	真	101	02	．其の一つは何であるか．兎角日本人は	真面目	でないことが一つの原因である．即ち日本人
	真	101	08	う．まづ第一に何を証拠として日本人は	真面目	でない強情でない頑固でないといふかとの疑
	真	102	15	如く一方に於ては日本人がうつりやすく	真面目	でないといふこと，また一方に於ては我が日
	真	103	15	ざるが故に気力なし．さすれば日本人を	真面目	ならしむるの手段は宗教を盛んにするにある
	真	103	02	らば如何なる改良をしたならば日本人は	真面目	になり得べきか．私は宗教の力に依るの外に
まじわり	交	173	04	のになると「畜生」などと嘲けり罵つて	交り	を絶つのが今日民間の常であります．我が国の
ます	ま	018	10	回つて居る，其の一遍回つて元の所へ来	ます	間が即ち一年と言ふもので有ります．そこで太
	ま	030	09	ないといけませぬ，こゝによい物が有り	ます	アマノガハといふものは此の盆の形をして居る

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（ます）	ま	012	05	．私が「地球の位置」と題をつけて致し	ます	演説は先づ今申しました位を目的と致しますこ
	ま	016	12	ら水も有り空気も有り海も有り川も有り	ます	かと云ふに不幸にして其れは有りませぬ．若し
	ま	023	02	すから今日申した数が明日はウソになり	ます	かも知れませぬ．其れから木星は十七丁の距離
	ま	026	11	も有りませうが太陽より大きいのも有り	ます	か知れませぬ．此の一番太陽に近い星は何で有
	ま	029	09	ウ少し分るものが有る．其れは何で有り	ます	かと云ふと一体，星と云ふものはどの辺には沢
	ま	086	04	貴くする所のものは如何なるもので有り	ます	か，社会の進歩と所謂文明開化を妨げるもの，
	ま	086	05	を進ませるものは如何なるもので御坐り	ます	か，また彼の道徳と道徳の法と其の基本は何で
	ま	086	06	道徳と道徳の法と其の基本は何で御坐り	ます	か，人の心を深く動かして人間社会を改める所
	ま	086	07	を改める所の盛んな勢力は何処に御坐り	ます	か，これに付て若し世の人々の自分の見込み，
	ま	173	12	心持ちがします．諸君はドウいふ味がし	ます	か．これは後の歴史で無くは，説（即ち考へ）
	ま	175	04	の人に義務を負つて居ります．非であり	ます	か，是でありますか．また此の四箇年の間は国
	ま	175	04	て居ります．非でありますか，是であり	ます	か．また此の四箇年の間は国人の難儀な年柄で
	ま	180	02	一身を犠牲になさしめた者は何で御坐り	ます	か．「我が飢し時に我に食はせ我が渇せし時，
	ま	180	06	に千辛万苦を甘ぜしめた者は何で御坐り	ます	か．イエス，キリストに在ては「或はユダヤ人
	ま	181	05	キリスト教には此の力があるので御坐り	ます	か．キリスト教にはドウいふ真理があつて其の
	ま	181	06	理があつて其の改革が出来るので御坐り	ます	か．私の考へではキリスト教に此の力がある訳
	ま	002	01	なりました．一面識もないお方では有り	ます	が，お目通りを致した所，別のことでも無い，
	ま	012	13	ら先きのことをお話しします積りで有り	ます	が其れに付てはちょとお話しをしておかねばな
	ま	016	03	た通り其の直径三千二百四十八里で有り	ます	が月の直径は八百八十七里ほか有りませぬ．其
	ま	016	08	ます．距離も随分遠く大きさも大分違ひ	ます	が兎も角も月は地球の党類には違ひないです．
	ま	017	02	から大きさもよく地球に似たもので有り	ます	が其の表面に我々の党類は住つて居ない，申さ
	ま	017	12	ります．一寸の玉は手の指ででもまはり	ます	が一丈一尺の玉は両手でも抱きまはすことは出
	ま	018	14	れを惑星と名づけまする．いくらも有り	ます	が最も名高くて諸君の御存じのは西郷星で有り
	ま	019	08	とも申します．次に木星と言ふ星が有り	ます	が，これは歳星とも唱へます．支那では昔し貴
	ま	019	16	ければ見えませぬ．此の外にもまだ有り	ます	が此の位でおいて外のことに移りませう．今ま
	ま	021	14	世界になると云つて楽んで居る人が有り	ます	が其の黄金世界に既になつて居る所が有るかも
	ま	023	01	ましたのだけが二百いくつと云ふ程あり	ます	が其れでおしまひでは無い，化学の元素よりは
	ま	024	01	居る．或は遠く或は遅く或は早く運動し	ます	がいづれも自分で熱や光りを持たない，皆太陽
	ま	025	02	などに比べると夥しい大きいもので有り	ます	が矢張り近所に同士が有るであらうか，まるで
	ま	026	14	れはαＣｅｎｔａｕｒｉといふ星で有り	ます	が其れは鹿児島辺か高知辺からは見ゆる星で八
	ま	026	15	で有ります．これが一番近い星でで有り	ます	が近いと云つても随分遠い．モウ一つは白鳥宮
	ま	027	15	望遠鏡で無ければ見えない星が沢山あり	ます	が其れは小さいから見えないのか遠いから見え
	ま	028	10	つて居る星が有る．多くは散らばつて居	ます	が中にはコンナにかたまつて居ます．先づ二つ
	ま	028	11	は肉眼で見ますと唯一つの星の様に見え	ます	が望遠鏡で見ますと二つに分れて見え，多くは
	ま	028	15	では確に明りを持つたものが二つは有り	ます	が外に惑星の様に明りを持たない眷属が多分有
	ま	030	02	す．一体，肉眼で見えない星が沢山あり	ます	が其の中で此のアマノガハの上にある星が一番
	ま	031	09	ゆるもので有るまいかと云ふ疑ひが起り	ます	が此の頃，分光器と言ふものが発明になりまし
	ま	033	05	と申す者で節酒会賛成者の一人で御坐り	ます	が節酒のことに付ては諸君の高論卓説もさぞか
	ま	033	11	．さて酒は世間に数千年来行はれてあり	ます	が酒を以て国を亡ぼすといふ方には世間で賛成
	ま	034	16	り功を成し国家の為めになつた人が有り	ます	が酒を飲んで大事業を仕遂げたといふ人は無い
	ま	035	03	慧は徳利の中に入る」といふことが有り	ます	が何と面白いことでは御座りませぬか．諸君は
	ま	035	15	まする殖民政略などのことも大慾で有り	ます	が独逸や仏蘭西や英吉利などの人が皆酒を慎ん
	ま	036	01	欲，大いなる欲は大いなる社会」と言ひ	ます	が若し「大いなる社会は大いなる酒好き，大い
	ま	036	05	ふから人が聞いても感じましてよく聞え	ます	が「大いなる社会は大いなる酒好き」と言つた
	ま	051	05	生徒を集めて講釈を致したことは御坐り	ます	が甚だ不調法で御坐ります．先づ仮名文字は便
	ま	052	12	一旦に大決断をやるのは宜い様で御坐り	ます	が，いろいろまた困難のことも起つて来る．其
	ま	055	03	しいことを起すは大困難のことで御坐り	ます	が幸ひ諸君が会員となつて下されたからはこゝ
	ま	057	06	罷り出まして聊かお話しを致さうと思ひ	ます	が其の前に諸君に向つて祝し且会頭及び幹事諸
	ま	057	09	ｌｌｈａｐｐｉｎｅｓｓと云ふ語があり	ます	が如何にも身体が健康でなければ幸福は得られ
	ま	057	16	御坐います．次で本題を陳べやうと思ひ	ます	が其の演説の前にモウ一つ諸君に向つてお断り
	ま	058	07	から半開化衛生上の害を述べやうと思ひ	ます	が凡て世の開化と云ふことは頗る良いことで必
	ま	059	08	じたと云ふも，これ皆開化の効能であり	ます	が，これは開化のづつと進んだ所の話しで未だ
	ま	060	15	ほ一層進んで其の害を詳論しやうと思ひ	ます	が例へば今茲に種々の色を着けたる張り子の虎
	ま	062	01	考るに其の原因となるべきもの種々あり	ます	が第一市中を往来するに人力車に乗らざるとき
	ま	064	03	を発してワカジニするもの頗る多くあり	ます	が曾て英国ロンドンのドクトルフュート氏は汽
	ま	065	05	りませぬから大概にして止めやうと思ひ	ます	がツマリ我が邦今日の有様は未だ半開化の人物
	ま	069	15	為めから言へば甚だ不便なことで御坐い	ます	が一国政府の上から観ますれば供給者益々増し
	ま	070	03	す．孛漏生国の有様は斯の如くで御坐い	ます	が眼を転して我が国の裁判官代言人の有様を観
	ま	070	08	日本との人口を比較するが要用で御坐い	ます	が孛漏生の人口は二千七百二十七万九千百十一
	ま	070	12	不平均で御坐いますから失敬では御坐い	ます	が今日僅に二十四人の卒業生では，まだまだ遺
	ま	070	16	法律学校の卒業式にも案内を受けて居り	ます	が又何人か卒業生が出来ることで御坐いませう
	ま	071	02	を喜んで沈黙するに忍びず斯の如く陳べ	ます	が諸君益々進んで学識を実業に利用せられ明哉
	ま	083	10	美術新発明商法など誠に能く進んで居り	ます	が道徳の進歩充分で有りませぬから仏国当時の

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（ます）	ま	093	11	殺に当ると言ひ或ひは故殺に当ると言ひ	ます	が，これはたゞ感覚に過ぎぬことで法律学上果
	ま	097	05	械で探すことになつたといふことであり	ます	が先月の二十四日から今日まで，すておくとは
	ま	107	10	君の御承知の通り成文法と不文法とあり	ます	が今其の不文法に拠りますと人命を断つことを
	ま	107	11	ャスチファイァブル，ホミサイドと言ひ	ます	が，これは訳して言ふと正当殺即ち正当に人を
	ま	107	13	エキゼキューサブル，ホミサイドと言ひ	ます	が，これは宥恕殺といつて罪ではあるが罰しな
	ま	107	15	ーターで，これは世間で「殺人」と言ひ	ます	が私は「殺人」といふよりは「致死」即ち「死
	ま	108	02	ます．第四種はマーダー即ち謀殺であり	ます	が，これは日本の刑法で言ふ謀殺に比すれば其
	ま	110	04	実がある．現今取り調べに着手して居り	ます	が同胞二十五人の死骸も印度人十二人の死が乗
	ま	115	17	つた品行を善くしようと，いふ欲で有り	ます	が，ドウゾこの人類的の欲が動物的の欲即ち飲
	ま	119	15	有ると云ふことを論じたことは色々有り	ます	が其の中にもＺｓｃｈｏｋｋｅと云ふ人は酒の
	ま	120	01	ラ，チフスなどと云ふ色々なものが有り	ます	が其れ等は表に見ゆるから予防をすることも，
	ま	120	02	に見ゆるから予防をすることも，かなへ	ます	が酒疫の方は内心に起るもので有つて外に見は
	ま	120	16	除かんとの骨折苦心から出た話しで有り	ます	が日本では此の事に就ては今まで誰も深く注意
	ま	121	01	洋の飲酒の弊害を見て説いたことで有り	ます	が私はドウも日本でも論ばかりでは人に感じさ
	ま	121	10	其れに就ては酒の弊害の及ぶ箇条が有り	ます	がドウしたらば此の調べが付うかと云ふことを
	ま	122	01	尤もこれは東京府下だけのことでは有り	ます	が酒の為めに犯罪人の殖えることはドコでも少
	ま	122	06	チスチック上から大層な調べになつて居	ます	が多く虚弱で酒を飲んで行ひが悪くつて罪を犯
	ま	123	03	と云ふところに教員をして居る人であり	ます	が其の人の話しに其処では男の子でも女の子で
	ま	124	04	の神学卒業生の為めに致すもので御坐り	ます	が，いづれの学校の生徒たる者も皆多年勉強し
	ま	133	14	るに「私は内に随分，奉公人を多勢使ひ	ます	が中に一人の鬼の如くにけしからぬイタヅラな
	ま	134	11	．原因と結果，本と末といふものが有り	ます	が結果が宜しければ其の原因は必ず善いもので
	ま	137	04	のお聞きを煩はすは小説改良論で御坐り	ます	が今日，世の中に改良と言ふことは甚だ流行い
	ま	139	07	違ひ日本などでは甚だ之を卑しめて居り	ます	が西洋では小説家が非常に貴まれて居る．現に
	ま	139	11	ペンサー先生などは日本では貴まれて居	ます	が西洋では其の名を知らぬ人も有るとか申しま
	ま	140	10	ります．時代が同じなれば馬琴と比較し	ます	が馬琴先生は此のスコットに引き替へ裏店に借
	ま	140	13	とが見えましたから確かなることと思ひ	ます	が此の愍れなクラシを致して居たと申すは如何
	ま	143	12	もたゞ男女の痴情を書いたものだと申し	ます	が私は斯様なものを貴ぶのでは有りません，斯
	ま	145	17	ら面白くなくなり観者が無からうと言ひ	ます	が兎に角，小説を改良すれば其れが手本になつ
	ま	147	05	大意を講究しやうと云ふ趣意は色々あり	ます	が先づ全国行政，地方行政，町村行政の三つに
	ま	147	17	ても季候を調べるのは是非，必要であり	ます	がスタチスチックで何れの土地の季候は何度で
	ま	150	05	係を規定したものであります．色々あり	ます	がツマリ今申した二つに帰着するもので国と国
	ま	150	08	，治罪法の二つは別に法典となつて居り	ます	が其の外のは法典となつて居りませぬから研究
	ま	151	02	定めると至つて小さいもののやうであり	ます	が其の実際に至ると甚だ広いものです．第一行
	ま	152	13	係をきめるものと言つてもチョイと分り	ます	が併し憲法と密接して居りますから憲法の範囲
	ま	152	16	言へば国体の変るに従ひ憲法は度々変り	ます	が行政上の法律規則は始終変りませぬ．千七百
	ま	153	16	ます．故に憲法を知ることが必要であり	ます	が其れは憲法学に長じた人が講究するでありま
	ま	154	04	いといふことに付ては色々の奇談もあり	ます	が其れは先づやめませう．学問と宗教との極点
	ま	155	06	合ひ申したことだから，やることはやり	ます	が演題がチト大きすぎますナ．学問と宗教との
	ま	156	07	ひます．勿論天文者でも日が出ると言ひ	ます	が日の方から出るのだから日が出ると言ふのだ
	ま	158	05	に及ぶ学科は今日の大体ではきまつて居	ます	が，アスが日に狂ふまいものでも無いが狂ふと
	ま	158	14	ト承知でござ」といつてスグと用が通じ	ます	がナント大変なことになれば，なるものでござ
	ま	165	05	於て杉亨二君演説今日は総集会で御坐り	ます	が祝詞は皆さんのでモウ充分だから私は別に述
	ま	166	16	百聞一見に如かず」とかいふことがあり	ます	が，こゝにある此の土瓶や茶碗は土瓶や茶碗だ
	ま	167	17	の往復まで先づドウかカウか行はれて居	ます	が若し今すぐに此の文字を取られて御覧なさい
	ま	172	13	，すかしたやうな所為だと譏る人もあり	ます	が，この類のことは我が国人同士でもありさう
	ま	174	13	足りますまいが其れでも其の通りになり	ます	が経済学者は之を何と見たか聞きたいものと存
	ま	174	15	のことだからドウでもよいやうに思はれ	ます	がさうでは無く我が日本国民の年齢の一代ぐら
	ま	176	03	イと考へると愛国心が無いやうに思はれ	ます	が，さうで無い．移住出稼ぎは日本帝国を広く
	ま	177	12	あとに附けてチョイと言つたことがあり	ます	が今其の書いたものを読んで，この演説をしま
	ま	179	05	の品位を開進するにありと規則書に見え	ます	が凡て社会の弊風を改良すること取り分け婦人
	ま	181	04	り外は致し方がないと論ずる人が御坐り	ます	が何故にキリスト教には此の力があるので御坐
	ま	182	06	夫一婦の教の普く行はるゝことで御坐り	ます	がキリスト教は即ち此の教を主張する者で一夫
	ま	183	04	を却つて栄誉のやうに思ふものが御坐り	ます	が，これは実に心外千万なことで御坐ります．
	ま	183	06	た，こゝに申さねばならぬことが御坐り	ます	がキリスト教で申す一夫一婦といふことは公然
	ま	183	10	とは随分喧しく説いてあるやうで御坐り	ます	が夫が妻に対して貞操を守るべきことはトント
	ま	184	06	の大切なことは前に述べた通りで御坐り	ます	が，たとひ一人で多くの妻を持ち又は妾を置く
	ま	185	16	て昔より男を尊び女を卑しむ風が御坐り	ます	がキリスト教は之に反して神の前に於て男女と
	ま	186	11	随つて其の事業も責任も違ふことは教へ	ます	が其の品位に至つては更に高下の別なきことを
	ま	186	14	に真正の幸福を与へる理由は種々御坐り	ます	が細かいことは挙げんでも以上三つの教，即ち
	ま	188	07	行政といふ部を申し上げる順序で御坐い	ます	が主権に関係しましたことを申し上げませぬと
	ま	189	04	条の御万機公論に決すといふことがあり	ます	が之を考へて見ると事をきめるには二つ以上の
	ま	192	10	ものもありますし，今に国会も立てられ	ます	が，ツマリ二つ以上の頭を以て万事を議するこ
	ま	192	17	れで今日まで執行権は天子となつて居り	ます	が天子といふものは一体，何人あるべきものか

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ます）	ま	198	05	あるといけませんから，話しに枝は咲き	ますがザットお話しをしておきませう．先づ楕円と
	ま	198	16	ない．モウ一つ双曲線と云ふものが有り	ますが其のことは長くなりますから申しますまい．
	ま	200	11	違ひ無い．如何にも一応は御尤もで有り	ますが，しかし彗星はイヤに形ちの変るもので，今
	ま	200	14	団十郎でも見分けは出来ないほどで有り	ますが，丁度そんなもので，彗星の正体を見顕はさ
	ま	201	09	すと，私は封建時代から居つた者で有り	ますが其の頃，私は身が軽くつてイツもスタスタあ
	ま	201	17	思つてはいけません，あるくにはあるき	ますが多少其れが為めに後れるです．其れでＨａｌ
	ま	202	01	ｅｙの彗星も七十五六年目に戻つては来	ますが，どの位後れるかが分りませんでした．とこ
	ま	202	03	Ｎｅｗｔｏｎに次ぐほどの数学者で有り	ますが，この人が出まして彗星が太陽を離れて方々
	ま	203	02	と云つて土星の先きに大きな惑星が有り	ますがＨａｌｌｅｙの時までは知れなんだのが今度
	ま	203	16	のは西暦八百三十七年に出た彗星で有り	ますが其の時フランスにＬｏｕｉｓｌｅＤéｂｏｎ
	ま	204	03	なく，また術でもないやうなもので有り	ますが，日本で云へば安倍の晴明とでも云ふやうな
	ま	205	04	とを証拠に引いて，こはがつたので有り	ますが，其れは彗星が出た為めに災が有るので無く
	ま	205	12	ｙの次にＥｎｃｋｅの彗星と云ふが有り	ますが三年と四分の一ごとには戻つて来るもので有
	ま	207	06	で有りましたが……また話しに枝がさき	ますが，諸君の御存じの通りイツでもあることだが
	ま	207	10	ドひどかつたあんなでは実に大変で有り	ますが，現に昔し雨のやうにふつたと云ふことで「
	ま	208	16	ぞれに調べますのは，むつかしいと云ひ	ますが，知れて居りますだけに止めますと，先づこ
	ま	209	01	ば地球は他の惑星から引かれると，感じ	ますが彗星はイクラ引つばつたとて地球の運動に狂
	ま	209	04	かして大きな星が見ゆるなら宜う御坐り	ますが小さな星までも能く見えます．頭の所はドウ
	ま	210	11	ウ其れ等の迷ひを解くことを書いて居り	ますが，日本などではドウかソンナ説の流行らない
	ま	211	13	現に有つたのです．尤も僅の間では有り	ますが現にアリアリと彗星の尾の中に五時間が六時
	ま	212	06	所の人たちの為めには実に気の毒で有り	ますが，其れは学問の為めには，どの位，利益にな
	ま	213	10	立ち働いて見せるものと云ふ差別が有り	ますがドチラが多く人の心を慰め面白がらせ楽しま
	ま	216	11	が堂々たる古事記，日本紀に書いて有り	ますが，これなどは後世の子供だましの話しに能く
	ま	216	15	したものの中には小説めいたことも有り	ますが，これは僧徒が道を弘める為めのもので小説
	ま	217	07	て有つたのを基として作つたものと云ひ	ますが，さすれば当時，流行の仏説により且は既に
	ま	217	12	津保物語で，此の作者は源の順だと云ひ	ますが能く分りませぬ．物語に俊蔭の巻とか吹上の
	ま	217	13	ふ標目の見えたのは此の書が始めで有り	ますが此の名はドウ云ふ所から出ましたかと云ふに
	ま	218	14	怪が出る位の奇らしいことも交ぜて有り	ますが源氏物語などは五十四帖もある大部の物だが
	ま	221	10	浄瑠璃作者などが作つたと云ふ説が有り	ますが此の時分になつて我が国の小説は全く地に墜
	ま	224	11	．これ等は風俗にも関係することで有り	ますが此の頃，貴顕の方々を始めとして有志の人々
	ま	229	03	京の町の数は俗に八百八町あるとか云ひ	ますが，これも皆な此の数の中に籠つて居るとのこ
	ま	230	09	居ります．フランスの例でも外れて居り	ますが日本でも郡には郡有財産と云ふものは無いさ
	ま	230	17	ものです．右は行政区画のお話しで有り	ますが其れから行政上の仕方になりますると沿革は
	ま	231	17	来まする．此の如く干渉することは有り	ますが議会で議決したことを施政者が行ふと云ふが
	ま	233	05	卒業が今度で第八回だと云ふことで有り	ますが一番初めの卒業の年で有りましたか私が参つ
	ま	233	10	校では重もに日本語で教ふることで有り	ますが其れが一番肝腎なことで官立の方では外国語
	ま	235	14	より今日の勢ひに移つて来たことで有り	ますが其の始めにオランダの書物を読んで，さうし
	ま	240	17	きには良い評判を漏らしたる訳ではあり	ますが，為めに競争者が出来て遂に○○君の配偶者
	ま	245	02	獄には国事犯等の者を入れることも有り	ますが，これは通常の悪人とは全く変つたるもので
	ま	257	07	は祖先父母等に於て之を養ふもので有り	ますが其の性質は単に救助と云ふに止まるもので有
	ま	263	04	．尤も中には少しは区別を致すのも有り	ますが其れとても年令，罪質，犯数，等の区別によ
	ま	269	01	上ることに致しませう．順序は前と違ひ	ますが中央獄は二十四箇所ありまして其の中，六箇
	ま	016	11	無いです．月の上には山も有り谷も有り	ますから水も有り空気も有り海も有り川も有ります
	ま	016	15	ります．毎度この席で化学の講談が有り	ますから諸君は定めて記臆して居らるゝで有りませ
	ま	019	11	のろい，支那は物の優美を貴む国で有り	ますから大層此の星を珍重しました．肉眼で見まし
	ま	020	04	地球の軌道の外を通つて太陽を繞つて居	ますから若し太陽の向ふの方に此の星が居る時には
	ま	020	05	る時には太陽のソバに見ゆるもので有り	ますから距離が遠い時である上にまぼしくて見にく
	ま	021	02	つた通り火星は全く地球に似た星で有り	ますから地球には人間などが居ると反対して若し火
	ま	022	06	を持ち出しても例の通り見当が分り兼ね	ますから雛形を以て解き明しませう．先づさつき申
	ま	023	02	素よりは甚だしく毎年いくつも発見され	ますから今日申した数が明日はウソになりますかも
	ま	025	05	ので天文学のことを星学と言ふ位で有り	ますから星のことを言はなければなりませぬ．さて
	ま	025	16	有る物さしが最早間に合はなくなつて来	ますからモウ少し大きい物さしでなければなりませ
	ま	027	01	物さしにしましても余り大きい数になり	ますから星学者は広大無辺の物さしを作ります．其
	ま	027	07	す，僅か一秒時間に七万六千里ほど走り	ますから地球のかたつ方の端から，かたつ方の端ま
	ま	027	10	三倍で九年と三ケ月かゝります．であり	ますから其の星に何か一朝変動が生ずるか或は全く
	ま	029	04	回つて居る様に見ゆるといふ場合が有り	ますから此の色々の星は皆太陽で其のグルリに多分
	ま	058	06	すぎて高貴の諸君に向つては不敬に存じ	ますから此の段は何卒御海容を願ひます．さて，こ
	ま	059	03	病中チフスの居候が最も沢山あると云ひ	ますから下水流しなどの穢い所を掃除してプンとす
	ま	059	15	，うまき物を好き楽を欲するものであり	ますから（無くては大変だ）今欧米より種々の物の
	ま	067	16	科卒業の諸君に特に望む所の事が御坐い	ますから私が見聞致しました独逸国，殊に孛漏生に
	ま	070	12	して斯の如き需要供給の不平均で御坐い	ますから失敬では御坐いますが今日僅に二十四人の
	ま	089	10	なることなどを兼ねて示す宗教で御坐り	ますから，進歩するの志を起すもので御坐ります．
	ま	092	05	と思はれます．あまり御話しが長くなり	ますから先づこゝに擱きませうけれども，終りに一

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ます）	ま	110	13	ンを得ますまい．以上述るが如くであり	ますから我輩は英国領事に向つて充分なる審理を尽
	ま	117	10	会を設けてすると一人でするのとは違ひ	ますから会を立てて約したことが有ると自から奮発
	ま	119	05	二月二十日で大日本節酒会の納会で有り	ますから諸君のお骨折で此の会の盛んになつたのを
	ま	137	08	門が法律で，職業が政事新聞記者であり	ますから日々法律や政治の改良のことには筆を執つ
	ま	143	17	す．併しこれ等は小説の末の余弊であり	ますから仕方が無い．彼の南宗北宗などの山水の美
	ま	152	13	イと分りますが併し憲法と密接して居り	ますから憲法の範囲内はドコで終る行政法の範囲は
	ま	170	13	りますまい．日本人は新しいことを好み	ますからアンナいやらしい国に行く気はありますま
	ま	171	01	で，また仕事をする者も上手になつて居	ますから欧羅巴に行つて衣食をなして富を求めやう
	ま	171	11	価で乗せるといふことに，なつたといひ	ますから移住出稼の運動が始まつたら益々便利にな
	ま	175	01	て申します通り「人は義務の体」と言ひ	ますから義務が何も彼も我が身にかゝつて来ます．
	ま	176	02	国人も近来，海外出稼ぎのキザシがあり	ますから追々勇み進んで移住出稼ぎの運動を始める
	ま	176	10	移住する有様を調べることが第一であり	ますから先づ海外に出稼ぎをなし移住をなす人があ
	ま	188	08	上げませぬと行政法の原則に大関係をし	ますから其れを今日チョット申し上げて見たう御坐
	ま	190	17	す．この行政裁判は行政法の部にはいり	ますから地方行政を終りましたときに申し上げて見
	ま	193	12	政復古といふことを度々述べられてあり	ますから政治上の原則は開闢以来の原則に違ひ無い
	ま	195	11	存じます．これが只今から三年前で有り	ますから「立派な彗星だ」と言つて済みましたが，
	ま	198	17	ふものが有りますが其のことは長くなり	ますから申しますまい．さて，楕円と抛物線とはド
	ま	205	16	はサッパリ面白くないやうなことが有り	ますから．さて，このＥｎｃｋｅの彗星と云ふのは
	ま	208	02	れから流星のことを言ひますと長くなり	ますから先づこの位でおきまして今度は彗星に立ち
	ま	209	16	ヤジムマに彗星の説を述べるやうになり	ますから．実に天文学はまだこの辺に進んでは居り
	ま	211	05	で有ります．心は堅いと云ふことで有り	ますから，例へばロンドンならロンドンに突き当れ
	ま	212	03	家ならば流星は古材木の様なもので有り	ますから，本当の彗星の中へ這入れるのは推して知
	ま	212	11	に無いかも知れません．あまり長くなり	ますから今一言して此の講談を終りませうが，千九
	ま	213	07	を穿鑿するのが持ち前イヤ病ひで御坐い	ますから，たゞ小説なり演劇なりに付て故事来歴の
	ま	216	12	ことは支那の昔の書物を見ると随分あり	ますから小説の起原はドコでも，さう云ふことから
	ま	224	16	すに及ばず小説とても改良論が盛で有り	ますから共に体面を改めるやうになりませうが，小
	ま	225	01	看る人の意も，これまでとは格別で有り	ますから数年ならずして必ず目ざましい改良を見る
	ま	225	03	れに劇場は金主が有つて儲けづくも有り	ますから多くの年月を重ねなければ迚も改良の効は
	ま	225	05	可否討論などは世間に高論者も沢山あり	ますから其の辺のことにトント勝手を知らぬ我輩な
	ま	228	03	うな有様で御坐います．斯の如くで有り	ますから日本帝国の中に，また諸侯国が何百か有つ
	ま	238	08	昔に百倍する功績の有るのは当然で有り	ますから，此の上にも御勉強なさるやうに致したい
	ま	240	03	に見たことは其の注文者の所有物で有り	ますから私が勝手に申し上げることは出来ませぬ．
	ま	240	05	大臣に代つて之を視察したるもので有り	ますから私の見たるところは私の目を通つて内務大
	ま	242	07	衍するに於ても利益が有らうと考へられ	ますから，これより新潟監獄に於て演説いたしまし
	ま	247	04	．其の母親は右等のことに無頓着で有り	ますから「おれが子をおれが殺すのに何の構つたこ
	ま	247	14	講釈するだけでは分らない位な者で有り	ますから此の外部の道具じかけを用ふることと致し
	ま	249	03	ればなりませぬ．斯くの如き関係で有り	ますから，警察と裁判が何ほど立派に整頓いたしま
	ま	249	07	の未決監に入れて置くと云ふことが起り	ますから人民が困難を受けると云ふことは非常なる
	ま	254	04	の資金を無くなしてしまふ者が多く有り	ますから，これ等は再たび盗賊でも働かなければな
	ま	259	16	も此の限り方によつては時によつて変り	ますから時節によつて定限すると云ふことに，きめ
	ま	278	12	術上論究するの必要が有ると確信いたし	ますから其れ等のことは追つて著書に於て論ずるこ
	ま	026	02	出来ませぬ．先づ今日までに知れて居り	ます距離の中で一番近いのが今の物さしの二十二万
	ま	199	07	られません，若しこゝで一席で言ひ尽せ	ます位なら失礼ながら予備門から，はいつて大学ま
	ま	201	12	しドウかした人はたゞチョット見てくれ	ます位で，威張つた人になるとテンデ見向きもしな
	ま	196	15	は無くつて太陽の出るのが朝なので有り	ますけれど）．故に彗星はドンナ所から出てドンナ
	ま	079	11	御坐ります．又世界中の人類にも御坐り	ますけれども一番有り難いことは諸君各々が自ら進
	ま	082	04	至極善きもの至極有益なるもので御坐り	ますけれども進歩の様々の種類の中で未だ申さぬ一
	ま	083	07	ませぬ．其の智慧も随分明らかに御坐り	ますけれども本当の道徳を知らず道徳の進歩いたさ
	ま	129	09	ます．箇様な臆病なものは少なう御坐り	ますけれども無いものでも御坐りませぬ．箇様な人
	ま	241	14	は如何，女囚の取扱方は如何など云はれ	ますけれども監獄全体は如何と云ふことを知らずし
	ま	012	06	演説は先づ今申しました位を目的と致し	ますことで御座います．追々お話しします中に問題
	ま	264	05	感化にも尽力し，且職業の教育をも施し	ますことになつて居りまする．第二は懲必＊感化部
	ま	192	10	りましたしまた元老院といふものもあり	ますし，今に国会も立てられますが，ツマリ二つ以
	ま	201	11	寧な人はコッチへ向いて答礼をしてくれ	ますし，其れより少しドウかした人はたゞチョット
	ま	267	05	し隠すの教授を受くるやうなことが有り	ますし，また非常に性質の悪い者とサホドで無い者
	ま	140	04	無し．日本で馬琴が専ら筆を執つて居り	ます時分に西洋ではウ／ヲタースコットと言ふ人が
	ま	018	03	に燭しますラムプも，そこでたいてあり	ますストーヴも皆太陽がたいてくれるので有ります
	ま	208	16	，むつかしいと云ひますが，知れて居り	ますだけに止めますと，先づこの彗星の頭は軽いも
	ま	013	13	りまするからして学者が天のことを調べ	ます序に我々には天の中で別にツレは有るまいか同
	ま	012	13	．私は唯其れから先きのことをお話しし	ますと文字を習ふヒマの為めに稲を植るヒマも水車
	ま	003	13	ば分らない．それで今我が国の有様で居	ますと幾何学を少しやつた人は直に周囲を知ること
	ま	013	03	所が有ります．そこで直径を知つて居り	ますと長い所が僅か一万二百五里ほかない．私は僅
	ま	013	04	とが出来ませう．地球の周囲を測つて見	ます

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（ます）	ま	014	15	と現に既に測量して有ります．測量をし	ます	とはドンナことかと言ひますと地球の中心から
	ま	014	16	．測量をしますとはドンナことかと言ひ	ます	と地球の中心から月の中心まで何里あると云ふ
	ま	015	13	く分る，けれどもちつと長いものになり	ます	と，寸で測つては間に合はない．例へばこれか
	ま	016	06	こでザット地球と月との位置を比べて見	ます	と直径一寸の玉を拵へまして其れを地球の雛形
	ま	017	05	の近所に居るものが有るか知らんと言ひ	ます	と我々の目につくものは太陽で有ります．太陽
	ま	017	09	大きいものに違ひない．現に勘定して見	ます	と直径は三十五万二千六百二十三里で地球の直
	ま	018	01	明るい非常に熱いもので，よく調べて見	ます	と凡そ地球の上にあらゆる光りと熱は直接に太
	ま	018	16	＊惑星とも火星とも言ひます．肉眼で見	ます	と赤い星で時としては同し所にヂッとして時と
	ま	019	12	は木星に少し小さい位ですが望遠鏡で見	ます	と其のグルリに鍔が有ります，丁度鉛の玉のグ
	ま	020	06	つて地球が此の星と太陽との間にはいり	ます	と此の星の距離が非常に近くなる上に丁度太陽
	ま	020	11	無いと云ふことを申しましたが火星を見	ます	と陸も有れば海も有る，海が有れば蒸発気が有
	ま	020	15	星と云ふ惑星の大きさはどの位かと言ひ	ます	と地球よりは少し小さい．小さいと云つても月
	ま	020	17	つて居りまして地球が内の方を回つて居	ます	と火星が外を回つて居ます．これが我々の第二
	ま	022	04	を申し上げましたが其の中太陽から測り	ます	と地球より遠いものも有れば近いものも有り，
	ま	023	17	せう．今まで申したことをつゞめて申し	ます	と太陽は大きい熱い明るい玉で其のグルリを惑
	ま	024	07	のが四つついて居る．望遠鏡で木星を見	ます	とドンナけちな望遠鏡でも星の真中の所に筋の
	ま	025	14	星の距離は月の距離を測りますのから見	ます	と余ほどむつかしくなります．第一今度は物さ
	ま	026	05	大きな数が出ます．さつきの雛形を用ひ	ます	と海王星を太陽から三里ばかりの所へ置きまし
	ま	026	10	参ります．現に此の割り合ひによつて見	ます	と我々に見ゆる星は中には太陽よりは小さいの
	ま	026	17	ふ所の六十一号の星で今申した星から見	ます	と三倍ばかりも距離が遠い．此の様に遠い距離
	ま	026	17	も距離が遠い．此の様に遠い距離になり	ます	と雛形でもおつつかなくなりズット気張つた物
	ま	028	11	．先づ二つかたまつて居る星は肉眼で見	ます	と唯一つの星の様に見えますが望遠鏡で見ます
	ま	028	12	唯一つの星の様に見えますが望遠鏡で見	ます	と二つに分れて見え，多くは一つは大きく今一
	ま	029	01	運動をして居ますのが有ります．して見	ます	と果して我々の太陽系は外にツレがあるのです
	ま	029	17	だかよく知れなかつたですが望遠鏡で見	ます	とアマノガハは全く星のかたまりです．濃い所
	ま	030	01	は全く星のかたまりです．濃い所になり	ます	と夥しく星があります．一体，肉眼で見えない
	ま	030	05	此のアマノガハと云ふものは地球から見	ます	と帯の様にして天をグルツと取りまいて居ます
	ま	030	06	天をグルツと取りまいて居ます．して見	ます	と其の中に我々がはいつて居るに違ひない．大
	ま	030	10	の中に我々の太陽系がはいつて居るとし	ます	と或る向には星が少しほか見えず或る別の所に
	ま	030	12	る様に見ゆる筈で有ります．そこから見	ます	とアマノガハは星のかたまりで太陽も地球の仲
	ま	031	01	い星のかたまりが有ります．望遠鏡で見	ます	と星のいくつとはなく簇つて居る者が沢山ある
	ま	034	12	んな人が多いかと歴史などから考へて見	ます	と酒を飲む人は無欲の人であつて多慾の人は酒
	ま	054	08	は慰みの為めの本，それを類を分けて見	ます	と御国より始めてモロコシ西洋の歴史，理学，
	ま	076	04	坐んせぬ．其の訳は右の如く申して参り	ます	と経済学はドウいふものかといふに利を興す為
	ま	077	04	様にも参りませぬ．浅近の例を挙げて見	ます	と勉強して金を拵へましても窃盗だとか詐偽取
	ま	107	10	不文法とありますが今其の不文法に拠り	ます	と人命を断つことをホミサイドと申し，このホ
	ま	109	16	りませぬか．また諸新聞紙等に拠つて見	ます	と尚ほ一層怪しむべき事実が有る．只今申した
	ま	120	12	のスタチスチック，ジョルナルなどを見	ます	と麦酒などを飲む為めに費す所の金高は大層な
	ま	121	17	警視庁の懲役場の罪人の上から調べて見	ます	と酒から罪を犯した者が随分に多い．尤もこれ
	ま	138	08	したが其の意に随ひ其の本を読んで居り	ます	と果して，ぢきに眠つてしまひました．小説を
	ま	139	03	しながら此の小説を利用することを誤り	ます	と随分，道徳を破壊してしまふことも風俗を紊
	ま	152	06	せぬ．其れで憲法との関係を一言して見	ます	と憲法では一国の公法の基礎となる原則を定む
	ま	152	15	いことであります．けれど実地に就て見	ます	と仏蘭西の例で言へば国体の変るに従ひ憲法は
	ま	159	15	すまい．アチラでも，さういふ論が有り	ます	とサ．東洋では教法と学問と切り放すはしにく
	ま	174	04	人で大約毎年三十六万人づゝ殖えるとし	ます	と百六年たらずで其の二倍即ち七千六百三十万
	ま	174	09	一箇年一人前の衣食の費用を三十円とし	ます	と今，日本人の衣食の費用ばかりでも一箇年に
	ま	189	16	ませう．其れで，この執行権の方になり	ます	と執行権は共和国に於ては大統領，君主国に於
	ま	192	04	れた．これを其の時分からの先生に承り	ます	と公論といふはお前の言ふ輿論と違ふ，当時大
	ま	193	11	うに見えまするが天子の勅詔を段々と見	ます	とこれ皆な王政復古といふことを度々述べられ
	ま	196	17	に違ひ有りません．夜闇い所で人に遇ひ	ます	と驚いてドロボウでは無いかと思ひましても，
	ま	198	06	先づ楕円とはドンナもので有るかと云ひ	ます	と楕円を形ちづくるには最も容易いテダテが有
	ま	198	07	竹にならない時に庖丁でハスカケに切り	ます	と其の切り口が楕円の形ちになります．楕円は
	ま	198	11	き，さて抛物線とはドンナものかと言ひ	ます	と，これはモット早いテダテが有ります．其れ
	ま	198	11	ります．其れは石を空に向けて斜に抛り	ます	と真直で無く抛物線の形ちにあるきます．チョ
	ま	198	12	の形ちにあるきます．チョイト図に書き	ます	と楕円はコンナ形ちで，抛物線はコンナ形ちで
	ま	199	01	物線とはドンナ関係の有るものかと言ひ	ます	と，楕円が段々に長くなりますと抛物線に近く
	ま	199	02	かと言ひますと，楕円が段々に長くなり	ます	と抛物線に近くなります．最初は円い楕円も引
	ま	199	09	日の観測を以て其の軌道を取り出して見	ます	と皆な抛物線で有つて楕円では有りません．抛
	ま	199	10	物線を通る彗星はドンナで有るかと云ひ	ます	と，極遠の場所から太陽の近所に来て其れから
	ま	201	08	言へばキリは有りませんが，譬へて言ひ	ます	と，私は封建時代から居つた者で有りますが其
	ま	201	10	るきましたが途中で身分の重い人に遇ひ	ます	と丁寧にジットしてお辞儀を致します．すると
	ま	203	08	で僅か三日の違ひで有りました．して見	ます	と，この彗星と云ふものは先づ惑星と同種類の
	ま	205	15	が私はさうは言へません．なぜだと言ひ	ます	と天文学者だけは面白くつても他の人にはサッ

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ます）	ま	206	15	モウ戻つて来さうなものだと待つて居り	ます
	ま	208	02	た．しかし，これから流星のことを言ひ	ます
	ま	208	16	云ひますが，知れて居りますだけに止め	ます
	ま	209	11	星にはコンナに長い尾が出来るかと言ひ	ます
	ま	211	10	アタリハヅレを研究する学問によつて見	ます
	ま	228	06	様で御坐います．其れで地方の区別を見	ます
	ま	228	11	と云ふことと県と云ふこととに付て申し	ます
	ま	228	16	せぬが，例へは一方里の場所が有るとし	ます
	ま	230	11	が有るさうです．其れを近ごろ調べて見	ます
	ま	231	07	です．之を四段に分けまして上から言ひ	ます
	ま	231	12	施政者で有るから一人です．府県になり	ます
	ま	232	03	と云ふことが有ります．或る論者になり	ます
	ま	245	03	く変つたるもので有りまして数から申し	ます
	ま	251	01	．さうして今，申した罪人が学期を終り	ます
	ま	262	13	するけれども長く一房一囚に致しておき	ます
	ま	269	07	六百三十七人ありました．此の数を合せ	ます
	ま	175	01	ド遠いものではありませぬ．かねて申し	ます
	ま	076	06	することを講究することの学問と看做し	ます
	ま	200	12	んもので有ります．丁度俳優が舞台に出	ます
	ま	014	08	だか分らず俗に兎が餅を搗くのだと言ひ	ます
	ま	083	13	進歩美術の進歩製造の進歩が出来て居り	ます
	ま	272	07	，流刑に処せられた者だけを集治いたし	ます
	ま	155	07	ることはやりますが演題がチト大きすぎ	ます
	ま	012	06	しますことで御座います．追々お話しし	ます
	ま	083	02	で御坐りませう．欧羅巴中古の例を申し	ます
	ま	083	05	た地理によつて諸君に近い国の例を申し	ます
	ま	083	09	万で御坐ります．また時の近い例を申し	ます
	ま	087	05	ほどに高尚なる宗教であらうか」と問ひ	ます
	ま	092	10	はず知らず斯の如き立派な結果が御坐り	ます
	ま	126	04	らざる者が多う御坐ります．例へて申し	ます
	ま	198	14	す．そこで彗星が惑星と同じもので有り	ます
	ま	015	02	て居るなら分ります．地球上で測量をし	ます
	ま	015	05	も測量致します．そこで地球と月とあり	ます
	ま	025	01	しくなる．「太陽系は何の中か」と言ひ	ます
	ま	027	05	し余ほど早いもので太陽から我々まで来	ます
	ま	027	08	る程の時間はかゝりませぬ．月まで行き	ます
	ま	053	17	ないで文通が出来やう．田舎の様子を見	ます
	ま	076	14	ましたので御坐んす．さて私が考へて見	ます
	ま	083	17	只今申した通り進歩の中には種類があり	ます
	ま	135	04	かといふ不同意で御坐ります．之に答へ	ます
	ま	209	04	見えます．頭の所はドウで有るかと云ひ	ます
	ま	232	13	政官権及び行政議会と云ふことを研究し	ます
	ま	259	03	犯罪予防と云ふのが一つで，救助を施し	ます
	ま	025	14	にならない．星の距離は月の距離を測り	ます
	ま	028	17	て居る星も矢張り同じ様な運動をして居	ます
	ま	055	11	す．この自分の持論を述べて諸君に伺ひ	ます
	ま	070	17	ませう．斯の如く法律学者の輩出いたし	ます
	ま	194	05	ましたが順序の為めに申し上げて，おき	ます
	ま	197	10	いもので地球や其の外の惑星をひつばり	ます
	ま	208	15	ものて有ります．これをそれぞれに調べ	ます
	ま	229	13	なる町，即ち市街のものを区長と名づけ	ます
	ま	272	06	，及び旧法の懲役終身の者を集治いたし	ます
	ま	141	14	経書を読みましても其の意味通りに講じ	ます
	ま	088	06	．第一．先づ種々の進歩を致さうと思ひ	ます
	ま	020	01	した星の中で一番我々のよく観測の出来	ます
	ま	028	03	々と距離の比例を取ると非常の遠くに居	ます
	ま	011	16	ことは本当に知つて居る人は恐らく有り	ます
	ま	018	06	出でになるお方は忘れてお出でにはなり	ます
	ま	028	02	のだと思へば平均の上では大違ひは有り	ます
	ま	035	09	物にするとは何と無欲なものでは御坐り	ます
	ま	035	17	かいふに酒を飲んではそんなことは出来	ます
	ま	063	03	は実にハヤ濫用の極と云はなければなり	ます
	ま	064	01	き業に非ず犬馬の業と云はなければなり	ます

出現文脈	
と今度は一つで子はつれて居りません，よくよ	
と長くなりますから先づこの位でおきまして今	
と，先づこの彗星の頭は軽いもので有る，稀薄	
と，これは随分むづかしいことで有ります．私	
と彗星の突き当る前には地球は老病で死んでし	
と大名の下に今の郡長のやうなものを置き，ま	
と，府と云ふのは大いなる市街のある所を云ひ	
と其の中で家邸又は公園と云ふ如きものが過半	
と例へば十五の町村が有つて一郡を組成し其の	
と，天皇陛下が内閣に居られて政を為さると其	
と知事が一人で施政を為し議政の方は府県会ま	
と地方税規則第三条掲載の事項は府県会の議決	
と，有れども無きが如きもので有りまするから	
と卒業してモトの良民に立ちかへります．然る	
とキチガヒになる者が多く有りまする．第二は	
と男子の部と女子の部とで六十九箇所ありまし	
通り「人は義務の体」と言ひますから義務が何	
ときは経済学も消極的の用を為すもので御坐ん	
時に男になつて出るかと思へば，ひつこんで，	
処が余程はつきり見えまして全く高い山や深い	
所には必ず道徳の進歩が無ければなりませぬ．	
所でありまする．さて，島地集治監と申します	
ナ．学問と宗教との極点を論ずるといふのだか	
中に問題の趣意もよく分りませう．話しをあと	
ならばイスパニヤとポルトガルの二箇国が暫ら	
ならば隣りの支那で御坐ります．諸君御案内の	
ならば彼の仏蘭西の国を御覧なされ仏国に於て	
ならば，この御方の為めに少しばかりこの趣意	
ならば況して尚ほ智慧を備へて居て道理を知つ	
ならば箇様な人は未だイロハを知らざる中に，	
なら是非，其のあるく道が此の二つの線の中で	
にも十里も二十里も先きを一々間縄を打つたり	
に地球の表面に於て二個所の点を取りまして先	
に先づ第一に我々の地球などに比べると夥しい	
に十分はかゝらない幾ど八分と少しで来ます，	
にも二セコンドはかゝりませぬ．其れがαＣｅ	
に漁村僻邑と言ふと漢語ですが田舎の百姓など	
に利を興すといふことと害を除くといふことは	
に由つて社会の進歩と云ふものは常に一様に進	
には若し世界が狭いものと言はれるならば基督	
に頭は説が不揃ひで明りを通すもので有る，明	
には，また之を三つ即ち第一には中央行政，第	
には或ひは公けの救助を以てし，或ひは私の救	
のから見ますと余ほどむつかしくなります．第	
のが有ります．して見ますと果して我々の太陽	
ので御坐ります．半開化は衛生の害明治十九年	
のは我が国家の大幸，之より喜ばしいことは無	
のです．彗星の話明治十八年十月十六日理医学	
のは，丁度，地球が他の物をひつばると同じや	
のは，むつかしいと云ひますが，知れて居りま	
のですから，戸長を人民で撰挙するときには，	
ので，島地の集治監は単に徒刑，流刑に処せら	
は誰でも出来るが話しを作つて旨く聞かせるの	
人は己れの不充分なること不完全なること劣つ	
星は火星即ち螢＊惑星で有ります．矢張り太陽	
星が有ります．今のαＣｅｎｔａｕｒｉより一	
まい．実に其れまでも知りたい訳ですが中々今	
まい，即ちＳｔｅｐｈｅｎｓｏｎが「蒸気車の	
まい．そこで色々な星の明りの分量を比較して	
まいか．さて其のことに付て近頃ヒロソヒーが	
まい．そこでヒロソヒーでは「大いなる社会は	
まい．所で私が斯く濫用と申す証拠には日本の	
まい．さて営業既に斯の如くなるが故に胃病を	

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（ます）	ま	089	05	書を研究するならば分らぬことが御坐り	ます	まいと存じます．第二．また種々の進歩をせむ
	ま	095	13	つても已むを得ず無罪にせぬければなり	ます	まい．而して今新聞紙上，我輩に知らする所は
	ま	096	03	ぬければ謀殺又は故殺に問ふことは出来	ます	まい．なぜなれば船長ドレーキが日本人を殺さ
	ま	097	02	証拠を尋ねるのは敢て難いことではあり	ます	まい．海底を探ね，また他に名案を施したらば
	ま	097	03	施したらば罪跡が現はれないことはあり	ます	まい．我輩は此の事に付て疑つて居つたが此の
	ま	098	10	は流涕長大息いたさぬものは殆んどあり	ます	まい．然るに今や我々同胞二十五名の人はウタ
	ま	104	03	するは，さまでむつかしきことではあり	ます	まい．設令全国を挙げて英語を談ぜしむるは，
	ま	105	17	英国領事は決して法廷を開く訳は御坐り	ます	まい．然るに諸君も知らるゝ如く英国領事は兵
	ま	108	15	いか．船長等の指図に従ふより外はあり	ます	まい．然れば誰も彼も端艇に乗うといふ考へは
	ま	109	11	附いてあるか知らぬといふことは御坐り	ます	まい．既に三人の同胞は端艇を下すことに尽力
	ま	110	01	らばメンスローターは逃るゝことが出来	ます	まい．また一層考へるとマーダーになるかも知
	ま	110	12	はマーダーの犯罪たることは免るゝを得	ます	まい．以上述るが如くでありますから我輩は英
	ま	121	08	来る様では実にあさましきことでは有り	ます	まいか．何でも論ばかりではいけませぬから，
	ま	123	02	したら，さまでむつかしいことでも有り	ます	まい．先刻も人が参つて話しましたが其の人は
	ま	127	01	所の卒業生が容易に之に勝つことは出来	ます	まい．この者が用ふる所の仕方は随分ケンノン
	ま	127	06	生が迚も，たやすく之に勝つことは出来	ます	まい．勿論これ等の専門家が其の専門と致した
	ま	139	11	レオンと方向は違へど智能の一点は劣り	ます	まい．彼のスペンサー先生などは日本では貴ま
	ま	144	03	ふものは全く卑しむべきものとは言はれ	ます	まい．これと同じことで所謂る人情本の猥褻な
	ま	144	07	あり品行端正なりと云ふには違ひが有り	ます	まいが其れにしてはタント好い小説を見受けま
	ま	147	07	諸君がお分りになつて居るには違ひあり	ます	まいが今日は先づスタチスチックと行政法との
	ま	149	02	ク学ばかりのを調べて居つたら役に立ち	ます	まい．規則を立るとか法律を立るとかいふこと
	ま	157	08	つたからだ，地の回ることは決して言ひ	ます	まいと言つてきゝませんからネ）「向後キット
	ま	159	15	が一時にこしらへたと，いふことは出来	ます	まい．アチラでも，さういふ論が有りますとサ
	ま	166	06	其の引力が出来て居るといふとサー分り	ます	まい．時といふことも半分は分つて居る様なも
	ま	166	08	せぬ．人間はドコまで開けるものか分り	ます	まい．其れだから事実によりて色々に考へ種々
	ま	166	15	を見上げるのだから誰も駁つことは出来	ます	まい．世間に「百聞一見に如かず」とかいふこ
	ま	166	17	して出来たものか，たゞ一見しては分り	ます	まい．併し之をこはしてケミストリーで見ると
	ま	167	08	本に居つては迚もあれだけのことは分り	ます	まい．西洋に往つて理合をつめて来たからこそ
	ま	167	10	，どの位，人世に大功徳を及ぼすか知れ	ます	まい．実に面白いことではありませぬか．前に
	ま	167	11	しい問題は古い学問では解くことは出来	ます	まい．新しい人間の問題を解くにはイクラ一切
	ま	167	13	見ても漢土の本を万巻読んで見ても分り	ます	まい．ヤッパリ新しい問題は新しい学問の力に
	ま	168	06	うでは日本もモウ其れきりに望みはあり	ます	まい．その新しい物の我が日本に入り来つたの
	ま	169	13	が欧羅巴に行く者よりは多いに違ひあり	ます	まい．我が国人の欧羅巴に行くのと亜米利加に
	ま	170	06	うが亜米利加へ行く者の方はさうであり	ます	まい．欧羅巴へ行く者の方は富貴の財で行き亜
	ま	170	08	ませうが人民の自発の方には限りはあり	ます	まい，して見れば，これは我が国の大勢に関係
	ま	170	12	支那を好んで行きませうか．さうであり	ます	まい．朝鮮や満州や支那には移住を為すものが
	ま	170	13	州や支那には移住を為すものが多くあり	ます	まい．日本人は新しいことを好みますからアン
	ま	170	14	からアンナいやらしい国に行く気はあり	ます	まい．支那や朝鮮はたゞ商売の地で利を争ふば
	ま	172	14	北亜米利加の人ばかり咎めることは出来	ます	まい．コッチに，そんなことが無ければ賞めら
	ま	174	11	ふ皮肉を附けて見て篤と考へたらば活き	ます	まいか感じますまいか．迚も一人前三十円では
	ま	174	12	見て篤と考へたらば活きますまいか感じ	ます	まいか．迚も一人前三十円では足りますまいが
	ま	174	12	ますまいか．迚も一人前三十円では足り	ます	まいが其れでも其の通りになりますが経済学者
	ま	176	05	れて其れに相応して手段が無ければなり	ます	まい．手段は術で学科では無い．学科といふは
	ま	180	01	にキリスト教の力に籍らぬものは御坐り	ます	まい．彼のジョン，ハワルドをして欧羅巴諸国
	ま	184	11	中に我が邦のやうに離縁の多い所は有り	ます	まい．其れは兎に角に今日我が邦に於て離縁の
	ま	185	07	離縁が二十或は三十位ある比例では有り	ます	まいか．よしや百に十の比例としても実に驚く
	ま	185	11	れには種々原因の有ることに相違御坐り	ます	まいが儒者七去の教も其の一大原因であると申
	ま	198	17	ますが其のことは長くなりますから申し	ます	まい．さて，楕円と抛物線とはドンナ関係の有
	ま	224	13	洋風を移されると云ふばかりでは御坐い	ます	まい．右のやうな次第で，これまで小説と演劇
	ま	225	04	月を重ねなければ迚も改良の効は顕はれ	ます	まい．さて，改良のことに付ての可否討論など
	ま	232	10	宜いと云ふのでは学問上，決して御坐い	ます	まい．諮問もせずに，きめると云ふことは間違
	ま	241	16	ッパシのことを聞かれても何も役に立ち	ます	まい．例へば或る人の邸を見に行つて其の邸の
	ま	242	02	の如何をも知らない方が無いとは云はれ	ます	まい．曾て旅行中，新潟監獄に於て副典獄，福
	ま	255	11	悪かつたと云つて賤しめるものでは有り	ます	まい．若し，かういふことを以て尊卑を定める
	ま	255	12	して大名になつた先祖が無いとは言はれ	ます	まい．或ひは自分の妻を将軍へ妾同様に売り付
	ま	255	14	貰つたと云ふやうなことも無いではあり	ます	まい．これ等の為めに今日の華族は皆な賤しむ
	ま	255	16	をかけると云ふやうなことは決して有り	ます	まい．よつて獄吏は此の趣意を最もよく心に銘
	ま	268	05	事の監獄に関係しましたことは申し述べ	ます	まい．また監獄の目的及び方法などに至つては
	ま	270	13	らしても，さうあるべきものに相違あり	ます	まい．然れば犯罪人を減少するは教育の普及を
	ま	273	09	れども未だ立派なものと申す訳には参り	ます	まいかのやうに思はれます．此の外，東京，兵
	ま	195	05	臆で御坐りませうが，これは朝，日の出	ます	前に，東に当つて出ましたので，ドコの国から
	ま	195	07	に旅を致して居りましたが，朝，日の出	ます	前にあるかなければならない用事が有りまして
	ま	036	12	賛成いたした趣意をちょつとお話し申し	ます	まで．社会外に道徳なし明治十九年四月二十日

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ます）	ま	188	14	百七十一年まで即ち今の共和政治になり	ます まで国の組織となる憲法を十一度取り変へまし
	ま	206	02	分いきます．）其の彗星のあるいて居り	ます 道を勘定しましたが抛物線では有りません．其
	ま	256	06	ります．其れで第一の公けの救助と申し	ます ものは全国，又は府県，若しくは町村よりして
	ま	256	08	ことで有りまして第二の私の救助と申し	ます ものは一私人，又は数私人，若しくは有志者，
	ま	231	11	か，また警察官会議とか云ふものが有り	ます やうに．議政は総て二つ以上の頭を集めてやる
	ま	080	06	ものは一個人から成り立つもので御坐り	ます 故に人間社会の中に含まれたる一個人たるもの
	ま	092	13	り難い好結果は必ず現はれませうと存じ	ます 故にこの大日本帝国に対して諸君御銘々の義務
	ま	073	07	ふことを教師諸君より依託を受けて居り	ます ゆゑ何か新奇なことを陳述いたしたう御坐んす
	ま	076	11	立身の道を得て積極的の結果を得て参り	ます ゆゑ其の違ひの有るといふことはたゞ二個の学
	ま	085	03	の為めに必要なり」と云ふことで御坐り	ます ゆゑに，これから段々之を弁じませう．併しな
	ま	094	08	う．併し私は英吉利法は職違ひで御坐り	ます ゆゑ知りませぬが英吉利法のことは大谷木君が
	ま	014	04	ます．この月と云ふものは望遠鏡の開け	ます 余ほど前からして円いもので時としては虧けた
	ま	018	03	から来て居るので有ります，こゝに燭し	ます ラムプも，そこでたいてありますストーヴも皆
	ま	016	01	うすると此の距離は三十と云ふ数になり	ます ，即ち地球の直径の三十倍ほどで有ります．し
	ま	018	03	でで皆間接に太陽から来て居るので有り	ます ，こゝに燭しますラムプも，そこでたいてあり
	ま	019	13	望遠鏡で見ますと其のグルリに鍔が有り	ます ，丁度鉛の玉のグルリに剣術の竹刀の鍔でもつ
	ま	022	09	と十五間で直径が三分七厘少し余で有り	ます ，即ち三分七厘余の玉を一丁十五間の所に置い
	ま	023	04	を一丈一尺とすると木星は一尺一寸あり	ます ，直径が太陽の十分の一ありまして地球からの
	ま	024	08	でも星の真中の所に筋の様なものが見え	ます ，丸に一文字の紋所とでもいふべき形に見えま
	ま	027	03	です，明りの行くのはいくらか時を費し	ます ，若し時間を費さないで行つたら不思議です．
	ま	027	06	に十分はかゝらない幾ど八分と少しで来	ます ，丁度九段の坂下からこゝまで人力車で来る位
	ま	029	14	ハと言ひます．西洋では「乳道」と言ひ	ます ，其れは乳をこぼした様で有るからさう言つた
	ま	029	14	ぼした様で有るからさう言つたので有り	ます ，支那では「銀河」と言ひます，銀に其れを見
	ま	029	15	ので有ります，支那では「銀河」と言ひ	ます ，銀に其れを見立てたのは奇麗だからで有りま
	ま	029	15	に其れを見立てたのは奇麗だからで有り	ます ，併し銀よりは立派です，銀が其れに譬へられ
	ま	036	10	でよくためて，よくつかふが宜う御坐り	ます ，これは誰もトガメテの無いことでせう．どう
	ま	067	13	御坐いませぬ．たゞ「御目出たう御坐い	ます ，御愉快で御坐いませう」と申すより外は御坐
	ま	070	06	○六十五人で内に法学士が十二人御坐い	ます ，これはシッカリと調べましたので御座います
	ま	197	12	ると直に太陽の上に落ちる筈になつて居	ます ，幸に地球は非常に速くあるいてズットにげや
	ま	201	15	までが人なみに重いものになつて威張り	ます ，ソコデ其のソバにゆくと暫くはお辞儀をして
	ま	207	07	，とれて流れてしまふやうなことが有り	ます ，あれのことが流星でありまして，秋の頃，沢
	ま	269	16	，間違の出来やすい時で有るものと見え	ます ，故に人の父母たる者は専ら十二歳より十八歳
	ま	001	13	して，つまらないことなれども少し申し	ます ．この四五日前に私の所へ今日この席に居らる
	ま	009	05	は無い，廃さない方が天下の輿論で有り	ます ．さればこの演説も時勢に適せぬムダな空論と
	ま	011	05	坐いませう．成るほど一応は御尤で有り	ます ．併し神保町の車屋でも呼んで来て「貴様どこ
	ま	012	05	だけを今日諸君に御話しをしようと思ひ	ます ．私が「地球の位置」と題をつけて致します演
	ま	012	06	ました位を目的と致しますことで御座い	ます ．追々お話しします中に問題の趣意もよく分り
	ま	012	10	，地理学と言つて大層大事な学問で有り	ます ．併し其れは私の目的で有りませぬから，地理
	ま	012	14	話しをしておかねばならないことが有り	ます ．其れは地球の大きさのことで御坐います．地
	ま	012	15	す．其れは地球の大きさのことで御坐い	ます ．地球は我々の身体に比べると非常に大きなも
	ま	013	01	では無い，至つて小さいものと私は申し	ます ．直径は一番大きい処で僅か日本の三千二百四
	ま	013	03	無い，ひつこんだ所とふくれた所が有り	ます ．そこで直径を知つて居りますと幾何学を少し
	ま	013	08	日間か百日で地球を一周することが出来	ます ．して見れば地球は実に小さいものと言はなけ
	ま	013	08	いものと言はなければならないで御坐い	ます ．これが我々の住つて居る場所で有ります．こ
	ま	013	09	す．これが我々の住つて居る場所で有り	ます ．この住つて居る場所は円いものでタカの知れ
	ま	013	11	ものは何と言ふものかと云ふに天と言ひ	ます ．さて天と言ふものは広大無辺なもので地球を
	ま	013	14	有るまいかと云ふことに自然と眼が着き	ます ．併し若しも我々が非常に近眼で五里か十里先
	ま	013	16	りませうが幸に我々は眼が随分遠くきゝ	ます ．殊に物理学の進歩してから眼が益々遠ぎゝす
	ま	014	03	は大陽，月，星，アマノガハなどで有り	ます ．其の中一番近いのは月で有ります．この月と
	ま	014	04	有ります．其の中一番近いのは月で有り	ます ．この月と云ふものは望遠鏡の開けます余ほど
	ま	014	08	えまして全く高い山や深い谷などで有り	ます ．山だの川だの谷だの岡だのは地理書に有るこ
	ま	014	14	先づ距離を測るのが第一番のことで有り	ます ．そこで月までの距離はと言ふと現に既に測量
	ま	014	15	の距離はと言ふと現に既に測量して有り	ます ．測量をしますとはドンナことかと言ひますと
	ま	014	17	で何里あると云ふことを調べるので有り	ます ．「ドウして其れが知れるだらう，物さしをあ
	ま	015	01	する訳にはいくまいが」と疑ふ人が有り	ます ．併し測量術を少し心得て居るなら分ります．
	ま	015	01	．併し測量術を少し心得て居るなら分り	ます ．地球上で測量をしますにも十里も二十里も先
	ま	015	05	へ進んでドンナに遠い所までも測量致し	ます ．そこで地球と月とありますに地球の表面に於
	ま	015	07	りに例の角度で月までの距離を測り出し	ます ．随分此の測量はむつかしいが天文学の測量の
	ま	015	08	ではこれが最も精密に出来るもので有り	ます ．さてこの測量の結果はと云ふと地球の中心か
	ま	015	11	つけにくいから天文学者が物さしを替へ	ます ．物さしを替ると云ふのは例へば糸などの長さ
	ま	015	16	れば里と段々に物さしを大きくして参り	ます ．さて地球から月までの距離を唱へるには里で
	ま	015	17	ット大きくして地球の直径を物さしにし	ます ．さうすると此の距離は三十と云ふ数になりま
	ま	016	01	す，即ち地球の直径の三十倍ほどで有り	ます ．してこの距離が分りました上は其の大きさは

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ます）	ま	016	02	した上は其の大きさは容易に勘定が出来	ます．月の大きさは地球よりは小さい．地球はさつ
	ま	016	07	厘の玉をおきましたのが月の雛形になり	ます．距離も随分遠く大きさも大分違ひますが兎も
	ま	016	09	るのみならず地球のグルリを回つて居り	ます．地球が真中にチャンとして居つて月が其グル
	ま	016	10	として居つて月が其グルリを旋つて居り	ます．して見ると月は分明に地球の眷属，地球の家
	ま	016	14	う．其れは出さなくてもよい問題で有り	ます．毎度この席で化学の講談が有りますから諸君
	ま	017	03	ない，申さば明き家みた様なもので有り	ます．先づ此の位で月のお話しはおきまして此の外
	ま	017	05	ますと我々の目につくものは太陽で有り	ます．太陽は距離を精密に測量することの出来るも
	ま	017	06	することの出来るものの中にはいつて居	ます．併し月の距離の様にやさしくは有りませぬが
	ま	017	08	七百八十五万里余といふことは知れて居	ます．箇様に夥しい距離に居ながら月と同じ位に見
	ま	017	08	夥しい距離に居ながら月と同じ位に見え	ます．して見ると非常に大きいものに違ひない．現
	ま	017	10	十三里で地球の直径の百八倍半ほど有り	ます．さつきの一寸の玉を地球の雛形としまして太
	ま	017	12	を三丁半の距離に置いたのが太陽になり	ます．一寸の玉は手の指ででもまはりますが一丈一
	ま	018	04	トーヴも皆太陽がたいてくれるので有り	ます．又我々が手を動かすも足を動かすも皆太陽が
	ま	018	05	かすも皆太陽が動かしてくれるので有り	ます．此のことはこの理医学講談会に続いてお出で
	ま	018	08	の今申しましたことと同じ趣意で御坐い	ます．して見ると太陽は我々の為めの生活の根元で
	ま	018	11	へ来ます間が即ち一年と言ふもので有り	ます．そこで太陽が地球を引きつれて居るばかりで
	ま	018	15	名高くて諸君の御存じのは西郷星で有り	ます．西郷星とは一時の名で実は螢＊惑星とも火星
	ま	018	16	時の名で実は螢＊惑星とも火星とも言ひ	ます．肉眼で見ますと赤い星で時としては同し所に
	ま	019	01	災か起るなどと言つて恐れたもので有り	ます．其れから宵の明星或は明の明星とも云ふ星で
	ま	019	02	宵の明星或は明の明星とも云ふ星で有り	ます．これは太白星とも長庚星とも言ひ或は金星と
	ま	019	03	星とも長庚星とも言ひ或は金星とも言ひ	ます．昔し或る唐人が母の胎内に居るとき此の母が
	ま	019	05	て酒飲みの詩人で世に知られた人で有り	ます．併しコンナむづかしいことを言はなくつても
	ま	019	06	似月」と云ふのが此の星のことで御坐い	ます．其れからまだ辰星と申しまして太陽のソバに
	ま	019	08	陽の秘蔵子，太陽のおそばさらずが有り	ます．此の星を水星とも申します．次に木星と言ふ
	ま	019	08	らずが有ります．此の星を水星とも申し	ます．次に木星と言ふ星が有りますが，これは歳星
	ま	019	09	ふ星が有りますが，これは歳星とも唱へ	ます．支那では昔し貴まれたもので，正月元日の或
	ま	019	10	が木星で其の次ぎは塡星一名土星と言ひ	ます．これは運動が随分のろい，支那は物の優美を
	ま	019	14	刀の鍔でもつけた様に見えるもので有り	ます．これだけが昔し五星と言つたもので有ります
	ま	019	14	これだけが昔し五星と言つたもので有り	ます．其の後ち天王星，海王星と言ふものが発見に
	ま	020	02	の出来ます星は火星即ち螢＊惑星で有り	ます．矢張り太陽のグルリを回つて居る星で地球と
	ま	020	03	たないで太陽の明りを借りて照つて居り	ます．所で此の星は地球の軌道の外を通つて太陽を
	ま	020	09	月が一番よく知れ其の次ぎは火星で有り	ます．さて火星の表面にも山が有り谷が有るかと云
	ま	020	14	如何に拘はらずいつも氷がはりつめて居	ます．これなぞは全く地球と同じ事です．其れから
	ま	021	01	方を回つて居ますと火星が外を回つて居	ます．これが我々の第二の道づれで有ります．道づ
	ま	021	01	ます．これが我々の第二の道づれで有り	ます．道づれどこでは無い今言つた通り火星は全く
	ま	021	04	かつたら其れの方が却つて不思議で有り	ます．全く動物植物の生活の出来るのは空気が有つ
	ま	021	13	を回らして見るとハテシが無い位で有り	ます．今日理学や其の外の学問をする人が満足する
	ま	022	06	のが海王星で十一億三千七百万里で有り	ます．そんな大きな数を持ち出しても例の通り見当
	ま	022	08	雛形とし一丈一尺の玉を太陽の雛形とし	ます．さうすると一番近い星即ち水星は距離が一丁
	ま	022	10	五間の所に置いたのが水星の雛形になり	ます．其の次ぎは宵の明星即ち金星で有ります．こ
	ま	022	10	す．其の次ぎは宵の明星即ち金星で有り	ます．これは距離は二丁と二十間で地球より少し小
	ま	022	12	言つても宜しい．其の次ぎは地球で有り	ます．これは三丁半，半は少し大げさで其の実は三
	ま	022	14	足りない玉が有るのが火星の雛形で有り	ます．これまでは皆地球よりは小さいか大凡同し位
	ま	022	16	看做せば看做すことの出来るもので有り	ます．火星から木星に移る間に距離が離れて来ます
	ま	022	16	火星から木星に移る間に距離が離れて来	ます．其の間に非常に小さな惑星が有ります．其の
	ま	022	17	ます．其の間に非常に小さな惑星が有り	ます．其の数は夥しいことで今日まで発見になりま
	ま	023	05	木星より小さい，幾ど九寸三分程で有り	ます．其の次ぎが天王星，これは三寸八九分の玉で
	ま	023	07	を距ること二里二十五丁幾ど三里で有り	ます．地球の雛形の一寸の玉を太陽の雛形一尺一寸
	ま	023	10	持つて来ることが出来なかつたので有り	ます．実に此の世界は広いもの（此の世界とは皆な
	ま	023	14	足らぬ位だから小さいと言つたので有り	ます．其れでは太陽からして海王星までの距離は夥
	ま	023	16	かと云ふに，さう言へない場合が出て来	ます．其れは跡でお話ししませう．今まで申したこ
	ま	024	03	すれば月は地球の眷属で太陽の孫で有り	ます．地球の外にも眷属を持つた惑星が有るかと云
	ま	024	05	みた様なものが有る，其れは衛星と言ひ	ます．これは近頃亜米利加のワシントンの天象台の
	ま	024	09	に一文字の紋所とでもいふべき形に見え	ます．此の筋と同じ向に彼の四つの衛星が時として
	ま	024	10	は玉を並べた様に四つとも一直線に見え	ます．其の次ぎには土星これは余程贅沢な星で八つ
	ま	024	11	沢な星で八つほど眷属を引きつれて居り	ます．次ぎに天王星海王星これにも眷属が沢山あり
	ま	024	12	太陽は親父で惑星は子，衛星は孫であり	ます．其の中で地球は第何番の子だと云ふことも知
	ま	024	14	此の家内のことを総称して太陽系と言ひ	ます．系は系図の系の字で有りまして私が親子眷属
	ま	024	15	のも私の言つた通りの訳柄だからで有り	ます．」さてこれでズット前に言ひました「地球は
	ま	025	08	に星が太陽の党類では有るまいかと考へ	ます．併し素人は其れにしては星は余り小さいと言
	ま	025	09	人は其れにしては星は余り小さいと言ひ	ます．小さいとは眼で見て小さいので眼で見て小さ
	ま	025	14	すのから見ますと余ほどむつかしくなり	ます．第一今度は物さしが地球の直径ではいけなく
	ま	025	15	は物さしが地球の直径ではいけなくなり	ます．三千二百里も有る物さしが最早間に合はなく

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ます）	ま	026	03	が今の物さしの二十二万千八百倍で有り	ます	．地球から太陽までの距離が三千七百八十五万
	ま	026	05	しても二十二万などといふ大きな数が出	ます	．さつきの雛形を用ひますと海王星を太陽から
	ま	026	10	ければならないと云ふことが分つて参り	ます	．現に此の割り合ひによつて見ますと我々に見
	ま	026	15	チョイと出て，やがてひつこむ星で有り	ます	．これが一番近い星でで有りますが近いと云つ
	ま	027	02	すから星学者は広大無辺の物さしを作り	ます	．其れは何で有るかと云ふと明りの一秒時間に
	ま	027	10	は其れの幾ど三倍で九年と三ケ月かゝり	ます	．でありますから其の星に何か一朝変動が生ず
	ま	028	04	例を取ると非常の遠くに居ます星が有り	ます	．今のαＣｅｎｔａｕｒｉより一万倍乃至三万
	ま	028	08	余程遅い新聞を受け取る様なことが有り	ます	．そこで此等の星を観測して見ると中には面白
	ま	028	10	て居ますが中にはコンナにかたまつて居	ます	．先づ二つかたまつて居る星は肉眼で見ますと
	ま	028	13	小さく，かたつ方がかたつ方を回つて居	ます	．丁度地球が太陽を回り，月が地球を回る様に
	ま	028	13	が太陽を回り，月が地球を回る様に見え	ます	．して見ると一つが親分で，あとが子で有りま
	ま	028	16	持たない眷属が多分有るだらうと思はれ	ます	．して見れば全く太陽系と同じ様な世界で有り
	ま	028	17	見れば全く太陽系と同じ様な世界で有り	ます	．三つ以上組み合つて居る星も矢張り同じ様な
	ま	028	17	張り同じ様な運動をして居ますのが有り	ます	．して見ますと果して我々の太陽系は外にツレ
	ま	029	05	て居る惑星があると云ふことが察せられ	ます	．そこで我々の太陽の同士が即ち此の星と云ふ
	ま	029	06	の星と云ふもので有るといふことが分り	ます	．其の同士は非常に沢山あるのですから太陽系
	ま	029	07	太陽系みた様なものは天の中に沢山あり	ます	．段々先きへ行くに従つてチットづゝ分りかね
	ま	029	08	行くに従つてチットづゝ分りかねて参り	ます	．併しモウ少し分るものが有る．其れは何で有
	ま	029	11	為して居るといふことが粗分る様で有り	ます	．諸君御存じで有りませうが秋の頃に天を見て
	ま	029	13	少し月が出たり何かすると見えなくなり	ます	．これはアマノカハと言ひます．西洋では「乳
	ま	029	13	なくなります．これはアマノカハと言ひ	ます	．西洋では「乳道」と言ひます，其れは乳をこ
	ま	030	01	す．濃い所になりますと夥しく星があり	ます	．一体，肉眼で見えない星が沢山ありますが其
	ま	030	06	帯の様にして天をグルツと取りまいて居	ます	．して見ますと其の中に我々がはいつて居るに
	ま	030	08	す．其れだけは幾ど確に見ゆる様で有り	ます	．其れには譬へを取らないといけませぬ，こゝ
	ま	030	12	天を取りまいて居る様に見ゆる筈で有り	ます	．そこから見ますとアマノガハは星のかたまり
	ま	030	15	「アマノガハの中だ」と言ふことが出来	ます	．あらゆる星は皆悉くアマノガハの中であらう
	ま	031	01	星が有る，ではない星のかたまりが有り	ます	．望遠鏡で見ますと星のいくつとはなく簇つて
	ま	031	04	た星のかたまりの様に見えないのが有り	ます	．其れは星雲と言ひまして近世になつて大層名
	ま	031	05	世になつて大層名高くなつたもので有り	ます	．此の星雲の中にはチョットした望遠鏡で見て
	ま	031	07	で見ても矢張り雲の様に見ゆるのも有り	ます	．其れとても矢張りアマノガハみた様な星のか
	ま	031	13	ガハと方角の違つた様に見ゆるのも有り	ます	．そこで又アマノガハの中にも大分瓦斯体であ
	ま	031	15	見ても矢張り雲の様に見える部分も有り	ます	．こゝに至つて説が二た通りつけられます．或
	ま	031	15	す．こゝに至つて説が二た通りつけられ	ます	．或はアマノガハと云ふものは我々の見る所の
	ま	032	04	ハは数多ある星雲の中の一つだ」と言へ	ます	．併し此の説は全く確な説では有りませぬから
	ま	032	06	中にあるものでは無からうかとも思はれ	ます	．若しも其の通りで有ると始めにお話しを申し
	ま	032	10	るだけはドウかカウか解いた積りで有り	ます	．今日お話ししましたのは地理書の先きを言つ
	ま	032	12	問で私は地球の外へ出て言つたので有り	ます	．これだけでは実は余り面白くない．これより
	ま	033	08	いたした趣意を申し上げて見ようと思ひ	ます	．酒のことに付ては古人も辛苦されたことと見
	ま	033	10	とも言はれまして説が両端になつて居り	ます	．さて酒は世間に数千年来行はれてありますが
	ま	033	14	様に総て酒を飲むことが慣習になつて居	ます	．其の外，近来国を開化させるとか文明にしよ
	ま	033	17	快であつたとか，いふことが見えて居り	ます	．また日本ばかりでなく西洋でも総て酒は人間
	ま	034	02	のは西洋の人も歎息して居ることで有り	ます	．一体御承知の通り酒と申すものはナルコチカ
	ま	034	07	居るものでは無いといふことが分つて来	ます	．また今日智慧を研き身体を丈夫にしようとい
	ま	034	09	ザションの道理によつて分るもので有り	ます	．然る他にかのナルコチカを飲んで食物と同様
	ま	034	13	多慾の人は酒を飲まぬものだらうと思ひ	ます	．諸君はドウ思し召すか知れませぬが私は酒を
	ま	034	15	に人に弊害を及ぼして参りませうと思ひ	ます	．併し大慾の人はさうで無い，大慾の人は余り
	ま	035	02	丈夫にし財を惜む欲の深い人だと思はれ	ます	．小欲の人は酒を飲むことを好んで前に述べた
	ま	035	05	るか知れませぬが私は面白いことと思ひ	ます	．私どもの実験にも世間にさういふ連中があつ
	ま	035	10	ーが亨二に教へましたよく当る詞が有り	ます	．あなた方は何とお思ひなさるか知れませぬが
	ま	035	11	さるか知れませぬが私どもは善いと思ひ	ます	．其れは外のことでも無い「大いなる社会は大
	ま	035	14	トソサイチーである」といふことで有り	ます	．今日世界の大変動と思はれまする殖民政略な
	ま	036	09	にし財を貯へる様に致したいものと思ひ	ます	．財を貯へると言つても決して吝嗇になるとい
	ま	036	12	折りを以て大慾の社会になることを希ひ	ます	．賛成いたした趣意をちょつとお話し申します
	ま	051	05	ことは御坐りますが甚だ不調法で御坐り	ます	．先づ仮名文字は便利でありモロコシ文字は不
	ま	051	09	成りゆくことを御相談いたしたいと思ひ	ます	．然るにこの月は会員が二千何百人になつた，
	ま	052	17	公文を書いたのが流れて来たので御坐り	ます	．其の間に平仮名を使つたのは草紙物語より出
	ま	053	02	一種の真片仮名文になつたものと思はれ	ます	．もと漢学の開け始まりは漢語を用ひた方が上
	ま	053	07	始皇にやられては不都合が有ると思はれ	ます	．私は漸進家で気の短い様な気の長い様な性質
	ま	053	09	ければならぬ所は気を短くする所も有り	ます	．たゞ気を長くばかりしては，いつまでも事は
	ま	054	04	仮名を用ふることを開くに如かずと思ひ	ます	．また後のことを考へると前に申した秦の始皇
	ま	054	06	に知れるものを作ることが肝腎だと思ひ	ます	．先づ小学校の本，また学問のある人の研究の
	ま	054	09	仮名ばかりで書いた本が入り用で御坐り	ます	．内田先生の奥方がお拵へになるさうですが真
	ま	054	12	量の学問などの本が出来なくつては困り	ます	．手紙の書き方の本は物集先生の御著述を待つ

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ます）	ま	054	13	方の本は物集先生の御著述を待つて居り	ます	．さて又今まで修身の道は我が国では孝経をた
	ま	054	17	仮名で書いた修身の本を願ひたいと思ひ	ます	．さて書物はヤミクモに作るさへ骨が折れるも
	ま	055	01	クモに作るさへ骨が折れるもので御坐り	ます	．今私の申した目録だけの書物を拵へるのは口
	ま	055	02	言へば易い様だが大困難の至りで御坐り	ます	．何にもあれ新しいことを起すは大困難のこと
	ま	055	07	い月日だと思つても已むことを得ず教へ	ます	．其れはナゼだと申せば漢字の本をやめて仮名
	ま	055	09	無いから涙を流して漢字をやらして居り	ます	．ドウゾ皆様のお骨折りを以て全く仮名の世界
	ま	055	10	が出来る様で無ければなりませぬと思ひ	ます	．この自分の持論を述べて諸君に伺ひますので
	ま	055	11	持論を述べて諸君に伺ひますので御坐り	ます	．半開化は衛生の害明治十九年六月十三日大日
	ま	057	07	お礼を陳べなければならぬことが御坐い	ます	．総て我々の健康と云ふものは実に必要なもの
	ま	057	14	必竟当路者の尽力多きに居るものと思ひ	ます	．是れ私が当路者に謝し又諸君が斯る幸福なる
	ま	057	15	県下に居らるゝことを賀する訳で御坐い	ます	．次で本題を陳べやうと思ひますが其の演説の
	ま	057	17	一つ諸君に向つてお断り申すことがあり	ます	．其れは外でもありませぬが凡て話しと云ふも
	ま	058	05	もなりませぬから私は極めて俗語で陳べ	ます	．併しあまり俗語すぎて高貴の諸君に向つては
	ま	058	06	存じますから此の段は何卒御海容を願ひ	ます	．さて，これから半開化衛生上の害を述べやう
	ま	058	09	化の度に依つて種々のよしあしが御坐い	ます	．試みに御覧なされ，私が今日数時間に東京よ
	ま	059	05	れ屹度チフスの居候が無くならうと思ひ	ます	．若しウソと思ふなら試みに二三年間もやつて
	ま	059	06	て御覧なされ必ず無くなること請け合ひ	ます	．又近くは我が陸軍や海軍で兵士の食物を改良
	ま	059	16	に先づ奇麗なものや便利なもの等であり	ます	．何となれば知識が無くても学問が無くても奇
	ま	060	04	子の絹衣はまだ見ぬけれども）着て居り	ます	．しかのみならず人力車が出来ればムヤミに乗
	ま	060	13	はモルヒネ往生等に極を結ぶ者多くあり	ます	．是れ則ち半開化の害でありませう．されば私
	ま	061	17	康を害すること頗る大いなるものと思ひ	ます	．所で斯く人力車濫用の弊を生じたる所以を考
	ま	062	04	ケチなヤツだなどと評するもの往々あり	ます	．故にこれ等の人はイヤでもオーでも門外に出
	ま	065	03	女の文明如何を卜するに足るものと思ひ	ます	．諸君如何です．さて斯の如き類を挙げますれ
	ま	067	09	ずる所を諸君の前に申し述べようと思ひ	ます	．諸君は我が天父の無形なる愛護と教師諸君の
	ま	067	15	せられ赫々の光華を得られむことを望み	ます	．而して私は法律科卒業の諸君に特に望む所の
	ま	068	03	し述べて諸君の御参考に供しようと思ひ	ます	．諸君の中に御承知の方も御坐いませうが孛漏
	ま	068	10	等官吏登用の大試験を受けることが出来	ます	．通例孛漏生に於て学生となることの出来るも
	ま	068	13	生となり少くも四年間実務の練習を致し	ます	．其れより第二回の高等官吏登用大試験及第の
	ま	068	14	後試補官に任ぜられまする順序で御座い	ます	．（この試補官と申したのはＡｓｓｅｓｓｏｒ
	ま	069	01	るには三箇年を待たねばならぬ訳で有り	ます	．之を以て孛漏生国の司法官吏たること及び代
	ま	069	02	及び代言人たるの難いことが想ひやられ	ます	．箇様に年令満十八歳にて中学校を卒業し其れ
	ま	069	10	一日には三千八百三十九人となつて居り	ます	．さういたしまして此のＡｓｓｅｓｓｏｒ即ち
	ま	069	12	二十人と云ふ非常なる数に増加して居り	ます	．故にベルリンの或る新聞記者は「世の父兄子
	ま	069	17	が出来ませう．実に邦国の幸ひで御坐い	ます	．而して孛漏生の裁判官代言人の数は何程かと
	ま	070	02	○一人，代言人が二千百十一人で御坐い	ます	．これは千八百八十三年の調査に係つて居りま
	ま	070	02	れは千八百八十三年の調査に係つて居り	ます	．孛漏生国の有様は斯の如くで御坐いますが眼
	ま	070	07	これはシッカリと調べましたので御座い	ます	．而して孛漏生と日本との人口を比較するが要
	ま	070	10	千七百四十五万千七百六十四人で御坐い	ます	．この統計により日本では千万人以上多い所に
	ま	070	13	四人の卒業生では，まだまだ遺憾と思ひ	ます	．この上にも沢山にお出来なさる様に願ひます
	ま	070	13	この上にも沢山にお出来なさる様に願ひ	ます	．たゞ甚だ喜ぶ所は私は昨日は大学の卒業式に
	ま	071	01	ばしいことは無いと感ずることで御坐い	ます	．さて今日は卒業諸君の輩出せらるゝを喜んで
	ま	071	08	を諸君と共に熱心希望することで御坐い	ます	．法律と経済との関係明治十九年七月十一日専
	ま	074	10	ｕｅ即ち積極的の価値といふことになり	ます	．又之に反して害を除く方で御坐んすが，これ
	ま	077	01	際に応用するに至つては実に錯雑を致し	ます	．害を除くのが利を興すのであり利を興すのが
	ま	077	12	幸福を進められむことを切に希望いたし	ます	．基督教は社会進歩の為めに必要なり明治十九
	ま	079	04	の為めに必要なり」と云ふことで御坐り	ます	．これ即ち人間社会の進歩を成就する為めには
	ま	079	06	必ず無ければならぬと云ふ主意で御坐り	ます	．人たるものは種々の貴い性質の中に必ず只今
	ま	079	07	弁ずる所の進歩すると云ふ性質が御坐り	ます	．先づ人間は進歩する動物で御坐ります．世の
	ま	079	07	ます．先づ人間は進歩する動物で御坐り	ます	．世の中の動物は数へも尽すことが出来ぬ程な
	ま	079	08	ものは只人間のみに限つたことで御坐り	ます	．たとへば牛馬などの様なものには進歩と云ふ
	ま	079	11	くの人より成り立つ社会の中にも御坐り	ます	．又世界中の人類にも御坐りますけれども一番
	ま	079	12	が自ら進歩することの出来るので御坐り	ます	．けれども人間の進歩と云ふものは何で御坐り
	ま	079	15	う．即ちスゝミユクと云ふことで御坐り	ます	．けれども社会の進歩と云ふものはたゞ進み行
	ま	080	01	開化の方へ段々と進んで行くことを申し	ます	．抑も昔よりこのかた人間社会の種々の進歩に
	ま	080	05	進歩は一個人の進歩に由るもので御坐り	ます	．なぜなれば社会と云ふものは一個人から成り
	ま	080	08	社会が必ず善く進歩してゆく筈で御坐り	ます	．一個人たるものが皆んな油断をして滞るなら
	ま	080	11	を見れば三つの明らかな手続きが御坐り	ます	．総ての改正改革と云ふものに付ても此の三つ
	ま	080	11	ものに付ても此の三つの手続きが御坐り	ます	．一つの仕方は人の総ての悪き所，人の害にな
	ま	080	13	る所のものを減じ或は除くことで御坐り	ます	．また一つには現に成り立つて居る人の善き所
	ま	080	16	にする新しい原素をつくる仕方で御坐り	ます	．此の三つの仕方は一個人に付ても，また社会
	ま	080	17	た社会に付ても適用すべきもので御坐り	ます	．畢竟，人の総ての進歩，総ての改正改革を遂
	ま	081	01	に用ゆべき方法は斯の如きもので御坐り	ます	．第三．総て人間の進歩と云ふものは其の本心
	ま	081	06	体上のことで無く霊魂上のことで御坐り	ます	．若し其の内部の性質が何れも能く完全して居

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ます）	ま	081	07	は自らにして完全して行くもので御坐り	ます	．たとへば屋敷の立派なこと機械の盛大なこと
	ま	081	10	て自然に生ずる所の外部の結果で御坐り	ます	．インエ人の進歩と云ふものは必ず人みづから
	ま	081	14	サハカなもので真物で無く偽物で御坐り	ます	．また鞏固ならぬもので御坐ります．第四．人
	ま	081	14	坐ります．また鞏固ならぬもので御坐り	ます	．第四．人間の器量は様々にして其の常に為す
	ま	081	16	一と筋のもので無く其の種類多く御坐り	ます	．たとへば能く人が智慧の進歩商法の進歩製造
	ま	082	01	実に商法の進歩に付て人の進歩で御坐り	ます	．学術の進歩も亦斯の如し学術が自分に進歩す
	ま	082	03	ぬ．学術に付て人々自分の進歩で御坐り	ます	．政事の進歩経済の進歩などは皆んな其の通り
	ま	082	03	済の進歩などは皆んな其の通りで御坐り	ます	．これ等皆な至極善きもの至極有益なるもので
	ま	082	05	で未だ申さぬ一つの大切な種類が御坐り	ます	．此の種類が完全して居りませぬならば他のも
	ま	082	07	極大切なものは即ち道徳の進歩で御坐り	ます	．道徳の進歩と云ふものは即ち貴い道徳的に付
	ま	082	07	即ち貴い道徳的に付て人の進歩で御坐り	ます	．たとひ，人が種々の進歩いたしても道徳的の
	ま	082	12	真に沢山ありまして甚だ明らかで御坐り	ます	．昔の例を挙ぐればエジプトとペルシヤの国が
	ま	082	13	ぐればエジプトとペルシヤの国が御坐り	ます	．これ等の国は立派に開けた国で御坐りました
	ま	082	14	賤しき国はエジプトとペルシヤで御坐り	ます	．また少し後の例を挙ぐればギリシヤの国また
	ま	083	05	い国はイスパニヤとポルトガルで御坐り	ます	．また地理によつて諸君に近い国の例を申しま
	ま	083	06	例を申しますならば隣りの支那で御坐り	ます	．諸君御案内の通り支那では昔より儒学が能く
	ま	083	09	那の全国中の有様は気の毒千万で御坐り	ます	．また時の近い例を申しますならば彼の仏蘭西
	ま	083	13	中の人類の為めにも一様に必要で御坐り	ます	．ドコにか智慧の進歩学術の進歩美術の進歩製
	ま	083	16	社会の進歩に付てかう云ふことが御坐り	ます	．只今申した通り進歩の中には種類がありますす
	ま	084	02	し或る時は殆んど無い位なことも御坐り	ます	．たとへて申すならば或る国の人が機械のこと
	ま	084	10	コロンボスが新世界を発見した時に当り	ます	．また或る時は機械と製造のことが沢山開けた
	ま	084	12	．これ則ち蒸汽力が発明された時に当り	ます	．また或る時は政治のことが能く進歩したこと
	ま	085	01	白いことで，また有益なることで御坐り	ます	．先づ人間の進歩の有様とまた其の進歩に付て
	ま	085	02	略を申すならば以上の如きもので御坐り	ます	．併しながら今こゝに弁ずる演題は「基督教は
	ま	085	06	新しい事柄を演べ出すに及ぶまいと存じ	ます	．なぜなれば此の演説の最初から既に弁じた所
	ま	085	07	分の証拠を立てることが出来やうと存じ	ます	．既に申しましたことを取り撮んで其の大意を
	ま	085	09	りかへして言ふならば此のことで御坐り	ます	．即ち社会の進歩と云ふものは劣りたる所より
	ま	085	11	竟文明開化の所へ進み行くことで御坐り	ます	．それから続いて改良と進歩とに付て必ず三つ
	ま	085	12	て必ず三つの段或は三つの仕方が御坐り	ます	．其の一は人の悪しき性質，人の損害になる原
	ま	085	16	トを添へ加へること．此の三つで御坐り	ます	．それから，また完全なる進歩を成就する為め
	ま	085	17	ことは既に皆んなお話し申したで御坐り	ます	．さて，これ等の種々の事柄は演題の確実なこ
	ま	086	02	とを充分証拠だてることも有らうと存じ	ます	．なぜと云ふならば人の悪しき性質，人の損害
	ま	086	08	ふならば明らかな返答は出来まいと存じ	ます	．また世の普通の学問は誠に大切なものなれど
	ま	086	11	此の世の富などに係はらぬもので御坐り	ます	．さらば，これ等のものは如何にして知ること
	ま	086	13	ことの明らかになるは丁度こゝで御坐り	ます	．基督教の欠くべからざること即ち基督教の必
	ま	086	14	要はこれ等の質問に由つて明らかになり	ます	．若し基督教に問ふならば明白な返答が決して
	ま	087	01	に基督教は即ち世に下されたので御坐り	ます	．基督教は丁度これ等の貴きものに付て人の心
	ま	087	02	めに万民の中に設けられたもので御坐り	ます	．この故に聖書と云ふものを己れの信仰と品行
	ま	087	14	と云ふ明らかな返答が出来るので御坐り	ます	．この故に既に申し上げた通りこの聖書を専ら
	ま	088	01	の必要は必ず明らかになりませうと存じ	ます	．未だ基督教を委しく研究せずして分らぬ御方
	ま	088	03	ひが皆んな立派に晴れて来ませうと心得	ます	．けれども既に演べましたものの外に社会の進
	ま	088	04	の進歩の為め種々の必要なものが御坐り	ます	．これ等も亦基督教の緊要なることを能く顕は
	ま	088	10	て至極其の困つた所は丁度こゝで御坐り	ます	．たとへば亜米利加の土人は自分の不完全なる
	ま	088	12	ことを知らねども其の儘で満足して居り	ます	．モウ多年米国の政府が骨折つて教訓いたしま
	ま	088	15	ーランド島の土人も亦其の通りで御坐り	ます	．英吉利の政府でも種々世話を致しましたがヤ
	ま	088	17	逃げてしまひ鹿や猪の様なもので御坐り	ます	．故に人は進歩しやうとするならば己れの不足
	ま	089	04	足不完全を明らかに教ゆる宗教で御坐り	ます	．人若し己れの真の有様を知りたいならば先づ
	ま	089	05	らば分らぬことが御坐りますまいと存じ	ます	．第二．また種々の進歩をせむとする御方は必
	ま	089	09	するには基督教が極優れたもので御坐り	ます	．それのみならず真理の高尚なることなどを兼
	ま	089	11	から，進歩するの志を起すもので御坐り	ます	．無下に賤い人でも若し基督教を用ひるならば
	ま	089	14	尚なるゆくアテのあるのは大切で御坐り	ます	．人はメアテとする所ないならば進歩を成就す
	ま	089	15	かも知れませぬが遂にまた退く様になり	ます	．併しながら高尚な目的を示すものは何である
	ま	089	16	のは何であるかと云へば基督教で御坐り	ます	．この教は即ち万物を造りたまふ造物主のミコ
	ま	090	05	，色々の教訓が余程大事なもので御坐り	ます	．若し人が知識浅く天地の道理に疎いならば迚
	ま	090	06	葉と云ふ聖書の極古い所に申して御坐り	ます	．即ち「神の御言葉はこの浮世の旅人の道を照
	ま	090	07	を照す光りの如し」と云ふ明文が御坐り	ます	．また耶蘇基督御自分に「我れは世の光りなり
	ま	090	08	光りなり」と仰せられましたことも有り	ます	．なぜなれば所謂聖書は神のミコゝロを教ゆる
	ま	090	09	書は神のミコゝロを教ゆるもので御坐り	ます	．基督教を用ひ天の光りを受けて世渡りするも
	ま	090	10	ものは必ず種々の進歩をする訳で御坐り	ます	．第五．種々の進歩を致さうと思ふ人には一つ
	ま	090	11	模範即ちｉｄｅａｌが必ず必要で御坐り	ます	．併しながら耶蘇基督よりも立派な模範が御坐
	ま	090	13	督の性質と其の行状を頻りに称美いたし	ます	．また近来様々の不信者の中にも耶蘇基督を直
	ま	091	03	を育てる為めには至極善い宗教で御坐り	ます	．新約聖書の使徒行伝と云ふ書物に委しく書い
	ま	091	05	国の為めに常に骨折りしたことが御坐り	ます	．併しながら古今に箇様な例は実に夥しう御坐

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ます）	ま	091	06	がら古今に箇様な例は実に夥しう御坐り	ます．第七．併し人間社会の進歩は一個人と社会と
	ま	091	11	，たゞ一言で申すならば即ち罪で御坐り	ます．所謂罪悪で御坐ります．世の進歩の妨げを為
	ま	091	11	即ち罪で御坐ります．所謂罪悪で御坐り	ます．世の進歩の妨げを為すものはこの罪悪で御坐
	ま	091	12	歩の妨げを為すものはこの罪悪で御坐り	ます．万国万民の救ひ主耶蘇基督の御功績に由らざ
	ま	091	15	ひ遂に己れが貴い血を流したので御坐り	ます．申すも憚り有る様なれども私は年たけて居り
	ま	092	02	成就せむとするに必要なるもので御坐り	ます．基督教は即ち進歩の宗教で常に人を善の方へ
	ま	092	03	へ進ませて貴い方へ上げる宗教で御坐り	ます．箇様な宗教をうちゃつて置いて完全なる進歩
	ま	092	04	を成就したる人はドコにも無いと思はれ	ます．あまり御話しが長くなりますから先づこゝに
	ま	092	06	うけれども，終りに一言を申したう存じ	ます．この演説の初めに社会総体の進歩は其の社会
	ま	092	07	たが，これに付て面白いタトへが御坐り	ます．「ある花園に咲いて居る花が能く勉強して自
	ま	092	09	て居る花園を飾る」と云ふことで御坐り	ます．花の様な智慧分別だに無きものも思はず知ら
	ま	093	07	ふ題に付て簡短に意見を述べやうと思ひ	ます．一たび英船ノルマントン号が紀州沖に於て沈
	ま	093	14	には治外法権といふものが行はれて居り	ます．併し純理上から言へば今回の事件の如きは我
	ま	094	04	没したのはドコかと言ふに紀州沖であり	ます．紀州沖であれば日本の領海なれば裁判法理に
	ま	094	06	の領事に於て支配することになつて居り	ます．既に英国の領事に於て支配することであれば
	ま	094	10	ずして法理に付て考へを述べやうと思ひ	ます．諸君．我輩は日本人で御坐ります（これは言
	ま	094	13	は我輩に於て悲歎に堪へぬことで御坐り	ます．他の乗組人は大抵助かつて居りながら我が人
	ま	094	14	ぬといふは実に憤怒に堪へぬことであり	ます．これは我輩のみならず諸君も定めて御同感で
	ま	094	17	るといふのは法理の許さない所で御坐り	ます．今道徳上の原理より言ひますれば身を殺して
	ま	095	06	ことも法律上では責罰せぬことが御坐り	ます．故に道徳上に於て罪すべき人であつても法律
	ま	096	09	が治罪法にも情況の裁判は禁じて御坐り	ます．徳川の頃は情況裁判が行はれて居りましたが
	ま	096	11	が開明諸国は大抵証拠裁判になつて居り	ます．然れば証拠が明かでなければいけませぬ．我
	ま	096	16	分は証拠の蒐集に尽力することで御坐り	ます．其の証拠が充分なるに無罪と決するなら充分
	ま	097	10	を蒐集することに尽力されむことを願ひ	ます．私の演説は此に止めませう．尚ほ委しきこと
	ま	098	06	シェクスピーヤが曾て申した言葉であり	ます．さて世の中には随分おそろしいことが有りま
	ま	098	13	じて憤怒となるも蓋し当然のことであり	ます．全体我が日本人は友愛のこゝろに富むで居り
	ま	100	09	この様なつらきことは無からうと思はれ	ます．畢竟するに二十有余名の同胞は羅馬人の如く
	ま	101	05	人が外国人から軽蔑を受くる原因であり	ます．今一つは何なるか．日本の国情が外国に通じ
	ま	101	12	ことは二十余年の変遷でよく分つて居り	ます．西洋各国の歴史を見まするに何れの国にても
	ま	102	06	て居ないのがこれ亦軽蔑の一原因であり	ます．私は固より日本人であるから斯くひどく攻撃
	ま	102	12	は支那の属国やら更に分らぬさうであり	ます．国の実況が分らず国の名さへも知らぬ様では
	ま	102	14	なしたのは固より無理のないことであり	ます．斯くの如く一方に於ては日本人がうつりやす
	ま	103	09	りませう．皆な宗教信仰の深き故であり	ます．また弘法大師の如き日蓮上人の如きものを見
	ま	103	14	々が及ぶところで無きことが明瞭であり	ます．斯くの如く昔時の人は宗教を信ずるが故に気
	ま	104	01	何かといへば英語を盛んにするのであり	ます．前段にも申したるが如く日本人は浮薄の本性
	ま	104	02	大改革を行ふには最も適当の人民であり	ます．即ち国語を変ずるといふことは他国にありて
	ま	104	08	演説すれば我々の目的は達するのであり	ます．之を要するにノルマントンの事件は悲しむ可
	ま	105	11	為すものである」と報道するものもあり	ます．然れどもこれ等は総て誤謬たるを免れませぬ
	ま	106	11	非ずして寧ろ行政上の処分のものと考へ	ます．さればノルマントン号の沈没した為め紀海の
	ま	106	14	戸領事庁に於て更に開く所の法廷であり	ます．想ふに去月二十四日の晩，彼の紀州大島沖に
	ま	107	02	現はすべき言語の無きを憾むのみであり	ます．諸君は我が同胞中に如何なる種類の人があつ
	ま	107	09	法律を取り調べるのが必要であると考へ	ます．英国の法律には諸君の御承知の通り成文法と
	ま	107	11	このホミサイドを分つて四種としてあり	ます．第一種をジャスチファイァブル，ホミサイド
	ま	107	13	の命令に依つて人を殺すことなどであり	ます．第二種をエキゼキューサブル，ホミサイドと
	ま	107	15	者が弁別なしに人を殺すなどの類であり	ます．第三種はメンスローターで，これは世間で「
	ま	108	01	済むのもあれば或ひは終身徒刑のもあり	ます．第四種はマーダー即ち謀殺でありますが，こ
	ま	108	04	ものも亦マーダーと為す如きものであり	ます．そこで自分は今ノルマントン号の船長ドレー
	ま	108	06	ふことを審究するのが必要のことと考へ	ます．然るに其の所為はマーダーに当るか又メンス
	ま	109	07	備へなければならぬことにきまつて居り	ます．而してこれは何の為めにおくものであるかと
	ま	109	12	とに尽力して居つたといふことで御坐り	ます．して見れば，この人等は端艇の効用を知つて
	ま	110	14	当なる裁判を下されむことを冀望いたし	ます．然れども神戸在留の英国領事は既に一旦船長
	ま	110	17	政府の為めに便宜の処置であらうと信じ	ます．終りに臨み我輩は一言すべきことが御坐りま
	ま	111	01	りに臨み我輩は一言すべきことが御坐り	ます．若し今回の事変にして単に今回の事変のみに
	ま	111	03	なる厄難に際会したるを憫むのみであり	ます．然れども今回の事たる決して之に止まりませ
	ま	111	08	斯の如き事のなからむことを熱望いたし	ます．人類的の欲をして動物的の欲を制せしむべし
	ま	113	15	今日まで，むつかしいことになつて居り	ます．併し之を節しないときには先刻からお話しの
	ま	114	08	物に対して言訳の無いやうな話しで有り	ます．また他の動物は命が惜いといふことは一と通
	ま	115	01	といふ欲は飲食の欲よりも貴い欲で有り	ます．一体，人類といふものは低い欲よりは高い欲
	ま	115	10	しなければ，ならないといふことで有り	ます．他の動物は酒を飲まないが人類は酒を飲む．
	ま	116	01	飲食の欲に勝つやうにしたいもので有り	ます．併し理屈づめでは何とでも言へるが実際には
	ま	116	05	酒会などは至つて宜しいものだと思はれ	ます．其の訳は節酒会といふ申し合せが有ると，な
	ま	116	14	れば全く酒を節した効能だらうと思はれ	ます．かく自分一人でも酒を節することは出来ぬで
	ま	117	06	まないといふのが人類的の貴い欲で有り	ます．此の会が有つてお互ひに約束した上に，この

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ます）	ま	117	09	守らうといふやうに致したいもので有り	ます	．すべて会を設けてすると一人でするのとは違
	ま	117	11	るたけ此の会を盛んにしたいもので有り	ます	．人によりては酒の分量といふものは人によつ
	ま	117	15	却つて身体の為めによく有るまいと思ひ	ます	．昔から禁酒をしたり，また願酒とて神様に祈
	ま	118	01	ふでは無いが此の会はこれでよいと思ひ	ます	．若しも人に虚言をつくやうな人ならば節酒会
	ま	118	04	守る人の多く有るやうに致したいと思ひ	ます	．私が今日申すのはただ其れだけのことで有り
	ま	118	04	今日申すのはただ其れだけのことで有り	ます	．飲酒より生ずる弊害を調査するの方法を論ず
	ま	119	13	居ることは実に容易ならざることで有り	ます	．只今此の会へ出る前に少しばかり其の事を書
	ま	120	03	病で有ると解して然るべきことと思はれ	ます	．世界に名高い経済学者Ｒｏｓｃｈｅｒと云ふ
	ま	120	13	の一原因となつたことであらうと思はれ	ます	．併しながらモノゴトはたゞ論ばかりでは人に
	ま	120	14	に感じさすることが割合に少なく思はれ	ます	．今，申したのは西洋の学者が西洋の飲酒の弊
	ま	121	03	実を挙げて見せた方が宜からうと思はれ	ます	．事実を見せたら其れからして論も起らうし，
	ま	121	09	らば弥々節酒の効能も起らうかと思はれ	ます	．其れに就ては酒の弊害の及ぶ箇条が有ります
	ま	121	16	物を盗んだのだと云ふことを調べて居り	ます	．実に結構なことと存じます．其れで警視庁の
	ま	121	17	調べて居ります．実に結構なことと存じ	ます	．其れで警視庁の懲役場の罪人の上から調べて
	ま	122	02	ドコでも少いことでは有るまいと思はれ	ます	．其の外に売淫女などが殖えます．これは外の
	ま	122	03	思はれます．其の外に売淫女などが殖え	ます	．これは外のことからも殖えるで有りませうが
	ま	122	05	るべき徴毒が殖え，また私生の子が殖え	ます	．私生の子はフランスではスタチスチック上か
	ま	122	08	み孫が亦酒を飲むと云ふ様になつて行き	ます	．また独逸でコレラ病に罹る者を調べたのには
	ま	122	11	も酒から起ることが余程多い様に思はれ	ます	．かういふ様なことは外のことからも起りませ
	ま	123	10	いくまいかと云ふ御相談を致すので有り	ます	．然るべくは此の次ぎの会の問題にでもして篤
	ま	123	11	にでもして篤と御相談を致したう御坐い	ます	．神学卒業生の心得明治十九年六月二十二日神
	ま	124	06	めにも全く無益で有るまいと希望いたし	ます	．併しまた若し図らず今度のお話しの序に僅で
	ま	124	10	ず二た通りのことを経験いたさうと存じ	ます	．其の一つはこれで御坐ります．彼の卒業生が
	ま	124	10	うと存じます．其の一つはこれで御坐り	ます	．彼の卒業生が其の働きと其の務めとの益にな
	ま	124	13	働く者は皆，神と共に働くもので御坐り	ます	．なんと全智全能の造物主たる神と共に働くも
	ま	124	15	ませぬか．これ実に幸ひなことで御坐り	ます	．けれども若い伝道師の仕事は皆残らず順風に
	ま	125	03	また其の務めの邪魔になるもので御坐り	ます	．勿論，今この一席の間に其の色々の邪魔と妨
	ま	125	06	とは私が今いたしたいと思ふ所で御坐り	ます	．されば今頃，よく若い伝道師を困らせるもの
	ま	125	14	合はぬことなどに本づいたもので御坐り	ます	．書生がよく言ふＳｐｅｎｃｅｒ氏が何々と仰
	ま	126	01	ども，こゝに一つの不審なことが御坐り	ます	．近来の学術と云ふ貴い名によつて基督教を破
	ま	126	03	的と結果を全く覚らざる者が多う御坐り	ます	．例へて申しますならば箇様な人は未だイロハ
	ま	126	09	まするが其の中に至極よいものも御坐り	ます	．また大きに誤つたものも御坐ります．今から
	ま	126	09	ります．また大きに誤つたものも御坐り	ます	．今から私は其の色々の仕方を順に従つて申し
	ま	126	11	若き卒業生の中に珍らしい勇者が御坐り	ます	．この者は一向疑ひを起さず恐れを知らず己れ
	ま	126	13	を駁つことが出来ると思ふもので御坐り	ます	．箇様な豪傑はよく「我が思ふには」「我がミ
	ま	126	14	」「我がミコミに拠れば」などと申され	ます	．而してたゞ自分のミコミを以てＤａｒｗｉｎ
	ま	126	15	に勝つことが出来ようと思ふので御坐り	ます	．箇様な者の勇気は感心なものだかも知れぬけ
	ま	126	17	者といふものは大抵皆な専門家で御坐り	ます	．今漸く世に出て来た所の卒業生が容易に之に
	ま	127	02	所の仕方は随分ケンノンな仕方で御坐り	ます	．西洋の有名な専門家が其の専門とする所の区
	ま	127	04	にはこれ等の人は随分タシカな人で有り	ます	．また其の論はかたい論にして中に面白いこと
	ま	127	05	も，また有益有用なることも多う御坐り	ます	．故に若い卒業生が迚も，たやすく之に勝つこ
	ま	127	08	に色々の間違ひに陥り易いもので御坐り	ます	．けれども卒業生が其の未熟な論を以て彼の専
	ま	127	10	う．故に先づ用心する方が宜しう御坐り	ます	．よく熟した学者また熟練した理論者にあらざ
	ま	127	15	しい考へなどを誠とし且喜んで受け容れ	ます	．而して色々の骨折をして近来聞いた所の新発
	ま	127	16	基督教に符合させようと思ふ様で御坐り	ます	．この様な教師が学者たちの色々の論を天の黙
	ま	128	02	る．これ亦随分ケンノンな仕方で御坐り	ます	．ナゼと云ふならば西洋の学者の色々の新らし
	ま	128	04	へも学術の事実とせぬことが多う御坐り	ます	．近来盛んに起つて来る所の色々の論の中に追
	ま	128	05	と学術のかたい事実となるものも御坐り	ます	．また遠からずず全く聞えなくなるべきものも
	ま	128	06	ずず全く聞えなくなるべきものも御坐り	ます	．学術の歴史を調ぶれば暫くの間，盛んにはや
	ま	128	07	消えてしまつた所の論は随分多う御坐り	ます	．故に先づ暫時の間，待つ方が宜しう御坐りま
	ま	128	15	がらこゝに一つの珍らしいことが御坐り	ます	．頻りに色々の新らしい説，新らしい論を求め
	ま	129	01	の無証拠な設理を受け容るものが御坐り	ます	．さのみならず学術家の中にも箇様なものが無
	ま	129	04	心するもの，またタシカなもので御坐り	ます	．第三．また只今説いた所に丁度反対したる仕
	ま	129	05	説いた所に丁度反対したる仕方が御坐り	ます	．或る教師は総て普通の学術を大いに恐れて居
	ま	129	06	師は総て普通の学術を大いに恐れて居り	ます	．箇様な人は世俗の学問を皆な基督教の大敵と
	ま	129	07	を皆な基督教の大敵とするもので御坐り	ます	．これ等の人の思ふには近来盛んに開けた所の
	ま	129	09	問をけしからぬ悪きものとして常に誹り	ます	．箇様な臆病なものは少なう御坐りますけれど
	ま	129	15	の額に鬼の角を生えさせるもので御坐り	ます	．実にをかしいことでは御坐りませぬか．勿論
	ま	130	03	な臆病なものは実に適当せぬもので有り	ます	．イゝエ基督教と基督教の道徳法の基は決して
	ま	130	04	と人間の天然の性質に基いたもので有り	ます	．故に実に固うして変ることの無いもので有り
	ま	130	05	実に固うして変ることの無いもので有り	ます	．私ども常に陳る所の宗教の基また学者が常に
	ま	130	08	のなりなどのことは誠に拙き論で御坐り	ます	．学術と宗教との出所は一つのもので有る故に
	ま	130	10	までも互に符合すべき筈のもので御坐り	ます	．優勝劣敗の面白い法則により，やがて二千年

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ます）	ま	130	16	ります」と．実に面白いお話しで御坐り	ます ．数へも出来ぬ日月星を含む所の大空が人の色
	ま	131	03	い御心に本づいたものなるが故で御坐り	ます ．これまで説きました所の三つの仕方は皆な誤
	ま	131	04	の三つの仕方は皆な誤つた仕方で御坐り	ます ．されば学術に本づいたる反対論に答ふるに，
	ま	131	06	其の一つの至極よい仕方はこれで御坐り	ます ．洋学を致した卒業生は基督教の反対論を駁つ
	ま	131	08	論に答へることは誠によい仕方で御坐り	ます ．基督教の反対論を駁つ為めに英国，米国，独
	ま	131	09	版になる所の書籍類も実に夥しう御坐り	ます ．今日も其の色々の書名を挙げることが出来ま
	ま	131	10	を挙げることが出来ませぬほどで御坐り	ます ．たゞ一方の論のみを読みまするお方はドコま
	ま	131	14	りませぬ．第五．また善い仕方が御坐り	ます ．卒業生が学術のよくシッカリした事実を取つ
	ま	131	16	とし，また固い証拠を設けることが出来	ます ．さすれば学術といふものは決して我が宗教の
	ま	131	17	の害にならず却つて大いに其の益になり	ます ．古今に有名なる説教師は大概皆な此の仕方を
	ま	131	17	大概皆な此の仕方を用ふるもので御坐り	ます ．卒業生若しよく謹んで無証拠な設理を避けて
	ま	132	02	術をして宗教につかへさせることが出来	ます ．この仕方の益は少なく御坐りませぬ．第六．
	ま	132	05	督教の色々の反対論に答ふることが出来	ます ．昔より今に至るまで此の聖書の効力を滅ぼさ
	ま	132	09	も無く盛んに世に生存するもので，有り	ます ．この仕方は実に結構な仕方で有ります．ナゼ
	ま	132	10	ます．この仕方は実に結構な仕方で有り	ます ．ナゼといふのに人の色々の間違ひを駁つより
	ま	132	11	道理を設ける方が余程よいもので御坐り	ます ．若しあなた方，世の色々の迷ひの中にて造物
	ま	132	13	は自からにして倒れてしまふもので有り	ます ．滅ぼすこと，また破ることと駁つことは露西
	ま	132	14	駁つことは露西亜の虚無党の仕方で有り	ます ．基督教の仕方で御坐りませぬ．僞りを倒すよ
	ま	132	15	よりも真を立てる方がよい仕方で御坐り	ます ．第七．基督教の反対論に答へるには最もよい
	ま	132	16	対論に答へるには最もよいものが御坐り	ます ．即ち卒業生が己が身に基督教を行ふの仕方で
	ま	132	17	が己が身に基督教を行ふの仕方で御坐り	ます ．人が，まのあたり受ける所の証拠は明かにし
	ま	133	01	の証拠は明かにして実に固いもので有り	ます ．また卒業生の行ひの証拠はたゞの議論に負け
	ま	133	06	服したことは歴史に明かに記して御坐り	ます ．故に昔より，かういふ格言が御坐りました．
	ま	133	09	．漸く昨日新聞紙で読んだことで御坐り	ます ．一人の宣教師は支那のズット内国の偏鄙な村
	ま	134	01	の事一切皆な喜んでこの人に任せて置き	ます ．そこで私が基督教を見たので有ります」と答
	ま	134	03	きまする仕方に就て聖書の明文が御坐り	ます ．例へばＰｅｔｅｒｏが仰せられまするに「爾
	ま	134	08	ず」などと仰せられましたことも御坐り	ます ．尚ほ明かな所はこれで御坐ります．「人々の
	ま	134	08	坐ります．尚ほ明かな所はこれで御坐り	ます ．「人々の前に爾等の光りを耀かせ，さすれば
	ま	134	12	のならば其の本は勿論貴いもので御坐り	ます ．先づ基督教は善の教で御坐りまする．即ち世
	ま	134	13	止める為めに世に起された宗教で御坐り	ます ．故に神学卒業生は常に基督教の善を顕はして
	ま	134	17	する所のおもなるものは，これで御坐り	ます ．併しながら，こゝにまた一つの不承知を言ふ
	ま	135	01	にまた一つの不承知を言ふお方が御坐り	ます ．この不承知を言ふお方は神学卒業生で御坐る
	ま	135	04	にはなりはせぬかといふ不同意で御坐り	ます ．之に答へますには若し世界が狭いものと言は
	ま	135	05	れば基督教は則ち世界中の為めで御坐り	ます ．若し万国万民が狭いものならば基督教の趣意
	ま	135	06	ば基督教の趣意は実に狭いもので御坐り	ます ．基督教は則ち万国万民の為めで御坐ります．
	ま	135	07	．基督教は則ち万国万民の為めで御坐り	ます ．耶蘇基督が世を逝りませぬ前きに其の弟子た
	ま	135	09	の教をのべ伝へよ」といふことで御坐り	ます ．また若し人間の色々の楽みと哀み人の色々の
	ま	135	11	ものならば基督教の趣意は亦狭う御坐り	ます ．ナゼといふのに人間のこれ等の大事なもの多
	ま	135	12	多くは皆な基督教に係はるもので御坐り	ます ．イヽエ，基督教を専らに研究しまた其の為め
	ま	135	14	．却つて其の見渡す所が広く且遠くなり	ます ．聖書を手に持つて而して聖書に説く所の高い
	ま	135	15	地の間の限り無き道理が実に明かになり	ます ．神田橋外の学習院の奥の庭には面白いものが
	ま	135	16	学習院の奥の庭には面白いものが御坐り	ます ．かの庭の中にこの麗しい大日本帝国の地図が
	ま	135	17	大日本帝国の地図が委しく造つて御坐り	ます ．また緯度経度を記す為めにハリガネが縦横に
	ま	135	17	ガネが縦横にチャンと引つ張つて御坐り	ます ．そこで見物人が表の口にはいり裏へ出まして
	ま	136	02	に面白くも無く，また分らぬやうに見え	ます ．けれども遂に二階に上つて，かの庭の景を見
	ま	136	03	景を見下すならば誠に面白いもので有り	ます ．此の帝国の本州と諸々の島は皆な眼の前に，
	ま	136	03	島は皆な眼の前に，この庭に敷て御座り	ます ．こゝには九州が見え次ぎに四国が見えます．
	ま	136	04	．こゝには九州が見え次ぎに四国が見え	ます ．彼所には白妙の富士が眼に立つ如くに見えま
	ま	136	05	所には白妙の富士が眼に立つ如くに見え	ます ．誠に面白いもので御坐ります．下から見れば
	ま	136	05	くに見えます．誠に面白いもので御坐り	ます ．下から見れば面白いことも無く分ることも御
	ま	136	06	白いこと覚ること誠に感心の訳で御坐り	ます ．之に擬へて申しまするならば人が下い所から
	ま	136	08	白いことも少なく覚ることも浅う御坐り	ます ．けれども聖書の高い所からして憚りながら神
	ま	136	10	れぬ程にて覚ることは実に明かで御坐り	ます ．日本小説改良論明治二十年一月九日大日本教
	ま	137	12	つて大いに其の利害の有ることと思はれ	ます ．私は此の小説のことに委しくは無いが凡そ教
	ま	137	14	ひまして今日其のお話しを致さうと存じ	ます ．小説と申すものは面白いか面白く無いか言は
	ま	138	14	刺する小説の如きも大いに効能が御坐り	ます ．また西洋の著作中にも其の善きものは之を見
	ま	138	17	れて政治を改良することにも向つて参り	ます ．また其のキヽメの深浅を云ひましたら小説の
	ま	139	02	も強く且深くて誠に宜しきもので御坐り	ます ．併しながら此の小説を利用することを誤りま
	ま	139	04	を害用するときは甚だ深い害が出て参り	ます ．其れ故今日の小説中に之は害の有るものと認
	ま	139	06	は之を改良しなければならぬものと思ひ	ます ．して此の小説と言ふものは普通の学問と違ひ
	ま	139	12	洋では其の名を知らぬ人も有るとか申し	ます ．素より大家のことなれば高尚の学者社会にて
	ま	139	13	りませうが，さほど人望家で無いと申し	ます ．然るに小説家のサカレイと申したら上はクエ
	ま	139	15	クシャミの仕様までをも，うかゞつて居	ます ．フランスのビクトルヒューゴなども有名な人

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（ます）	ま	139	16	すが其の最も長じたる所は小説で御坐り	ます	．諸君も其の著作を御覧になつたら面白いと言
	ま	140	02	ですから其の筆先きの勝れたものと見え	ます	．またイギリスの故宰相ジスレリーなども長技
	ま	140	03	は何で有ると言へば矢張り小説で御坐り	ます	．斯様に西洋ではゐらい人が小説家と言ふに日
	ま	140	09	のオモシロミと言ふは別なもので御坐り	ます	．時代が同じなれば馬琴と比較しますが馬琴先
	ま	140	12	斯様な情けないクラシをして居たと申し	ます	．これは馬琴自ら書いた物の中に其の不平を訴
	ま	140	15	うが多くは作者自ら為したことと思はれ	ます	．其の時分には日本ではまだ小説の地位と言ふ
	ま	141	01	るものは見るに忍びぬ程で有つたと申し	ます	．また日本の小説家の品格を申さば源氏物語の
	ま	141	04	説家は概して卑しめられたるもので有り	ます	．さて日本で学者が此の小説家を卑しめたるは
	ま	141	15	かせるのは甚だむつかしいもので御坐り	ます	．彼奴は学者にはなれまいと思ふ鈍才の者が思
	ま	141	17	其れを運用することの出来ぬものも有り	ます	．斯る先生では本当の小説の仕組は出来ません
	ま	142	06	庸の才智では旨く出来ないもので御坐り	ます	．小説家もたとひ其の文章が流暢なばかりでは
	ま	142	14	本などでも其の仕組は大体きまつて居り	ます	．春水の梅暦が先づお手本でドレを見ても一つ
	ま	143	02	間の人情を写し出す一つの美術で御坐り	ます	．これを画にたとへて見れば森羅万象日月星辰
	ま	143	05	より外は無い．即ち小説の管内で御坐り	ます	．凡そ人情と申すものは極り無きもので種々雑
	ま	143	09	気を付けねばならぬ極高尚なもので有り	ます	．或ひは論者が有つて貴様は小説を貴ぶが小説
	ま	143	13	，斯様なものは之を擯斥する積りで有り	ます	．たとへば米八丹治郎の本ならば之を見て男な
	ま	143	16	随分人の前で読むことの出来ぬ奴があり	ます	．併しこれ等は小説の末の余弊でありますから
	ま	144	09	十五銭で買へるツマラヌものが沢山あり	ます	．兎に角，非凡の小説を得んには小説家の資格
	ま	144	10	資格と云ふものを高めておきたいと思ひ	ます	．其れには西洋の学問が第一入りまする．また
	ま	145	01	をつぎこむ様にしたら宜しからうと思ひ	ます	．其れも急激に致したとて間に合ふ訳でも無い
	ま	145	03	ばなりませぬ．併し一つの工夫が御坐り	ます	．先づ現今の小説に志す人々は日本流の人も西
	ま	145	09	直し政治を改良する様にもならうと思ひ	ます	．其れをするには困難するところが有ります．
	ま	145	10	．其れをするには困難するところが有り	ます	．さしあたり出版費と云ふ金のいることが有る
	ま	145	16	た小説改良の方が区域が広からうと思ひ	ます	．また此の演劇を改良したら面白くなくなり観
	ま	146	02	と言ふと随分利益も有る．また能く売れ	ます	．千部売れゝば大いなることは無けれども資本
	ま	146	03	も資本の取りかへしと労力の償ひはつき	ます	．私はドッカの曩いきを，うかゞつて金を集め
	ま	146	05	が集まつて出したら訳が無からうと思ひ	ます	．斯様いたしまして其の小説の極精良なる高尚
	ま	146	09	聊か諸君のお耳を煩はしたことで御坐り	ます	．行政法大意第一回明治二十年二月十二日スタ
	ま	147	07	所に講究して見たいといふことで，あり	ます	．諸君がお分りになつて居るには違ひあります
	ま	147	13	きまつて居つて其れが即ち行政法であり	ます	．また山林のことを調べましても川がイクツあ
	ま	147	15	町村から出すとかいふのは行政法であり	ます	．これ等の事実をスタチスチックで調べるのは
	ま	147	16	の便益になることが大いなることであり	ます	．其れからまた季候の如きにしましても季候を
	ま	148	06	タチスチックの方では大事なものであり	ます	．併し人員を調査するのはドレほどスタチスチ
	ま	149	06	に関係なさざるものは無いだらうと思ひ	ます	．既にこのスタチスチックはベルジウムでも行
	ま	149	15	れば相集まつて研究するのは必要と考へ	ます	．殊に社会上，政治上のことに付ては最も必要
	ま	149	17	いふ考へで講究するといふ理由で御坐い	ます	．今日は行政法はドウいふものであるといふこ
	ま	150	05	何でも）との関係を規定したものであり	ます	．色々ありますがツマリ今申した二つに帰着す
	ま	150	08	の関係を規定したるものを内公法と言ひ	ます	．この内公法中で刑法，治罪法の二つは別に法
	ま	150	10	罪法を除けば憲法といふのが一つであり	ます	．憲法は其の国と人民との成り立ちで其の次は
	ま	150	11	民との成り立ちで其の次は行政法であり	ます	．行政法は内公法の一つで政治学の一部分に属
	ま	150	12	つで政治学の一部分に属するものであり	ます	．さて行政法と憲法との関係は如何なるものか
	ま	150	14	法で，憲法と言へば一国組織の謂であり	ます	．行政法といふものはたゞ憲法に基いて憲法の
	ま	150	16	密なる部分を定めるものが行政法であり	ます	．行政法と言へば一国施政上の法律規則また官
	ま	151	01	る道具に関係の法律規則を言ふのであり	ます	．故に行政法の原則は憲法の中にあるのです．
	ま	151	04	，行政議会，其れから行政裁判所であり	ます	．こゝで官吏と言ひましたのは漢学者などは色
	ま	151	13	を起すことの出来るものが無形人であり	ます	．即ち日本では府県，町村等でこれは如何して
	ま	151	16	いから此の学は一科の学問になつて居り	ます	．ツマリ行政法は憲法と密接して居るものです
	ま	152	08	法できめた原則を実際に行ふものであり	ます	．また之を適用するに付て規則といふものを，
	ま	152	09	するに付て規則といふものを，こしらへ	ます	．故に憲法と行政法とを例へて見ると憲法はア
	ま	152	10	ると憲法はアタマで行政法は手足であり	ます	．また民法は本で訴訟法は附属物であると同じ
	ま	152	11	同じく憲法が本で行政法は附属物であり	ます	．併し瑚瑚珠を見て，これは動物か植物かと言
	ま	152	12	詳細の分界は甚だむづかしいことも有り	ます	．ツマリ行政法は被治者と治者との関係をきめ
	ま	152	15	終るといふことはむづかしいことであり	ます	．けれど実地に就て見ますと仏蘭西の例で言へ
	ま	152	17	命の時からのものがイマダに行はれて居	ます	．憲法では例へば皇帝は一人で主権は此の一人
	ま	153	04	といふことは行政法できめることであり	ます	．また人民は血税を納めるの義務があるといふ
	ま	153	07	）を定めれば行政法では其の取締を設け	ます	．また人民は同等のものであるといふことを憲
	ま	153	13	ないから名前をムヤミに変ることを禁じ	ます	．またお前の所のムスコは気違ひなら外に出し
	ま	153	14	してはいけないなどといふことも，きめ	ます	．この行政法といふものは一国の憲法のきまり
	ま	153	15	のきまり塩梅で色々に，きまる点もあり	ます	．故に憲法は行政法に大いなる勢力を及ぼすも
	ま	153	16	政法に大いなる勢力を及ぼすものであり	ます	．故に憲法を知ることが必要でありますが其れ
	ま	154	02	町村行政の三つに付て講究しやうと思ひ	ます	．それに付てはこれだけのスタチスチックを要
	ま	154	03	といふことを併せて述べて見たいと思ひ	ます	．行政法とスタチスチックと合はないとスタチ
	ま	156	06	ましたネ．昔でも今でも日が出ると言ひ	ます	．勿論天文者でも日が出ると言ひますが日の方

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（ます）	ま	158	11	子先生も雷のことは知らなかつたと見え	ます	．サスガの孔子様まで萌黄の蚊帳をつつて線香
	ま	159	12	コへ落ちるかは教法上の問題になつて居	ます	．アチラでも地質学や哲学が開けてから天主の
	ま	159	13	哲学が開けてから天主の説に不服を言ひ	ます	．ナゼならばドウしても地質学で実験して見る
	ま	159	14	無く十万年位かゝつた証跡があると言ひ	ます	．そこで天主が一時にこしらへたと，いふこと
	ま	165	10	前知するの説と方法」といふことであり	ます	．一寸さきはヤミの世といふのに将来を前知す
	ま	165	13	とを説くのだから論ずる所も大きくなり	ます	．この人間の組み合つて居る社会といふものは
	ま	166	14	訳だナ」と誰でも信じるやうになつて来	ます	．事実から道理を見上げるのだから誰も駁つこ
	ま	167	03	じなくなるから追々に，すたれてしまひ	ます	．今のは事実と道理とピッタリ合ふやうにして
	ま	167	05	やうになり骨も大層に折れるやうになり	ます	．併し一たび事実と道理とハタと符号するやう
	ま	168	15	すが何となくモノスゴイやうな心地がし	ます	．我が国人が必死になつて防ぎとめ色々とモノ
	ま	168	17	地球の引力にでも関係がある様に思はれ	ます	．ところが我が国人の心は西の方へばかり向ひ
	ま	169	02	形ちばかりで何の道理も無いものと見え	ます	．丁度この時分に我が国の人心が印度や支那の
	ま	169	08	つて貿易の利とは反対を示すやうに見え	ます	．これには色々な訳もありませうが今日の題の
	ま	169	11	加へ行く者が年々に多くなるやうに見え	ます	．亜米利加に行く者と欧羅巴に行く者との人数
	ま	169	15	のとは其の目的が違つて居るやうに見え	ます	．欧羅巴に行く者の方は学術研究の為めで官費
	ま	170	01	を求めやうといふ考への者のやうに見え	ます	．其の亜米利加に行く者の中には随分下等の人
	ま	170	04	りで無く世界万国の免れないことであり	ます	．これに就いて考へると官費で欧羅巴へ行く者
	ま	170	10	で後日に至つてよく分りませうと思はれ	ます	．さて日本人が一たび海外に移住の運動を始め
	ま	170	15	を争ふばかり位なことであらうと思はれ	ます	．其れならばオースタラリヤに行かうか，どん
	ま	171	02	ふことはドウもむづかしいやうに思はれ	ます	．たとひ出かけて行つても，よく新聞紙などに
	ま	171	04	物になる位では，おしまひだらうと思ひ	ます	．迚も何十万といふ人を欧羅巴に移住して仕事
	ま	171	05	るといふことは，むづかしからうと存じ	ます	．其れならドコの国に行くだらうか．学術を研
	ま	171	07	といふに北亜米利加合衆国だらうと思ひ	ます	．北亜米利加合衆国は人がまだ多くなく，国に
	ま	171	13	民は北亜米利加に向つて行く因縁があり	ます	．其れはナゼかといふことを申しますれば北亜
	ま	172	08	に第一の同意者となつたことなどであり	ます	．尤も条約改正に第一の同意者となつたと，い
	ま	172	11	きで，これは貿易表を見ると，よく分り	ます	．たゞ北亜米利加人が我が金銀貨の価の不平均
	ま	172	17	ずして恩を報ずることがあらうと思はれ	ます	．其れはなぜかといふと我が国人は古より恩と
	ま	173	04	つて交りを絶つのが今日民間の常であり	ます	．我が国の人はこの恩といふ教に養はれ不潔を
	ま	173	06	嫌ひで平和親睦しやうといふ気風があり	ます	．国内でも強盗をのけては，きつたり，はつた
	ま	173	09	か定めて，うまい味ひがあらうと思はれ	ます	．かつえたるときは素パンでも食はなければな
	ま	173	12	りもよく，滋養もありさうな心持ちがし	ます	．諸君はドウいふ味がしますか．これは後の歴
	ま	173	16	の運動をしなければ，ならぬことがあり	ます	．其の訳はといふと我が国の人数が年々増しに
	ま	173	17	ふと我が国の人数が年々増しに増して来	ます	．現在人別調べのことが無いから分りませぬが
	ま	174	03	すると三十六万二千七百七十四人になり	ます	．昨明治十九年一月には日本国の総人数は三千
	ま	174	07	骨が活き活きして感じるやうになつて来	ます	．これが則ちスタチスチック学者の術でありま
	ま	174	07	れが則ちスタチスチック学者の術であり	ます	．さて現今の人数三千八百十五万一千二百十七
	ま	174	13	者は之を何と見たか聞きたいものと存じ	ます	．さて今，申したやうな訳ゆゑ百年の後に其の
	ま	175	02	から義務が何も彼も我が身にかゝつて来	ます	．若し義務を欠くと人が人とせぬやうになりは
	ま	175	04	の人は確かに後の人に義務を負つて居り	ます	．非でありますか，是でありますか．また此の
	ま	175	09	みもなくなつてしまふと同じ道理であり	ます	．併し人の増すのは当り前ではあるが増すばか
	ま	176	01	今日の英国を為した訳であらうと思はれ	ます	．我が国人も近来，海外出稼ぎのキザシがあり
	ま	176	06	の術に入り用なものを調べるものであり	ます	．この調べの方法は事実の上から道理の知れる
	ま	177	05	に常と変との工合あることは明かに知れ	ます	．この常と変との出来工合を明かに調べた上は
	ま	179	06	スト教は最も親密な関係ある者で御坐り	ます	．依て私はこれよりキリスト教と婦人の地位と
	ま	179	07	の関係に就て聊か考へを述べやうと存じ	ます	．さて紀元前およそ七百年頃イザヤといふ預言
	ま	179	12	て此の言の決して僞りで無いことが知れ	ます	．元来キリスト教は正理自由の友で無理圧制の
	ま	179	13	は正理自由の友で無理圧制の敵で御坐り	ます	．故にキリスト教は何処に往ても曲りたるは直
	ま	179	15	り除き人に自由幸福を与へる者で御坐り	ます	．恐らくは昔日より西洋諸国に於て行はれた種
	ま	180	09	くしたのは全くキリスト教の力で御坐り	ます	．若し之を疑ふものがあればキリスト降世前の
	ま	180	13	人の地位有様と答へても宜からうと存じ	ます	．然らば目下我が邦の社会改良を謀り殊に婦人
	ま	180	16	るかと尋ぬるは最も肝要な問題で御座り	ます	．然しながら是は一大問題で中々一席の演説に
	ま	181	01	人矯風会員方の御参考に供へやうと存じ	ます	．我々は固より婦人の地位を進むるにはキリス
	ま	181	03	ればならぬことを堅く信ずる者で御坐り	ます	．また近来は教外の先生等にも社会を改良する
	ま	181	08	る訳は先づ第一に一夫一婦の教で御坐り	ます	．即ち一人の夫にして一人以上の妻を有つこと
	ま	181	09	ごときことは決して許さぬことで御坐り	ます	．今日我が邦の社会に於て改良を加ふべきこと
	ま	181	13	の上に弊害の根本たる者があらうと存じ	ます	．若しも世の弊風を改めやうとならば先づ其の
	ま	181	16	様々の悪弊は自ら消滅する道理で御坐り	ます	．さて其の根本たる弊害とは何であるかとなれ
	ま	181	17	婦或は蓄妾の風が即ち其の根本で御坐り	ます	．ナゼなれば若し一夫一婦の教が行はれなけれ
	ま	182	07	なく誰でも彼でも平等に之を厳禁いたし	ます	．さうしてこれが即ちキリスト教の儒道や仏道
	ま	182	09	た社会を改良する勢力ある所以で御坐り	ます	．然し左様申せば「一夫一婦の教は何もキリス
	ま	183	01	坐りませう．其の結果は実に思ひ遣られ	ます	．また我々の最も不思議に思ふのは世間で妾や
	ま	183	03	妻といふ者を何とも思はぬことで御坐り	ます	．男子は妾を蓄ることを何とも思はず婦人もま
	ま	183	05	が，これは実に心外千万なことで御坐り	ます	．また，こゝに申さねばならぬことが御坐りま

代表形	判	ページ	行	出現文脈	
（ます）	ま	183	09	真実に一夫一婦の道を守ることで御坐り	ます．一夫一婦と申しても此処に雲泥の違ひが御坐
	ま	183	09	婦と申しても此処に雲泥の違ひが御坐り	ます．儒者の教にも妻が夫に対して貞操を守るべき
	ま	183	11	きことはトント説いてないやうで御坐り	ます．然しキリスト教に於ては夫たるものも妻たる
	ま	183	13	同様に貞操を守るの義務あることを教へ	ます．此の義務に於ては決して男女の区別は御坐り
	ま	183	14	共に貞操を守るの義務あるもので御坐り	ます．然し，これまでの考へでは妻たる者は必ず貞
	ま	184	04	理圧制を取り除かんとするもので御坐り	ます．第二には聖結婚の教即ちキリスト教に於ては
	ま	184	06	の定めたまふた律法とすることで御坐り	ます．一夫一婦の教の大切なことは前に述べた通り
	ま	184	13	で心ある者の常に憂へ且恥る所で御坐り	ます．されば此の悪風を改むるのも今日の一大急務
	ま	185	03	れが即ちキリスト教の結婚の道で御坐り	ます．キリスト教に於ては一旦夫婦になつたからに
	ま	185	10	といふことは思ひも寄らぬことで御坐り	ます．全体，日本にはドウして此のやうな悪風が始
	ま	185	13	はドチミチ更に頓着せぬ者のやうに見え	ます．兎に角に，これより此の悪習を洗滌するには
	ま	185	15	ません．第三には男女同等の教で御坐り	ます．前の弁士も述べられた通り我が邦に於ては儒
	ま	185	17	て男女とも全く同等のものであると教へ	ます．しかしこれは日本ばかりでは御坐りません．
	ま	186	03	実に憫然に堪へぬことどもが多く御坐り	ます．幸に我が国には其れ程のことはありませんが
	ま	186	04	不釣合を直すのも亦キリスト教で御坐り	ます．何となればキリスト教に於ては女を男よりも
	ま	186	06	せず尊い者ともせず全く同等な者と致し	ます．若し女が神の前に於て罪人であるならば男も
	ま	186	08	も同様に神の恩恵を蒙るべきものと致し	ます．故に新約書にもキリストを信ずる者の中に在
	ま	186	09	ストに在つて一体なればなり」と御坐り	ます．固よりキリスト教に於ても男と女は天然，其
	ま	186	11	に至つては更に高下の別なきことを教へ	ます．其の他に尚ほ例を挙ればキリスト教に於ては
	ま	187	07	が来たことを神に感謝した凱歌で御坐り	ます．然らば，これより我が邦にもキリスト教が漸
	ま	187	10	め国のために御尽力あるべきことと存じ	ます．私が婦人矯風会の会員方に望む所も即ちこれ
	ま	187	11	会の会員方に望む所も即ちこれで御坐り	ます．行政法大意第二回明治二十年三月十二日スタ
	ま	188	08	を今日チョット申し上げて見たう御坐い	ます．凡そ人間が集まつて社会を為すときには此の
	ま	188	10	ールと言ひイギリスではパウァーと言ひ	ます．即ちこれを立憲権力と言ひます．この立憲権
	ま	188	11	と言ひます．即ちこれを立憲権力と言ひ	ます．この立憲権力といふものは他の二つの大権力
	ま	188	16	て混雑したことは無いことになつて居り	ます．また日本におきましても立法上のことと執行
	ま	188	17	とと執行上のこととは必ず分けて御坐い	ます．古代のことは能く存じませぬが神代の頃に八
	ま	189	02	の神が集まつて政を議したさうで御坐い	ます．これ等は議政といふ立法権の種類に属すべき
	ま	189	03	権の事は絶えず分れて居つたやうに考へ	ます．現に維新の時の五箇条の御万機公論に決すと
	ま	189	05	が行ふといふ主義に違ひ無いやうに見え	ます．其れで立法権といふものは執行権と相対して
	ま	189	06	行権と相対して独立して居るものであり	ます．即ち立法権は法律をきめるものであり，執行
	ま	189	08	たことを実際に行ふといふ趣意で御坐い	ます．然るに立法権の方はおもに代議士だとかいふ
	ま	189	10	執行権の方は皇帝のみで成り立つて居り	ます．併しながらドチラも一国の政治に関係のあり
	ま	189	11	立法権にも執行権が関係することがあり	ます．例へば法律の草案を出すとか，また法律を議
	ま	190	06	が行政府である．第三には裁判権であり	ます．裁判権の性質は執行権者がドコまでも裁判す
	ま	190	08	てやらせるといふのが一般の有様であり	ます．今日の裁判は委託裁判といふ有様であります
	ま	190	09	今日の裁判は委託裁判といふ有様であり	ます．日本では使ひませぬが外国では皇帝陛下の名
	ま	190	10	を以て判決すといふ言葉を使ふ所があり	ます．また裁判の中にも執行権者が自分でする裁判
	ま	190	12	いふやうなことは自為裁判の種類であり	ます．裁判権といふものは斯の如きもので，この裁
	ま	191	11	違ひ無いといふことに論究が及んで居り	ます．日本の現在の有様で立法権と執行権はドウ定
	ま	192	11	頭を以て万事を議することになつて居り	ます．其れからよいと思つたことは直言しろ肺肝を
	ま	192	14	立法権は天子にあるといふことで御坐い	ます．其れから執行権は誰に在るかといふと天皇陛
	ま	193	01	ふに天子は一人といふことになつて居り	ます．ナゼ一人と言ふに政令二途に出でざるが為め
	ま	193	04	れば行政権も裁判権も天子に属して居り	ます．政府は天皇陛下及び内閣大臣より成り立つて
	ま	193	08	日の講談の目的でありませぬから後にし	ます．それから追々憲法を立るとか，またかういふ
	ま	194	04	から行政組織をお話し致す考へで御坐い	ます．此の次ぎには行政官権，行政議会，行政裁判
	ま	195	10	言つて互に御挨拶をなさつたことと存じ	ます．これが只今から三年前で有りますから「立派
	ま	196	10	ふことがイクラも書物などに書いて有り	ます．其の様にこはがりました所以は畢竟，品物の
	ま	197	02	も何もなくなる．其れと同じことで有り	ます．天文学は近来進歩して，彗星の運動のことに
	ま	197	11	の物をひつばると同じやうに，ひつばり	ます．地球が只今でも止まつてしまつたとすると直
	ま	197	13	間を取つて，太陽のマハリを回つて居り	ます．コンナ塩梅にして回つて居ることの知れたの
	ま	197	15	引き合ひに出るＮｅｗｔｏｎからで有り	ます．Ｎｅｗｔｏｎから惑星の運動の律が分りまし
	ま	198	06	形ちづくるには最も容易いテダテが有り	ます．其れは春の頃にタケノコがのびまして，まだ
	ま	198	08	りますと其の切り口が楕円の形ちになり	ます．楕円は先づ円のやうなものですが細長いもの
	ま	198	09	る道で太陽に近いも有れば遠いのも有り	ます．しかしソンナことは，この前に言ひましたか
	ま	198	11	ますと，これはモット早いテダテが有り	ます．其れは石を空に向けて斜に抛りますと真直で
	ま	198	12	ますと真直で無く抛物線の形ちにあるき	ます．チョイト図に書きますと楕円はコンナ形ちで
	ま	198	13	ンナ形ちで，抛物線はコンナ形ちで有り	ます．そこで彗星が惑星と同じもので有りますなら
	ま	199	02	段々に長くなりますと抛物線に近くなり	ます．最初は円い楕円も引きのばすと其の一部分だ
	ま	199	03	けは殆んど抛物線に違はないやうになり	ます．ツマリ抛物線は楕円のカタッバウが開いてし
	ま	199	04	いてしまつたものと見れば宜しう御坐り	ます．さて，このやうな考へをＮｅｗｔｏｎが起し
	ま	200	02	リスではＦｌａｍｓｔｅｅｄなどで有り	ます．其の観測の結果を取つてＨａｌｌｅｙが調べ
	ま	200	12	強ち同じ形ちにはなりませんもので有り	ます．丁度俳優が舞台に出ます時に男になつて出る

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ます）	ま	200	16	ればいけません．随分厄介なもので有り	ます ．さてＨａｌｌｅｙの曰く「前々の順でゆけば
	ま	201	05	有るので，ヨホド骨の折れるもので有り	ます ．一体，彗星は長の旅をする間にはミチグサを
	ま	201	06	長の旅をする間にはミチグサをくつて来	ます ．ミチグサをくふと云つても小学校の子供がミ
	ま	201	10	ひますと丁寧にジットしてお辞儀を致し	ます ．すると極丁寧な人はコッチへ向いて答礼をし
	ま	201	13	のことが彗星の身の上にも有るので有り	ます ．彗星が太陽のソバを離れて来ると一体，主人
	ま	201	16	にゆくと暫くはお辞儀をしてヒマがとれ	ます ．しかし木星なら木星が通る時には彗星がジッ
	ま	202	17	の二度現はれることの分つた始めで有り	ます ．今度また七十五六年後にはキットまた来るに
	ま	204	01	のは綽号でオヒトヨシと云ふことで有り	ます ．其のオヒトヨシと云ふ帝の時には天文学の代
	ま	204	09	ち千四百五十六年に出ました彗星で有り	ます ．この彗星は日本では歴史に載つて居ましたか
	ま	204	10	ロッパでは非常に大きかつたものと見え	ます ．万国史をお読みになつたお方は御承知で御坐
	ま	205	05	人間社会には災が絶えずに有るので有り	ます ．近頃，望遠鏡の発明が有りましてから少くも
	ま	205	09	が有ると云つて，こはがつたものと見え	ます ．さて，前に申した通りに立ち戻つて来る彗星
	ま	205	11	ましたが，この外に十か十一ばかり有り	ます ．ざつと一ダースばかり有ることと思へば宜し
	ま	205	13	四分の一ごとには戻つて来るもので有り	ます ．諸君は其れならば見えさうなものだと，おつ
	ま	205	13	，おつしゃるでせうが見えることは見え	ます ．しかし肉眼では見えません．この十一二の彗
	ま	206	02	Ｄａｍｏｉｓｅａｕのほどには十分いき	ます ．）其の彗星のあるいて居ります道を勘定しま
	ま	206	06	発見された今のやうな彗星の元祖で有り	ます ．Ｈａｌｌｅｙが今日まで一番大きな道をある
	ま	206	07	で一番大きな道をあるいて居るので有り	ます ．其の後発見しましたのはＥｎｃｋｅのよりは
	ま	206	08	てＨａｌｌｅｙのよりも小さいので有り	ます ．其れからして，この外にイクラも有ると言ひ
	ま	206	11	其れが突然二つに分れましたことが有り	ます ．同じやうな形ちで一つは大きく一つは小さく
	ま	206	17	所に故郷に帰つて来ると云ふに似て居り	ます ．さて，今度何月何日頃に現はれなければなら
	ま	207	09	飛んだ，また飛んだ」と云ふことが有り	ます ．しかし雨のやうにふると云ふことは少ない．
	ま	207	15	理に分らなくしてしまつたやうに思はれ	ます ．其の星が隕ちたと云ふのは今言ひました流星
	ま	207	16	は今言ひました流星と同じことと思はれ	ます ．して見るとＢｉｅｌａの彗星は失せてしまつ
	ま	208	01	は無く，化けて流星になつたものと見え	ます ．このごろでは段々と流星と彗星との関係が分
	ま	208	08	何時間にどの位，走ると云ふことが分り	ます ．しかし一体，汽車とはドンナものか，人力車
	ま	208	11	体かと云ふ調べはむつかしいもので有り	ます ．また彗星は惑星と違つてボーットしたもの故
	ま	208	14	所で頭には心或ひは核と云ふものが有り	ます ．この三つが同じやうなものと云ふ証拠は無い
	ま	208	15	無い，反対にそれぞれ違つたもので有り	ます ．これをそれぞれに調べますのは，むつかしい
	ま	209	03	を透して，どのやうな小さい星でも見え	ます ．尾をすかして大きな星が見ゆるなら宜う御坐
	ま	209	04	う御坐りますが小さな星までも能く見え	ます ．頭の所はドウで有るかと云ひますに頭は説が
	ま	209	07	，通さないと云ふ方が怪しいやうで有り	ます ．大方は頭も心も稀薄なもので何れ瓦斯体で有
	ま	209	08	薄なもので何れ瓦斯体で有りさうに見え	ます ．中には心の所だけは堅まつたもので，あとの
	ま	209	09	他の部分は瓦斯体で有ると云ふ者も有り	ます ．其れからして尾の長さのことで有ります．尾
	ま	209	09	す．其れからして尾の長さのことで有り	ます ．尾と云ふものは大変に長いもので，ムヤミに
	ま	209	12	すと，これは随分むづかしいことで有り	ます ．私は先年フランスのＦａｙｅの彗星の説を訳
	ま	209	13	が，あの説を信ずれば，あれまでで有り	ます ．が，しかし其れも信じなければ，また其れま
	ま	209	14	じなければ，また其れまでのことで有り	ます ．箇様なことは迚も一席の講談に於て断言する
	ま	209	15	に於て断言するは危うげなことで御坐り	ます ．なぜなれば説の間に誤りを生じ易く若し軽々
	ま	210	01	ですが，進んで居ないのも其の辺で有り	ます ．昨日の定説も今日はすたり，今日，可とせし
	ま	210	02	これも説を述べられぬ一つの理由で有り	ます ．其れからモウ一つ世間にやかましい問題が有
	ま	210	03	らモウ一つ世間にやかましい問題が有り	ます ．其れは彗星が地球に突き当つて地球がこわれ
	ま	210	04	地球がこわれてしまふと云ふことで有り	ます ．日本では幸にソンナ風説は行はれません．さ
	ま	210	10	当だ」などと騒ぎ立てたことなどが有り	ます ．其れでエウロッパの通俗天文のことを調べる
	ま	211	04	．しかし両方とも極端に走つた説で有り	ます ．心は堅いと云ふことで有りますから，例へば
	ま	211	11	非業の死は遂げやしないと云ふ説が有り	ます ．実はコッチが彗星の中へ頭を突こんだことが
	ま	212	01	，其れが彗星の尾の中に居つたので有り	ます ．また彗星の頭のコナゴナの中は地球がショッ
	ま	212	02	ナの中は地球がショッチュウ通つて居り	ます ．流星は彗星のこわれたのだとすれば，彗星が
	ま	212	08	まで知れなかつたものを知ることが出来	ます ．また金や銀や宝石を持つて来るかも知れませ
	ま	212	13	派な彗星が肉眼で見ゆるであらうと思ひ	ます ．お互に長生きをして其の頃また彗星の話をす
	ま	213	09	た演説の間の狂言のやうなもので御坐い	ます ．さて小説は文章で書くもの，演劇は立ち働い
	ま	213	14	みに応じなければならないもので御坐い	ます ．ソコデ少し小説と演劇と違ひが御坐います．
	ま	213	15	．ソコデ少し小説と演劇と違ひが御坐い	ます ．維新の初めには小説と云ふものは人の心を乱
	ま	215	07	千と云ふものは実に面白いもので御坐い	ます ．さて閑話休題と云ふ字を馬琴などが使つて「
	ま	216	05	其の上に，ころがして療治話しで御坐い	ます ．大己貴の神は医薬を始めた神だから療治をし
	ま	216	06	に話す為めに拵へたことで有らうと思ひ	ます ．また仁徳天皇の時，摂津の菟我野と云ふ所に
	ま	216	12	後世の子供だましの話しに能く似て居り	ます ．尤も此のやうなことは支那の昔の書物を見る
	ま	216	16	ので小説とは少し性質が違ふことと思ひ	ます ．其れから山城に都を遷されてから仮名文章と
	ま	217	01	物語にも物語の出来始の親と記して有り	ます ．其の作者は分りませぬが文体の古雅な所を見
	ま	217	10	此の空中楼閣の話しを作つたものと見え	ます ．しかしながら天に昇つてしまつたなどと云ふ
	ま	217	11	づ小説を編み立つた始めで有らうと思ひ	ます ．其の次に古いのは宇津保物語で，此の作者は
	ま	217	16	ふ旧説の有るに倣つた私の臆測で御坐い	ます ．其れから色々の物語が出来ましたが今以て名
	ま	218	10	らせやうと云ふ心組で作つたものと見え	ます ．其の時分には男は漢文で書き，仮名文は女が

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ます）	ま	218	11	書き，仮名文は女が書いたもので御坐い	ます	．ソコデ物語は婦人の作が多い．其れゆゑ先づ
	ま	219	02	さて，其れに付てチト話しが横道に入り	ます	．其れは源氏物語の頃（一条天皇の時代）の風
	ま	219	08	いて男の方から通つたと云ふことで有り	ます	．また源氏物語の箒木の巻に雨夜の品定めと云
	ま	219	13	の風俗は自由結婚に近かつたものと見え	ます	．此の時分は上等社会さへ，さうで有つたから
	ま	219	14	つたから，まして下等の風は思ひやられ	ます	．しかし箇様な風俗は当時，漢文で書いたもの
	ま	219	16	来て歴史編纂などの大いなる資けとなり	ます	．其れからして保元平治物語，源平盛衰記，平
	ま	220	06	よりも作り事の方が沢山だらうと思はれ	ます	．しかしながら猿楽の能から今の雑劇に至るま
	ま	220	15	の話しも此の頃に出来たものかと思はれ	ます	．其れから徳川時代になつて寛文，天和の頃よ
	ま	221	01	のものに向くのを目途としたものと見え	ます	．しかし其の時代の人情風俗を知るにはよいも
	ま	221	11	が国の小説は全く地に墜ちたものと見え	ます	．其の時分，京伝は元来，洒落本，草双紙の作
	ま	221	16	洒落本の口調から変化したものと思はれ	ます	．さて京伝以来，三馬も種彦も画入読本と云ふ
	ま	222	04	問が有つたから了簡がついたことと見え	ます	．箇様な訳で有るから我が国の小説は却つて昔
	ま	222	14	，また神楽，催馬楽に古風を伝へて居り	ます	．中古以来，僧家に延年の舞と云ふものが有り
	ま	223	08	演劇の成り立ちとも云ふべきもので有り	ます	．其の後，女歌舞伎，若衆歌舞伎などと云ふも
	ま	223	13	きを版にしたのを今も好事家は持つて居	ます	．これは今云ふ筋書のやうなもので其の時分の
	ま	223	14	の演劇の有様を見るに足るもので御坐い	ます	．そこで操人形と云ふものが慶長の時分から有
	ま	224	15	なる関係が有つて離れないことと思はれ	ます	．さて当今，演劇は申すに及ばず小説とても改
	ま	226	10	関係を規定すると云ふのが目的で御坐い	ます	．よつて此のことを講究しまするには先づ二部
	ま	226	14	所の組織と権限とを講究することに致し	ます	．先づ第一部から申し上げて見ませう．即ち行
	ま	226	15	ち行政官権及び行政議会のことで御坐い	ます	．この行政官権と云ふことはフランス語でオー
	ま	226	17	ひ，イギリス語でオーソリチーとか云ひ	ます	．行政議会と云ふことはフランス語でコンセイ
	ま	227	01	と云ひ，イギリス語でカウンシルと云ひ	ます	．この二つのものは議会で定め，官権で行ふと
	ま	227	02	同時に講究しなければならぬ次第になり	ます	．よつて第一部では両方一所に申し上げませう
	ま	227	04	の土地の区画と云ふことが大事で御坐い	ます	．私の聞きました所では日本の極古いときは郡
	ま	227	11	つたと云ふことが歴史などに見えて居り	ます	．大名は何であるかと云ふと，テもなく一地方
	ま	227	14	子とも異なる所は無かつた位の様で有り	ます	．其れならば天子は何をして居られたかと云ふ
	ま	227	16	では無かつたかとも存じられる所も有り	ます	．其れなら徳川のやうな将軍は何であるかと云
	ま	228	02	に小君主国が有つたやうな有様で御坐い	ます	．斯の如くで有りますから日本帝国の中に，ま
	ま	228	05	ミに数が多く有つたやうな有様で御坐い	ます	．其れで地方の区別を見ますと大名の下に今の
	ま	228	14	月三十一日の調べに拠れば八百〇二あり	ます	．この郡には郡長と云ふものを置いてあります
	ま	228	14	この郡には郡長と云ふものを置いてあり	ます	．これは府県知事の下役のやうなもので有りま
	ま	228	15	れは府県知事の下役のやうなもので有り	ます	．其の郡の下に町村が有ります．この町村の区
	ま	228	15	ので有ります．其の郡の下に町村が有り	ます	．この町村の区別に至りましては地学上ドウ区
	ま	229	02	るとでも区別しなければならないと思ひ	ます	．町の数は一万二千二百十七あるです．東京の
	ま	229	04	一千五百九十七の町村と云ふものが有り	ます	．其れから区と云ふものが有ります．区は市街
	ま	229	05	有ります．其れから区と云ふものが有り	ます	．区は市街の大きな所を郡より引きはなして区
	ま	229	07	コの郡にも属せぬと云ふやうにして有り	ます	．故にこの区と云ふのは大いなる市街と云ふ意
	ま	229	08	をも数区に分つと云ふやうな意味で有り	ます	．して区と云ふものが全国に三十七あるさうで
	ま	229	10	長は郡長の仕事と戸長の仕事をして居り	ます	．今，性質から云へば区は郡の下につくべきも
	ま	229	11	云へば区は郡の下につくべきもので有り	ます	．其れならば区は郡の中にあるかと云ふと中で
	ま	229	15	ら人民の公撰すべきものでは無いと思ひ	ます	．其れから沖縄県内は前と別もので，これには
	ま	229	16	これには那覇と首里と云ふところが有り	ます	．これは内地の区のやうなもので有ります．其
	ま	230	01	す．これは内地の区のやうなもので有り	ます	．其の外間切と云ふもの即ち内地の郡の如きも
	ま	230	02	の即ち内地の郡の如きものが三十六あり	ます	．また村と，村のやうな島が五百八十九ありま
	ま	230	02	た村と，村のやうな島が五百八十九あり	ます	．現今では行政上の区画は府県，郡区，町村と
	ま	230	03	県，郡区，町村と云ふことになつて居り	ます	．之を行政上の区画と定めましたのは廃藩置県
	ま	230	04	めましたのは廃藩置県のときからで有り	ます	．また，この区画を色々に利用しまして陸軍に
	ま	230	06	ち各海軍区に一つの鎮守府を置いてあり	ます	．其の外，裁判区山林区，学区など色々ありま
	ま	230	07	の外，裁判区山林区，学区など色々あり	ます	．其の外，行政上で無形人と認むるものは全国
	ま	230	09	，町村であつて郡は此の中を外れて居り	ます	．フランスの例でも外れて居りますが日本でも
	ま	230	10	は郡有財産と云ふものは無いさうで有り	ます	．しかし共有財産と云ふ名のものが有るさうで
	ま	231	01	おきまして先づ第一に二つの原則が有り	ます	．即ち第一には施政者は一人と云ふこと，第二
	ま	231	03	下に隷属すると云ふことの二原則で有り	ます	．施政はツマリ天皇陛下御一人でおやりなされ
	ま	231	05	政官は総て執行権に隷属するもので有り	ます	．其れから，また施政は，一人，議政は数人で
	ま	231	10	して，各大臣の側らに専門の議会を置き	ます	．例へば内務省に中央衛生会とか地方官会議と
	ま	231	13	議政の方は府県会また常置委員会が有り	ます	．町村になると町村会が議政者で戸長が施政者
	ま	231	13	と町村会が議政者で戸長が施政者で有り	ます	．（この戸長と云ふことは町村長と云ふ方が，
	ま	231	15	が議政の仲間入りをしてやることが有り	ます	．町村会で戸長が議長になつて議場を整理し可
	ま	232	01	ことを施政者が行ふと云ふが原則で有り	ます	．之に付ては府県会規則にありまして，よく其
	ま	232	03	を諮問することを得ると云ふことが有り	ます	．或る論者になりますと地方税規則第三条掲載
	ま	232	12	と云ふのが学問上の精神で有らうと考へ	ます	．右の次第ですから行政官権及び行政議会と云
	ま	232	15	政議会と云ふことを講究する順序になり	ます	．今日は先づこれまで申し上げて置きませう．
	ま	233	08	業生も多くなり誠に祝すべきことで有り	ます	．実に此の専修学校は私立の専門学校の一番の

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ます）	ま	233	09	イクラも専門の学校が出来たことで有り	ます	．そこで私立学校では重もに日本語で教ふるこ
	ま	233	12	教ふると云ふのが誠に宜しいことで有り	ます	．丁度，今から十年余も前で有りましたらうが
	ま	234	12	に開けるやうにならぬのは当り前で有り	ます	．尤も極の高尚の所は原書で無ければならぬな
	ま	235	03	盛んになればソコに至るのは必然で有り	ます	．そこで此の専修学校は日本語を以て教ふる専
	ま	235	05	こととなつたは実に祝すべきことで有り	ます	．其れに次では諸君の今日卒業されたことを祝
	ま	235	07	得られたことで実に感ずべきことで有り	ます	．しかし尚ほ小成に安んずるとイケヌから益々
	ま	235	08	を希望しまするると云ふことを一言いたし	ます	．其れに付て序ながら昔の学者は多く骨を折つ
	ま	236	02	て蘭語を仮名で書いたことださうで有り	ます	．其の様の次第で有つたことゆゑ，蘭語の稽古
	ま	237	09	幸を異にすることは驚くべきことで有り	ます	．其れに反して御一新後，今日になつて学問を
	ま	238	03	ては小成に安んずる基にならうと思はれ	ます	．諸君は何卒，昔の人の二大難事に耐へて其の
	ま	238	04	れて其の志を以て勉強されることを望み	ます	．尤も今お話ししたことでは事実などはお話し
	ま	238	06	を伝へた難儀などのことは一々出て居り	ます	．今から見ると意外な難儀が書いて有ります．
	ま	238	07	．今から見ると意外な難儀が書いて有り	ます	．呉々も諸君，さう云ふやうに力を尽されて勉
	ま	238	10	でに一言其れだけのことを御忠告いたし	ます	．監獄論明治二十年十月十五日宇川盛三郎君講
	ま	240	14	らしても不都合は無いと云ふことも有り	ます	．例へば人のことを褒めると云ふことならばイ
	ま	240	15	ならばイクラ褒めても差支ない筈で有り	ます	．然れども前に申した「某の娘は温良である」
	ま	241	04	は無論，言ふを得られぬものと存ぜられ	ます	．尤も私の巡閲したる途中で福島県の道路が善
	ま	241	10	らしむるに於て利益あるものと存ぜられ	ます	．故に実際に至りまするとコレコレは述べても
	ま	241	13	さることが，区々になつて私も甚だ惑ひ	ます	．といふものは例へば国事犯罪人の取扱方は如
	ま	242	12	居りまする．此の学をペノロジーと申し	ます	．其の意味は刑の学，即ち刑を執行するの学問
	ま	243	10	の事を御親裁あらせらるゝもので御坐い	ます	．さて，執行権の中には政府があり行政権があ
	ま	243	11	は政府があり行政権があり司法権があり	ます	．政府は即ち内閣にして，こゝに於ては天下の
	ま	243	13	定めたることは行政権に於て執行いたし	ます	．故に政府は政治の方針を定むるだけにして，
	ま	243	14	行政権に於て之が執行を掌ることで有り	ます	．また司法権は法律の執行を掌ることで有りま
	ま	244	06	執行で第二は規則の制定及び執行で有り	ます	．規則と申しまするものは法律の細目を定め，
	ま	244	08	は必ず立法権の制定に係るもので御坐い	ます	．其れから第三は政治の執行で，これは内閣で
	ま	244	16	察を用ひ，また監獄を用ふることになり	ます	．故に秩序安寧の中，内乱，外乱に関すること
	ま	246	10	字は人心を改良すると云ふ意味で御坐い	ます	．よつて監獄に於ては刑の執行を掌る即ち人心
	ま	246	13	せぬと枝葉に至つて大変な間違ひを来し	ます	．例へば監獄に罪人が這入りまするとに対し
	ま	246	17	て其の心は益々ねぢくれるもので御坐い	ます	．例へば昔は北の方の或る地方に於ては母親が
	ま	247	11	以て人心の改良を図りまするもので有り	ます	．其の第一は懲戒法と申しまして罪人を懲らし
	ま	247	15	の外部の道具じかけを用ふることと致し	ます	．其の第二は，教誨法即ち心の教育法で有りま
	ま	248	10	の関係を明らかに示すことが必要で有り	ます	．警察に於ては犯罪人を捜索して之を裁判所に
	ま	250	02	して専ら之に教育を施すべき時で御坐い	ます	．未丁年者の教育は智慧の教育，心の教育，身
	ま	250	17	やうに，きめまするのは裁判官で御坐い	ます	．さうして今，申した罪人が学期を終りますと
	ま	251	01	ますと卒業してモトの良民に立ちかへり	ます	．然るところ「お前の説は至つて御尤もなれど
	ま	251	15	ラかの間これが心を矯め直すことを図り	ます	．此の者を不論罪懲治者と申します．また弁別
	ま	251	16	図ります．此の者を不論罪懲治者と申し	ます	．また弁別心が有つて悪事を働いた者は已むを
	ま	251	17	て悪事を働いた者は已むを得ず之を罰し	ます	．此の者を幼年囚と申します．此の二つの外に
	ま	251	17	ず之を罰します．此の者を幼年囚と申し	ます	．此の二つの外に，まだ罪人とはなりませぬが
	ま	252	01	，また悪事の何たるを知らざる者が有り	ます	．これは純粋の不良少年で有りまして未だ罪人
	ま	252	08	て来て懲治しなければならぬもので有り	ます	．故に不論罪懲治者にあれ，出願懲治者にあれ
	ま	252	15	教育は先づ一と通り終つた筈の者であり	ます	．然るに未丁年の者はまだ教育最中であつたの
	ま	253	03	為めに矯正院を設くることになつて居り	ます	．この矯正院と言ふのは未丁年者の監獄と云ふ
	ま	253	07	して之に教育，教誨，懲戒の三事を施し	ます	．尤も其の不良の度合ひに応じて右各科目の多
	ま	253	09	業をさせるのが宜しいと云ふ実験が有り	ます	．其の故は種子を蒔いて之を世話をして其の実
	ま	253	12	云ふやうなことは考へませぬやうになり	ます	．これ等が則ち農民の中には盗賊が少ないと云
	ま	254	05	盗賊でも働かなければならぬやうになり	ます	．また第二の資金なき者と云ふのは前のと同様
	ま	254	15	と云ふものは容易ならざるもので御坐い	ます	．よつて監獄は決して賤しむべきものにあらず
	ま	255	04	為めに我々の受ける迷惑で有らうと考へ	ます	．コンナことを申すと警察に於ても徳川時代に
	ま	256	04	申しまするものは慈恵に係るもので有り	ます	．而して此の慈恵に二つの種類が有りまして，
	ま	256	05	一は公けの救助，第二は私の救助で有り	ます	．其れで第一の公けの救助と申しますものは全
	ま	256	09	有志者，特志者から救助することで有り	ます	．今，申しました二つの種類の外に天災の救助
	ま	256	10	種類の外に天災の救助と云ふものが有り	ます	．これは洪水，暴風雨等の為めに田を流し畑を
	ま	257	05	みにならざる者（即ち不良少年）で有り	ます	．而して天然の貧民に属する盲人，聾，唖，癈
	ま	257	07	質は単に救助と云ふに止まるもので有り	ます	．これ等は親族なきに於ては已むを得ず公けの
	ま	257	10	のでは無く，言はば資本の前貸しで有り	ます	．之と同じく貧病人を救助するのも一時の資本
	ま	257	11	を救助するのも一時の資本前貸しで有り	ます	．而して壮健なる貧民を救助し及び不良少年を
	ま	257	17	に述ぶる如くに定むべきものと考へられ	ます	．第一，貧民の救助．これに二つの種類が有り
	ま	258	02	救助せざる者，又は親族の無き者で有り	ます	．第二種は貧病人にして親族の救助し能はざる
	ま	258	07	は救助せざる者，又は親族なき者で有り	ます	．第二種は不良少年にして親族の矯正なき者，
	ま	258	12	，其の四は徘徊する所の不良少年で有り	ます	．これは前に申しました所の矯正院に於て掌る
	ま	258	15	者，又は他人の使傭するを嫌ふ者が有り	ます	．現在は引取人の無い者，又は帰郷旅費の無い

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ます）	ま	258	16	者と名づけまして監獄の中に置いてあり	ます ．これは全国を調べたら随分ありませう．これ
	ま	259	09	法は次の如く定めたら宜しからうと信じ	ます ．第一，救助其の宜しきを得て濫救の予防を主
	ま	259	12	の貧民を救助すると云ふ如きことであり	ます ．第三，救助の人数を時節によつて定限するこ
	ま	259	14	造する訳になりまして甚だ不都合で有り	ます ．よつて例へば東京の養育院ならば当分三百名
	ま	259	17	すると云ふことに，きめたいもので有り	ます ．第四，救助費の額を定むること．これは最も
	ま	260	08	他の有益なる方に分配すべきもので有り	ます ．故に相当の資本が備はりたる上は最早，濫り
	ま	260	11	りまするから一方にばかり偏しても困り	ます ．近ごろ婦人慈善会と云ふ会が東京で大層，立
	ま	261	03	の点に於て誠に必要の点で有らうと思ひ	ます ．其の方法は異名又は番号を以て行つても宜か
	ま	262	01	きましては監獄のことをプリゾンと申し	ます ．其の意味はツカマへておく場所と云ふことで
	ま	262	03	の意味は懲治する場所と云ふことで有り	ます ．アメリカに於てもイギリス同様ペニテンシヤ
	ま	262	03	もイギリス同様ペニテンシヤリーと申し	ます ．フランスに於て大革命以前には監獄には罪人
	ま	262	16	は一房に一囚づゝ置きまする方法で有り	ます ．然れども此の方法はヨホド実際に困難であり
	ま	263	04	を集め別に区別を致しませぬもので有り	ます ．尤も中には少しは区別を致すのも有りますが
	ま	263	10	る．此の方法が一番宜しいかと考へられ	ます ．前に述べましたる四つの方法は国によつて其
	ま	263	12	皆な四つの中の一つを用ふるだけに止り	ます ．さて，また欧米諸国に於て実行せる監獄事業
	ま	263	15	監獄事業の分ち方はこれまた四部となり	ます ．其の第一は犯罪予防部と申しまして，此の部
	ま	263	17	者を教育感化いたしまするところで有り	ます ．此の部に於ては重もに家族法と称する方法を
	ま	264	01	於ては重もに家族法と称する方法を用ひ	ます ．則ち幼年者を数組に分ち，長幼の別を正しく
	ま	264	02	くし以て教育感化することになつて居り	ます ．この家族法と申しまするは例へば百人の囚人
	ま	266	04	感化し以て犯罪の予防をすることで有り	ます ．これ等に施す方法は教育と教誨と懲戒との三
	ま	266	05	有りまするけれども専ら教育を主と致し	ます ．乙の場所は懲治場で有りまして此の所に於て
	ま	266	12	最初は専ら懲戒を主として分房法を用ひ	ます ．而して大分，悔悟の徴をあらはしました者は
	ま	266	13	致させ，夜は一房に一囚づゝ分けて入れ	ます ．此の場合には専ら感化をつとめまする．而し
	ま	266	16	違ないときには仮出獄を許すことで有り	ます ．第三の未決者監禁部の事業は警察署の留置場
	ま	267	17	きには必ず大いなる効能が有らうと存じ	ます ．さて，これより欧洲の監獄の種類を述べませ
	ま	268	04	の監獄で有り，一つは普通の監獄で有り	ます ．軍事の監獄は陸軍及び海軍にありまするもの
	ま	270	16	想の考へで取るに足らない説と存じられ	ます ．今度，述べまするのは留置場で其の数は三千
	ま	271	16	．これは未決者を拘禁して置く所であり	ます ．故に之を未決監とも申しまする．第三，懲治
	ま	272	12	の性質の区別はあると云ふことで御坐い	ます ．而して監獄は総て内務大臣の管轄に属するも
	ま	273	10	す訳には参りますまいかのやうに思はれ	ます ．此の外，東京，兵庫，宮城，三池の四箇所に
	ま	273	16	房留置者と申す者が千八百六十七人あり	ます ．これは監獄にて放免になりましても行きどこ
	ま	273	17	で拠ろ無く監獄に置いてある者で御坐い	ます ．これ等を合しまするに在監人の総数は七万二
	ま	275	04	に盛大なる有様であるとのことで御坐い	ます ．我が国に於ては維新前のことは実に論ずるに
	ま	278	02	に係る事柄は了解せられたることと存じ	ます ．尤も此の講談に於ては前にも申しました通り
	ま	278	09	諸君を益したることであらうと存ぜられ	ます ．若し果して幾分か諸君を益したらば私の幸ひ
	ま	278	10	の幸ひは実に此の上も無きことに御坐い	ます ．なほ，監獄の取締法，役法，囚徒取扱法，工
	ま	094	11	思ひます．諸君．我輩は日本人で御坐り	ます （これは言はずとも御承知で御坐りませうが）
	ま	025	07	もとは，どの学者でもと云ふことで有り	ます ）学者の眼から見ると惑星が地球の党類で有る
	ま	068	08	（見習生はＲｅｆｅｒｅｎｄａｒと申し	ます ）これを四年いたしまして裁判官代言人検察官
	ま	068	15	Ａｓｓｅｓｓｏｒと称するもので御座い	ます ）而して裁判官検察官の本官となり一定の俸給
	ま	196	04	お出でなさる方などは全く別儀で御坐り	ます ）．今日は兎角，物の理屈を知らないで居なが
	ま	231	14	とは町村長と云ふ方が，よいやうに考へ	ます ）尤も行政上では施政者が議政の仲間入りをし
	ま	134	06	分にも明かに申されましたことが御坐り	ます 「人の善悪は其の実によつて之を知るべし」と
	ま	130	16	人の霊魂の中に住む所の道徳法で御坐り	ます 」と．実に面白いお話しで御坐ります．数へも
	ま	134	02	ます．そこで私が基督教を見たので有り	ます 」と答へました．只今説きまする仕方に就て聖
	ま	157	10	申しませんことは申しませんが地は回り	ます 」と言つた．実に度胸の大きな奴さネ．これは
	ま	158	14	て銘々どもが「京都へ電信をお頼み申し	ます 」といふと「オット承知でごす」といつてスグ
	ま	204	14	した．今日ならば「ミゴトな彗星で有り	ます 」と言ふべきですが其の頃は非常に驚いたもの
	ま	027	06	下からこゝまで人力車で来る位な間に来	ます ，僅か一秒時間に七万六千里ほど走りますから
ます	増	175	09	しまふと同じ道理であります．併し人の	増す のは当り前ではあるが増すばかりが国家の繁昌
	増	175	09	す．併し人の増すのは当り前ではあるが	増す ばかりが国家の繁昌では無い，不幸だ．人があ
	増	075	12	はぬだけである．此の如きは国家の富を	増す ものでは無くて富を減ずるもので有るから国家
	増	121	11	は「寿命が短くなる」「病死することが	増す 」「自殺が殖える」また「罪を犯す者が多くな
ますい	麻	034	03	通り酒と申すものはナルコチカと言つて	麻酔 の効の有るもので之が為めに害を受けぬ者は有
まずしき	貧	179	10	キリストも此の預言者の語を引て「我は	貧しき 者に福音を宣べ伝へ心の傷める者を医し圧制
ますます	ま	221	04	どと云ふ作者が有つて西鶴の風により，	ますます 俗耳を喜ばせるを手柄とし専ら遊里の事態
ますます	益	007	09	手になる．其れだから漢字を廃するのが	益々 イヤになる．其れでよいことで有るかは知りま
	益	071	04	むことを望み未だ卒業に至らざる諸君は	益々 刻苦勉励せられて他日の成業を期待せられ又学
	益	048	05	し国と国との間にありても近来は交際が	益々 盛んになりて来たから利害を感ずることが多い
	益	051	08	日私はそこは申しませぬ．たゞ愈々広く	益々 盛んに此の会の成りゆくことを御相談いたした
	益	163	02	分に有つた人で随分場所柄もよく兵威も	益々 盛んになつたから明智光秀に弑されなかつたら
	益	007	01	．今日の有様は反対した方にばかり流れ	益々 字を書く方が，はやって来て字を書くことだの
	益	007	09	だから役所から帰ると字を習ふ．習ふと	益々 上手になる．其れだから漢字を廃するのが益々

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ますます）	益	235	08	しかし尚ほ小成に安んずるとイケヌから	益々	進歩を謀られむことを希望しますると云ふこと
	益	071	03	黙するに忍びず斯の如く陳べますが諸君	益々	進んで学識を実業に利用せられ明裁判官明代言
	益	036	08	の仲間にはいつて段々諸君のお力を以て	益々	盛大にし智慧を研き身体を丈夫にし財を貯へる
	益	014	01	ゝます．殊に物理学の進歩してから眼が	益々	遠ぎゝする様になりまして我々の世界の外にも
	益	177	09	人増殖の後難を防ぎ止むることも出来，	益々	日本帝国を繁昌させることが出来ませう．先づ
	益	246	17	て，いぢめられるやうになつて其の心は	益々	ねぢくれるもので御坐います．例へば昔は北の
	益	166	10	どの色々の学科の助けによつて世の中も	益々	開け行くこととなつて人間世界を調子よく今日
	益	171	12	ひますから移住出稼の運動が始まつたら	益々	便利になりませう．また我が国の人民は北亜米
	益	067	15	ら諸君も今日の卒業を以て足れりとせず	益々	法律に経済に従事せられ赫々の光華を得られむ
	益	069	16	すが一国政府の上から観ますれば供給者	益々	増しました時には政府に取つては容易に立派な
	益	248	05	する．然るを監獄に這入りましてからは	益々	悪い上に悪い者になると云ふことが実際に有り
まする	ま	128	13	．卒業生が各国の学者たちの判断を待ち	まする	間に基督教が不意に衰へてしまふ気遣ひは決
	ま	105	05	君演説当今世上の一大問題となつて居り	まする	英国荷船ノルマントン号の沈没事件に付ては
	ま	131	11	で御坐ります．たゞ一方の論のみを読み	まする	お方はドコまでも基督教と学術との関係の本
	ま	271	02	時間を出でざる中に監獄に送つてしまひ	まする	か，又は無罪放免になりまするからのことで
	ま	069	04	年，次四年，次三年で都合十年間で有り	まする	が斯の如く多年学科上及び実地上の研究を要
	ま	098	07	て世の中には随分おそろしいことが有り	まする	が彼のノルマントン号の事件の如きは心之を
	ま	104	01	るが如く日本人は浮薄の本性を備へ居り	まする	が大改革を行ふには最も適当の人民でありま
	ま	126	08	反対論に答へるには色々の仕方が御坐り	まする	が其の中に至極よいものも御坐ります．また
	ま	193	11	新主義をもつて来て採用するやうに見え	まする	が天子の勅詔を段々と見ますとこれ皆な王政
	ま	226	07	及び行政裁判の三つのことに取りかゝり	まする	が，行政のことと行政裁判のこととは事柄が
	ま	241	13	ことは前に申しました区別の趣意で致し	まする	が，諸君の私にお問ひなさることが，区々に
	ま	243	15	た司法権は法律の執行を掌ることで有り	まする	が単に民法，刑法だけの執行，又は適用を掌
	ま	255	01	帰つて門前で塩をかけると云ふ風も有り	まする	が其の原因は昔の牢番人が悪かつたので，監
	ま	260	11	会と云ふ会が東京で大層，立派に行はれ	まする	が，これは救助がソレゾレ平均を得たるもの
	ま	271	09	軍事の監獄と普通の監獄との区別が有り	まする	が軍事の監獄に関係しましたことは省きまし
	ま	278	05	上のことを論述すべきやの順序ではあり	まする	が現在のことは学術の部を外れて行政の実際
	ま	013	13	で実に心細いもので有りまする．で有り	まする	からして学者が天のことを調べます序に我々
	ま	094	02	の地の裁判所にて管轄すべきものであり	まする	から．尤も土地と言つても地理学上で言ふ土
	ま	098	14	我が日本人は友愛のこゝろに富むで居り	まする	から此の度の事件が世間に公けになるや否や
	ま	241	09	間公衆の知る所にして公有物の部に属し	まする	から，これ等は述るに於て聊か不都合は無い
	ま	242	17	．先づ監獄は行政権に属するもので有り	まする	から第一に監獄の行政上の位置を述べませう
	ま	243	06	る．我が国では主権者は天皇陛下であり	まする	から立法権も執行権も皆な天皇陛下に在りま
	ま	245	03	ますと，有れども無きが如きもので有り	まする	から私の述ぶる所の此の監獄論に於ては総て
	ま	245	07	これ等は行政権と申す立派な道具が有り	まする	から幸に之を利用して，これ等のことをもや
	ま	252	04	親の家庭教育が行き届かないからで有り	まする	から斯くの如き両親に任して置いても覚束な
	ま	252	12	のは監獄では罪悪の甚しい者が沢山居り	まする	から，これとマゼコゼにするのは至つて危険
	ま	253	11	は四月若しくは半年も要することで有り	まする	から濡れ手で粟を攫むと云ふやうなことは考
	ま	254	08	ら，また盗賊を始めると云ふ次第であり	まする	から，監獄を出ましたる放免者と名づける者
	ま	254	09	分九厘は将来の犯罪人と云ふ虞れが有り	まする	から，これ等の為めには慈恵と犯罪予防との
	ま	254	14	まする．前に申しました如き次第で有り	まする	から監獄と云ふものは容易ならざるもので御
	ま	256	03	民との関係はヨホド綿密なるもので有り	まする	から貧民救助のことを簡略に述べませう．貧
	ま	256	16	くと云ふので犯罪人を生ずることになり	まする	から，貧民を救助すれば犯罪人を減少すると
	ま	257	09	将来に善良有益の人民を造るもので有り	まする	から其の費用は誰が出しても救助と云ふもの
	ま	259	05	犯罪人の予防減少に大関係をもつて居り	まする	から此の救助の方法は監獄上よりしても確に
	ま	260	07	上は其の上の資本は無益なるもので有り	まする	から，これは他の有益なる方に分配すべきも
	ま	260	10	院即ち不良少年の慈恵所など色々と有り	まする	から一方にばかり偏しても困ります．近ごろ
	ま	263	01	クなことは稽古しないと云ふことになり	まする	から此の方法はアマリ面白くないもので有り
	ま	267	16	しい所だけを引き抜いて申したので有り	まする	から此の方法を参考して実際の事業を為すと
	ま	271	02	てしまひまするか，又は無罪放免になり	まする	からのことで有りまする．今度述べまするの
	ま	273	07	る．五箇所の集治監は皆な已決監であり	まする	から已決監の総数は百六十六となりまする．
	ま	274	11	ましたる如く一種の人心改良学校であり	まする	から行政上，決してオロソカにすることは出
	ま	278	06	術の部を外れて行政の実際に関係いたし	まする	から此の講談の範囲外でありまするによつて
	ま	278	08	ら監獄全体に係る事柄を述べたので有り	まする	から細密なる点にまでは及びませぬが幾分か
	ま	264	12	家の意見と其の各国に於て施行して居り	まする	監獄法などを参酌して一覧表を製しましたが
	ま	250	09	まする．只今，申したのは本街道で有り	まする	けれども，また時としては此の本街道を外れ
	ま	251	07	しました者は已むを得ず終身の刑に処し	まする	けれども監獄に於て心の教育を受くること十
	ま	252	03	ふ者は先づ両親等に於て其の懲治を掌り	まする	けれども元来，斯くの如き子供があるのは則
	ま	255	06	国事に関係する者は探索することも有り	まする	けれども，道徳上の範囲に属する所業，即ち
	ま	262	12	せぬ．此の方法は悔悟遷善の利益は有り	まする	けれども長く一房一囚に致しておきますとキ
	ま	263	11	は国によつて其の用ひ方を異にして居り	まする	けれども皆な四つの中の一つを用ふるだけに
	ま	266	05	方法は教育と教誨と懲戒との三つで有り	まする	けれども専ら教育を主と致します．乙の場所
	ま	270	15	るほど不良の奸智も殖ると申す者が有り	まする	けれども，これは皮想の考へで取るに足らな